

全訳 UEB 規則集

第 2 版 2013 年

編集

クリスティーヌ・シンプソン

出版



国際英語点字協議会

著作権：第2版©2013年（第1版©2010年）印刷物を読むことに障害がある人々のための情報アクセスに関する円卓会議および国際英語点字協議会

この出版物はクリエイティブ・コモンズ表示-非営利-改変禁止 2.5 オーストラリアライセンスからライセンスの許諾を受けている。このライセンスのコピーについては、<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/2.5/au/>をご覧ください。または Creative Commons, 171 Second Street, Suite 300, San Francisco, California 94105, USA に資料請求をしてください。

ISBN : 978-0-9807064-6-8

連絡先：

国際英語点字協議会
ueb@iceb.org
www.iceb.org

印刷物を読むことに障害がある人々のための情報アクセスに関する円卓会議
PO Box 229, Lindisfarne, Tasmania 7015 Australia
admin@printdisability.org
www.printdisability.org

『全訳 UEB規則集』(*The Rules of Unified English Braille*)の正式版はICEBのウェブサイトでPDFファイルとして入手できる。規則集の印刷版および点字版はそこから利用できる。

関連文書：

Unified English Braille Guidelines for Technical Material (available for download from the ICEB website) 統一英語点字 (ICEB ウェブサイトからダウンロードできる)

目次

目次.....	iii
発刊にあたって.....	xi
第1版の前書き	xiii
第2版の前書き	xv
第1版の序文.....	xvii
第2版の序文.....	xxi
謝辞.....	xxiii
この本について.....	xxv
第1節 はじめに.....	1
1.1 点字の定義	1
1.2 統一英語点字の基本原理.....	2
1.3 英語点字の他の形式に見られる基本記号.....	3
縮約	3
句読符	3
特殊記号	4
一般記号	4
技術的なテーマ	4
第2節 用語と原則	5
2.1 用語.....	5
2.2 縮約概要	6
2.3 墨字への準拠.....	8
2.4 指示符とモード.....	8
2.5 点字のグレード.....	10
非縮約（グレード1）点字.....	10
縮約（グレード2）点字.....	11
その他の点字のグレード	11
2.6 単独.....	12
第3節 一般記号と指示符.....	17
3.1 アンパサンド ⠠.....	18
3.2 矢印 ⠶ ⠷ ⠸ ⠹ ⠺ ⠻.....	19
3.3 星印 ⠼ ダガー ⠴ 二重ダガー ⠢.....	19
3.4 点字アイテム化指示符 ⠠ ⠡.....	21
3.5 中黒 ⠨.....	22
3.6 カレット ⠤.....	22
3.7 アットマーク ⠤.....	23

3.8	著作権 登録商標 商標	23
3.9	クロス	23
3.10	通貨記号	24
3.11	度 分 秒	26
3.12	同上記号	26
3.13	ドット・ロケーター「引用」	27
3.14	ドット・ロケーター「実用」	28
3.15	フィート とインチ	29
3.16	女性（金星） と男性（火星）記号	29
3.17	数学的記号：プラス イコール 乗算 割り算 マイナス 対比 比例 小なり 大なり	29
3.18	音楽の臨時記号：ナチュラル フラット シャープ	30
3.19	ナンバー記号（いげた、ハッシュ、ポンド記号）	31
3.20	段落 とセクション（節）記号	32
3.21	パーセント記号	32
3.22	図形	32
3.23	スペース	33
3.24	下付き と上付き 指示符	34
3.25	チルダ（スワング・ダッシュ）	35
3.26	点訳者定義記号	36
3.27	点訳者注指示符	37
第4節	文字とその修飾符	41
4.1	英語のアルファベット	41
4.2	修飾符	42
4.3	合字	46
4.4	Eng と schwa	48
4.5	ギリシャ文字	48
第5節	グレード1モード	51
5.1	モード指示符	51
5.2	グレード1記号指示符	51
5.3	グレード1ワード指示符	52
5.4	グレード1パッセージ指示符	52
5.5	グレード1終了符	53
5.6	数指示符	53
5.7	グレード1モードは縮約との混乱を防ぐ	54
5.8	グレード1指示符と大文字	55
5.9	指示符の選択	56
5.10	グレード1指示符の利用オプション	57

5.11	グレード 1 点字文章におけるグレード 1 指示符の利用	57
第 6 節	数モード	59
6.1	数指示符 ⠠ ⠡ ⠢ ⠣ ⠤ ⠥ ⠦ ⠧ ⠨ ⠩ ⠪ ⠫ ⠬ ⠭ ⠮ ⠯	59
6.2	数モード記号	59
6.3	数モードの終了	60
6.4	終了符（ピリオド）を伴う数前置点の配置	61
6.5	数指示符はグレード 1 モードを設定する	62
6.6	数字間のスペース ⠠ ⠡ ⠢ ⠣ ⠤ ⠥ ⠦ ⠧ ⠨ ⠩ ⠪ ⠫ ⠬ ⠭ ⠮ ⠯	63
6.7	日付、時間、貨幣などの取り扱い	64
6.8	スペース入り数指示符 ⠠	65
6.9	数パッセージ指示符 ⠠⠠ と数モード終了符 ⠠	65
6.10	行間における数の分割	66
第 7 節	句読符	67
7.1	一般	68
7.2	ダッシュ、アンダーライン（下線）、ロングダッシュ、ハイフン ⠤ ⠤⠤ ⠤⠤⠤ ⠤	70
	ダッシュとして用いられるハイフン	72
7.3	省略記号（点線）⠠⠠	72
7.4	斜線（スラッシュ） ⠠	73
7.5	疑問符 ⠠	73
7.6	クォーテーション・マーク ⠠ ⠡ ⠢ ⠣ ⠤ ⠥ ⠦ ⠧ ⠨ ⠩ ⠪ ⠫ ⠬ ⠭ ⠮ ⠯	74
7.7	複数行にわたるカッコ ⠠⠠ ⠠⠡ ⠠⠢ ⠠⠣ ⠠⠤ ⠠⠥ ⠠⠦ ⠠⠧ ⠠⠨ ⠠⠩	76
第 8 節	大文字	77
8.1	大文字の使用	77
8.2	大文字モードの範囲	77
8.3	大文字の定義	77
8.4	大文字ワード指示符 ⠠	78
8.5	大文字パッセージ指示符 ⠠⠠	81
8.6	大文字終了符 ⠠	84
8.7	指示符の配置	85
8.8	大文字指示符の選択	86
8.9	すべて大文字で書かれている語句中のアクセント付き文字	87
第 9 節	書体	89
9.1	書体指示符はいつ使用するのか	90
9.2	書体記号指示符 ⠠ ⠡ ⠢ ⠣ ⠤ ⠥ ⠦ ⠧ ⠨ ⠩ ⠪ ⠫ ⠬ ⠭ ⠮ ⠯	91
9.3	書体ワード指示符 ⠠ ⠡ ⠢ ⠣ ⠤ ⠥ ⠦ ⠧ ⠨ ⠩ ⠪ ⠫ ⠬ ⠭ ⠮ ⠯	92
9.4	書体パッセージ指示符と終了符 ⠠⠠ ⠠⠡ ⠠⠢ ⠠⠣ ⠠⠤ ⠠⠥ ⠠⠦ ⠠⠧ ⠠⠨ ⠠⠩ ⠠⠪ ⠠⠫ ⠠⠬ ⠠⠭ ⠠⠮ ⠠⠯	94

9.5	点訳者定義書体指示符 ⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮	96
9.6	小型大文字	96
9.7	句読符が含まれている書体記号の位置	97
9.8	多数の書体指示符のある文書	99
9.9	複数の同じ文書構成要素に及ぶ書体パッセージ	99
第 10 節 縮約		101
10.1	アルファベット縮約語	101
10.2	強縮約語	105
10.3	強縮約	106
10.4	強縮約部	109
	ch, sh, th, wh, ou, st	111
	ing	112
10.5	下がり縮約語	113
	be, were, his, was	113
	enough	114
	in	115
	下がり記号の規則	116
10.6	下がり縮約部	117
	be, con, dis	117
	ea, bb, cc, ff, gg	120
	ea	123
	en, in	124
	下がり記号の規則	126
10.7	頭字縮約	127
	④⑤の点	127
	④⑤⑥の点	127
	⑤の点	127
	upon, these, those, whose, there	131
	had	132
	ever	132
	here, name	133
	one	134
	some	136
	time	137
	under	137
10.8	末字縮約部	138
	④⑥の点	138
	⑤⑥の点	138
	ity	141
	ness	141
10.9	短形語	141
	単語としての短形語	143
	長い単語の一部としての短形語	144
	短形語リストにない単語	146
	短形語との混同を防ぐ	147
10.10	優先	149

下がり記号の規則	153
10.11 つなぎ	153
複合語	153
有気音の“h”	155
接頭辞	155
接尾辞	160
二重母音	162
10.12 雑多なこと	163
略称と頭文字	163
コンピューター文書	166
方言	167
単語の一部分	168
発音または分節が不明なときのガイドライン	169
舌足らずな語	170
語中の句読符と指示符	171
省略された文字列	172
ためらい語、伸ばす語、擬声語	173
綴り	174
吃音語	174
音節で区切られた単語	175
10.13 分綴.....	176
ハイフンで結ばれた単語	176
アルファベット縮約語と強縮約語	178
ing	178
下がり記号の規則	178
ダッシュ	179
be, con, dis	180
ea, bb, cc, ff, gg	180
末字縮約部	181
短形語	181
第 11 節 技術文書.....	183
11.1 序論.....	183
11.2 演算・比較記号.....	183
共通の演算記号	183
共通の比較記号	183
技術文書以外における演算・比較記号のマスあけ	183
技術文書における演算・比較記号のマスあけ	183
11.3 分数.....	184
数の分数用分数線	184
帯分数	184
墨字において一列線上に表現されている分数	185
一般分数指示符	185
11.4 上付き文字と下付き文字.....	185
アイテムの定義	185
文学的文章における上付き文字と下付き文字	186
上付き文字を含む代数式	186
11.5 平方根その他累乗根.....	187
平方根	187

立方根等	187
11.6 矢印	188
単純矢印	188
特殊な軸の矢印	188
通常と異なる先端の矢印	188
一般的ではない矢印	189
11.7 図形記号	189
図形終了指示符の使い方	189
点訳者定義図形	190
物理的囲み指示符 ∴	190
11.8 マトリックスとベクトル	190
複数行にわたるアイテム化記号の配置	190
11.9 化学	191
大文字指示符と終了符の使い方	191
11.10 コンピューター表記法	191
コンピューター表記法の定義	191
コンピューター表記法における点字のグレード	191
第 12 節 英語の初期の型	193
第 13 節 外国語	197
本節で使用される外国コード記号（非 UEB 記号）	197
13.1 外来性とは何かの決定	197
13.2 UEB 縮約を使用する	199
13.3 特定の言語に由来する英語化された単語の縮約に対するガイドライン	202
13.4 アクセント付き文字を表す	202
13.5 UEB 記号を使用する	202
13.6 外国コード記号を使用する	203
13.7 コード切り替え指示符	206
13.8 混合言語の文学	207
第 14 節 コード切り替え	209
コード切り替え指示符	209
IPA 点字のコード切り替え指示符	209
点字楽譜のためのコード切り替え指示符	209
ネメス・コードのためのコード切り替え指示符	209
本節で使用される非 UEB 記号	210
14.1 コード切り替えの目的	211
14.2 コード切り替え指示符を使用する場合	212
14.3 コード切り替え指示符の使い方	213
14.4 UEB テキスト内の IPA 点字	216
14.5 UEB テキスト内の点字楽譜	218
14.6 UEB テキスト内のネメス・コード	218
第 15 節 韻律分析、アクセント、イントネーション	221
15.1 韻律分析、行サイン	221

15.2	アクセント	222
15.3	イントネーション	224
15.4	音声記号の韻律分析、アクセント、イントネーション	225
第 16 節	線モードとガイド・ドット	227
16.1	線モードを使用する場合	227
16.2	横線モード	227
16.3	斜め線と縦線	231
16.4	線の組み合わせ	232
16.5	ガイド・ドット	237
別表 1	短形語リスト	239
リスト	239
	追加された“s”・アポストロフィー“s”	239
リスト作成規則	248
	単語としての短形語	248
	長い単語の一部としての短形語	248
	after, blind and friend	249
	be と con の短形語	249
別表 2	単語リスト	251
別表 3	記号リスト	285

発刊にあたって

本書『全訳 UEB 規則集』は、‘*The Rules of Unified English Braille*’, *Second Edition 2013*, Edited by Christine Simpson, Published by International Council on English Braille の全訳を試みたものです。統一英語点字 UEB(Unified English Braille)は、英語圏で導入された新しい点字表記法です。この本は、UEB の点訳規則を定めた基本的で重要なマニュアルです。主に点訳者向けのものですが、点訳ソフトの開発者やその他の点字専門家にとっても重要な参考文献になるはずです。

日本における UEB への対応は、「日本点字委員会（日点委）」を中心になされており、その概要は、『エッセンシャルガイド 統一英語点字 UEB で何が変わるか』（福井哲也、社会福祉法人日本ライトハウス点字情報技術センター）等により周知されています。一方、米国ではこれを始動する‘International Council on English Braille (ICEB)’のホームページにおいて、この変更へ向けての取り組みが当初より公開されており、背景を始め各段階における試案等について誰もがその跡をたどることができます(<http://www.iceb.org/>)。特に、よく準備されたマニュアルを誰もが無料で入手可能であり、その内の主要な 1 冊を全訳したものがこの本です。

視覚障害者の文字である点字はルイ・ブライユ(Louis Braille, 1809-1852)によって、1825 年に創案されました。点字はブライユ以来日々使われることによって、新たなことにチャレンジする見えない人の絶え間ない営みと共に進化してきたものです。IT 技術の進歩は視覚障害者に多大な恩恵をもたらしています。特に、音声（テキスト）による墨字文章の読み書きの獲得は素晴らしいことです。しかし、その中で我々は点字に対する敬意と尊敬とを忘れつつあるようにも思われます。点字をさらに育み、IT 技術の中にテキストとは別の形でその活用を進めて行くことが肝要であろうと思っています。UEB への取り組みはまさにこの点字復権への取り組みであり、点字を通した IT 技術のさらなる活用を意図した活動ではないでしょうか。この訳本が UEB の日本への普及とその深い理解への一助となれば幸いです。

翻訳は、J-Link 翻訳事務所の小田キャサリン・ヴィヴァル氏にお願いしました。点字を含めた校正を、「つくばステッキの会」にお願いしました。ここに熱く感謝申し上げます。

翻訳およびその配布に当たり、以下の資金援助を受けています。

- ・平成 29 年度教育研究等高度化推進事業（国立大学法人 筑波技術大学）
- ・平成 30 年度障害者高等教育研究支援センター教育研究等推進経費事業（国立大学法人 筑波技術大学）
- ・基盤研究(C)「いくつかの手法に基づく加重付ノルム不等式の研究」（代表 田中 仁）

2018 年 12 月 12 日

国立大学法人 筑波技術大学
障害者高等教育研究支援センター
障害者支援研究部 田中 仁

第 1 版の前書き

The Rules of Unified English Braille (『全訳 UEB 規則集』) の前書きを執筆することと約 20 年にわたる統一英語点字 (UEB) の進展状況を描くことができることを大変うれしく思います。

このすばらしい旅は、米国点字委員会 (BANA) がその文学的および技術的な記号の統一の実行可能性を判断するための研究プロジェクトを開始した 1991 年に始まりました。1993 年に、オーストラリアのシドニーで開かれた初めての執行委員会において国際英語点字協議会 (ICEB) は BANA の提案を受け入れたときに、このプロジェクトの国際化が現実になりました。UEB は、加速していきます。目的地は変わらずにあり続けましたが、旅の大部分は未踏の地を越えることの繰り返しでした。

記号および国の境界を超えて英語の点字を調和させるための研究開発は、下記の 6 つの基本原則に基づきます。

1. 6 点点字を使用すること
2. グレード 2 点字の縮約に大きな変化をもたらすことなくグレード 1 およびグレード 2 点字を包含すること
3. 点字初心者および上級者が共に利用できること
4. 各墨字記号の曖昧でない点字表現を用いて、読みやすさを損なわずに、墨字から点字におよび点字から墨字にできる限り自動変換が可能なこと
5. 数学、コンピューターおよびその他の技術的コード (楽譜は除く) を文章中に埋め込み可能なこと
6. その形成の中で提示された英語点字記号を全て考慮すること

オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、ナイジェリア、南アフリカ、イギリスおよびアメリカの各参加国の点字専門家は、UEB を支えるこの 6 つの基本原則を変化させずに記号を決定して、UEB の詳細をコード化するための綿密な分析の中で、先の決定について再調査を迫られました。各専門家は、自分自身の視点を、記号開発者、教育者、点訳者、校正者および点字使用者など多数者の意見であるとしてもたらしめました。将来に向けて記号を統一するという夢を実現するために、これらの素晴らしい参加者は、英語点字記号の中に残されたままの相違点に対して、必要な反省をし、しかも妥協できる自らへの能力への信頼により支えられていました。

点字使用者の生活は最近の社会と科学技術の変化の影響を強く受けています。学校、勤め先および一般社会での統合には墨字と互換性のある点字が必要です。これまでの文脈ベースの点字記号の規則は、人間の介入に依存し過ぎているせいで、現代の自動点訳の障害になっています。技術は電子的に作成された資料へのアクセスを可能にし、UEB は 6 つの基本原則を守ることによって、今日そして明日へずっと点字記号を提供してきています。

今日まで、電子メールによる数え切れないほどの議論を伴いました。何カ月にもわたる電子メールでの議論を解決するために、縮約、フォーマット、数学および規則に関する委員会の会議が数日にわたって開かれました。それは例えば次のような場合などです。

- ・縮約の使用および音節のつながりはどのようにするのか？縮約に関する委員会はこの数年これらの課題に取り組んできました。

- ・技術文書を表すもっともよい新しい UEB 記号はどれか？数学に関する委員会は 2008 年に技術文書に対するガイドラインを発表しました。
- ・短形語は、規則によるかリストによるかもしくはその両方によってどのように統制されるべきか？短形語の規則は 2010 年 3 月に提供されました。
- ・単語のアクセントをどうしたら良いか？最終的にはアクセント記号はアクセントのある文字の前に置き、全てのアクセントが示されることが決定しました。

UEB の主要ロードマップの一つは記号形成の詳細を明らかにすることです。これらは将来の記号の形成の指針となり、必ず記号の始まりと終わりが識別できるようにする必要があります。これは多くの点字記号が複数のマスにより表されるために非常に大切なことです。

2010 年現在、UEB の規則集が出版されています。プロジェクトの関係者は予想していなかった長く複雑な旅に巻き込まれました。しかし、彼らはすぐに、指針を決めるのは重要な一歩ではあるが、最初の一歩にすぎないということに気付きました。もう一つの要素は UEB プロジェクトの参加者全員は、点字の専門家として、ボランティアとして参加したということです。これは彼らにとって正に生涯にまたとないプロジェクトであり、UEB を完成へと進歩させるために彼らが計り知れないほど多くの時間を捧げるに値するものだったのです。

この旅は終わりましたが、すでに別の旅が始まっています。オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、ナイジェリアおよび南アフリカの点字委員会は UEB を導入し、その実施が開始されたのです。多数の人々は UEB が多面的な情報社会への視覚障害者の統合を支持する点字記号を新たにすることにワクワクしています。

UEB 規則集は全ての UEB 当事者にとってこれから先も大きな力添えとなります。この価値があり意義のあるプロジェクトを引き受けたオーストラリア点字委員会並びにこんなにも短い時間でこの完成に協力してくれた人々全てを祝福したいと思います。

将来の統一英語点字の旅に参加する人々のますますの清栄をお祈り申し上げます。

ダーリーン・ボガート
UEB プロジェクト委員会会長
1991 年-2010 年

第 2 版の前書き

統一英語点字はその使用範囲を広げ続けています。この第 2 版が出版されるので、イギリスおよび米国点字委員会は UEB の導入を図り、その実施を計画しています。アイルランド INBAF が 2012 年 12 月に ICEB に加わり、メンバーは 8 団体に増加しました。本協会も UEB を実施します。

UEB の規則集の執筆の継続を主導してきたフィリス・ランドンに助けていただき、本当にお世話になりました。規則および例について、ランドンさんの説得力があり正確に詳細を示す能力は ICEB にとって大きな財産になっています。ランドンさんおよびメンテナンス委員会が ICEB にとってランドマークとなる出版を成し遂げたことにお祝いを述べます。

ピーター・オスボーン
国際英語点字協議会会長

第 1 版の序文

統一英語点字 (UEB) はオーストラリア点字委員会 (ABA) の年次総会で 2005 年 5 月 14 日にオーストラリアの正式点字記号として導入されました。その時は、UEB を使う、教え学ぶためのリソースが不足していました。2006 年にジョシー・ハウスが開発した UEB Primer は UEB の基本を学んでいる人には長い間非常に有効ではありましたが、点字の教育者と点訳者および使用者のために新型コードの規則について完全かつ権威ある詳細を明確にする必要は明らかでした。

点字の指導と制作に関与する幾つかの団体と事前の話し合いを経て、今日 UEB 規則集として知られるようになったものの開発のため 2007 年に ABA 幹部がプロジェクト概要説明書を導入しました。提案には必要と思われる作業仕様だけではなくプロジェクトのための予算も含めました。2008 年 4 月、印刷物を読むことに障害がある人々のための情報アクセスに関する円卓会議の幹部 (ABA はその小委員会) の幹部によって、また国際英語点字協議会 (ICEB) の総会でも話し合いがありました。原案の微調整の後に、2008 年 6 月にプロジェクトのスポンサーを捜し求め、5 つの組織は 2008 年 8 月にプロジェクトに着手できるよう資金を提供しました。

クリスティーヌ・シンプソンは UEB の発展に責任を持つ中心的な ICEB 委員会に従事していました。UEB 規則の策定に基づいて UEB 規則集を作成・編集するために (印刷物を読むことに障害がある人々のための情報アクセスに関する) 円卓会議に携わりました。クリスティーヌは大人のための経験豊富な点字の教師であり、オーストラリアで点字資料の一流点訳者で、私生活と仕事のあらゆる側面において生涯にわたる点字使用者です。ABA 執行委員会の指導の下に、UEB 規則集の執筆は ABA 執行委員会の代表者から成る計画諮問委員会、支援組織および ICEB によって支えられました。本委員会は過去 2 年間定期的に開催され、本の執筆のあらゆる局面で非常に貴重な助言を提供してくれました。委員は下記の通りです。

- ブルース・マグワイア (オーストラリア点字委員会会長およびプロジェクト諮問委員会会長)
- レオナ・ホロウェイ (ビジョンオーストラリア)
- ジョシー・ハウス (UEB Primer 編集者および ABA 執行委員)
- ビル・ジョリー (オーストラリア ICEB 代表者)
- フィリス・ランドン (ICEB の UEB 規則委員会会長)
- ジャネット・レイノルズ (ニュージーランド王立盲人協会)
- ステファン・スラッキ (南オーストラリア王立盲人協会)
- マリア・スティーブンズ (ニュージーランド点字委員会)
- ニコラ・ストーおよびトリスタン・クレア (王立盲聾人協会)

英国王立盲人協会 (RNIB) は委員会の委員を任命しないことを選びました。クリスティーヌ・シンプソンは委員会の秘書としてサポートしました。

UEB の規則集が完成に近づくにつれ、プロジェクトを育成しその成功を確実のものにする複合的要素をじっくり考えることは活性化につながるでしょう。その要因とは 3 つあります。協力、責任および意見の合致です。

UEB そのものの開発は、協働的な努力の結晶であり、この規則集のために協働の頂点を極めたといっても過言ではありません。組織間の協力、個人間の協力、そして国家間の協力はそれぞれ、規則集の成功に不可欠です。この行動作業の一部は電話会議や直接討議を通して行われましたが、そのほとんどはインターネットやコンピューター・ソフトウェア、リフレッシュ可能な点字ディスプレイといったテクノロジーによって可能になったものです。例えば、どうしたら電子メールや高度な文書処理ソフト、そしてダクスバリ点字翻訳機なしで、規則集を比較的短期間で作り上げることができるか、想像もできません。点字と新たな技術は、特に点字の持つ力を理解していない人々、そのために脅威を感じている人々によって、時に相対するものとして描かれます。UEB は、点字（皮肉にも、あらゆる点において最初の“デジタル”技術の一つ）に他の技術と共に相乗的に進化する柔軟性を持たせようとしたものです。実際に、インターネット及び多くのコンピューター・ソフトウェアは UEB そのものの開発と同時に進展し、この規則集は真の技術的調和を具体化しています。我々は、UEB プロジェクト開始時よりもはるかに効果的に協力し、より多くの点字使用者グループと接触しフィードバックやコメントを求めることができました。その結果、規則集は確かに“活発な民主主義”の実例であり、幅広い層の点字使用者のニーズに応えています。

本規則集は、多くの人々やグループの貢献なくしては作り上げることができませんでした。財政援助を提供してくださった団体は UEB 及び規則集の目標と目的に対するコミットメントを示しました。スポンサーの方々は以下の通りです。

- ・ 王立盲ろう児協会（オーストラリア）
- ・ 盲人協会（英国）
- ・ ニュージーランド国立視覚障害者基金
- ・ 王立南オーストラリア盲人協会
- ・ ビジョンオーストラリア

財政援助の提供だけでなく、スポンサーの方々は、規則集が進展するにつれて、プロジェクト諮問委員会への出席や原稿のレビューのためのスタッフの時間を惜しみませんでした。

ICEB は計画の早期段階から UEB 規則集プロジェクトに深く関与し、規則集を予定通りに、予算内で完成させるよう、UEB 規則集委員会及び UEB プロジェクト委員会の作業を促進してきました。ICEB はプロジェクト諮問委員会を務め、ICEB のメンバーは、意見を求めて回覧された様々な草稿について貴重な意見を述べてきました。

プロジェクト諮問委員会の各メンバーは、この規則集プロジェクトに対して個人的な貢献も示しており、その成果は彼らの貴重な情報やアドバイス、意見を反映しています。

円卓会議議長を務めるブライアン・コンウェイ率いる円卓会議の役員は、財政面の管理、規則集の装丁の補佐や印刷の手配などを通して UEB 規則集プロジェクトに貢献してきました。

円卓会議は、プリント・ディスプレイが基準やガイドラインの制定といったような共通の懸念事項について協力することに関心のある、オーストラリアとニュージーランドの団体のためのフォーラムを提供しています。円卓会議は、1990 年代半ばにオーストラリア全土で開催された UEB のワークショップのための政府からの資金提供を獲得しました。これらのワークショップから提供された情報や意見は様々な面で UEB の開発の具現化に貢献し、最終的には規則集の内容や骨組みにも影響を与えました。

多くの方々に、しばしば裏舞台において、UEB 規則集作成の支援と推進にご尽力いただきました。そういった意味では、この規則集は約 200 年前にルイ・ブライユが始めた作業を更新し集約するため、点字コミュニティの個々または共同の貢献によって改良されてきたのです。

今日のデジタルメディアの世界において、“コンバージェンス（収束）”という用語は一般的に、もともと関連のなかった技術が集結すること、もしくは融合するという意味で用いられます。つまり、過去 20 年間に渡り、個人がコンピューターを使ってコンテンツを作成し、それを携帯電話から様々なウェブサイトに掲載することができるところまで、電気通信やコンピューティングや出版業のコンバージェンスが高まってきたのだと言えるでしょう。しかしながら、UEB 規則集の文脈においては、私は“コンバージェンス”という用語を、プロジェクトの確かな礎を築いてきた個人の特性や能力、資質を集結することという意味で使うことにします。さまざまな面でこのプロジェクトに関わったすべての方が、ごく普通の人々でも偉業を成し遂げることができるという概念の証人ですが、特に三名が傑出しています。

フィリス・ランドンは、UEB 議事運営委員会委員長を務めて誠実な熱意とリーダーシップと英知を示し、様々な規則の起草や、何世代にもわたる UEB 学習者を教える導くであろうと私が確信している尽きることのない精巧な例文を提供してくれました。フィリスの貢献は規則集（これも含めて）のすべてのページに刻み込まれており、彼女と仕事ができ光栄でした。

ダーリーン・ボガートといえば、ルイ・ブライユが点字のそれであるのと同様に、UEB のほぼ代名詞です。ダーリーンは 1993 年に国際化された時から、北米点字委員会（BANA）が統一点字コードの実現可能性を調査するために設立した委員会の委員長を務めるまでの 2 年間、UEB プロジェクト構想の議長を務めました。1993 年には、UEB の開発は 3 年以内に完了するものと予想されていました。我々は当初、作業の膨大さを少なく見積もっていましたが、過去 17 年間、ダーリーンは点字が我々のもたらし得る最高のものを得るのに値するという彼女の情熱的な信念を断念することはありませんでした。彼女は我々を折に触れておだて、時には説得し、しょっちゅう励ましてくれ、彼女のこだわり、交渉術、洞察力や集中力でいつも元気づけてくれました。ダーリーンは当初から UEB 規則集プロジェクトの熱心なサポーターであり、これをここに至るまでのあらゆる段階において育んできました。

クリスティーヌ・シンプソンは常に規則集の編集者としてうってつけでした。点字教師として、彼女は UEB そのものの深い知識を持っており、その知識を効果的な学習に導く形で伝える方法についても理解していました。また、点訳者としてクリスティーヌは点字翻訳と書式設定の複雑さについて卓越した知識を持っていました。

そして点字使用者として、あらゆる障害を乗り越え、いかなる試練をも克服する熱意と情熱をもっていました。本規則集の作成は確かに技術的な困難を伴っていました。規則集の個々の節の原稿を墨字及び点字で効果的かつ効率的に作成し更新できるようにするため、クリスティーヌはダクスバリ点字翻訳機の高度な機能と共に、マイクロソフト・ワードのスタイルとテンプレート機能を併用する革新的なアプローチを発展させました。クリスティーヌの考案したこれらの技術は、複雑な文書を墨字および点字で複数の版にわたって作成する必要のあるすべての人々にとって価値のあるものとなるでしょうし、それらはそうでない場合よりもはるかに多くの機会を提供することを確かに可能にしました。

クリスティーヌは、自身の労働期間のうち2年近くを UEB 規則集の制作に費やし、その結果がこの卓越した質、正確さ、明瞭さ、そして評価に値する業績です。これは彼女の点字への献身、異なる視点を調和し合意に至らせる才能、そして指導、学習、点字の使用について独創的な考え方をする能力について証明するものです。

UEB 規則集は、点字の活力と現代の関連性を記念する道のりの集大成です。もちろん、UEB が発展し続け、我々が様々な場面で UEB を使う経験を積んでいけば、将来の改訂版が出ることになるでしょう。後に続く版も、特定のニーズや課題に応えてそれぞれ特定のスタイルを持っていることは疑う余地ありません。この初版はしかしながら、他に類を見ないものです（初版にはそういった傾向がある通り）。基準を定め、点字や UEB にとって望ましい卓越性を予想しています。

私たちはこの規則集が点字を教える方や点字を創作する方、点字で読み書きする方全員にとって貴重な資源となることを期待しています。これは棚に放置するよりも、すぐ手の届くところに置いて利用すべき本です。

何より、この UEB 規則集が視覚障害者の基本のリテラシー教材として点字を向上させるのに一助となること、そしてそれによって点字使用者が人生のあらゆる面で存分に参画できるようになることを期待しています。

ブルース・マグワイア

UEB 規則集プロジェクト諮問委員会 委員長
2008 年-2010 年

第2版の序文

2010 年 7 月の役員会議において、統一英語点字の管理責任は国際英語点字協議会が負うこととなりました。当時、コード管理委員会（CMC）は“UEB の管理と関連した進行中の作業が効率的、効果的、かつ適切な出資者の表明によって進められることを保証するために” 設立されました。

CMC の設立当初からのメンバーは以下の通りです。

- シェイラ・アームストロング（英国）2012 年 12 月まで
- アントネット・ボータ（南アフリカ）
- ジェームズ・ボーデン（英国）2013 年 1 月から
- クリスト・デ・クラーク（南アフリカ）
- レオナ・ホロウェイ（オーストラリア）2010 年 12 月から
- フィリス・ランドン **委員長**（カナダ）
- スチュアート・ロウラー（アイルランド）2013 年 4 月から
- ブルース・マグワイア（オーストラリア）2010 年 11 月まで
- ジェーン・オビ（ナイジェリア）
- クリスティーヌ・シンプソン（オーストラリア）
- マリア・スティーブンス（ニュージーランド）
- ジョー・サリバン（アメリカ）

CMC の功績は規則集第二版という形になりました。主な追加事項及び重大な変更はすべて ICEB 役員の承認を受けています。

規則集の以下の節は新たに追加されたものです。

- 第 14 節「コード切り替え」
- 第 15 節「韻律分析、アクセント、イントネーション」
- 第 16 節「線モードとガイド・ドット」

この版は以下の二つの新たな別表を含んでいます。

- 別表 2「用語リスト」
- 別表 3「記号リスト」

以下もこの版に追加されたものです。

- 音楽の臨時記号のための UEB 記号（3.18）
- ネメス・コード・インジケータ（14.6）

その他の変更は初版の誤り（ごくわずかですが）を修正し、課題を明確にするものです。特に以下の点を参照してください。

- 2.3.1 及び 2.3.2（大文字は装飾とは考えられていません）
- 2.4.7（UEB モードは他のコードへの切り替えにまで及ばない可能性があります）
- 3.2（基本的な矢印記号）
- 4.2（修飾符の墨字表現が含まれるようになりました）
- 5.6.2 及び 6.5.1（数指示符により設定される場合は、グレード 1 モードを終了させるためにグレード 1 モード終了符が挿入されることが出来ます）

第二版が完成したのは、熟練の方々の努力のおかげです。繰り返しになりますが、クリスティーヌは印刷版の編集と矛盾のない出版を保証する素晴らしい仕事をしてくれました。レオナ・ホロウェイは、点字一覧表を作成し、印刷版読者のための文字修飾を正確に表現する手法を開発しました。点字版はCNIBのボランティアの点訳者によって作られました。メアリー・ヒューズとジル・クーターは彼女たちの時宜にかなった、正確で、綿密な点訳と校閲について評価されるべきでしょう。コード管理委員会の全メンバーが、例文や提案、アイデアや意見などを通して、この版に何かしら寄与しています。

メアリー・シュナッケンバーグには、特に委員会が発足した当初の支援と激励について感謝申し上げたいと思います。ピート・オズボーンは、ICEB 幹部によせられた課題がすべて迅速に効率よく処理されるようにしてくれました。

この第二版は、英語点字界における目的と連帯感の調和を反映しています。コード管理委員会を代表して、私はこの規則集が英語点字読者にとって、統一基準とさらなる情報交換に寄与する貴重な参照用ツールとなってほしいと思っています。

フィリス・ランドン
ICEB コード管理委員会 委員長

謝辞

The Rules of Unified English Braille の第二版の出版は、多くの方々の長期にわたる取り組みのたまものです。

規則集初版の編集と制作は以下の団体にご支援いただきました。感謝申し上げます。

- 盲人協会（英国）
- 王立盲ろう児協会（オーストラリア）
- ビジョンオーストラリア
- ニュージーランド国立視覚障害者基金
- 王立南オーストラリア盲人協会

この出版物の編さん、編集過程において、原資料やご意見をご提供くださった多くの方々の大変な努力と献身に深く感謝しております。点字規則の策定とたくさんの例文のまとめはもともと、この上なく有能なフィリス・ランドン率いる UEB 議事運営委員会のメンバーによって行われていました。

フィリスは UEB 規則の記録と改良の過程を主導し、下書きと推敲に数えきれないほどの時間を費やしてきました。現在、ICEB コード管理委員会の委員長として彼女は、彼女の委員会と共に、引き続きこの出版物の発展のために支援や指導に貴重な時間を費やしています。

規則集プロジェクト諮問委員会のメンバーにも感謝を表したいと思います。ブルース・マグワイアの主導で、初版の制作について大変貴重なご助言や激励、ご意見をいただき、最近までプロジェクトの支援を継続してくださいました。

特にフィリス・ランドン、レオナ・ホロウェイ、ビル・ジョリー、キャシー・リーゼンによる誠実なフィードバックや丁寧な校正、私へのアドバイスには心から感謝しております。表現の入念な見直し、数多くの提案、追加、修正がなければ、この規則集は読者の方々が慣れ親しみ、頼りにする大変貴重な参照用ツールとしての役割を果たしていなかったでしょう。

そして最後に、夫のジョンにも感謝の意を表したいと思います。印刷レイアウトについて彼の思慮深い支援は大変好評でした。この文書の視覚的な外観に反映された彼の多くの提案は、複雑な一連の規則や用例を明快にし、整理し、扱いやすくしてくれました。

クリスティーヌ・シンプソン
編集者

この本について

The Rules of Unified English Braille（『全訳 UEB 規則集』）は主に点訳者向けのものですが、点訳ソフトの開発者やその他の点字専門家にとっても重要な参考文献となることも期待されています。

この文献は点字を学ぶためのマニュアルではありません。点訳者がたびたび、あるいは点字読者が時折、確認のために使用する参考文献です。トピックは読者が点字コードを学べるような順になっていません。この文献を有効活用するには、点字について十分な知識を有していることが必要です。

“点字規則”の提示にはそれぞれ使用例が続きます。相互参照表と注釈も含みます。“[参照]”は読者に関連資料へと導く文を示し、“[注]”はポイントを明確にしたり、読者に重要なことを再認識させたりする文を示します。

角カッコで囲まれた部分は編集上の注記とみなされるはずです。解説しているポイントや例文について、読者がより深く理解できるよう含まれているものです。

墨字版は、すべての点字の例文が SimBraille というフォントを使用して作成されました。そのため、ドット・ロケーターに先行する協議中の記号を示していません。しかしながら点字版では、必要に応じてドット・ロケーターが追加されています。墨字版の例文は、標準フォントに続いて SimBraille で書かれています。点字版では例文は一度しか書かれていません。同じ行に二つ以上の例文がある場合は、区切りにスペースが重ねて挿入されています。場合によっては、解説しているポイントが点字読者にわかりやすいよう、点字本文に点訳者の注記が挿入されていることがあります。

“[例]”の見出しでは、特有の記号列や縮約が使われている用例を見ていき、その下には“[ただし]”という見出しで、そういった記号列や縮約が使われない例が続きます。記号のリストは主に点字順です（第 1.1.2 節「はじめに」をご参照ください）。

第 11 節「技術文書」は『統一英語点字 技術文書に対するガイドライン』の中で、ガイドラインというよりも規則についての情報をまとめています。これは規則集の他の部分とわずかに異なったスタイルで提示されています。ガイドラインの墨字及び点字版は <http://www.iceb.org> からダウンロードできます。

別表 1 では、短形語をアルファベット順に、関連する単語リストと共に紹介しています。各短形語リストは二つの部分に分けられています。初めに短形語から始まる語のリスト、次に短形語が他の単数または複数の音節に続く語のリストです。

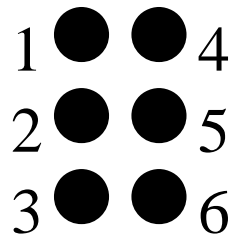
別表 2 では、第 10 節までに使われた、縮約の使用を示すすべての用例語のアルファベット順のリストを掲載しています。

別表 3 では、すべての UEB 記号を点字順に並べたリストです。これは、該当する場合に UEB 記号、墨字記号（墨字版のみ）、Unicode 値、記号名、用法、参考文献を示しています。

第1節 はじめに

1.1 点字の定義

- 1.1.1 点字とは、視覚障害者のフランス人のルイ・ブライユ（1809 年～1852 年）によって開発された視覚障害者が指先を使って触れて読み書きする方法である。点字法は点字マスとして知られる縦 3 個・横 2 個の合計 6 個の点を体系的に組み合わせて作られている。慣例により、左側の点は上から下まで①、②、③の点、右側の点は上から下まで④、⑤、⑥の点と番号がつけられている。



- 1.1.2 点字マス 6 点には 64 の可能な組み合わせがある（マスあけを含む）。点を持つ 63 の点字表現は 7 行の表に配置されている。この表は、点字記号を並べるときの「点字順序」を定めるために使われている。

第 1 行：	⠠	⠡	⠢	⠣	⠤	⠥	⠦	⠧	⠨
第 2 行：	⠩	⠪	⠫	⠬	⠭	⠮	⠯	⠰	⠱
第 3 行：	⠲	⠳	⠴	⠵	⠶	⠷	⠸	⠹	⠺
第 4 行：	⠻	⠼	⠽	⠾	⠿	⠀	⠁	⠂	⠃
第 5 行：	⠄	⠅	⠆	⠇	⠈	⠉	⠊	⠋	⠌
第 6 行：	⠍	⠎	⠏	⠑	⠒	⠓			
第 7 行：	⠔	⠕	⠖	⠗	⠘	⠙			

第 1 行は、マスの上部にある①、②、④、⑤の点を組み合わせたものである。

第 2 行は、第 1 行に③の点を加えたものである。

第 3 行は、第 1 行に③と⑥の点を加えたものである。

第 4 行は、第 1 行に⑥の点を加えたものである。

第 5 行は、②、③、⑤、⑥の点を用いて、第 1 行の点字の組み合わせを一段下に移動したものである。

第 6 行は、③、④、⑤、⑥の点を組み合わせたものである。

第 7 行は、マスの右側にある④、⑤、⑥の点を組み合わせたものである。

- 1.1.3 点字板および点筆を使うことによって、右から左に紙の裏に点を押し出すか、点字タイプライターを用いて、手書きで点字を書くことができる。電子点字ファイ

ルを複製する点字プリンターを用いることもできる。これらの方法は全て、紙に隆起した点字を作る。

- 1.1.4 コンピューターに接続した点字ディスプレイを使うことによって電子点字ファイルを読むことができる。この点字ディスプレイは、点字表現を表すのにドットが上がり下がりするピンを採用している。
- 1.1.5 もともと、点字はフランス語を記述するために開発されたが、英語をはじめとするほかの多くの言語にも適合されている。
- 1.1.6 点字は文学、数学、科学および技術を含めた全ての分野を記述するために用いられる。現在世界中で使われているシステムは、ルイ・ブライユが楽譜の表記のために開発したものである。

1.2 統一英語点字の基本原則

- 1.2.1 統一英語点字（UEB）は、音楽を除く全ての分野を記述するための英語の点字システムである。
- 1.2.2 UEB の目的は点字の上でも、どの記号が表されているかの曖昧さを読み手に与えないことである。
- 1.2.3 最も大切な点字規則は、墨字の元資料（純粋に装飾的なものは除く）を読んだときそのままの点字を作ることである。
- 1.2.4 墨字記号は、UEB においても一つの記号に対応する。墨字記号のその同じ点字記号は、分野に関係なく使用される。
- 1.2.5 UEB においては、マスあけも含めた 64 の点字表現は、前置点か基本点を表している。⠠およびマスの右欄にある点を組み合わせたものすなわち先述の第 1.1.2 節で表に示した第 7 行からの表現を含む前置点は 8 種である。他の 56 の点字表現は基本点である。UEB の前置点は以下の通りである。

⠠ ⠡ ⠢ ⠣ ⠤ ⠥ ⠦ ⠧

- 1.2.6 表中の最後の二つの点字表現⠨と⠩は、特別な前置点である。二つの特別な前置点を組み合わせて、基本点がなくても点字記号を構成する場合がある。このような点字記号は指示符だけに用いられる。

[例]

パッセージ指示符 ⠠⠠⠠⠠ および ⠠⠠⠠⠠

- 1.2.7 UEB の他の点字記号は、基本点、または基本点にいくつかの前置点を付けて構成される。

[例]

⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

1.3 英語点字の他の形式に見られる基本記号

[注] 以下には、*English Braille American Edition*（アメリカ式の英語点字表記法）および *British Braille*（イギリス式の点字）に見られる点字記号だけ記載されている。

縮約

1.3.1 英語点字の他の形式は「a」、「and」、「for」、「of」、「the」および「with」を示す略語をお互いにマスあけなしで書く。

1.3.2 英語点字の他の形式は UEB に使用していない以下の略語・略字を使う。

⠠⠠⠠⠠	o'clock（縮語）
⠠⠠	dd（語中の略字）
⠠⠠	to（次の単語までマスあけなしの略語）
⠠⠠⠠	into（次の単語までマスあけなしの略語）
⠠⠠	by（次の単語までマスあけなしの略語）
⠠⠠	ble（他の文字の後の略字）
⠠⠠	com（語頭に略字）
⠠⠠⠠	ation（他の文字の後の略字）
⠠⠠⠠	ally（他の文字の後の略字）

句読符

1.3.3 英語点字の他の形式は UEB に使用していない以下の句読符を使う。

⠠⠠	カッコ開き・閉じ（丸カッコ）
⠠⠠⠠	角カッコ閉じ
⠠⠠⠠	シングルクォーテーション・マーク閉じ（逆コンマ）
⠠⠠⠠⠠	省略記号
⠠⠠⠠	ダッシュ（エンダッシュ）
⠠⠠⠠⠠⠠	ダブルダッシュ（エムダッシュ）
⠠⠠⠠	角カッコ開き

特殊記号

1.3.4 英語点字の他の形式は UEB に使用していない以下の特殊記号を使う。

- ⠨ 非ラテン文字
- ⠠ アクセント符（区別のない）
- ⠤ 墨字記号
- ⠨ イタリック符（単語の場合）
- ⠨⠨ 二重イタリック符（連続する単語の場合）

一般記号

1.3.5 英語点字の他の形式は UEB に使用していない以下の一般記号を使う。

- ⠨ ポンド記号
- ⠨⠨ 段落記号
- ⠨⠨ 節（セクション）記号
- ⠨ ドル記号
- ⠨⠨ アスタリスク
- ⠨ 韻脚の末
- ⠨⠨ カエスーラ
- ⠨ 単音節または弱勢音節
- ⠨ 長音節または強勢音節

技術的なテーマ

1.3.6 英語点字の他の形式は数学、科学、コンピューター記号とその他の技術的専門的なテーマにおいて特別な記号を使う。

第2節 用語と原則

2.1 用語

アルファベット：修飾文字や合字、縮約を含むアルファベットの文字

アルファベット縮約語：一文字で一つの単語を表す縮約語

点字マス：点字表現が配置される物理的な場所

点字表現：**1**マス点字で表すことのできる、スペースを含む64通りの字形

点字記号：基本点単体または一つ以上の前置点が先行する基本点から成り、構成単位をつくる複数の点字形（braille symbol ともいわれる）

点字のスペース：点字行の行頭や行末の空白マスまたは余白

点字シンボル：点字記号と同じ意味で用いられる

縮約形：縮約を使った点訳（グレード2点字ともいわれる）

縮約：ある言葉や文字列を表す点字記号

末字縮約部：その文字群の最後の文字に続く④⑥の点または⑤⑥の点で形成される2マス点字記号

グレード1：縮約または数字として読まれる点字記号に割り付けられる意味（矢印などの特殊モードで割り付けられた意味はグレード1とは見なさない）

グレード1点字：非縮約と同じ意味で用いられる

グレード2点字：縮約と同じ意味で用いられる

図形記号：個々の墨字記号を表す点字記号

縮約部：ある文字群を表す縮約

指示符：墨字記号を直接表すのではなく、後続の点字記号がどのように解釈されるべきかを示すための点字記号

頭字縮約：その言葉の最初の文字または縮約部に続く⑤の点、④⑤の点、④⑤⑥の点で形成される2マス点字記号

アイテム：添え字など、主に技術文書内で用いられる特定の指示符の範囲を確立するための厳密に定義された点字記号の配置

文字列：スペースを含む非アルファベット記号に前後を挟まれた、切れ目のない一連のアルファベット記号

下がり：①の点も④の点も含まない点字表現

モード：指示符によって始動され、後に続く点字記号に対する指示符の効果を表すもの

修飾符：通常文字との組み合わせの中で使用される発音区別符（アクセントなど）

ネスティング：開始の逆順での終了指示符の使用

非アルファベット：文字、修飾文字、合字、縮約を除いた、スペースを含む墨字または点字記号

パッセージ：3つ以上の記号列

パッセージ指示符：明確な終了符まで無制限に続くモードを開始

前置点：右側の点のみでできた7個の点字表現（⠠ ⠡ ⠢ ⠣ ⠤ ⠥ ⠦）のいずれかまたは ⠇

墨字シンボル：文章の基本単位として通例使われている単体の文字、数字、句読点やその他の墨字記号

基本点：前置点を除き、スペースを含む56通りの点字表現

短形語：点字において特別に縮約された単語から成る縮約

単独：第2.6節（単独の規則）で記述される場合を除き、付加的な文字、記号、句読符を伴わない状態。点字記号が縮約として読まれる場合を判断するために使われる

ストロング：点字マスの上段と下段、左右の列それぞれに点を含む縮約（アルファベット縮約語を除く）

ストロング・キャラクタ：点字マスの上段と下段、左右の列それぞれに点を含んでいる点字表現。物理的に明確である

記号列：アルファベットか非アルファベットかにかかわらず、前後にスペースが続く切れ目のない一連の点字記号（symbols-wordともいわれる）

終了符：モードの終了を示す点字記号

文の構成要素：通常ひとつのまとまりとして読まれる文書の構成単位（一段落、あらゆるレベルの見出し、リストや概要の中の一項目、詩の一節、その他これらに相当するまとまり）。ただし単に墨字の書式設定によってできた、物理的な意味での“ページ”や“行”を除く

非縮約：縮約を使わない点訳（グレード1点字ともいわれる）

高位：①の点、④の点およびその両方を含む点字表現

ワード指示符：大文字符の場合は次の文字列まで、その他の指示符の場合は記号列まで及ぶモード

縮約語：完全な語を表す縮約

2.2 縮約概要

アルファベット縮約語：

but	can	do	every	from	go	have	just	knowledge
like	more	not	people	quite	rather	so	that	us
very	will	it	you	as				

強縮約語：

child	shall	this	which	out	still
-------	-------	------	-------	-----	-------

強縮約：縮約部または縮約語として用いられる。

and	for	of	the	with
-----	-----	----	-----	------

強縮約部：

ch	gh	sh	th	wh	ed	er	ou
ow	st	ing	ar				

下がり縮約語：

be	enough	were	his	in	was
----	--------	------	-----	----	-----

下がり縮約部：

ea	be	bb	con	cc	dis	en	ff
gg	in						

頭字縮約：縮約部または縮約語として用いられる。

- ④⑤の点で始まる

upon	these	those	whose	word
------	-------	-------	-------	------
- ④⑤⑥の点で始まる

cannot	had	many	spirit	their	world
--------	-----	------	--------	-------	-------
- ⑤の点で始まる

day	ever	father	here	know	lord	mother
name	one	part	question	right	some	time
under	young	there	character	through		where
ought	work					

末字縮約部：

- ④⑥の点で始まる

ound	ance	sion	less	ount
------	------	------	------	------
- ⑤⑥の点で始まる

ence	ong	ful	tion	ness	ment	ity
------	-----	-----	------	------	------	-----

短形語：

about	above	according	across
after	afternoon	afterward	again
against	also	almost	already
altogether	although	always	blind
braille	could	declare	declaring
deceive	deceiving	either	friend
first	good	great	him
himself	herself	immediate	little
letter	myself	much	must
necessary	neither	paid	perceive
perceiving	perhaps	quick	receive
receiving	rejoice	rejoicing	said
such	today	together	tomorrow
tonight	itself	its	your
yourself	yourselves	themselves	children
should	thyselves	ourselves	would
because	before	behind	below
beneath	beside	between	beyond
conceive	conceiving	oneself	

2.3 墨字への準拠

2.3.1 点訳の際はアクセント、句読点、大文字を含めて墨字通りとする。

〔例〕 この条件は以下の第 2.3.2 節に定める墨字装飾、または点訳者が追記した点字文には適用されない。例えばページが始まる前の記述、ページ情報の行、点訳者注など。

2.3.2 点訳する際、文書の見た目を良くするためだけにある、必要な情報を伝えるものではない墨字装飾は無視するのが望ましい。

墨字装飾の例としては、

- ・ 見出しに使われる異なった書体やフォント
- ・ すべて大文字で書かれた単語の中のアクセントの小文字
- ・ すべての例文の使用される色付きの書体
- ・ 文中のすべての変数に使用されるイタリック体
- ・ すべてのローマ数字に使用されるスモールキャピタルのフォント

2.3.3 複製模写が必要な場合は、墨字のすべての様相について、装飾を含め可能な限り完全に再生する。

複製模写が求められ得る場合の例としては、

- ・ 読み手が文章の編集に責任がある場合
- ・ 読み手がタイポグラフィについて学んでいる場合
- ・ 読み手がオリジナル原稿を研究している場合

2.3.4 原則として、墨字の誤りは修正しない。

2.4 指示符とモード

2.4.1 指示符は直後の点字表現の意味を変えたり、それに続く文章の解釈を変えたりするものである（大文字や特殊な活字書体を示すなど）。

2.4.2 多くの点字記号は複数の意味を持っている。

〔例〕

- ⠠ "f"の文字、数モードでは"6"の数字、縮約（グレード2）での意味は "from"というアルファベット縮約語
- ⠠ グレード1モードでは 矢印指示符、縮約（グレード2）での意味は強縮約部 "ou"、強縮約語 "out"
- ⠠ 疑問符、（区別のない）クォーテーション・マーク開き。縮約（グレード2）での意味は下がり縮約語 "his"
- ⠠ 縦の実線分、詩にあるようなライン指示符
- ⠠⠠ 数モードでは"4"の数字に続くスペース、縮約（グレード2）での意味は頭文字を使用する頭字縮約 "day"

- ⋮⋮⋮ ギリシャ文字のシグマ、縮約（グレード2）での意味は語尾の文字を使用する末字縮約部 "less"

2.4.3 読み手は点字記号の意味をさまざまな点で判断する。

- スペースの置き方（縦の実線分など）
- 単独の規則を当てはめる（アルファベット縮約語など）
- 他の記号と比較しての配置（（区別のない）クォーテーション・マーク開きライン指示符、語尾の文字を使用する縮約部など）
- 効力を及ぼしているモード（数字、矢印指示符など）

2.4.4 後続の点字記号の意味を決めるモードを設定するために指示符を使う。

[注] 以下のリストは基本的な指示符とそれらが設定するモードを示している。拡張モードに対する指示符（例えばグレード1ワード指示符とグレード1パッセージ指示符）、変形指示符（例えば太線矢印指示符）、補助的な指示符（例えば図形モードで使われる重なり指示符）、終了符などを含まない。

- ⋮⋮ 図形モードを設定する：『技術文書に対するガイドライン』14「図形記号と合成記号」
- ⋮⋮ 矢印モードを設定する：『技術文書に対するガイドライン』13「矢印」
- ⋮⋮ 数モードおよびグレード1モードを設定する：第6節「数モード」
- ⋮⋮⋮ 横線モードを開始、設定する：第16節「線モードとガイド・ドット」
- ⋮⋮ グレード1モードを設定する：第5節「グレード1モード」

2.4.5 後続の文章の解釈を変えるために指示符を使う。

[注] 以下のリストはこのタイプの基本的な指示符を示している。

- ⋮⋮ 上付き指示符：『技術文書に対するガイドライン』7「上付き文字と下付き文字」
- ⋮⋮ 下付き指示符：『技術文書に対するガイドライン』7「上付き文字と下付き文字」
- ⋮⋮⋮ 筆記体指示符：第9節「書体」
- ⋮⋮⋮ 太字指示符：第9節「書体」
- ⋮⋮⋮ 合字指示符：第4節「文字とその修飾符」
- ⋮⋮⋮ 下線付き文字：第9節「書体」
- ⋮⋮⋮ イタリック体指示符：第9節「書体」
- ⋮⋮⋮ 大文字指示符：第8節「大文字」

2.4.6 次のリストはその他の指示符を示す。

- カーソル指示符：『技術文書に対するガイドライン』17「コンピューター表記法」
- 一般分数用分数開始と終了指示符：『技術文書に対するガイドライン』6「分数」
- 点字グルーピング開始と終了指示符：第3節「一般記号」
- 点訳者注開始と終了指示符：第3節「一般記号」
- 非 UEB ワード指示符：第14節「コード切り替え」
- 行指示符：第15節「韻律分析、アクセント、イントーネション」
- 行継続符：第6節「数モード」
- ドット・ロケーター「実用」：第3節「一般記号」
- ドット・ロケーター「引用」：第3節「一般記号」

2.4.7 UEB 指示符が設定したモードはスイッチを通じて他の点字コードにまでは及ばない。

〔例〕

SCHWA/Ə/ OR MID-CENTRAL VOWEL (シュワー/Ə/または中舌・中央母音)

He cried in despair, je suis vraiment désolé, and fell to his knees.

(彼は絶望して叫んだ、本当にすみませんと。そして崩れ落ちて膝をついた。)

2.5 点字のグレード

非縮約（グレード1）点字

2.5.1 縮約の使用は一定の規則によって却下される。これには以下のようなものが挙げられる。

- 第4節「文字とその修飾符」— 縮約は修飾符には続かない。縮約は合字指示符の前後には使わない
- 第5節「グレード1モード」— グレード1モードの中では縮約は使わない

- ・ 第6節「数モード」— 数指示符によって設定されたグレード1モードの中では縮約は使わない
- ・ 第12節「英語の初期の型」— 古英語では縮約を用いない

技術文書において、これには以下のようなものが挙げられる。[『技術文書に対するガイドライン』参照]

- ・ 第1節「一般原則」— すべて大文字で書かれた文字列の中では縮約を用いない。
- ・ 第14節「図形記号と合成記号」— 点訳者定義図形の記述では縮約を用いない。
- ・ 第16節「化学」— 化学元素を表す文字では縮約を用いない。
- ・ 第17節「コンピューター表記法」— 表示されるコンピューター・プログラムでは縮約を用いない。

2.5.2 非縮約（グレード1）点字はグレード1モードとは異なる。

2.5.3 グレード1モードはグレード1指示符または数指示符によって導入された場合のみ存続する。

2.5.4 非縮約（グレード1）点字は、以下に挙げられるような様々な理由から選択される点訳オプションである。

- ・ 句読点や語の認識の妨げになる場合：第10節「縮約」
- ・ 中英語：第12節「英語の初期の型」
- ・ 外来語：第13節「外国語」
- ・ 縮約点字を学んだことのない読者向けの文章
- ・ 辞書の見出し語など、単語の綴りにフォーカスしている場合

[注] 点字の関係機関や制作業者が点訳者に対して非縮約（グレード1）点字の使用についての方針を打ち出す場合もある。

2.5.5 縮約はグレード1モードでは用いられないが、非縮約（グレード1）点字はグレード1指示符なしで用いられる場合がある。

縮約（グレード2）点字

[注] 縮約（グレード2）点字における縮約の使用については第10節「縮約」で取り上げている。

[注] UEB 縮約点字は他の英語縮約点字の形式とは若干異なる。他の英語点字の形式に見られる基本的な記号については、第1.3節「はじめに」を参照。

その他の点字のグレード

[注] これ以外にも点字のグレードも開発されている。このうちのひとつに、数百種類の縮約があり、主に個人的用途に利用されているグレード3点字が挙げられる。他にもグレード1½点字が挙げられる。44個の1マス縮語・縮約のみを使用し、米国において1918年から1932年まで公式の点字として使われていた。

2.6 单独

2.6.1 文字または文字列は、前後にスペース、ハイフン、またはダッシュがある場合“単独”であると見なされる。ダッシュはどの長さでもよい。すなわち、ダッシュでもロング・ダッシュでもかまわない。

〔例〕

x  it  which  was  al  also 

e-x-u-d-e ⠠⠭⠤⠨⠸⠧

do-it-yourself (日曜大工) ⠠⠏⠗⠑⠃⠊⠎⠊⠞⠊⠒ ⠠⠳⠔⠠⠭⠁⠇

out-and-out (純然たる) ⠏⠗⠔⠒⠁⠎⠑⠒⠊⠒⠕⠓

5-yrf-678

I like x—it works. (私は x が好きだ—効き目がある)

his child—this one (彼の子—これだ) ⠠⠏⠢⠠⠎ ⠠⠎⠢⠠⠎ ⠠⠎⠠⠎⠠⠎⠠⠎ ⠠⠎⠠⠎⠠⠎⠠⠎

my friend—Fr John (私の友人—ジョン神父)

th—r 

Mme. M— 

[illegible]

2.6.2 文字または文字列は、前のスペース、ハイフンまたはダッシュとの間に、以下のような通常の句読符と指示符記号が介在する場合に“単独”であると見なされる。

- カッコ開き（丸カッコ）、角カッコ開き、または中カッコ開き（ブレースカッコ）
- あらゆる種類のクォーテーション・マーク開き
- あらゆる種類の直線型のクォーテーション・マーク
- アポストロフィ（第 2.6.4 節も参照）
- あらゆる種類の書体の開始指示符
- あらゆる種類の大文字指示符
- 点訳者注開始指示符
- またはこれらの組み合わせ。

[例]

(c) [can

{af	⠠⠁⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋	-(after	⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋
“do	⠠⠋⠠⠋	‘your	⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋
"yr-123	⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋		
'e 'as	⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋	p	⠠⠋⠠⠋⠠⠋
people (人々)	⠠⠋⠠⠋⠠⠋	enough (十分な)	⠠⠋⠠⠋⠠⠋
child-safe (子どもに安全な)	⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋		
N	⠠⠋⠠⠋⠠⠋	Not Like That	⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋
LITTLE CHILD (リトル・チャイルド)	⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋		
-GREAT (一素晴らしい)	⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋		
OUT OF TOWN (郊外)	⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋		
[open TN]every	⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋	[open TN]In	⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋
-“[Be true.]”	⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋		
[ただし]			
<x, y>	⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋	this/that	⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋
*from	⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋	&c	⠠⠋⠠⠋⠠⠋
Apt. #B	⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋	¶d	⠠⠋⠠⠋⠠⠋
é	⠠⠋⠠⠋⠠⠋	ū	⠠⠋⠠⠋⠠⠋
~s	⠠⠋⠠⠋⠠⠋	~st	⠠⠋⠠⠋⠠⠋

2.6.3 文字または文字列は、後ろのスペース、ハイフンまたはダッシュの間に、以下のような通常の句読符と指示符記号が介在する場合に“単独”であると見なされる。

- コンマ、セミコロン、コロン、終止符（ピリオド）、省略記号、感嘆符または疑問符
- カッコ閉じ（丸カッコ）、角カッコ閉じ、または中カッコ閉じ（ブレースカッコ）
- あらゆる種類のクォーテーション・マーク閉じ
- あらゆる種類の直線型のクォーテーション・マーク
- アポストロフィ（第2.6.4節も参照）
- あらゆる種類の書体の終了符
- 大文字モード終了符
- 点訳者注終了指示符
- またはこれらの組み合わせ。

[例]

very, very still; rather good. (とても、とても静かだ。予想以上に良い。)

very, very still; rather good.

d

this... (これ...)

rejoice!

(q, r)

[quite, rather]

{k-p}

"Which go-between?" (どの仲介者?)

children."

t' have-

friends' numbers

Himself or herself?—Neither! (彼自身か彼女自身か?—どちらでもない!)

ALWAYS BE YOURSELF (いつもあなたらしく)

ALWAYS BE YOURSELF

[open TN]His choice was D.[close TN]

[open TN]His choice was D.[close TN]

[open TN]His choice was D.[close TN]

[ただし]

t'night

word(s)

ab/cd

could/should

section B²

knowledge.³

this.)*

<J.Child@children.net>

just_for_good.org

just_for_good.org

l_f

ch...f

a:b :: x:y

X%

Braillex®

Braille4All


2.6.4

内部のアポストロフィは、第 10 節「縮約」 10.1.2（アルファベット縮約語）、10.2.2（強縮約語）、10.9（短形語）の特定の規則に基づいて“単独”であると見なされる。

[例]

'It'll

[X'1]    

YOU'RE (あなたは) 

child's?) (子どもの?))

“p's and q's” (行儀作法) 

“That's Mr. *Little's*! （“それはリトル氏のものだ！”）

第3節 一般記号と指示符

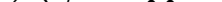
		マスあけ (3.23 参照)
⠂		点字アイテム化開始指示符 (3.4 参照)
⠃		第一点訳者定義墨字記号 (3.26 参照)
⠄		図形指示符 (3.22 参照)
⠅		矢印指示符 (3.2 参照)
⠆	→	シンプルな右向矢印 (東) (3.2 参照)
⠇	↓	シンプルな下向矢印 (南) (3.2 参照)
⠈	←	シンプルな左向矢印 (西) (3.2 参照)
⠉	↑	シンプルな上向矢印 (北) (3.2 参照)
⠊	:	対比 (3.17 参照)
⠋	::	割合 (3.17 参照)
⠌		下付き指示符 (3.24 参照)
⠍	'	プライム (3.11、3.15 参照)
⠎	"	ダブルプライム (3.11、3.15 参照)
⠏		上付き指示符 (3.24 参照)
⠑	ℎ	ナチュラル (3.18 参照)
⠒	ℓ	フラット (3.18 参照)
⠓	♯	シャープ (3.18 参照)
⠔		第二点訳者定義墨字記号 (3.26 参照)
⠕		点字アイテム化終了指示符 (3.4 参照)
⠖	@	アットマーク (3.7 参照)
⠗	¢	セント記号 (3.10 参照)
⠘	€	ユーロ記号 (3.10 参照)
⠙	₣	フランス・フラン記号 (3.10 参照)
⠚	£	ポンド記号 (3.10 参照)
⠛	₦	ナイラ記号 (3.10 参照)
⠜	\$	ドル記号 (3.10 参照)
⠝	¥	円記号 (3.10 参照)
⠞	&	アンパサンド (3.1 参照)
⠟	<	小なり記号 (3.17 参照)
⠠	^	カレット (3.6 参照)
⠡	~	チルダ (スワング・ダッシュ) (3.25 参照)

⠠⠠⠠⠠	第三点訳者定義墨字記号 (3.26 参照)
⠠⠠⠠ ⠨	大なり記号 (3.17 参照)
⠠⠠⠠⠠	左点訳者注記号 (3.27 参照)
⠠⠠⠠⠠	右点訳者注記号 (3.27 参照)
⠠⠠⠠⠠ ⠫	ダガー (3.3 参照)
⠠⠠⠠⠠ ⠫⠫	二重ダガー (3.3 参照)
⠠⠠⠠ ⠒	著作権 (3.8 参照)
⠠⠠⠠ ⠕	度記号 (3.11 参照)
⠠⠠⠠ ⠚	段落記号 (3.20 参照)
⠠⠠⠠ ⠗	登録商標マーク (3.18 参照)
⠠⠠⠠ ⠖	セクション (節) 記号 (3.20 参照)
⠠⠠⠠ ™	商標マーク (3.8 参照)
⠠⠠⠠ ♀	女性記号 (金星) (3.16 参照)
⠠⠠⠠ ♂	男性記号 (火星) (3.16 参照)
⠠⠠⠠⠠	第四点訳者定義墨字記号 (3.26 参照)
⠠⠠⠠ #	ナンバー記号 (いげた、ハッシュ、ポンド記号) (3.19 参照)
⠠⠠⠠ ⠉	中黒 (3.5 参照)
⠠⠠⠠⠠	第五点訳者定義墨字記号 (3.26 参照)
⠠⠠⠠ ⠴	同上記号 (3.12 参照)
⠠⠠⠠ +	プラス記号 (3.17 参照)
⠠⠠⠠ =	イコール記号 (3.17 参照)
⠠⠠⠠ ×	乗算記号 (3.17 参照)
⠠⠠⠠ *	星印 (3.3 参照)
⠠⠠⠠ ÷	割り算記号 (3.17 参照)
⠠⠠⠠⠠	第六点訳者定義墨字記号 (3.26 参照)
⠠⠠⠠ −	マイナス記号 (3.17 参照)
⠠⠠⠠⠠	ドット・ロケーター「実用」 (3.14 参照)
⠠⠠⠠⠠	ドット・ロケーター「引用」 (3.13 参照)
⠠⠠⠠ %	パーセント記号 (3.21 参照)
⠠⠠⠠⠠	第七点訳者定義墨字記号 (3.26 参照)

3.1 アンパサンド ⠠⠠⠠

3.1.1 アンパサンドの使用の際は、墨字通りとする。

[例]

M*A*S*H (マッシュ、テレビドラマ) 

Spelling words marked with an * have a silent letter.

(*の付いた単語のスペルには黙字がある。)

The figure consists of 12 diagrams arranged in two rows of six. Each diagram shows a grid of dots, with some dots being black and others white. The pattern of black dots evolves from left to right. The first row shows a 2x2 cluster of black dots in the top-left corner, which grows to a 4x4 cluster. The second row shows the pattern becoming more irregular and spreading out, with black dots appearing in various positions across the grid.

To access your voicemail, strike *98 on your telephone.

(メッセージを再生する場合、*98 をダイヤルしてください。)

Figure 1 displays 20 dot patterns arranged in two rows of ten. Each pattern is a unique configuration of black dots on a white background. The patterns are numbered 1 through 20, with the numbers placed below each pattern. The patterns vary in complexity, from simple clusters to more intricate arrangements.

Speed * time = distance. (速度 * 時間 = 距離)

showing **emphasis** in email messages

(電子メールメッセージで***強調***を示すこと)

Irene V*** (V***・イレーネ、英語の女性名)

foul language such as *#*\$!* or with omitted letters as in D***

(*#*\$!*などの汚い言葉遣いやD***などでの脱字)

New World Hotel **** (ニューワールドホテル****)

Figure 1 consists of four 5x5 dot grids, labeled (a) through (d). Each grid contains black dots at specific coordinates (row, column) starting from (0,0) at the top-left.
 (a) Dots are at (0,1), (0,2), (0,3), (0,4), (1,1), (1,2), (1,3), (1,4), (2,1), (2,2), (2,3), (2,4), (3,1), (3,2), (3,3), (3,4), (4,1), (4,2), (4,3), (4,4).
 (b) Dots are at (0,1), (0,2), (0,3), (0,4), (1,1), (1,2), (1,3), (1,4), (2,1), (2,2), (2,3), (2,4), (3,1), (3,2), (3,3), (3,4), (4,1), (4,2), (4,3), (4,4).
 (c) Dots are at (0,1), (0,2), (0,3), (0,4), (1,1), (1,2), (1,3), (1,4), (2,1), (2,2), (2,3), (2,4), (3,1), (3,2), (3,3), (3,4), (4,1), (4,2), (4,3), (4,4).
 (d) Dots are at (0,1), (0,2), (0,3), (0,4), (1,1), (1,2), (1,3), (1,4), (2,1), (2,2), (2,3), (2,4), (3,1), (3,2), (3,3), (3,4), (4,1), (4,2), (4,3), (4,4).

brothers Jed* and Ben** Chan (チャン・ジェット*とベン**兄弟)

*born in Hong Kong (香港で生まれた)

****born in Canada (カナダで生まれた)**

Authors: Roy Brown,[†] Shirley Jones, Walter Smith,[†] Douglas White

(共著者：ブラウン・ロイ、† ジョウズ・シェリー、スミス・ウォルター、†
 ワイト・ダグラス)

The painter included daisies,* white roses† and ivy‡ in the portrait.

(画家は肖像画にデ이지、* 白いバラ†、ツタ‡ を加えた。)

*symbolizing innocence (*純潔を象徴する)

†symbolizing virtue (†美德を象徴する)

‡symbolizing fidelity (‡忠実を象徴する)

A 6x10 grid of 60 small dot patterns, each representing a different 2D shape. The shapes include various polygons, circles, and complex arrangements of dots.

–dash*–or parentheses (round brackets†)

(-ダッシュ*-またはカッコ (丸カッコ†))

Rev. Robert Lowin† (†ローイン・ロバート牧師)

* * *

3.4 点字アイテム化指示符 ⠠ ⠡

3.4.1 点字アイテム化指示符で囲まれた全記号に（単に直後の記号だけでなく）その前の点字記号または指示符が適用されることを確実にする場合、点字アイテム化指示符を使う。

〔注〕これには、複数の文字に適用する修飾符と複数の項目に適用する下付き・上付き指示符を含める。

〔参照〕 第 4.2.5 節「文字とその修飾符」と第 11.4 節「技術文章」を参照。

〔例〕

spoon (スプーン)

mass_{sun} (太陽質量)

3.5 中黒 ⋮

3.5.1 中黒の使用の際は、墨字通りとする。

〔注〕時々、他の記号が同様の目的で用いられる場合がある。

〔参照〕図形については、3.22 を、点訳者定義記号については、3.26 を参照のこと。

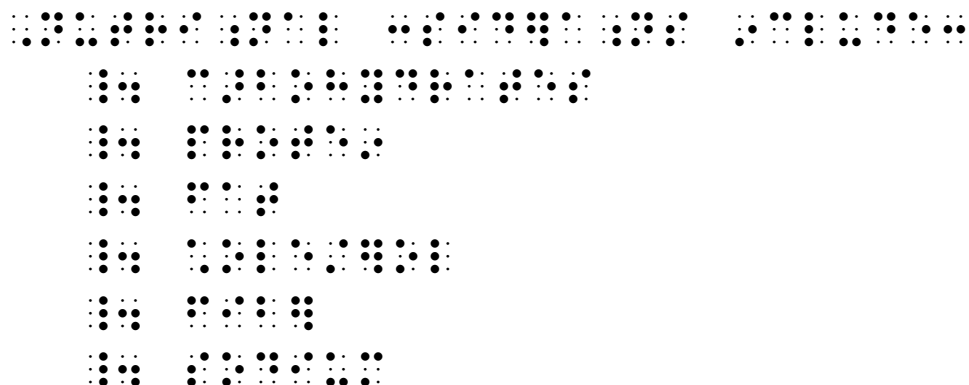
〔例〕

Nutritional considerations include:

- carbohydrates
- protein
- fat
- cholesterol
- fiber
- sodium

栄養素摂取は

- 炭水化物
- 蛋白質
- 脂肪
- コレステロール
- 食物繊維
- ナトリウム を含む。



3.6 カレット ⋮

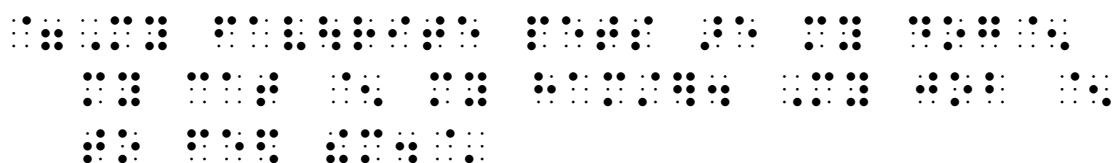
3.6.1 カレットの使用の際は、墨字通りとする。

〔参照〕文字上の曲折アクセントについては、第4.2節「文字とその修飾符」を参照。

〔例〕

〔省略を示すため編集記号として使用されるカレット：〕

My favourite pets are my dog[^] my cat[^] my hamster. My job[^] to feed them. (私のお気に入りペットは私の犬[^] 猫[^] ハムスター。餌をやるのは私の仕事[^]です。)



3.7 アットマーク

3.7.1 アットマークの使用の際は、墨字通りとする。

〔例〕

FLASH@lightning.net ⠈⠆⠒⠑⠇⠊⠎⠗⠏⠁⠉⠑⠍⠊⠝⠑⠳⠋⠊⠞⠊⠴⠕⠂⠑⠃⠊⠌⠊⠹⠙⠓⠄⠖
Sell the candies @ 10¢ each. (キャンディを一個につき 10 セントで売る。)

3.8 著作権 登録商標 商標

3.8.1 著作権、登録商標、商標の使用の際は、墨字通りとする。通常、商標マークは墨字でベースラインから高くしているように見える。これは上付き文字ではない。

〔例〕

Copyright © 2009  

©2009 

QuickTax™ from Intuit® Canada Limited
(インテュイットカナダ QuickTax ソフトウェア)

3.9 クロス

3.9.1 墨字ではクロスをさまざまな目的で使用する。クロスの目的に基づいて合う点字記号を選択する。

〔注〕 数学的または科学的な意味がない場合にだけ文字「x」か「X」を使う。
例えば、キスを象徴する。

〔参照〕 ラテンかキリスト教の十字架としてダガーの使用（例えば、死か聖職者を表す）については、3.3 を、寸法、倍率、動物・食物の交雑を示す乗算記号については、3.17 を参照。

〔例〕

With love, XXOO
(愛を入れて、抱擁とキスという意味で、愛情を表す言葉)

The figure shows four stages of dot arrangement:

- Stage 1:** A single dot.
- Stage 2:** Two dots arranged horizontally.
- Stage 3:** Three dots arranged in a horizontal row.
- Stage 4:** Four dots arranged in a square pattern (two rows of two).

Sealed with a X

(キスで封をしたという意味で、恋人への手紙の封に書く文句)

Illiterate people usually signed their name with an X.

(読み書きのできない人がよく X で名前をサインする。

a 4x4 vehicle (四輪駆動車) ⠨⠶⠢⠸⠨⠶⠢⠸⠨⠶⠢⠸⠨⠶⠢⠸

a 2×4 board (2×4 材)

15×15×20 cm (15×15×20 センチ)

The room is 12 ft. \times 16 ft. (部屋は 12 フィート \times 16 フィートである。)

a 10× lens (10 倍対物レンズ)

Labrador × Poodle (ラブラドル × プードル)

3.10 通貨記号

3.10.1 通貨記号の使用の際は墨字通りとする。

〔注〕一部の通貨は文字で示される。例えば、ドイツ・マークの DM、ペンスの p、ランドの R

〔参照〕 UEB 記号がない通貨記号を表す点訳者定義記号については、3.26 を参照。

[例]

10¢ (10 セント) 99¢ (99 セント)

DM8 (8 ドイツ・マーク) \$6 (6 米ドル)

A\$40 (40 オーストラリアドル)

\$19.95 (19.95 米ドル)

\$23,783,200 (23,783,200 米ドル) ⠼⠨⠑⠃⠗⠸⠒⠐⠏⠖⠔⠈⠂⠐⠐⠶⠊⠎⠆⠇⠜⠒⠐⠐

\$2bn (2 billion dollars) (20 億米ドル)

The figure consists of 10 small diagrams arranged horizontally. Each diagram shows a 4x4 grid of dots. The dots are arranged in a pattern that resembles a binary sequence, with the number of dots increasing from 1 to 10 across the sequence. The patterns are as follows:

- Diagram 1: 1 dot at (1,1)
- Diagram 2: 2 dots at (1,1), (1,2)
- Diagram 3: 3 dots at (1,1), (1,2), (1,3)
- Diagram 4: 4 dots at (1,1), (1,2), (1,3), (1,4)
- Diagram 5: 5 dots at (1,1), (1,2), (1,3), (1,4), (2,1)
- Diagram 6: 6 dots at (1,1), (1,2), (1,3), (1,4), (2,1), (2,2)
- Diagram 7: 7 dots at (1,1), (1,2), (1,3), (1,4), (2,1), (2,2), (2,3)
- Diagram 8: 8 dots at (1,1), (1,2), (1,3), (1,4), (2,1), (2,2), (2,3), (2,4)
- Diagram 9: 9 dots at (1,1), (1,2), (1,3), (1,4), (2,1), (2,2), (2,3), (2,4), (3,1)
- Diagram 10: 10 dots at (1,1), (1,2), (1,3), (1,4), (2,1), (2,2), (2,3), (2,4), (3,1), (3,2)

US\$ (米ドル) \$X

The \$ rose.

\$Shop for \$aving\$ (安い買い物をする)


20\$00 (20 escudos) (20 エスクード ポルトガルの旧通貨単位)

€75 (75 ユーロ) ●●●●●

30,00€ (30 ユーロ) 

€ and £ accepted (ユーロとポンドが利用可能)

6€50 (6.5 ユーロ) ⠠⠶⠨⠼⠆⠤⠨⠶

£1 (1 フランス・フラン) 

1 € = 6.55957F (1 ユーロ = 6.55957 フランス・フラン)

5F coin (5 フランス・フラン硬貨)  

~~N~~0.20 = 20 kobo (0.20 ナイジェリア・ナイラ = 20 コボ)

£24 (24 ポンド) Ir£

£3m (3 million pounds) (300 万ポンド)

Figure 1 shows four 5x5 dot patterns labeled (a), (b), (c), and (d). Each pattern consists of 10 dots arranged in a 5x5 grid. Pattern (a) has dots at (1,1), (1,2), (1,3), (1,4), (1,5), (2,1), (2,2), (2,3), (2,4), (2,5). Pattern (b) has dots at (1,1), (1,2), (1,3), (1,4), (1,5), (2,1), (2,2), (2,3), (2,4), (2,5). Pattern (c) has dots at (1,1), (1,2), (1,3), (1,4), (1,5), (2,1), (2,2), (2,3), (2,4), (2,5). Pattern (d) has dots at (1,1), (1,2), (1,3), (1,4), (1,5), (2,1), (2,2), (2,3), (2,4), (2,5).

the £ rose £X


£7 8s 9d (7 ポンド 8 シリング 9 ペンス)

£7/8/9 (7 ポンド 8 シリング 9 ペンス) ⠠⠨⠦⠠⠸⠠⠨⠠⠸⠠⠨⠠⠸

£7-8-9 (7 ポンド 8 シリング 9 ペンス) ⠠⠋⠗⠊⠇⠏⠞⠊⠒⠈⠠⠑⠗⠊⠇⠎⠠⠑⠑⠎

2p coin (2 ポンド硬貨)

R25 (25 ランド)

R5,70 (5,70 ランド) 

¥360 (360 円)

3.11 度 ⠠⠠ 分 ⠠⠠ ⠠⠠ 秒 ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠

3.11.1 度記号とプライム記号の使用の際は墨字通りとする。

〔注〕分はアポストロフィで、秒は直線型のクォーテーション・マークで墨字は示す場合がある。

〔例〕

60° (60 度) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ 21°C ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

70° F ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ °C ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

X° ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

250°, 350°, or 450°? (50 度, 350 度, or 450 度?)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

33°51'35.9"S ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

151° 12' 40" E ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

3.12 同上記号 ⠠⠠⠠

3.12.1 同上記号の使用回数とおおよその配置は、墨字通り（すなわち、上の行で指し示している単語などの下）とする。

〔例〕

living room: pioneer blue (リビングルーム：青色)
dining room: " " (ダイニングルーム：" ")
kitchen: " yellow (台所：" 黄色)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Mon 10-12 study 2-4 Eng pt1

Tues " " " " pt2

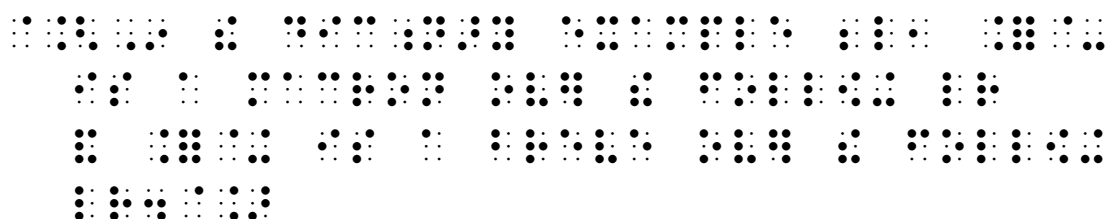
Wed " Science " Art

(月曜日 10 時～12 時 学習 14 時～16 時 英語 pt1)

(火曜日 " " " " pt2)

(水曜日 " 理科 " 芸術)

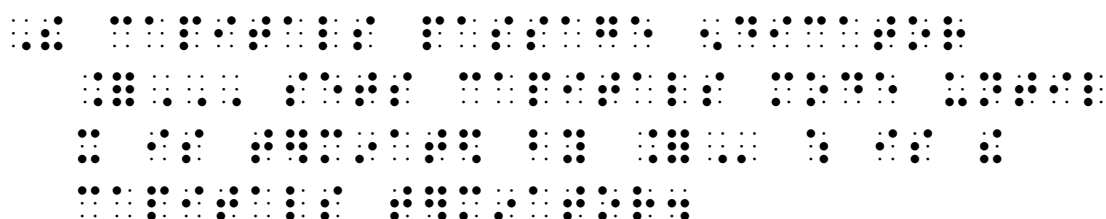
⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠



[from a manual for braille transcribers:] [点訳者のための解説書から]

The capitals passage indicator $\begin{smallmatrix} \vdots & \vdots & \vdots \\ \bullet & \bullet & \bullet \end{smallmatrix}$ sets capitals mode until it is terminated by $\begin{smallmatrix} \vdots & \vdots \\ \bullet & \bullet \end{smallmatrix}$ which is the capitals terminator.

(大文字パッセージ指示符 $\therefore\therefore\therefore$ は大文字終了符である $\therefore\therefore$ により終了するまで大文字モードを設定する。)



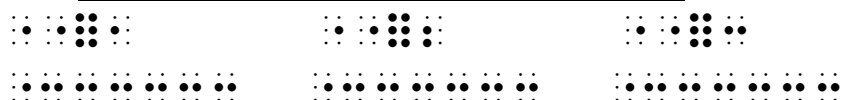
3.14 ドット・ロケーター「実用」

3.14.1 物理的に点字希望を認識できるよう、スペースをあけずにその点字記号の前にドット・ロケータ「実用」を使う。下のドットだけからなる、他のテキストから孤立している点字記号は読み違える場合がある。ドット・ロケータ「実用」に先行する点字記号は、テキストに対して通常の効果を維持する。

[例]

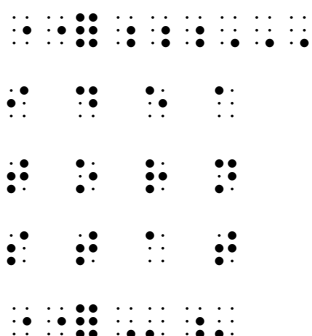
[句読点の表見出し:]

,	;	:



「文字のグリッド」

I	D	E	A
T	O	R	N
S	T	A	T



3.15 フィート と インチ

3.15.1 プライム記号の使用の際は、墨字通りとする。

[注] フィートはアポストロフィで、インチは直線型のクォーテーション・マークで墨字において表される場合がある。

〔例〕

6' (6 フィート) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ 9" (9 インチ) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

5'10" (5 フィート 10 インチ)

4' 11" (4 フィート 11 インチ)

X" long (X インチの長さ) ⠠⠨⠗⠑⠒⠶⠆⠨⠎⠊⠒⠏⠇⠔⠂⠕⠞⠑⠐⠖

3.16 女性（金星）☿と男性（火星）記号♂

3.16.1 女性（金星）と男性（火星）の使用の際は、墨字通りとする。

〔例〕

「系図から」

Amy Florence SAMPSON ♀ 1881-1956

(エイミー・フローレンス・サンプソン (女) 1881年-1956年)

Carlyle Kennedy SAMPSON ♂ 1885-1975

(カーライル・ケネディ・サンプソン (男) 1885 年-1975 年)

Figure 1 shows a 2D grid of 100 points. The points are arranged in a 10x10 grid. The clusters are numbered 1 through 10. The clusters are: 1 (top-left), 2 (top-middle), 3 (top-right), 4 (middle-left), 5 (middle-middle), 6 (middle-right), 7 (bottom-left), 8 (bottom-middle), 9 (bottom-right), and 10 (center).

3.17 数学的記号：プラス :::: イコール :::: 乗算 :::: 割り算 ::::
 マイナス :::: 対比 :: 比例 :::: 小なり :::: 大なり ::::

3.17.1 技術文書以外において、プラス、イコール、乗算、割り算、マイナス、対比、比例、小なり、大なり記号の使用の際は、マスの空け方は墨字通りとする。

〔例〕

as easy as $2 + 2 = 4$ (とても簡単な)

The figure shows a sequence of eight 3x3 dot patterns. Each pattern is a 3x3 grid of dots. The first pattern has 1 dot in the center. The second pattern has 4 dots in a 2x2 square. The third pattern has 9 dots in a 3x3 square. The fourth pattern has 16 dots in a 4x4 square. The fifth pattern has 25 dots in a 5x5 square. The sixth pattern has 36 dots in a 6x6 square. The seventh pattern has 49 dots in a 7x7 square. The eighth pattern has 64 dots in an 8x8 square.

corn - c + b = born

⠠corn ⠤ ⠠c ⠠+ ⠠b ⠠= ⠠born

5 is 25% of 20 (5 ÷ 20 × 100) (20 の 25% は 5)

⠠5 ⠠is ⠠25% ⠠of ⠠20 ⠠(⠠5 ⠠÷ ⠠20 ⠠× ⠠100) ⠠(⠠20 ⠠の ⠠25% ⠠は ⠠5)

positron < posi(tive) + (elec)tron (陽電子)

⠠positron < ⠠posi(tive) ⠠+ ⠠(elec)tron ⠠(⠠陽電子)

+44 1234 567890 (UK phone number) (イギリスの電話番号)

⠠+44 ⠠1234 ⠠567890 ⠠(⠠UK phone number) ⠠(⠠イギリスの電話番号)

a frame with an opening 7"W×5"H

(幅7インチ高さ5インチの穴が開いたフレーム)

⠠a ⠠frame ⠠with ⠠an ⠠opening ⠠7"W×5"H

a map with a scale of 1:500,000 (50 万分の1 の地図)

⠠a ⠠map ⠠with ⠠a ⠠scale ⠠of ⠠1:500,000 ⠠(⠠50 万分の1 の地図)

hand : arm :: foot : leg (手:腕::足:脚)

⠠hand ⠠: ⠠arm ⠠:: ⠠foot ⠠: ⠠leg ⠠(⠠手:腕::足:脚)

3.18 音楽の臨時記号：ナチュラル⠠⠠⠠ フラット⠠⠠⠠ シャープ⠠⠠⠠

3.18.1 UEB テキスト内にあるナチュラル、フラット、シャープ記号の点訳の際は、墨字通りとする。

[例]

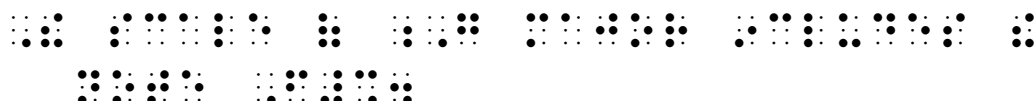
B♭ trumpet (B♭ トランペット) ⠠B♭ ⠠trumpet ⠠(⠠B♭ トランペット)

The C♯ pavilion is named for Cecil Sharp.

(C♯パビリオンはセシル・シャープに由来する。)

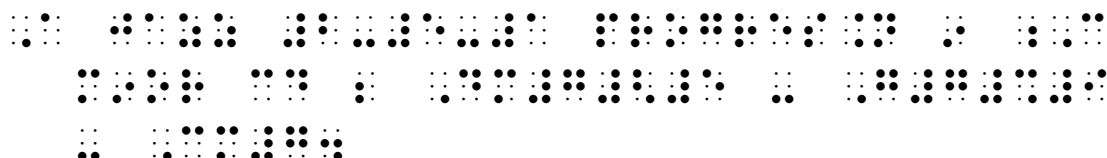
⠠The ⠠C♯ ⠠pavilion ⠠is ⠠named ⠠for ⠠Cecil ⠠Sharp.

The scale of G major includes the note F#. (ト長調の音階はF# (嬰へ) を含む。)



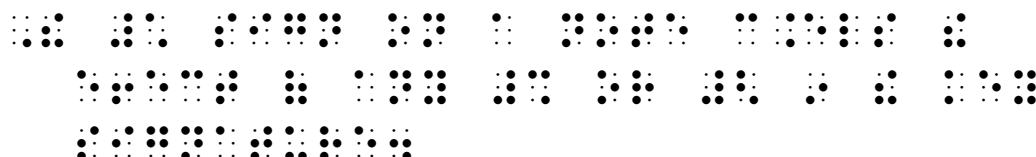
A jazz 2-5-1 progression in C minor could be Dm7 \flat 5 - G7 \sharp 9 - Cm7.

(ハ単調でジャズ 2-5-1 は、Dm7 \flat 5 - G7 \sharp 9 - Cm7 が使われる。)



The \natural sign on a note cancels the effect of any \sharp or \flat in the key signature.

(音符の♯記号は、調号の♯ またはbの影響を打ち消す。)



the dominant chord g-b \sharp -d (属和音 g-b \sharp -d)

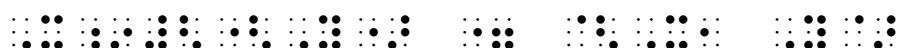
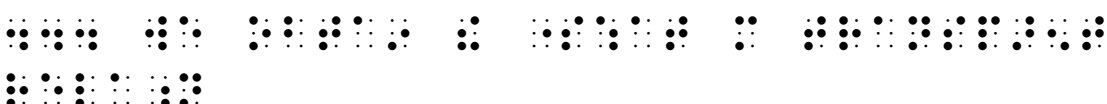


... we obtain the somewhat more transparent relation

$$X^b(Y) = \langle X, Y \rangle$$

for all vectors X and Y .

(全てのベクトル X, Y について、 $X^b(Y) = \langle X, Y \rangle$ という明瞭な関係を得る。)



3.18.2 記譜法以内でナチュラル、フラット、シャープ記号が見られる場合には、点訳のために『新国際点字楽譜表記解説』を参照する。

3.19 ナンバー記号 (いげた, ハッシュ、ポンド記号) ::::

3.19.1 ナンバー記号の使用の際は、墨字通りとする。

〔例〕

#4 (4 番) Apt. #D (D 号室)

20# bag of flour

Press the # key on the telephone. (電話の#キーを押す。)

3.20 段落 ¶¶¶ とセクション（節）記号 ¶¶¶


3.20.1 段落とセクション（節）記号の使用の際は墨字通りとする。

[例]

[illegible][illegible][illegible]

Click on the ¶ icon on the toolbar. (ツールの¶ をクリックする。)

§5 (第 5 節)

§K (第 K 節) 

§d (第 d 節) $\begin{smallmatrix} \bullet & \bullet & \bullet \\ \bullet & \bullet & \bullet \\ \bullet & \bullet & \bullet \end{smallmatrix}$

§§ 5-15（第5～15節）

3.21 パーセント記号 ::::

3.21.1 パーセント記号の使用の際は、墨字通りとする。

[例]

5%

95 %

a 50% increase    

% of population

3.22 凶形 ☵☵

3.22.1 技術文書以外において、記号ページまたは点訳者注に全ての図形記号（グレード 1 指示符がないもの）とその意味を例挙する。

〔注〕グレード1 指示符は点訳されている文章の文中の記号の前に加えられることが必要な場合がある。

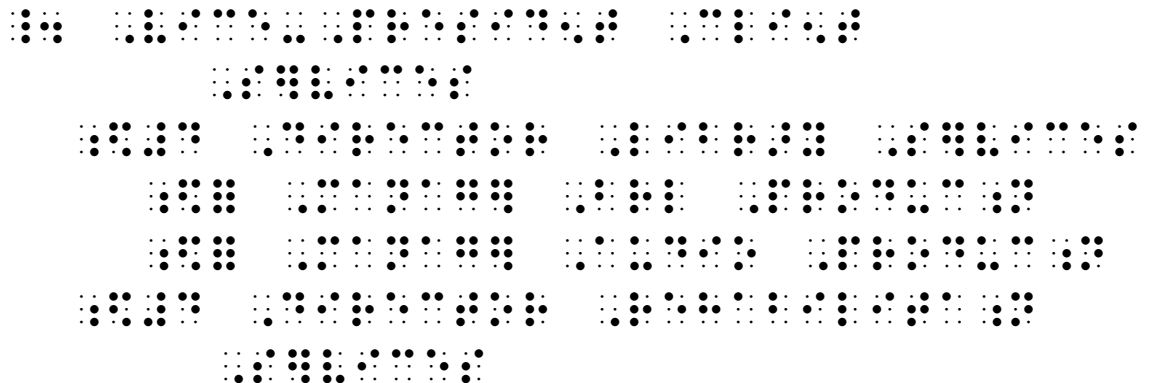
〔参照〕図形に関する詳細については、第 11.7 節「技術文書」および『技術文書に対するガイドライン』14 を、点訳者定義記号については、3.26 を参照。

[例]

[a multi-level organisation chart using bullets, squares and circles:]

[中黒、正方形、円付きのマルチ組織図]

- Vice-President Client Services (顧客サービス (担当) 副社長)
 - Director Library Services (図書館サービス (担当) 理事長)
 - Manager Braille Production (点訳 (担当) 部長)
 - Manager Audio Production (聴覚制作 (担当) 部長)
 - Director Rehabilitation Services (リハビリテーション・サービス (担当) 理事長)



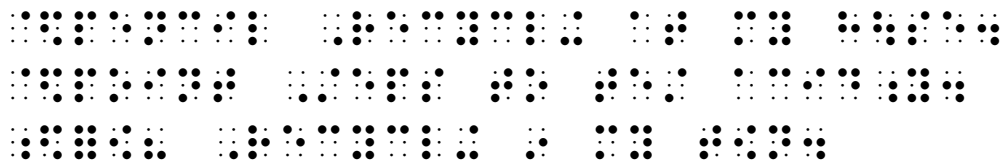
[A student textbook uses the following icons (as explained in the text) before certain material: pencil—Write an essay; pointing finger—Remember; question mark in a circle—Research.]

[教科書では、以下のアイコン（本文で説明したように）を使う。鉛筆 — 作文を書くこと;指さし — 記憶すること;円に内接する疑問符—研究すること]

⇒ Recycling at my house. (⇒ 自宅でできる資源の再利用)

☞ Steps to test acidity. (☞ 酸性度の測定方法)

① Recycling in my town. (① わが町でできる資源の再利用)



3.23 スペース

3.23.1 スペースは言葉、文字、数字、句読点を隔てる空白である。墨字でスペースが空いているところは、行末を含め点字では全て1マス空ける。墨字でスペースがあるかどうかについての疑問を感じる場合は、スペースがあると推定する。スペースの量は、重要ではないと見なされる。

[注] 墨字の書式設定やその他の手法ではスペースの量に変化を持たせることは問題にならない。点字では書式設定の規則によってスペースの量を

変化させる必要がある。例えば、段落の前と表のテキストを左揃えにすることにスペースを2個置く。

[参照] 数を仕切るものに使われるスペースの特例については、第 6.6 節「数モード」を、数学上のスペースについては、第 11.2.2 節「技術文書」を参照。

[例]

Using a proportional font and setting the paragraph margins to align at the left and the right, produces varying amounts of white space between words in print. This variation is ignored in braille.

(プロポーション・フォントの使用と左もしくは右揃えにする段落の余白設定は、墨字では言葉の間の余白の量に変化をもたらす。この変化は点字上では無視すること。)

Some nouns have the same spelling for the singular and the plural:

deer	sheep	salmon	species	Chinese
(単数形と複数形の区別がない名詞：鹿 羊 サケ 種 中国語)				

「例として挙げた言葉は、墨字では広くスペースを取られている。」

3.24 下付き :: と上付き :: 指示符


3.24.1 墨字において下付きと上付きの位置を示す。下付きと上付き指示符については、グレード2点字においてグレード1モードを使う。

〔参照〕 上付き文字と下付き文字については、第 11.4 節「技術文章」を、点字アイテム化指示符については、3.4 を参照。

〔例〕

W^m  H₂O (水) 

[illegible]

4m² (4 平方メートル) 

An economist would write $x \sim y$ to indicate that a consumer is indifferent between the goods x and y .

(経済学者は消費者が商品 x と y に無関心であることを示すために $x \sim y$ を書く。)

<http://www.business.com/~yourname>

Some people use the tilde around words to indicate an inflected tone of voice or singing as in ~Happy birthday to you~

(~Happy birthday to you~ など音声または歌唱に抑揚を付けたことを示すために言葉の周囲にチルダを使う人々もいる。)

3.26 点訳者定義記号 ⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

3.26.1 対応する UEB を持たない墨字記号については点訳者定義記号を使うが、それがあまりに頻繁にテキストに登場する場合には点訳者定義図形または合成記号を用いるのは実用的ではない。使用する点訳者定義記号とその意味を記号ページまたは点訳者注にリストで表す。

〔注〕 第一点訳者定義墨字記号は、グレード2点字においてグレード1モードを使う。

〔参照〕点訳者定義修飾符は、第 4.2 節「文字とその修飾符」を、点訳者定義書体指示符については、第 9.5 節「書体」を参照。

〔例〕

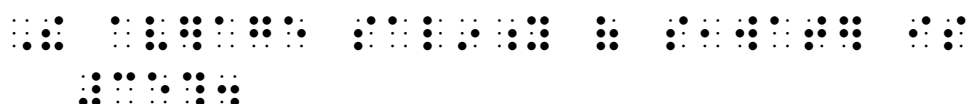
Symbols used in the following examples: (次の例で使用する記号：)

‰ per mille sign, like a percent sign but with two zeros in the denominator
(千分の 1)

฿ Thai Baht currency sign, B with vertical stroke through it
(タイの通貨単位)

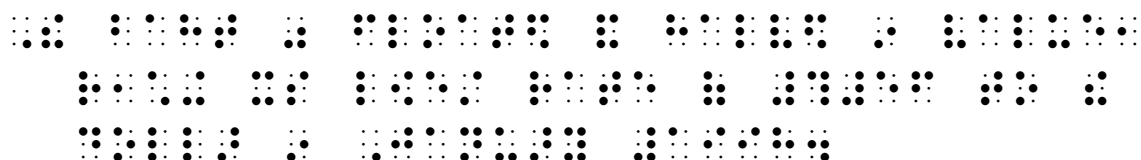
flower symbol (花の記号)

The average salinity of seawater is 35‰ (平均海水塩分は 35‰である。)



The baht was floated and halved in value, reaching its lowest rate of ฿56 to the dollar in January 1998.

(タイバーツは1998年1月に1ドル56バーツの割合が最も低く至る変動相場制にし、価値を半減させた。)



A list of items in which those that can be recycled are marked with a flower symbol:

aerosol cans ☼


balloons

books, magazines ☼


cans

ceramics

(一覧表では再生利用可能なものは花の記号で印を付けられる。)

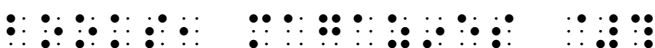
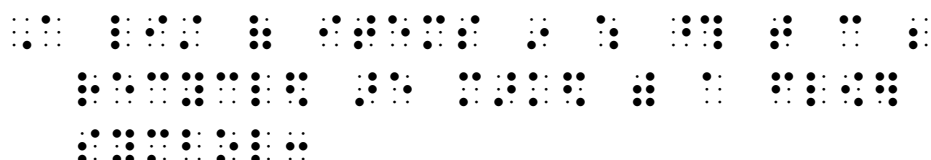
スプレー缶 

風船

本、雑誌 

缶 

陶磁器



3.27 点訳者注指示符

3.27.1 点訳者によるテキスト内に組み込まれた説明の周囲に点訳者注開始と終了指示符（スペースのない囲い）を使用する。しかし、一般の点訳者注をリストするためには明確に作られた別のページの注については、点訳者注開始と終了指示符を使用しない。

marg: Marginal Tax Rate[close tn]

(〔点訳者注開始〕 次の表の中では、縦列の見出しは以下のとおり略される。

emp inc: 給与所得

payable:	見積未払い税額
----------	---------

aver: 平均税率

marg: 限界税率 [点訳者注終了]

The image displays 15 distinct patterns of black dots arranged in a grid-like fashion, representing different numbers in Braille. The patterns are organized into four rows:

- Row 1:** Contains 5 patterns, each consisting of a 3x3 grid of dots with varying black dot configurations.
- Row 2:** Contains 5 patterns, each consisting of a 3x3 grid of dots with varying black dot configurations.
- Row 3:** Contains 5 patterns, each consisting of a 3x3 grid of dots with varying black dot configurations.
- Row 4:** Contains 5 patterns, each consisting of a 3x3 grid of dots with varying black dot configurations.

The patterns are arranged in a 4x5 grid, with each pattern occupying a 3x3 grid of dots.

第4節 文字とその修飾符

4.1 英語のアルファベット

⠠	小文字 a	⠤	大文字 A
⠡	小文字 b	⠥	大文字 B
⠢	小文字 c	⠦	大文字 C
⠣	小文字 d	⠧	大文字 D
⠣	小文字 e	⠧	大文字 E
⠣	小文字 f	⠧	大文字 F
⠣	小文字 g	⠧	大文字 G
⠣	小文字 h	⠧	大文字 H
⠣	小文字 i	⠧	大文字 I
⠣	小文字 j	⠧	大文字 J
⠣	小文字 k	⠧	大文字 K
⠣	小文字 l	⠧	大文字 L
⠣	小文字 m	⠧	大文字 M
⠣	小文字 n	⠧	大文字 N
⠣	小文字 o	⠧	大文字 O
⠣	小文字 p	⠧	大文字 P
⠣	小文字 q	⠧	大文字 Q
⠣	小文字 r	⠧	大文字 R
⠣	小文字 s	⠧	大文字 S
⠣	小文字 t	⠧	大文字 T
⠣	小文字 u	⠧	大文字 U
⠣	小文字 v	⠧	大文字 V
⠣	小文字 w	⠧	大文字 W
⠣	小文字 x	⠧	大文字 X
⠣	小文字 y	⠧	大文字 Y
⠣	小文字 z	⠧	大文字 Z

4.1.1 文字の点訳の際は、墨字通りとする。

〔参照〕 詳細については、第2.6節「用語と原則」、第5節「グレード1モード」、第8節「大文字」、及び第10節「縮約」を参照。

[例]

A boy and his dog were on the path. (少年と彼の犬は散歩道にいました。)

⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠

McMurdo Sound ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ (マクマード海峡)

O'Flaherty ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (オフラエティ、人名)

the A train and the B train (A 電車と B 電車)

⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠

IBM or Microsoft ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

(アイ・ビー・エム社またはマイクロソフト社)

SPOT! GO HOME! ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

(直ちに! 家に帰れ!)

your CD player but my CDs (CD プレーヤーはあなたのものだが、CD は私のものだ)

⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

ilLOGical ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (不合理な)

OFr (Old French) ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

(古フランス語)

4.2 修飾符

- ⠠⠠⠠ ⠠ 次の文字に重ねる斜線 (通常のスラッシュ)
- ⠠⠠⠠ ⠠ 次の文字に重ねる横線
- ⠠⠠⠠ ⠠ 次の文字の上に単音記号ブレーベ
- ⠠⠠⠠ ⠠ 次の文字の上に長音符号マクロン
- ⠠⠠⠠ ⠠ 次の文字の下にセディラ
- ⠠⠠⠠ ⠠ 次の文字の上にグラーブアクセント
- ⠠⠠⠠ ⠠ 次の文字の上にサーカムフレックス
- ⠠⠠⠠ ⠠ 次の文字の上にリング (円)
- ⠠⠠⠠ ⠠ 次の文字の上にチルダ
- ⠠⠠⠠ ⠠ 次の文字の上に分音記号 (ウムラウト記号) (トレマ)
- ⠠⠠⠠ ⠠ 次の文字の上にアキュートアクセント
- ⠠⠠⠠ ⠠ 次の文字の上にカロン (ハチェック、くさび)
- ⠠⠠⠠⠠⠠ 次の文字に対する第一点訳者定義修飾符

maître d'hôtel (フランス語で、ホテルやレストランの支配人の意)

Étienne (エティエンヌ、フランス人名) 

háček (ハーチェク)

Bjørnstjerne Bjørnson (ビョルンスティエルネ・ビョルンソン)

Figure 1 consists of two 10x10 grids. The left grid shows a uniform distribution of 100 dots, with approximately 10 dots per row and 10 dots per column. The right grid shows a non-uniform distribution of 100 dots, with a higher density of dots in the center and fewer dots towards the edges.

Bialka River (ビャウカ川)

Öresund Bridge

(オーレスン・リンク、デンマークとスウェーデン間の海峡を結ぶ鉄道道路併橋及び海底トンネル)

Shāh Jahān built the Tāj Mahal.

(シャー・ジャハーンはタージ・マハルを建立した)

Săpânta, Romania (ルーマニアのサプンツァ村)

[この例において、第一点訳者定義修飾符は、その次の文字の下のコマを表している。]

Hagar Qim in Malta (マルタにあるハジャー・イム神殿)

Figure 1 shows a 5x5 grid of dots. The dots are arranged in a regular pattern, with some dots highlighted in black and others in gray. The grid is labeled with 'x' and 'y' axes.

[この例において、第二点訳者定義修飾符は、その次の文字の上の点を表して
る。]

4.2.2 修飾文字の直前に指示符が必要な場合は、修飾符の前に指示符を置く。

〔例〕

Ždiar, Slovakia (スロバキアのジュディアル)

À LA CARTE MENU (フランス語で「献立表」アラカルトメニュー)

4.2.3 文字列上にある修飾符は大文字ワードモードを終了させない

[例]

AOUÛT （フランス語で「8月」） ⠁⠒⠐⠏⠞⠑⠗⠆⠍⠊⠃⠗⠎⠑⠗⠗⠑⠇⠗⠑⠖

4.2.4 修飾文字は縮約の一部を形成することができない。

[例]

blessèd (神聖な) ⠠⠨⠠⠺⠠⠳⠠⠽⠠⠎⠠⠗⠠⠇⠠⠊⠑⠠⠃

Général de Gaulle (シャルル・ド・ゴール、フランス人名)

Prométhée enchaîné (『縛られたプロメテウス』、本のタイトル)

beau idéal (フランス語で「理想美」)

théâtre (フランス語で「映画館」)

Löwenthal (ローウェンタール、ドイツ人名)

Märchen (ドイツ語で「童話」)

Händel (ドイツ人名) ⠠⠏⠤⠑⠇ ⠠⠳⠋⠊⠗⠊⠒ ⠠⠳⠋⠊⠑⠇

[注] *théâtre* など、*the* の縮約が使用されていない単語では、*th* の強縮約部を使うことができる。

4.2.5 ひとつの修飾符が複数の文字に適用される場合は、修飾文字列を点字アイテム化指示符で囲む。修飾符の後ろに縮約を置くことはできないので、点字アイテム化指示符に対するグレード1指示符は必要ない。





























〔例〕

oo as in tool   

(道具(tool)という単語に見られるような $\bar{o}o$ という発音)

4.2.6 辞書エントリや教材に見られるように、修飾符が墨字において関連する文字を伴わずに書かれる場合は、墨字通りとする。

〔参照〕 カレットとチルダ（スワングダッシュ）については、第 3.6 節と第 3.25 節「一般記号と指示符」を、修飾符ではなく仕切り記号である場合の斜線（通常のスラッシュ）については、第 7.1 節「句読符」を参照。

	φ	ギリシャ小文字ファイ
	χ	ギリシャ小文字カイ
	ψ	ギリシャ小文字プサイ
	ω	ギリシャ小文字オメガ
	A	ギリシャ大文字アルファ
	B	ギリシャ大文字ベータ
	Γ	ギリシャ大文字ガンマ
	Δ	ギリシャ大文字デルタ
	E	ギリシャ大文字イプシロン
	Z	ギリシャ大文字ツェータ
	H	ギリシャ大文字イェータ
	Θ	ギリシャ大文字シータ
	I	ギリシャ大文字イオタ
	K	ギリシャ大文字カッパ
	Λ	ギリシャ大文字ラムダ
	M	ギリシャ大文字ミュー
	N	ギリシャ大文字ニュー
	Ξ	ギリシャ大文字グザイ
	O	ギリシャ大文字オミクロン
	Π	ギリシャ大文字パイ
	P	ギリシャ大文字ロー
	Σ	ギリシャ大文字シグマ
	T	ギリシャ大文字タウ
	Υ	ギリシャ大文字ウプシロン
	Φ	ギリシャ大文字ファイ
	X	ギリシャ大文字カイ
	Ψ	ギリシャ大文字プサイ
	Ω	ギリシャ大文字オメガ

4.5.1 ギリシャ文字の点訳の際は、墨字通りとする。英語の文脈または英語の技術文書においては、上述のギリシャ文字を使用する。

第5節 グレード1モード

- ⠆ グレード1記号指示符
- ⠆⠆ グレード1ワード指示符
- ⠆⠆⠆ グレード1パッセージ指示符
- ⠆⠆⠆ グレード1終了符

5.1 モード指示符

[注] 点字記号はグレード1の意味と縮約（グレード2）の意味の両方を持つことができる。いくつかの記号は数字的な意味もある。

- 5.1.1 グレード1指示符は、記号のグレード1の意味が縮約あるいは数字的な意味として誤読されるおそれがある場合に、グレード1モードの設定に利用される。
- 5.1.2 グレード1モードの範囲は使用中のグレード1指示符により定められる。

5.2 グレード1記号指示符 ⠆

- 5.2.1 グレード1記号指示符は後続の記号のグレード1モードを設定する。

[注] 英文字の a、i と o が単独である時に縮約の意味を持たないため、グレード1指示符は不要である。

[例]

the vowels are: a, e, i, o and u (母音は a、e、i、o、u)

⠆ ⠆⠆⠆⠆⠆⠆ ⠆⠆⠆ ⠆⠆ ⠆⠆⠆ ⠆⠆ ⠆ ⠆ ⠆⠆

Mrs X and Mr O (X夫人とO氏) ⠆⠆⠆⠆ ⠆⠆⠆⠆ ⠆ ⠆⠆⠆ ⠆⠆

J. S. Bach (J.S.バッハ) ⠆⠆⠆⠆ ⠆⠆⠆⠆ ⠆⠆⠆⠆

22b 22B 22p ⠆⠆⠆⠆⠆ ⠆⠆⠆⠆⠆ ⠆⠆⠆⠆

adagio e cantabile (アダージョとカンタービレ)

⠆⠆⠆⠆⠆⠆ ⠆⠆ ⠆⠆⠆⠆⠆⠆⠆⠆⠆⠆

Add either ? or ! to each sentence.

(それぞれの文に「?」か「!」をつけてください。)

⠆⠆⠆⠆ ⠆⠆ ⠆⠆⠆ ⠆⠆ ⠆ ⠆⠆ ⠆⠆⠆⠆ ⠆⠆⠆⠆⠆⠆⠆

[疑問符と感嘆符]

In Smith⁵⁶ we find (スミス⁵⁶から…を引用する。)

⠆⠆⠆ ⠆⠆⠆⠆⠆⠆⠆⠆⠆⠆⠆ ⠆⠆ ⠆⠆⠆ ⠆⠆⠆⠆

s-p-e-l-l-i-n-g (「spelling」の綴り) ⠠⠎⠤⠼⠞⠰⠽⠇⠊⠏⠒⠁⠝⠒

5.7.2 文字列が縮語あるいは縮語が含まれていると誤読されないように、グレード1モードが必要である。

[参照] 第 10.9 節「縮約」を参照。

〔例〕

CD-ROM

"Hm!" he mused. (「うーん。」と彼は考えにふけた。)

Could you buy a CD/DVD? (CD/DVD を買ってくれますか。)

My friends are Fr Ted and Sr Ann.

(ファザーテッドとシスターアン達は私のお友達です。)

The figure shows a sequence of 10 diagrams, each representing a 5x5 grid of dots. The dots are black, and the background is white. The sequence shows a pattern of dots that starts as a small cluster and grows into a larger, more complex shape over 10 steps. The pattern is composed of several small clusters that merge together. The first diagram shows a small cluster of 4 dots. The second diagram shows a cluster of 6 dots. The third diagram shows a cluster of 8 dots. The fourth diagram shows a cluster of 10 dots. The fifth diagram shows a cluster of 12 dots. The sixth diagram shows a cluster of 14 dots. The seventh diagram shows a cluster of 16 dots. The eighth diagram shows a cluster of 18 dots. The ninth diagram shows a cluster of 20 dots. The tenth diagram shows a cluster of 22 dots.

the Imm family

al dente (少し固めにゆでた、適度な歯応えのある)

Use the ALT key. (ALT キーを使ってください。)

Figure 1 shows four 5x5 dot patterns labeled (a), (b), (c), and (d). Each pattern consists of 10 dots arranged in a 5x5 grid. Pattern (a) has dots at (1,1), (1,3), (1,4), (2,2), (2,3), (2,4), (3,1), (3,2), (3,3), and (3,4). Pattern (b) has dots at (1,1), (1,2), (2,1), (2,2), (2,3), (3,1), (3,2), (3,3), (3,4), and (3,5). Pattern (c) has dots at (1,1), (1,2), (1,3), (1,4), (1,5), (2,1), (2,2), (2,3), (2,4), and (2,5). Pattern (d) has dots at (1,1), (1,2), (1,3), (1,4), (1,5), (2,1), (2,2), (2,3), (2,4), and (2,5).

NEC (National Executive Committee) (全国執行委員会)

The figure consists of a 3x3 grid of 27 small plots. Each plot is a square with a grid of dots. The top row shows three basic patterns: 1) A single dot in the top-left corner. 2) A single dot in the top-right corner. 3) A single dot in the bottom-left corner. The middle row shows three patterns: 4) A single dot in the bottom-right corner. 5) A single dot in the center. 6) A single dot in the top-middle position. The bottom row shows three patterns: 7) A single dot in the middle-middle position. 8) A single dot in the bottom-middle position. 9) A single dot in the top-left corner and a single dot in the top-right corner. The remaining 18 plots in the grid show various combinations of these basic patterns, representing different spatial configurations of the three basic patterns.

ozbrl (Australian listserve)

(オーストラリアのリストサージ、電子メールの送付システム)

5.8 グレード1 指示符と大文字

5.8.1 グレード1 指示符は大文字指示符の前に置く。

〔例〕

T-SHIRTS FOR SALE (Tシャツを販売中)

5.9 指示符の選択

〔注〕グレード1ワードあるいはグレード1パッセージ指示符のような拡張モードに対する指示符は非文学的表現にも用いられる。これは特に、数学やコンピューター・プログラムの文書に役に立つ。しかし、点訳されたものが、できるだけ読みやすいものであるべきという点訳の基本原則を考慮に入れながら、縮約として誤読される記号に限って、多くの場合、縮約点字とグレード1指示符と一緒に使うことが適切である。メール・アドレスやファイル名、ウェブ・アドレスなどにも縮約点字を使用するのが推奨される。

5.9.1 単語はよく知られた縮約で表示するのが最も認識しやすいため、グレード間の切り替え、必要な指示符の数や使われているマスの数などを最小限にする。

〔例〕

un-e-mo-tion-al (感情を表さない)

「よりち」

c-h-e-e-s-e (チーズ)

br-r-r-r (ブルブルッ、寒さを表す間投詞) ⠠⠃⠗⠤⠒⠤⠒⠤⠒

d-don't (しないで) ⠠⠳⠤⠨⠊⠎⠋⠗⠏⠞⠶⠔⠑⠒⠐⠇⠆

d-d-d-don't (しないで) ⠠⠳⠤⠳⠳⠠⠨⠊⠎⠋

about-f-f-f-face (回れ右) The Braille representation of the phrase 'about-f-f-f-face (回れ右)' is shown. It consists of the Braille characters for 'about', 'f', 'f', 'f', and 'face', followed by the Braille representation of the Japanese phrase '(回れ右)'.

d-d-d-dictionary (辞書)

「よりも」

p-p-please (お願い) 

「よしも」

s-s-s-s-super-st-stition (迷信)

5.9.2 方程式の中の指示符数を省略する。数式を読むには、内部の指示符よりもページ指示符の方がそれほど邪魔にならない。

〔参照〕 『技術文書に対するガイドライン』 1.7 を参照。

〔例〕

$$x^{\frac{a}{b}} y = x$$

「または」

「よりも」

第6節 数モード

⠠	数字の 1
⠡	数字の 2
⠢	数字の 3
⠣	数字の 4
⠤	数字の 5
⠥	数字の 6
⠦	数字の 7
⠧	数字の 8
⠨	数字の 9
⠩	数字の 0
⠪	コンマ（桁区切り）
⠬	終止符（ピリオド、小数点）
⠠ から ⠩	1～0 の数字（数モード内に限る）
⠠ から ⠩	数字間スペースを伴う 1～0 の数字（数モード内に限る）
⠠	スペース入り数指示符（スペースの前）
⠠	数パッセージ指示符（スペースの前）
⠠	数パッセージ終了符
⠠	（行末）継続指示符
⠠	（行末）スペースを伴う継続指示符
⠠	数の分数用分数線（数モード内に限る）

6.1 数指示符 ⠠ ⠡ ⠢ ⠣ ⠤ ⠥ ⠦ ⠧ ⠨ ⠩

〔注〕これら 12 個の記号は、10 個の数字、及び小数点として用いられる 2 つの記号である。これらは数指示符でもある。

6.1.1 数指示符はその記号列の残りに対して数モードを設定する。

6.2 数モード記号

6.2.1 数モードにおいては、以下の記号が現れる可能性がある。

- 10 個の数字
- 終止符（ピリオド）
- コンマ
- 10 個の数字間スペース入り数字記号
- 数の分数用分数線、及び
- 2 種類の行継続符

〔参照〕単純な分数の定義と一般分数指示符の使用については、第 11.3 節「技術文書」を参照。

[例]

62 $\begin{array}{ccccc} \cdot & \bullet & \bullet & \bullet & \cdot \\ \cdot & \bullet & \bullet & \cdot & \cdot \\ \bullet & \bullet & \cdot & \cdot & \cdot \end{array}$

1959

3,500

8.93 

.7 

0.7 

8,93

,7 

0,7 $\begin{array}{cccc} \bullet & \bullet & \bullet & \bullet \\ \bullet & \bullet & \bullet & \bullet \\ \bullet & \bullet & \bullet & \bullet \end{array}$

par. 4.2.2 

4 500 000  [墨字においてはマスあけ]

The temperature of the universe was

100,000,000,000,000,000,000,000,000,000,000°C.

(宇宙の温度は 100,000,000,000,000,000,000,000,000 度だった。)

[または、墨字がマスあけを使用している場合]

The temperature of the universe was

100 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000°C.

(宇宙の温度は 100 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 度だった。)

$\frac{3}{8}$  (8 分の 3)

$$5^{3/8} \quad \begin{array}{cccccc} \cdot & \bullet & \bullet & \cdot & \cdot & \bullet & \bullet & \cdot & \bullet & \cdot \\ \cdot & \bullet & \cdot & \bullet & \cdot & \cdot & \cdot & \cdot & \cdot & \bullet & \bullet \\ \bullet & \bullet & \cdot & \cdot & \bullet & \bullet & \cdot & \cdot & \bullet & \cdot & \cdot \end{array}$$

(5 と 8 分の 3)

6.3 数モードの終了

6.3.1 スペース、または 6.2.1 に掲載されていない記号は、数モードを終了させる。

〔例〕

7:30 a.m. (午前 7 時 30 分)

[illegible]

9-10 

[illegible]

2.5-5

8-cab fleet  (8 台のタクシー)

The score was 4–3

(スコアは4対3だった)

7-5=2  (7 マイナス 5=2)

$$2^{-1/2} \quad \begin{array}{cccccccc} \cdot & \bullet & \bullet & \cdot & \cdot & \cdot & \bullet & \cdot & \cdot & \bullet & \cdot \\ \bullet & \bullet & \bullet & \cdot & \cdot & \cdot & \bullet & \cdot & \cdot & \bullet & \cdot \\ \bullet & \bullet & \bullet & \cdot & \cdot & \cdot & \bullet & \cdot & \cdot & \bullet & \cdot \end{array}$$

¼-½ tsp  (小さじ4分の1~2分の1)

6^{1/4}—6^{1/2} 

(6 と 4 分の 1 マイナス 6 と 2 分の 1)

1/4 cup (4 分の 1 カップ)

model 09/52 (09/52 型)

on call 24/7

(1 日 24 時間週 7 日いつでも対応)

7(2)

7(b) 

4—7

4..7 

4567 

6.4 終了符（ピリオド）を伴う数前置点の配置

6.4.1 終止符（ピリオド）の後ろに数が続くときは、それが小数点であることが明確な場合を除き、数前置点 $\ddot{\cdot}$ の前に置く。

〔例〕

Piano Sonata No.16 in C major is K.545.

(ピアノソナタ第 16 番ハ長調 K.545)

The figure shows a 5x5 grid of dots. The dots are arranged in a pattern that suggests a specific mathematical or combinatorial structure. The dots are arranged in a way that suggests a specific mathematical or combinatorial structure.

$\frac{3}{8} = .375$ (3 分の 8 = 0.375)

6.5 数指示符はグレード1モードを設定する

6.5.1 数指示符はまた、グレード1モードも設定する。数指示符により設定された場合のグレード1モードは、スペース、ハイフン、ダッシュまたはグレード1終了符により終了する。

6.5.2 グレード 1 モードが有効である間は、小文字の a~j が数字、終了符ないしピリオドまたはコンマに続く場合を除き、グレード 1 指示符は必要ない。

[例]

32 $\begin{array}{cc} \cdot & \bullet \\ \cdot & \bullet \\ \bullet & \bullet \end{array} \quad \begin{array}{cc} \bullet & \bullet \\ \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot \end{array} \quad \begin{array}{cc} \bullet & \cdot \\ \bullet & \cdot \\ \cdot & \cdot \end{array}$

3b

3B

3m 

4.2

4.b 

4.B 

4.m

report3.doc

report3.xls

... in the Second World War² 1939–1945.³

(…第二次世界大戦² 1939 年から 1945 年³)

6.5.3 グレード1モードが有効である間、数の後ろに縮約を置くことはできない。

[例]

houses4lease (貸家)

He came 4th in the race. (彼はそのレースで4位だった。)

The figure consists of seven 5x5 dot grids arranged horizontally. Each grid contains black dots in various positions, representing a sequence of states. The pattern of dots evolves from left to right, starting with a small cluster and growing into a larger, more complex shape.

6.5.4 グレード1モードはハイフンまたはダッシュにより終了し、結果、再び縮約が使われるようになる。したがって、縮約として読まれ得る文字または文字列はグレード1 指示符を必要とすることになる。

1er ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [premier] [最初の]

M4G 3E8 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (カナダ トロントの郵便番号)

W1N 9LF ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (イギリス ロンドンの郵便番号)

N12 7BT ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (イギリス ロンドンの郵便番号)

(416) 486-2500 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (電話番号)

For a taxi call 13-cabs. (13CABS 社のタクシー呼び出し)

⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

telephone 1300-vision ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

(電話番号 1300-vision)

1-800-SLEEP88 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

(電話番号 1-800-SLEEP-3788)

ISBN 0-14-300414-X (ISBN コード 0-14-300414-X)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

6.8 スペース入り数指示符 ⠠

6.8.1 スペース入り数指示符により、数前置点と、通常は前置点の直後に置かれて数字、小数点またはコンマを形成する基本点の間に、1つまたは複数のスペースを入れることが可能になる。

[例]

\$ 4.50 ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (4.50 米ドル)

10.00 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (10 米ドル)

.50 ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (0.5 米ドル)

----- ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

\$15.00 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (15 米ドル)

6.9 数パッセージ指示符⠠⠠⠠と数モード終了符⠠⠠⠠

6.9.1 数パッセージ指示符は、終了符に達するまで、すべての文章に数モードとグレード1モードを設定する。

6.9.2 数モード終了符は、下記 6.9.4 の場合を除き、最後に効力を受ける記号列の直後に置く。

- 6.9.3 数指示符は数パッセージ内では使用されず、a～jの小文字はいずれもグレード1指示符の前に置くことができない。
- 6.9.4 囲まれた文章を一般的な形に保つため、数パッセージ指示符はそれ単体で文章の上の行に、終了符は下の行に置かれる場合がある。
- 〔注〕数パッセージは、数学の長文に及ぶ例や一連の計算演習、または内容の大部分を数字が占める表のような場合に有用である。
- 〔参照〕スペース入り数指示符及び数パッセージ指示符の用法を説明する空間的な算術の例については、『技術文書に対するガイドライン』4を参照。

6.10 行間における数の分割

- 6.10.1 重要な意味を持つスペースが保持される場合を除き、行間で数を分割するのは避ける。分割が必要な場合は、適切な行継続符を使用し、以下の規則に従う。
- 6.10.2 複数行にまたがる長い数を区切る必要があるときは、二つの数字の間ではなく、数字間のスペース、または仕切りとして使用されるコンマの後など、合理的な位置に区切りを入れる。
- 6.10.3 仕切りとしてのコンマの後、または仕切りのない大規模な数字の列から成る数内の二つの数字の間で分割が成される場合は、行末に 1 マスの行継続符 `⋮` を置く。
- 6.10.4 数字の間のマスあけにおいて分割が成される場合は、行末に 2 マスの行継続符 `⋮⋮` を置く。
- 6.10.5 行継続符は数モードを終了させないので、次の行に数指示符を置く必要はない。

[例]

The temperature of the universe was
100,000,000,000,000,000,000,000,000°C.
(宇宙の温度は 100,000,000,000,000,000,000,000,000 度だった。)

[または、墨字がマスあけを使用している場合]

The temperature of the universe was
100 000 000 000 000 000 000 000 000 000°C.
(宇宙の温度は 100 000 000 000 000 000 000 000 000 000 度だった。)

第7節 句読符

・	,	コンマ
・	;	セミコロン
・	:	コロン
・	.	終止符（ピリオド、ドット、小数点）
・	...	省略記号（点線）
・	!	感嘆符
・	?	疑問符
・		1マス（区別のない）クォーテーション・マーク開き
・		1マス（区別のない）クォーテーション・マーク閉じ
・	“	ダブルクォーテーション・マーク開き
・	”	ダブルクォーテーション・マーク閉じ
・	‘	シングルクォーテーション・マーク開き
・	’	シングルクォーテーション・マーク閉じ
・	«	イタリアンクォーテーション・マーク開き （小さなダブルアングルブラケット）
・	»	イタリアンクォーテーション・マーク閉じ （小さなダブルアングルブラケット）
・	"	直線型のダブルクォーテーション・マーク
・	'	アポストロフィ，直線型のシングルクォーテーション・マーク
・	(カッコ開き（丸カッコ）
・)	カッコ閉じ（丸カッコ）
・	[角カッコ開き
・]	角カッコ閉じ
・	<	アングルブラケット開き（山カッコ開き）
・	>	アングルブラケット閉じ（山カッコ閉じ）
・	{	中カッコ開き（ブレースカッコ、波カッコ開き）
・	}	中カッコ閉じ（ブレースカッコ、波カッコ閉じ）
・	/	斜線（スラッシュ）
・	\	逆斜線（バックスラッシュ）
・	—	ハイフン
・	—	ダッシュ（墨字でハイフンと区別されている時）

7.2.4 墨字で、ダッシュとロングダッシュが両方とも使われている場合のみ点字でロングダッシュ $\cdot\cdot\cdot\cdot$ を用いる。

[例]

Mr D—— visits P—— regularly — you know that.

(D——氏は P——を定期的に訪れることを知っているでしょう。)

ダッシュとして用いられるハイフン

7.2.5 墨字上でスペースのあるハイフンは点字でもスペースのあるハイフンで表わす。

[例]

I'll be ready by 3:00 - well - maybe 3:10.

(3 時—まあ—たぶん 3 時 10 分に準備ができる。)

7.2.6 墨字がダッシュの代わりに 2 個の隣接したハイフンを用いている場合（例えばタイプやメールする時に）、点字でダッシュが使える。例えば、単語の 2 字分の欠字を示すためのように、明らかに 2 個のハイフンが意図されている場合には、2 個のハイフンを用いる。疑わしいときは 2 個のハイフンを使う。

[例]

an expression--such as this--set apart (このような--表現--分離されている)

「黒字では2個のハイフンが使われている」

rec--ve 

B--  [墨字はいくつかのハイフンが用いられている]

7.3 省略記号（点線） ⋯

7.3.1 省略記号で使用するドット数は、墨字通りとする。単語の一部の省略を表すためであることが明確でない限り、墨字上でのマスあけが不確定または一貫性がない場合には、省略記号とその前後の単語の間にマスあけをする。

[例]

I... I don't think" (私... 私は思わない")

Figure 1 consists of six 5x5 dot grids, labeled (a) through (f), each containing black dots. (a) has 4 dots in a 2x2 square. (b) has 8 dots in two 2x2 squares. (c) has 5 dots in a cross shape. (d) has 10 dots in two crosses. (e) has 12 dots in a 3x3 square with the center dot missing. (f) has 16 dots in a 4x4 square.

I don't th...." (私は思わない....)

7.4 斜線（スラッシュ）

7.4.1 斜線（スラッシュ）の後に行末に区切りが必要な場合に、ハイフンを入れない。

[例]

There were several schoolchildren/teachers/parents present.

(何人かの生徒／先生／保護者がいました。)

7.5 疑問符 ::

7.5.1 ほとんどの場合、疑問符にグレード1 記号指示符は必要ない；しかし、下記のルール 7.5.2 からルール 7.5.4 まで当てはまるケースに注意する。

〔例〕

What??? (何???)

"What?!" (「何?!」)

...?"

persons?/people? Braille representation of the text 'persons?/people?'.

7.5.2 縮約語 "his" あるいは 1 マス（区別のない）クォーテーション・マーク開きとして誤読されそうな位置にある場合には、グレード 1 記号指示符を疑問符の前に置く。

7.5.3 “単独”である疑問符の前にグレード1 記号指示符を置く。

[例]

[?] $\begin{smallmatrix} \bullet & \bullet & \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \bullet & \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \bullet & \cdot & \bullet & \bullet & \cdot \end{smallmatrix}$ $\begin{smallmatrix} \cdot & \cdot & \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \bullet & \bullet & \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \bullet & \bullet & \bullet & \bullet & \cdot \end{smallmatrix}$ $\begin{smallmatrix} \cdot & \bullet & \cdot & \bullet & \cdot & \bullet \\ \cdot & \cdot & \cdot & \cdot & \cdot & \bullet \\ \cdot & \bullet & \cdot & \bullet & \bullet & \cdot \end{smallmatrix}$

7.5.4 スペースやハイフンまたはダッシュの後に来る疑問符の前にグレード 1 記号指示符を置く。第 2 節「用語と原則」の 2.6.2 に記載されている句読符と記号指示符はスペース、ハイフンまたはダッシュそして疑問符の間に介在することができる。

〔例〕

2-1750 

(?—1750)

Replace each ? with a letter: ?e??u (各?を文字に置き換える: ?e??u)

The figure consists of 10 sub-diagrams, each showing a 10x10 grid of dots. Black dots represent the 'on' state of a cell, while white dots represent the 'off' state. The sequence shows a pattern that starts as a small cluster of dots in the top-left corner and grows into a large, complex shape that fills most of the grid by the 10th step. The growth is non-linear and appears to be a result of a cellular automaton rule.

7.6 クォーテーション・マーク ⠠ ⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠

⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠

7.6.1 クォーテーション・マークの特定な形（“ダブル”、“シングル”、“イタリアン”、または、“直線型”）が重要性を有しない全て場合（すなわち、大多数の場合）の文章の中では、墨字での主なクォーテーション・マークには 1 マス（区別のない）クォーテーション・マーク “” と “” を用いる。これらの区別のないクォーテーション・マークの墨字での形を記号ページまたは点訳者注に表示する。

[例]

以下の例はいろいろな文章から得たもので、墨字で異なる主なクォーテーション・マークがある。

“Why is that?” he asked. [or] ‘Why is that?’ he asked.

(彼は“それはなぜですか？”と訪ねた。[または]彼は‘それはなぜですか？’と訪ねた。)

[2種類の墨字—1番目はダブルクォーテーション・マークが使われており、2番目はシングルクォーテーション・マークが使われている。]

the play 'Hamlet' [or] the play "Hamlet"

(‘ハムレット’の劇 [または] “ハムレット”の劇)

[2 種類の墨字—1 番目は直線型のシングルコーテーション・マークが使われており、2 番目は直線型のダブルコーテーション・マークが使われている。]

The letters "b" and "c" ("b" と "c"の文字)

[墨字では直線型のダブルクォーテーション・マーク。]

the word 'nice' ('nice' (ナイス) という言葉)

「墨字では直線型のシングルコーテーション・マーク。」

“yes”es and “no”s (“はい”と“いいえ”)

〔墨字ではダブルクォーテーション・マーク。〕

mother-‘in-law’ (義母) ⠠⠇⠠⠊⠎⠏⠞⠦⠶⠒⠠⠍⠗⠑⠝

〔墨字ではシングルクォーテーション・マーク。〕

«... in accordance with ...» (《...に従って...》)

The figure displays a sequence of 10 diagrams, each showing a pattern of black dots on a grid. The diagrams are arranged in two rows of five. The top row shows the initial pattern and its first four iterations. The bottom row shows the next four iterations. The pattern consists of a central cluster of dots that grows and changes shape over time, with some dots appearing to move or be added at each step.

〔黒字ではイタリアンクォーテーション・マーク。〕

7.6.2 副または内側のクォーテーション・マーク（文書では主なクォーテーション・マーク以外のこと）の場合、特定の 2 マス記号を用いる。

〔例〕

She said, “Sing ‘Happy Birthday.’”

(彼女は “ ‘ハッピーバースデー’ を歌いましょう” と言いました。)

The figure consists of 10 sub-diagrams arranged horizontally, each showing a 5x5 grid of dots. Black dots represent the presence of a variable at a specific time and location. The sequence shows a pattern that starts as a small cluster of dots in the top-left and grows and moves across the grid over time.

「黒字でダブルクォーテーション・マークの方が主に使われている場合」

She said, ‘Sing “Happy Birthday”.’

(彼女は ‘“ハッピーバースデー” を歌いましょう’ と言いました。)

The figure consists of 10 sub-diagrams, each showing a 10x10 grid of dots. Black dots represent the 'on' state of a neuron, and white dots represent the 'off' state. The sequence shows a pattern that starts as a small cluster of dots in the top-left corner and grows into a large, complex shape that fills most of the grid by the 10th step. The growth is non-linear and irregular, with some dots appearing to 'move' or 'split' over time.

[墨字でシングルクォーテーション・マークの方が主に使われている場合]

7.6.3 一組のクォーテーション・マーク開き閉じは一致すべきである。例えば、ある種類のクォーテーション・マーク開きが必要であれば、適切な閉じ記号も使わないといけない。

7.6.4 区別のないクォーテーション・マーク開きが略語 "his"として誤読されそうな場合代わりに適切なクォーテーション・マークを用いる。

〔例〕

(“... that is the question.”) (“ ... そこが疑問だ.”)

The figure consists of 10 sub-diagrams arranged horizontally, each showing a 5x5 grid of dots. Black dots represent the 'on' state of a cell, while white dots represent the 'off' state. The sequence shows a pattern that starts as a small cluster of 5 dots in the first diagram and grows into a larger, more complex shape by the 10th diagram, which contains 25 dots.

7.6.5 墨字でアポストロフィーが主なクォーテーション・マークとして使われている場合、1マス（区別のない）クォーテーション・マークを用いる。墨字でアポストロフィーは副または内側のクォーテーション・マークとして使用されている場合、特定のシングルクォーテーション・マークを用いる。但し、記号がアポストロフィーかシングルクォーテーション・マークかとはっきりとしなければ、アポストロフィーとして扱う。

7.6.6 以下の比較的まれなケースの時だけに直線型ダブル $\text{::}\text{::}$ あるいはシングルクォーテーション・マーク ' を用いる（つまり“開き閉じ”を示す傾斜または巻きのないクォーテーション・マーク）：

- そのような記号が方向を表す記号と区別された場合（例えばタイポグラフィに関する話）

- 記号が明らかに別の意味を示している場合（例えば ASCII リスト）
- 文書の内容から方向性を推定する方法がない場合

上記の場合以外は方向を表すクォーテーション・マークを使う。

7.6.7

1 マス（区別のない）クォーテーション・マーク開きがグレード1 モードで表示された場合には、それは疑問符として読まれる。これを防ぐには、1 マスクォーテーション・マーク開きをどんなグレード1 指示符よりも前に（後ではなく）置く。これが可能でなければ、適切な特定のクォーテーション・マークを使う。








〔例〕

Spell "W-a-l-k" so the dog stays calm.

(犬が興奮しないように"W-a-l-k" (散歩) を綴りましょう。)

note silent letters in n-i-‘g-h’-t (n-i-‘g-h’-t での黙字に注目)

7.7

複数行にわたるカッコ    
  

7.7.1

縦に並列しながら、各点字行に適切な複数行にわたるカッコ記号を置く。墨字で垂直中央に置かれていても、点字では、原則として、文書は上から揃える。

〔参照〕 詳細については、第 11.8 節「技術文書」と『技術文書に対するガイドライン』を参照。

[例]

I We
You
They

} run fast.

私は 私たち
あなたは
彼ら（彼女ら）は

} 速く走ります。

The figure consists of two 3x3 grids of dots. In the left grid, the four central positions (top-right, top-left, bottom-left, bottom-right) are occupied by large dots, while the four corner positions (top-left, top-right, bottom-left, bottom-right) are occupied by small dots. In the right grid, all nine positions are occupied by large dots, and there are no small dots.

第8節 大文字

⠠ から ⠠	大文字 A～Z
⠠⠠ から ⠠⠠⠠	ギリシャ文字の大文字 Α (アルファ) ～ Ω (オメガ)
⠠	大文字ワード指示符
⠠⠠⠠	大文字パッセージ指示符
⠠	大文字終了符

〔参照〕 英語とギリシャ語におけるすべてのアルファベットの大文字リストについては、第4節「文字とその修飾符」を参照。

8.1 大文字の使用

8.1.1 大文字の使用の際は、墨字通りとする。

〔注〕 点訳者は、段落や章の始まりに大文字で書かれた語句など、大文字が墨字において視覚的な装飾として用いられている場合には、点字において大文字の使用を適宜省略して差し支えない。

〔参照〕 墨字において弁別的な書体として小型大文字が用いられている場合の点訳の仕方については、第9.6節「書体」を参照。

8.2 大文字モードの範囲

8.2.1 大文字モードの範囲は使用中の大文字指示符により定められる。

8.3 大文字の定義

8.3.1 大文字は前置点 ⠠ (⑥の点) とその文字の小文字形で構成される2マス記号である。

〔例〕

O ⠠

V ⠠

20B ⠠⠠

B.C. (紀元前) ⠠⠠⠠

Hush. Keep Quiet! (しーっ。静かにしなさい！)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

C. O. Linkletter (リンクレター司令官)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

M MacPherson and O O'Hara (マクファーソンの M とオハラ の O)

'Twas Dr. Hamilton-Hall. (それはハミルトン・ホール博士だった)

The figure shows a 5x5 grid of dots. The dots are arranged in a regular pattern, with some dots missing or faded to illustrate a specific configuration. The dots are arranged in a regular pattern, with some dots missing or faded to illustrate a specific configuration.

B-E-L-I-E-V-E (信じる)

8.3.2 その頭文字のみが大文字であるとき、縮約の前に前置点⑥を置く。

〔例〕

Father Edmond Anderson (エドモンド・アンダーソン神父)

Today, Mr Will Just visited us. (今日、ウィル氏がちょうど訪ねてきた。)

His name is Thomas. (彼の名前はトーマスです。)

Figure 1 shows a sequence of 10 dot patterns, labeled 1 through 10, illustrating the growth of a fractal. The patterns are arranged in a row. Pattern 1 is a single dot. Pattern 2 is a 2x2 square of dots. Pattern 3 is a 3x3 square of dots with the center dot missing. Pattern 4 is a 4x4 square of dots with the center 2x2 square missing. Pattern 5 is a 5x5 square of dots with the center 3x3 square missing. Pattern 6 is a 6x6 square of dots with the center 4x4 square missing. Pattern 7 is a 7x7 square of dots with the center 5x5 square missing. Pattern 8 is an 8x8 square of dots with the center 6x6 square missing. Pattern 9 is a 9x9 square of dots with the center 7x7 square missing. Pattern 10 is a 10x10 square of dots with the center 8x8 square missing.

8.3.3 文字と大文字前置点の間には修飾符や合字指示符のみ置くことができる。

〔参照〕文字の修飾符として見なされる記号のリストについては、第 4.2 節と 4.3 節「文字とその修飾符」を参照。

〔例〕

Étude (エチュード) ●●●●●●●●

Voyage À Nice (ニースへの旅) 

8.4 大文字ワード指示符 :::

8.4.1 大文字ワード指示符は、その次の文字列またはその文字列の残りに対して大文字モードを設定する。

8.4.2 大文字ワード指示符の効力は、スペース、単独の大文字、非アルファベット記号、大文字終了符により終了し、修飾符や合字指示符では終了しない。

〔例〕

PARLIAMENT (議会)

FRANÇOIS (フランソワ)

"I CAUGHT HIM. I CAUGHT MY PUPPY!"

(つかまえた！私のわんちゃん！)

I CAUGHT HIM. I CAUGHT MY PUPPY!
 (つかまえた！私のわんちゃん！)
 I CAUGHT HIM. I CAUGHT MY PUPPY!
 (つかまえた！私のわんちゃん！)
 I CAUGHT HIM. I CAUGHT MY PUPPY!
 (つかまえた！私のわんちゃん！)
 I CAUGHT HIM. I CAUGHT MY PUPPY!
 (つかまえた！私のわんちゃん！)
 I CAUGHT HIM. I CAUGHT MY PUPPY!
 (つかまえた！私のわんちゃん！)
 I CAUGHT HIM. I CAUGHT MY PUPPY!
 (つかまえた！私のわんちゃん！)

- 8.5.6 大文字パッセージが複数の文章構成要素に及び、それらの文章構成要素が連続的なパッセージを構成しない場合（例：ひとつづきの見出し）、それぞれの文章構成要素は個別に大文字化される。

[例]

ON HEALTH AND MEDICINE（健康と医療）

INDIGENOUS TEAS DELAY AGING（土着のお茶が老化を遅らせる）

(READER'S DIGEST: August 1998)（リーダーズ・ダイジェスト：1998年8月）

Indigenous teas have been linked in recent studies to improved health and ...

(土着のお茶は健康を向上させる近年の研究に関連しており...)

Indigenous teas have been linked in recent studies to improved health and ...
 (土着のお茶は健康を向上させる近年の研究に関連しており...)
 Indigenous teas have been linked in recent studies to improved health and ...
 (土着のお茶は健康を向上させる近年の研究に関連しており...)
 Indigenous teas have been linked in recent studies to improved health and ...
 (土着のお茶は健康を向上させる近年の研究に関連しており...)
 Indigenous teas have been linked in recent studies to improved health and ...
 (土着のお茶は健康を向上させる近年の研究に関連しており...)
 Indigenous teas have been linked in recent studies to improved health and ...
 (土着のお茶は健康を向上させる近年の研究に関連しており...)

- 8.5.7 単独の見出しは、複数の点字列に及ぶ場合でもひとつのまとまりとして大文字化する。

第9節 書体

⋮⋮⋮	イタリック体記号指示符
⋮⋮⋮	イタリック体ワード指示符
⋮⋮⋮	イタリック体パッセージ指示符
⋮⋮⋮	イタリック体終了符
⋮⋮⋮	太字記号指示符
⋮⋮⋮	太字ワード指示符
⋮⋮⋮	太字パッセージ指示符
⋮⋮⋮	太字終了符
⋮⋮⋮	下線付き記号指示符
⋮⋮⋮	下線付きワード指示符
⋮⋮⋮	下線付きパッセージ指示符
⋮⋮⋮	下線付き終了符
⋮⋮⋮	スクリプト記号指示符
⋮⋮⋮	スクリプト・ワード指示符
⋮⋮⋮	スクリプト・パッセージ指示符
⋮⋮⋮	スクリプト終了符
⋮⋮⋮	第一点訳者定義書体記号指示符
⋮⋮⋮	第一点訳者定義書体ワード指示符
⋮⋮⋮	第一点訳者定義書体パッセージ指示符
⋮⋮⋮	第一点訳者定義書体終了符

〔注〕書体指示符は前置点と基本点という2つの部分で構成されている。前置点は書体の種類を示し、基本点はその範囲を示す。下記の前置点を用いて、さらなる点訳者定義書体が作られる。

⋮⋮⋮	第二点訳者定義書体のための前置点
⋮⋮⋮	第三点訳者定義書体のための前置点
⋮⋮⋮	第四点訳者定義書体のための前置点
⋮⋮⋮	第五点訳者定義書体のための前置点

CHAPTER 6

ON TUESDAY, a meeting of portfolio managers was held

(第6章 火曜日に、ポートフォリオマネージャーたちのミーティングが行われた....)

.....

[見出しの書体の変化は表示されていない。段落の始めの書体変化はこの本の各章の始まりの装飾として用いられていて、この点訳では無視されている。]

9.2 書体記号指示符 ::: ::: ::: ::: :::

9.2.1 書体記号指示符は次の文字や記号の指定書体を設定する。

[例]

the set of real numbers, \mathbb{R} (実数集合、 \mathbb{R})

::: ::: ::: ::: ::: ::: :::

*p*n pneumonia (肺炎) ::: ::: ::: ::: ::: ::: :::

8 chickens! (8羽のニワトリ!) ::: ::: ::: ::: ::: :::

story stories (物語、storyの複数形) ::: ::: ::: ::: ::: ::: :::

24 should be 34 (24は34にすべきだ) ::: ::: ::: ::: ::: :::

bright blue ball (鮮やかな青色のボール)

::: ::: ::: ::: ::: ::: :::

27.9 ::: ::: ::: ::: ::: :::

Stop! May I help? (ちょっと待って!お手伝いしましょうか?)

::: ::: ::: ::: ::: ::: ::: ::: ::: ::: :::

83% ::: ::: ::: ::: ::: :::

It will cost \$45 not €45. (€45ではなく\$45がかかります。)

::: ::: ::: ::: ::: ::: ::: ::: ::: ::: :::

For help, click the ? icon. (質問等は、「?」のアイコンをクリックしてください。)

::: ::: ::: ::: ::: ::: ::: ::: ::: ::: :::

Click the **Up One Level** button.

(「**Up One Level** (1 レベル上)」のボタンをクリックしてください。)

Click the **Up One Level** button.

When using the typewriter, words were underlined but, when using a word processor, *the italic font is preferred*.

(タイプライターを使用している時は、単語に下線を引かれたが、ワードプロセッサを使っている時は、イタリック体の方が望ましいのである。)

Click the **Up One Level** button.

In C:\My Documents\letter to dad 041023.doc, the underlined part is the filename.

(「C:\My Documents\letter to dad 041023.doc」では、下線が引かれた部分がファイル名である。)

Click the **Up One Level** button.

textbook (教科書)

and/or (およびまたは)

syllable emphasis (音節強調)

Click the **Up One Level** button.

Radar is from radio detecting and ranging.

(「Radar」(レーダー))は「radio detecting and ranging」から成る。)

Click the **Up One Level** button.

HarperFlamingoCanada (ハーパー・フラミンゴカナダ、出版社)

Click the **Up One Level** button.

the Globe's business section (「グローブ、新聞」のビジネス欄)

Click the **Up One Level** button.

第 10 節 縮約

10.1 アルファベット縮約語

⠠	⠠⠠⠠	but
⠠	⠠⠠⠠	can
⠠	⠠⠠	do
⠠	⠠⠠⠠⠠⠠	every
⠠	⠠⠠⠠⠠	from
⠠	⠠⠠	go
⠠	⠠⠠⠠⠠	have
⠠	⠠⠠⠠⠠	just
⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	knowledge
⠠	⠠⠠⠠⠠	like
⠠	⠠⠠⠠⠠	more
⠠	⠠⠠⠠	not
⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	people
⠠	⠠⠠⠠⠠⠠	quite
⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	rather
⠠	⠠⠠	so
⠠	⠠⠠⠠⠠	that
⠠	⠠⠠	us
⠠	⠠⠠⠠⠠	very
⠠	⠠⠠	it
⠠	⠠⠠⠠	you
⠠	⠠⠠	as
⠠	⠠⠠⠠⠠	will

10.1.1 表す単語が“単独”であるとき、アルファベット縮約語を用いる。

[参照] “単独”の定義については第 2.6 節「用語と原則」を参照。

[例]

When will Will meet us? (ウィルはいつ私たちと会うのでしょうか?)

⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠

Every child from here knows Mr More.

(ここ出身の子どもは皆モア氏のことを知っている。)

⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠

"do re mi fa so" 「ドレミファソ」 ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠

That is quite fair and very just. (それはかなり公平でとても公正だ。)

⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠

"People, people who need people" (「皆、人々を必要としている皆」)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠

I do not like that watering-can! (私はそのじょうろが嫌い!)

⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

But, would the people rather do the can-can for us?

(しかし、皆むしろ私たちのためにカンカンを踊るでしょうか?)

⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠

"You so-and-so-go away!" (「まったくこの人は—あっちへ行つて!」)

⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

"I do have some—but I would like more!"

(「確かにいくらか持っているけれど—もっと欲しい!」)

⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠

You can go—but not yet—**just wait!**

(行ってよろしい—しかし、まだです—待っていて下さい!)

⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

last will and testament (遺言状と遺書) ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

a child-like manner (子どもっぽい態度) ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

will-o'-the-wisp (きつね火) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

"Do-It-Yourself" (「自分でやりなさい」) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

come from—not go to (行くのではなく来る) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠

(just say so) (そう言ってください) ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠

As You Like It (お気に召すまま) ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠

Knowledge is power. (知識は力。) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

[ただし]

likes and dislikes (好き嫌い)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

childlike and likeness (子どもっぽいとらしさ)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

moreover and evermore (その上と常に) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

haves or have-nots? (持てる者か持たざる者か?)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

"must have"s (「必需品」たち) ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

www.doityourself.com ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

"but, no buts" (「口答えするな」) ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

peoples (諸民族) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

everyday (毎日) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

quite/very (かなり/とても) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

d'you (あなたは～ですか、do you) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

t'do (～すること、to do) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

t'have (持つこと、to have) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

- 10.1.2 表す単語が以下の文字を伴うアポストロフィーの前にあるとき、結果として生じる単語が単独であるならば、アルファベット縮約語を用いる：d、ll、re、s、t、ve

[例]

it'd (それは～のようだ、it would) ⠠⠠⠠⠠⠠

you'd (あなたは～だろう、you would) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

it'll (それは～だろう、it will) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

that'll (それは～だろう、that will) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

you'll (あなたは～だろう、you will) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

you're (あなたは～だ、you are) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

people's (人々の) ⠠⠠⠠⠠⠠

10.4 強縮約部

⠠	⠠⠠	ch
⠠	⠠⠠	gh
⠠	⠠⠠	sh
⠠	⠠⠠	th
⠠	⠠⠠	wh
⠠	⠠⠠	ed
⠠	⠠⠠	er
⠠	⠠⠠	ou
⠠	⠠⠠	ow
⠠	⠠⠠	st
⠠	⠠⠠⠠	ing
⠠	⠠⠠	ar

10.4.1 他の規則がその使用を制限しない限り、それが表す文字列が出てくる部分すべてに強縮約部を用いる。

[例]

aerial (大気の)	⠠⠠⠠⠠⠠	aghast (がくぜんとして)	⠠⠠⠠⠠⠠
anteroom (待合室)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
argh! ((驚きなどを表して) あーっ!)	⠠⠠⠠		
bear (クマ)	⠠⠠⠠	boredom (退屈)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
brougham (ブロアム、馬車的一种)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
cheddar (チェダーチーズ)	⠠⠠⠠⠠⠠		
cherished (大切な)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	cough (咳をする)	⠠⠠⠠⠠
coupon (クーポン、優待券)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
cringed (身をすくめた)	⠠⠠⠠⠠⠠		
derailed (脱線した)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	dingy (くすんだ)	⠠⠠⠠⠠
dough ((パンなどの) 生地)	⠠⠠⠠⠠	ed. (編者、版)	⠠⠠
Edith (エディス、人名)	⠠⠠⠠⠠⠠	e'er (かつて、ever)	⠠⠠⠠⠠
er- ((ためらいなどを表して) えーと)	⠠⠠⠠		

erase (消去する)	⠠⠑⠗⠁⠑⠑	
Erie (エリー、人名・地名)	⠠⠑⠗⠊⠑	error (誤り) ⠠⠑⠗⠗⠕⠗
freedom (自由)	⠠⠑⠗⠑⠑⠑⠑⠑	ginger (ショウガ) ⠠⠑⠑⠑⠑
gingham (ギンガム柄)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑	
Goering (ゲーリング、人名)	⠠⠑⠠⠑⠗⠊⠑⠑	
hierarchy (ヒエラルキー、階層型組織)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
laugh (笑う)	⠠⠑⠠⠑⠑	
lingerie (ランジェリー、女性用下着)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
lowdown (憂鬱な、落ち込んだ)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
malediction (呪い)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
meningitis (髄膜炎)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
merchandising (販売計画)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
meringue (メレンゲ)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
mistake (過ち)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
monowheel (モノホイール、バイクの一種)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
nightingale (ナイチンゲール)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
nth (n 番目の)	⠠⠑⠠⠑	
oedema (浮腫)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
'ounds (獵犬、hounds の別表現)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
"Ow!" (「おー！」)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
(par) (等価、平均)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
predated (前日付の)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	psst (あのね) ⠠⠑⠠⠑⠠⠑
redistribute (再び配分する)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
reroute (別の経路に切り替える)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
riflery (ライフル射撃)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	sheer (透けるほど薄い) ⠠⠑⠠⠑⠠⠑
Singh (シン、人名)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑	
sou'east (南東、southeast の別表記)	⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑⠠⠑	

'struth (ちえっ! strewth の別表記) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Thomas (トマス、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

thorough (完全な) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

thou (汝、そなた) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

toward (～に向かって) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

trebled (3 倍の) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

wharf (波止場) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

whistle (笛) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Xth (10 番目の) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

xxist (21 番目の) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

[ただし]

ædile (古代ローマの造営官、aedile) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

anthill (蟻塚) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

blessèd (神聖な) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

deshabille (フランス語で「だらしない」) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

foghorn (霧笛) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

kilowatt (キロワット) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

noway (まったく～ない) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

painstaking (骨が折れる、つらい) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

parenthood (親であること) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

rawhide ((牛などの) 生皮) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

shanghai (上海、地名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Stalingrad (スターリングラード、地名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

viceregal (総督の) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

ch, sh, th, wh, ou, st

10.4.2 "ch"、"sh"、"th"、"wh"、"ou"または "st" に対する強縮約部の使用がある単語として誤読される場合は、それぞれの文字を個別に点訳する。

[参照] 単語を表すためのこれらの記号の使い方の詳細な説明は第 10.2 節を参照。

[例]

Sh! (しー!) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

th' (これ、this) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

St. (聖) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Smith-Inge (スミス・インゲ、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

10.5 下がり縮約語

⠠	⠠⠠	be
⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	enough (十分)
⠠	⠠⠠⠠⠠	were
⠠	⠠⠠⠠	his
⠠	⠠⠠	in
⠠	⠠⠠⠠	was

be, were, his, was

[注] これらと同じ記号が、句読符記号を表す場合もある。

- 10.5.1 表す単語が“単独”であるとき、“be”、“were”、“his”または“was”に対する下がり縮約語を用いる。しかしながら、ハイフン及びダッシュなど、下のドットだけを持つ句読符記号と接している場合には下がり縮約語は用いられない。この規則において、存在する可能性のある各種クォーテーション・マークは低位の点のみを持つものと見なされる。大文字指示符または大文字終了符があるとき、下がり縮約語を使うか使わないかの決定においては無視される。

[参照] “単独”の定義については、第2.6節「用語と原則」を参照。

[例]

to be (～になる) ⠠⠠⠠⠠ his car (彼の車) ⠠⠠⠠⠠

Be good. (いい子にしてね。) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

HIS DOG (彼の犬) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

That was right! (あれが正しかった!) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

BE ALL THAT YOU CAN BE (あなたがなれるものすべてになりなさい)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Be happy. (お幸せに。) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

to be or not to be (生きるべきか死ぬべきか)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

his hers its (彼の、彼女の、そのの) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

"Was that his car?" (「あれは彼の車だったのですか?」)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

control (操作) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

re-connect (～を再接続する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

disaster (災害) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

disco (ディスコ) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

dishonest (不正直な) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

dislike (～を嫌う) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

dissect (解剖する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

distance (距離) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

self-discipline (自制心) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

[ただし]

beckon (手招きする) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

been (be の過去分詞形) ⠠⠠⠠⠠⠠

belligerent (交戦国) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

benefit (利益) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

best (最高の) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

bethel (礼拝堂) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

better (～よりも良い) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

unbecoming (不似合な) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

con (詐欺) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

conch (ほら貝) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

cone (円錐) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

coneys (ウサギの毛皮) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

inconvenient (不便な) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

disc (円盤) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

dish (皿) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

dishevel (乱す) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

dispirited (意気消沈した) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

disulphide (二硫化物) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

indistinct (不明瞭な) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

10.6.2 "be"、"con"、または "dis" の下がり縮約部は、後ろに文字、縮約、修飾文字または合字が続く場合のみ、語頭に限って用いる。

[注] スペース、ハイフンまたはダッシュに続き、第 2.6.2 節「用語と原則」に記載されている句読符及び指示符記号が前に置かれる可能性がある文字列を語頭として定義する。

beat (～を打つ)	⠠⠠⠠⠠⠠	begging (懇願するような)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
borealis (北の)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	bubble (泡)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
bureau (事務局)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	Caribbean (カリブ)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
caveat (警告)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	create (創造する)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
creation (創造)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	disease (病気)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
doggone (忌まわしい)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
eggnog (エッグノッグ、飲料の名称)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
epicurean (快楽主義者)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
flaccid (しおれた)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
genealogy (系図)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
Hanseatic (ハンザ同盟の)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
head (頭)	⠠⠠⠠⠠	Judaean (ユダヤの)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
likeable (感じのいい)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
Liliaceae (ユリ科)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
lineage (血統)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
mecca (メッカ、憧れの場所)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
Minneapolis (ミネアポリス、地名)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
Montreal (モントリオール、地名)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
motheaten (虫食いの)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
muffin (マフィン)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
Neapolitan (ナポリの)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
northeast (北東)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	occupy (占有する)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
oceanic (大洋の)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	oleaginous (油性の)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
orgeat (アーモンドシロップ)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
paean (賛歌)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	pancreas (膵臓)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
peaceable (平和的な)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
peanut (落花生)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		

hideaway (隠れ家)	⠠⠏⠊⠑⠋⠊⠋⠋⠠⠊⠋⠊⠋⠠⠊⠋⠊⠋
idea(s) (考え方)	⠠⠊⠑⠑⠠⠊⠋⠠⠊⠋⠠⠊⠋⠠⠊⠋⠠⠊⠋
Leander (レアンダー、人名)	⠠⠊⠠⠑⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
limeade (ライムエード、飲料の名称)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
mah-jongg (麻雀)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
man-eater (人食い動物)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
pineapple (パイナップル)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
robb'd (奪われる、robbed の別表現)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
saccharine (サッカリンの、砂糖の)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
sea-green (海緑色の)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
sheriff's (保安官の)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
snuff (～を鼻から吸う)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
sou'east (南東、southeast の別表現)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
stiffly (堅く)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
subbasement (地下 2 階)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
tea (お茶)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊
theatre (劇場)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊

- 10.6.6 表す文字列の前または後ろに大文字指示符または大文字終了符が置かれるとき、**"ea"**、**"bb"**、**"cc"**、**"ff"**または**"gg"**に対する下がり縮約部を使用しない。

[例]

CliffSide (崖の側面)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
EggHead (知識人)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
MacEACHEN (マケッカン、人名)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
SeaWorld (シーワールド水族館)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊
TEAspoon (小さじ)	⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊⠠⠊

ea

- 10.6.7 文字列**"ea"**が単語の接頭辞とその後ろの文字にまたがるとき、**"ea"**に対する下がり縮約部を使用しない。

enceinte (フランス語で「妊娠している」)	⠠⠑⠏⠃⠊⠑⠏⠊⠑
engine (エンジン)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
Enid (イーニッド、人名)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
enormous (非常に大きな)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
equinox (昼夜平分時)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
faint (気絶する)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
feminine (女性の)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
goin' (出発、進捗、going の別表現)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
haven't (have not)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
henna (ヘナ、植物名)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
Inc. (法人組織の、incorporated)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
incline (傾斜)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
ingot (鋳塊)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
in's (内面)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
into (～の中に)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
maenad (メナード)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
Montenegro (モンテネグロ、国名)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
phoenix (フェニックス)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
p(en) (ペン)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
p(in) (～を固定する)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
prenatal (出産前の)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
queen (女王)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
renew (新しくする)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
self-induced (自ら招いた)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
shut-ins ((病気などのため) 外出できない人)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
within (～以内で)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
to-ing ("to-ing and fro-ing"で「行ったり来たり」)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
[ただし]	
Athens (アテネ、地名)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑
benign (温和な、良性の)	⠠⠑⠃⠊⠑⠏⠊⠑

bein' (存在すること、being の別表現) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

“bein” (「存在すること」、being の別表現) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

10.7 頭字縮約

④⑤の点

⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

upon (～の上に)

these (それらの)

those (あれらの)

whose (誰の)

word (単語)

④⑤⑥の点

⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

cannot (～できない)

had (have の過去・過去分詞形)

many (たくさんの)

spirit (精気、魂)

their (彼らの)

world (世界)

⑤の点

⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

day (日にち)

ever (かつて)

father (父)

here (ここ)

know (知る)

lord (支配者)

mother (母)

name (名前)

one (1 つの)

part (部分)

question (疑問)

right (右側、権利)

some (いくらか)

time (時間)

⠠⠨⠠	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠	under (～の下)
⠠⠨⠠	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠	young (若い)
⠠⠨⠠	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠	there (そこ)
⠠⠨⠠	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠	character (性格、特徴)
⠠⠨⠠	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠	through (～を通して)
⠠⠨⠠	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠	where (どこ)
⠠⠨⠠	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠	ought (～する義務がある)
⠠⠨⠠	⠠⠨⠠⠨⠠	work (仕事)

10.7.1 以下に挙げる特定の規定を除き、他の規則がその使用を制限しない限り、表す文字列が出てくる部分すべてに略語として頭字縮約を用いる。

[例]

foreword (前書き)	⠠⠨⠠⠨⠠
misworded (言い誤った)	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠
sword (剣)	⠠⠨⠠⠨⠠
word-for-word (逐語的な)	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠
Wordsworth (ワーズワス、人名)	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠
cannot (～できない)	⠠⠨⠠⠨⠠
Germany (ドイツ)	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠
many-sided (多面的な)	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠
dispirited (意気消沈した)	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠
spirits (精気、魂)	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠
spiritual (霊的な)	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠
theirs (彼らのもの)	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠
SeaWorld (シーワールド水族館)	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠
underworld (悪の世界、裏社会)	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠
world-wide (世界的な)	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠
worldly (この世の)	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠
day-by-day (日々の)	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠
Dayton (デイトン、人名)	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠
Friday (金曜日)	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠

aright (正しく) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

brighten (～を輝かせる) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

millwright (水車(風車)大工) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

right-handed (右利きの) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

righteous (もつともな) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

youngest (最年少者) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Youngstown (ヤングズタウン、地名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

characteristic (特徴的な) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

characterise (～を特徴付ける) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

throughout (一貫して) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

elsewhere (他の場所に) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

somewhere (どこか) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

whereby (それによって～する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

wherein (その場所で) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

drought (干ばつ) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

fought (戦った、fight の過去形) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Houghton (ホートン、人名・地名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

oughtn't (～するべきではない、ought not) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

thoughtful (思いやりのある) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

coworker (仕事仲間) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

fireworks (花火) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

stonework (石細工) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

unworkable (実行不可能な) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

workday (就業日) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

working (働くこと) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

[ただし]

Dayan (ダイヤン、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Sanday (サンデー、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

today (今日) ⠠⠠⠠⠠

Lucknow (ラクナウ、地名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

chlordan (クロルデン、有機塩素系殺虫剤の一種) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

chemotherapy (化学療法) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Parthenon (パルテノン神殿) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

where'er (どこへ～しても、wherever) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

wherever (どこへ～しても) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Dworkin (ドーキン、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

upon, these, those, whose, there

10.7.2 単語全体としての意味が保たれるとき、"**upon**"、"**these**"、"**those**"、"**whose**"または"**there**"に対する頭字縮約を用いる。

[例]

upon these shores (海岸で) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Whose are those? (あれらは誰のものですか?) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

hereupon (この直後に) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

whereupon (～するとすぐ) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

whosoever (～するのは誰でも、whosever の強調形) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

thereby (それによって、それに関して) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

therefore (それ故) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ therein (その中に) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

thereupon (その後すぐに、その結果) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

[ただし]

coupon (クーポン、優待券) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Dupont (デュポン、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

hypotheses (仮説、hypothesis の複数形) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Theseus (テーセウス、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

spathose (仏炎苞状の) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Thoseby (Thoseby 氏) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

bothered (心配そうな) ⠠⠋⠗⠔⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗

ethereal (極めて優美な、エーテルの) ⠠⠑⠞⠞⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗

isothere (等暑線) ⠠⠑⠎⠔⠞⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗

smithereens (粉々) ⠠⠎⠞⠑⠞⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗

Theresa (テレサ、人名) ⠠⠞⠑⠗⠑⠎⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗

withered (しぼんだ) ⠠⠞⠑⠞⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗

had

- 10.7.3 "a"が単音であるとき、他の規則がその使用を制限しない限り、"**had**"に対する頭字縮約を用いる。

[例]

Galahad (ガラハッド、人名) ⠠⠒⠕⠞⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗

haddock (鱈) ⠠⠞⠑⠞⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗

Haddon (ハットン、人名) ⠠⠞⠑⠞⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗

hadji (ハジ、イスラム教徒の称号) ⠠⠞⠑⠞⠑⠗⠑⠗⠑⠗

Hadley (ハドリー、人名) ⠠⠞⠑⠞⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗

hadn't (had not) ⠠⠞⠑⠞⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗

[ただし]

Chad (チャド、人名) ⠠⠞⠑⠞⠑⠗⠑⠗

Hades (ハデス、冥界の王) ⠠⠞⠑⠞⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗

Hadrian (ハドリアヌス、人名) ⠠⠞⠑⠞⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗

menhaden (メンハーデン、魚の一種) ⠠⠞⠑⠞⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗

shadow (影) ⠠⠞⠑⠞⠑⠗⠑⠗

Thaddeus (サディアス、人名) ⠠⠞⠑⠞⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗

ever

- 10.7.4 最初の"**e**"にアクセントが置かれ、"**e**"または"**i**"が先行しないとき、"**ever**"に対する頭字縮約を用いる。

[例]

asseverate (〜と断言する) ⠠⠞⠑⠞⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗

beverage (飲料) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Everest (エベレスト) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

everything (すべて) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

fever (発熱) ⠠⠠⠠⠠⠠

irreverence (不遜な) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

nevertheless (それでもなお) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

reverend (牧師) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

several (いくつかの) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Severn (セヴァーン、地名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Unilever (ユニリーバ、社名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

[ただし]

believer (信じる人) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

eversion (外転) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Guinevere (ギネヴィア、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

McKeever (マッキーバー、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Monteverdi (モンテベルディ、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

persevere (やり抜く) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

reverberate (反響する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

revere (あがめる) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

reverify (再検証する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

severity (厳しさ) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

thievery (窃盗) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

here, name

- 10.7.5 表す文字列がひとつの音節として発音されるとき、他の規則がその使用を制限しない限り、**"here"**または**"name"**に対する頭字縮約を用いる。

[例]

adhere (付着する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

atmosphere (雰囲気) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

cohere (結合する) ⠠⠠⠠⠠⠠
 herewith (同封して) ⠠⠠⠠⠠
 filename (ファイル名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 nameable (命名できる) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 renamed (改名された) ⠠⠠⠠⠠⠠
 surname (姓) ⠠⠠⠠⠠⠠
 [ただし]

adhered (付着した) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ bothered (心配そうな) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 coherence (一貫性) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 elsewhere (他の場所に) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 ethereal (極めて優美な、エーテルの) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 heredity (遺伝) ⠠⠠⠠⠠⠠
 Hereford (City) (ヘレフォード (市)、地名)
 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 enamel (エナメル状の) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 ornament (飾り) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 unamended (改正しない) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 Vietnamese (ベトナムの) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

one

- 10.7.6 表す文字列がひとつの音節として発音されるとき、または"**oney**"で終わる単語内にあるか"**honest**"、"**monetary**"及びその派生語内にあるとき、"**one**"に対する頭字縮約を用いる。しかしながら、文字列"**one**"の前に文字"**o**"が置かれる場合、または他の規則がその使用を制限するときには縮約を使用しない。

[例]

acetone (アセトン) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 atonement (罪滅ぼし) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 baloney (たわごと) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 bygone (過ぎ去ったこと) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

cone (円錐) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

demonetise ((貨幣などの) 通用を廃止する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

dishonesty (不正直) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

done (済んだ) ⠠⠠⠠⠠⠠

everyone (皆) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

honey (はちみつ) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Jones (ジョーンズ、人名・地名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

lonesome (心細い) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Mulroney (マルルーニー、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

one-sided (一方的な) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

oneness (単一性) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

phone (電話) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

scone (スコーン) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

stonework (石細工) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

stone (ストーン) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

[ただし]

anemone (アネモネ、植物の一種) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

baroness (男爵夫人) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

baronet (准男爵) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Boone (ブーン、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Cantonese (広東の) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

colonel (大佐) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Conestoga (幌馬車) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

crooner (クルーナー、あるタイプの歌手を指す言葉) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

cushioned (クッション性のある) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Donegal (ドニゴール) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

erroneous (誤りのある) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Hermione (ハーマイオニー、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Indonesia (インドネシア) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

krone (クローネ、通貨単位) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

time

- 10.7.8 表す文字列が単語"**time**"と同様に発音されるとき、"**time**"に対する頭字縮約を用いる。

[例]

daytime (日中) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ maritime (海の) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 mistimed ((生活の)リズムが乱れた) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 pastime (娯楽) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ sometimes (時々) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 springtime (春季) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 timeously (時宜にかなって) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 Timex (タイメックス、社名) ⠠⠠⠠⠠⠠
 untimely (時期の悪い) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

[ただし]

altimeter (高度計) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 centime (サンチーム、通貨単位) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 centimeter (センチメートル) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 Mortimer (モーティマー、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 multimedia (マルチメディア) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 sentiment (感情、感傷) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

under

- 10.7.9 表す文字列の前に母音"**a**"または"**o**"がある場合及び文字列"**un**"が接頭辞を形成する場合を除き、"**under**"に対する頭字縮約を用いる。

[例]

blunder (へまをする) ⠠⠠⠠⠠⠠
 misunderstand (誤解する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
 thundered (雷が鳴った) ⠠⠠⠠⠠⠠
 undergo (経験する、被る) ⠠⠠⠠⠠⠠
 underpaid (低賃金の) ⠠⠠⠠⠠⠠
 Wunderhorn (ドイツ語で「魔法の角笛」) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

[ただし]

flounder (もがく) ⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋ laundering (洗淨) ⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋⠠⠋

Saunders (サンダース、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

underived (他に由来したのではない、根本的な) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

underogatory (軽蔑的でない) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

10.8 末字縮約部

④⑥の点

⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	ound
⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	ance
⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	sion
⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	less
⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	ount

⑤⑥の点

⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	ence
⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠	ong
⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠	ful
⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	tion
⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	ness
⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	ment
⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠	ity

- 10.8.1 表す文字列が文字、縮約、修飾符または合字符の後に続くとき、他の規則がその使用を制限しない限り、末字縮約部を用いる。

[例]

amount (量) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠	baroness (男爵夫人) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
bastion (とりで) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	blessing (天の恵み) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
business (仕事の) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	cancel (取り消す) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
carefully (注意深く) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	
cement (セメント) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	cheerful (陽気な) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
chockfull (ぎっしり詰まった) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	

circuitry (迂遠)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
commencement (開始、学位授与式)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
comment (論評、コメント)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
confusion (混乱)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
country (国)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
county (群、州)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
creation (創造)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
dancer (舞踊家)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
deity (神)	⠠⠠⠠⠠⠠
Du Plessis (デュプレッシ、人名)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
experienced (熟達した)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
expressionless (無表情な)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
extramental (超精神的な)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
fences (垣根)	⠠⠠⠠⠠⠠
finesse (手腕)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
found (発見された)	⠠⠠⠠⠠
fractional (小部分の、分数の)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
Frances (フランシス、人名)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
governess (女性家庭教師)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
Guinness (ギネス、社名)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
incongruous (調和の取れていない)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
influenceable (作用しうる、影響しうる)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
lioness (雌ライオン)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
longevity (長寿)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
memento (記念品、形見)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
mongoose (マンガース)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
mountain (山)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠
noblesse (フランス語で「高貴の生まれ」)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
persuasion (説得すること)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
pity (憐れむ)	⠠⠠⠠⠠

pongee (絹紬)	⠠⠏⠗⠗⠠⠑⠑⠑	prong (刺す、突く)	⠠⠏⠗⠗⠠⠑⠑
rationally (理性的に)	⠠⠗⠁⠞⠊⠒⠁⠇⠇⠠⠑		
rotation (回転)	⠠⠗⠔⠗⠁⠞⠊⠒⠁⠇⠇⠠⠑		
Rountree (ラウンツリー、人名)	⠠⠗⠔⠗⠁⠞⠗⠑⠑		
séance (フランス語で「集まること、会合」)	⠠⠎⠑⠁⠗⠑⠒⠑		
silenced (静かになった、消音装置がついた)	⠠⠎⠊⠞⠇⠑⠒⠑⠇⠇		
sinfulness (罪深さ)	⠠⠎⠊⠒⠑⠞⠑⠒⠑⠇⠇		
Spencer (スペンサー、人名・地名)	⠠⠎⠑⠒⠑⠒		
sponge (スポンジ)	⠠⠎⠔⠗⠒⠑		
sound (音)	⠠⠎⠔⠗⠒⠑	sublessee (転借人)	⠠⠎⠔⠒⠑⠎⠑⠑
Tennessee (テネシー、人名・地名)	⠠⠞⠑⠒⠑⠎⠎⠑		
thence (そこから)	⠠⠞⠑⠒⠑	tongue (舌)	⠠⠞⠔⠒⠑
unfulfilled (満たされていない)	⠠⠔⠒⠑⠇⠇⠑⠒⠑⠇⠇		
unless (〜でない限り)	⠠⠔⠒⠑⠇⠇		
unlessoned (教育されていない)	⠠⠔⠒⠑⠇⠇⠑⠒⠑⠇⠇		
Wenceslaus (ヴァーツラフ、人名)	⠠⠞⠑⠒⠑⠎⠇⠔⠕⠎		
wounded (負傷した)	⠠⠞⠔⠒⠑⠇⠇		
[ただし]			
"alone"ness (孤独)	⠠⠞⠔⠒⠑⠇⠇⠑⠒⠑⠇⠇		
ancestor (祖先)	⠠⠞⠔⠒⠑⠇⠇		
channel-less (チャンネルレスの)	⠠⠞⠔⠒⠑⠇⠇		
congruous (適合する)	⠠⠞⠔⠒⠑⠇⠇		
electroencephalogram (脳波図)	⠠⠞⠔⠒⠑⠇⠇		
encephalitis (脳炎)	⠠⠞⠔⠒⠑⠇⠇		
fiancé (婚約中の男性)	⠠⠞⠔⠒⠑⠇⠇		
inessential (不必要な)	⠠⠞⠔⠒⠑⠇⠇		
lessee (貸借人)	⠠⠞⠔⠒⠑⠇⠇	moongod (月神)	⠠⠞⠔⠒⠑⠇⠇

⠠⠠⠠	after (～の後に)	⠠⠠⠠⠠	afternoon (午後)
⠠⠠⠠⠠	afterward (その後)	⠠⠠⠠	again (再び)
⠠⠠⠠⠠	against (～に反対して)	⠠⠠⠠	also (～もまた)
⠠⠠⠠⠠	almost (ほとんど)	⠠⠠⠠⠠	already (すでに)
⠠⠠⠠⠠	altogether (完全に)	⠠⠠⠠⠠	although (～だけれども)
⠠⠠⠠⠠	always (いつも)	⠠⠠⠠	blind (目よけ)
⠠⠠⠠⠠	braille (点字)		
⠠⠠⠠	could (～できた、～ということもありうる)		
⠠⠠⠠⠠	declare (宣言する)	⠠⠠⠠⠠⠠	declaring (～と宣言して)
⠠⠠⠠⠠	deceive (欺く)	⠠⠠⠠⠠⠠	deceiving (欺くこと)
⠠⠠⠠	either (どちらか)	⠠⠠⠠	friend (友達)
⠠⠠⠠	first (最初の)	⠠⠠⠠	good (良い)
⠠⠠⠠⠠	great (大きな、すばらしい)		
⠠⠠⠠	him (彼を)	⠠⠠⠠⠠	himself (彼自身)
⠠⠠⠠⠠	herself (彼女自身)		
⠠⠠⠠⠠	immediate (即時の)	⠠⠠⠠	little (わずか)
⠠⠠⠠	letter (文字、手紙)	⠠⠠⠠⠠	myself (自分自身)
⠠⠠⠠	much (たくさん)		
⠠⠠⠠	must (～しなければならない)		
⠠⠠⠠⠠	necessary (必要な)	⠠⠠⠠⠠	neither (どちらも～ない)
⠠⠠⠠	paid (支払い済みの)	⠠⠠⠠⠠⠠	perceive (～だと分かる)
⠠⠠⠠⠠⠠	perceiving (理解する)		
⠠⠠⠠⠠	perhaps (多分、もしかすると)		
⠠⠠⠠	quick (迅速な)	⠠⠠⠠⠠	receive (受け取る)
⠠⠠⠠⠠⠠	receiving (受け取ること)	⠠⠠⠠⠠	rejoice (喜ぶ)
⠠⠠⠠⠠⠠	rejoicing (喜ぶこと)	⠠⠠⠠	said (前述の、当該)
⠠⠠⠠	such (そのような)	⠠⠠⠠	today (今日)
⠠⠠⠠⠠	together (一緒に)	⠠⠠⠠	tomorrow (明日)
⠠⠠⠠	tonight (今夜)	⠠⠠⠠	itself (それ自身)
⠠⠠⠠	its (そのの)	⠠⠠⠠	your (あなたの)
⠠⠠⠠⠠	yourself (あなた自身)		
⠠⠠⠠⠠⠠	yourselves (あなたたち自身)		
⠠⠠⠠⠠⠠	themselves (彼ら自身)	⠠⠠⠠	children (子どもたち)
⠠⠠⠠	should (～すべきだ)	⠠⠠⠠⠠	thyself (汝自身)

●●●●	ourselves (私たち自身)	
●●	would (～だろう、～したいと思う)	
●●	because (なぜなら)	●● before (～の前に)
●●	behind (～の後ろに)	●● below (～の下に)
●●	beneath (～の真下に)	●● beside (～の側に)
●●	between (～の間)	●● beyond (～を越えて)
●●●	conceive (思いつく、抱く)	
●●●●	conceiving (思いつくこと、抱くこと)	
●●●	oneself (自分自身)	

単語としての短形語

10.9.1 表す単語が“単独”であるときは、意味や発音、及び通常の単語として用いられるか固有名詞として用いられるかに関わらず、短形語を用いる。

[参照] “単独”の定義については、第2.6節「用語と原則」を参照。

[例]

You should receive your letter tomorrow afternoon.

(あなたは明日の午後に手紙を受け取る必要がある。)

an about-face from the quick-witted go-between (機転の利く仲介者からの転換)

The figure consists of 10 small diagrams arranged horizontally, each showing a 2D lattice of points (black dots). The lattice starts as a small cluster of points on the left and grows into a larger, more complex shape on the right. The points are arranged in a grid-like pattern, with some points missing, creating a sparse, irregular structure. The diagrams show the progression of the lattice from left to right, with the points becoming more numerous and the shape becoming more complex.

"Good-bye, Miss Little-Smythe!"（「さようなら、リトルスミスさん！」）

(braille—first writing system for blind people)

(点字—視覚障害者に向けた最初の筆記システム)

According to him, *neither Little Rock, Much Hadham nor Port Said* would be much fun.

(彼によると、リトルロックもマッチ・ハダムもポートサイドも楽しそうじゃない。)

「ただし」

to-night (今夜) ⠠⠏⠤⠒⠊⠎⠗⠑⠒⠞⠊⠑

above/below (～の上に/～の下に) ⠠⠨⠶⠒⠠⠨⠮⠠⠨⠬⠠⠨⠸⠠⠨⠴⠠⠨⠢⠠⠨⠦⠠⠨⠤

PRINT/BRaille (墨字/点字)

friend@rogers.com

www.living.beyond.myself.org

長い単語の一部としての短形語

- 10.9.2 その単語が“単独”（アポストロフィーを伴う接辞を含む）であり、(a)別表 1 の短形語リストに掲載されている、または(b)規則 10.9.3 を満たすならば、長い単語の中に短形語を用いる。

[注] 規則 10.9.2 の単語には、通常の単語、固有名詞および造語が含まれている。

[例]

aboveground (地上の) ⠠⠨⠠⠮⠠⠷⠠⠳⠠⠎

belowdecks (船内に) ⠠⠋⠇⠗⠔⠏⠑⠎⠊⠝⠎ ⠠⠋⠒⠁⠍⠑⠊⠆⠗⠏⠑⠎⠊⠝⠎

Friendly Islands (フレンドリー諸島、地名) ⠠⠋⠊⠑⠏⠗⠊⠑⠇⠎⠍⠁⠝⠑⠐⠞⠊⠨⠒⠊⠑⠇⠎⠍⠁⠝⠑

godchildren (名付け子たち) ☉☉☉☉☉☉

goodafternoon (こんにちは、午後の挨拶) ☛ ☛ ☛ ☛ ☛

hereabouts (この辺に) ⠠⠫⠠⠊⠠⠋⠠⠊⠠⠋⠠⠊

lettermen (学生スポーツの優秀選手たち) ♂ ♀ ♂ ♀ ♂ ♀ ♂ ♀

Quicker Delivery (迅速な配達) 

repaid (返済した) ●● ●● ●● ●●

suchlike (そのような種類のもの) ⬤ ⬤ ⬤ ⬤ ⬤ ⬤

Our boyfriends mustn't miss tomorrow's afterdinner speaker!

(明日のアフターディナースピーカーは私たちのボーイフレンドに決まり！

(afterdinner speaker : 正式な晩餐の場において、食後にスピーチをする人のこと))

Mr Letterman could've quickly rebrailled the Aftercare Newsletter.

(レターマン氏ならアフターケア・ニュースレターを迅速に再点訳できたかもしれない。)

I am brailleing the newsletters' headlines.

(私はニュースレターの見出しを点訳しています。)

「ただし」

[以下の例では、表す単語が“単独”ではないため、短形語が用いられない。]

friend(s) (友達) 

littler (より小さい) ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●●
 ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●●

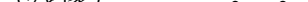
print/braille (墨字/点字)

unnecessary (不必要な)

www.afterschool.gov

[これらの単語は、別表1内のリスト作成規則の規則3～5に準じて、短形語リストに記載されていない。]

aftereffect (余波)

afterimage (残像) 

blinded (目がくらんだ) ⠠⠧⠁⠊⠑⠇⠏⠊⠎⠦ ⠠⠋⠊⠑⠗⠁⠍⠊⠝⠏

blinding (目をくらます) ⠨⠧⠁⠊⠇⠊⠩ ⠨⠭⠗⠁⠍⠎

befriended (友人になった) ⠠⠋⠊⠏⠗⠑⠎⠊⠇⠍⠑⠝⠞⠊⠃

friendly (友好的な、friendly の別表現) ⠠⠏⠗⠊⠑⠇⠋⠍⠑⠗⠎


abouts (～について、about の古い表現) ・ ・ ・ ・ ・

acrosses (～を横切って、across の複数形) ⠠⠨⠠⠎⠠⠗⠠⠎⠠⠎

again (再び、again の古い表現) ⠠⠶⠠⠮⠠⠊⠎

almosts (ほとんど、almost の複数形) ♂ ♀ ♂ ♀ ♂ ♀ ♂ ♀ ♂ ♀

hims (彼の、him の複数形) ⠠⠏⠢⠎ ⠠⠏⠢⠎

hereinbefore (以上に、前述に) 

hereinbelow (以下に、後述に)

inbetween (中間の)

misconceived (見当違いの) 

[これらの単語は短形語リストに記載されておらず、規則 10.9.3 に則り、これらが含む短形語の使用は認められない。]

"couldx"

Himalayas (ヒマラヤ山脈)

Suchet (シュシエ、人名)

[illegible]

短形語リストにない単語

10.9.3 短形語リストに記載のない長い単語内には、その単語が“単独”（アポストフィーを伴う接辞を含む）であり、短形語の制約事項をすべて満たすならば、以下に挙げる 10 個の短形語のいずれかを用いる。

(a) **"braille"**または**"great"**: どこにあっても短形語を用いる。

(b) **"children"**: 後ろに母音または**"v"**が続かない場合、短形語を用いる。

(c) "**blind**"、"**first**"、"**friend**"、"**good**"、"**letter**"、"**little**"または"**quick**": 語頭にあり、後ろに母音または"**v**"が続かない場合、短形語を用いる。

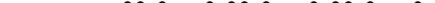
〔例〕

Braille board (点字表示ボード)


Marcillat-en-Combraille, France

(マルシラ=アン=コンブライユ, フランス、地名)

Greatford Hall (グレートフォードホール、施設名)


greatgreatgreatgrandchildren (来孫たち) 

Greatorrex (グレーターエックス、人名)

Blindcraft (ブラインドクラフト、社名) 

Blindheim (ブリントハイム、地名) ⠠⠧⠗⠊⠇⠏⠃⠊⠞⠊⠮⠤⠁⠊⠮⠄

Firstbank（ファーストバンク、社名）

Firstchoice (第一志望) 

"goodz"（「商品」、goods の別表現）

Mr Feelgreat from Goodge Street

(グージ・ストリート出身のフィールグレート氏)

The figure consists of 10 sub-diagrams arranged horizontally, each showing a 5x5 grid of dots. Black dots represent the presence of a certain state at a specific location and time. The sequence shows a pattern that starts as a small cluster of dots on the left and grows and moves towards the right as the time step increases from 1 to 10.

Ms Letterkenny's Littleport home. (レターケニーさんのリトルポートの家)

Figure 1 shows four 5x5 dot patterns. Pattern (a) has 10 dots. Pattern (b) has 14 dots. Pattern (c) has 16 dots. Pattern (d) has 18 dots.

Quicksburg, Virginia (クイックスバーグ, バージニア、地名)

「ただし」


Blindoc（視覚障害者のリハビリと雇用に関する情報サービス）

• • • • •

www.braillex.com

Firstamerica (ファーストアメリカ、社名)

Goodacre (グッドエーカー、人名) ⠒⠐⠑⠗⠃⠊⠑⠗⠏⠁⠎⠑⠗⠑⠝⠑

Littlearm (リトルアーム、ロボットアームの名称) 

Letterewe Estate (スコットランドに位置する広大な地所の名称)

Mr Linkletter of Portlittle (ポートルトルのリンクレター氏)

Bisquick Pancake Mix (ビスクイック・パンケーキ・ミックス、商品名)

Ted Makegood of Goodena (Goodena の Ted Makegood 氏)

The figure consists of 10 sub-diagrams, each showing a 10x10 grid of dots. Black dots represent the 'on' state of a cell, while white dots represent the 'off' state. The sequence shows a pattern that starts as a small cluster of 5 dots in the bottom-left corner (Diagram 1) and grows into a complex, fractal-like structure that fills a significant portion of the grid by Diagram 10. The growth is non-linear and exhibits self-similar properties.


短形語との混同を防ぐ

〔注〕“単独”である文字列が短形語または短形語を含むと誤読される場合は、混同を防ぐため以下の規則のうち最も適するものを用いる。

10.9.4 短形語の一部を形成する縮約部を使用しない。

〔例〕

Herf gun (ハーフ・ガン) [高エネルギー無線周波]

"mst" files (“mst” のファイル) 

SOMESCH RIVER (ソメシュ川)

「ただし」

www.sch.edu.au

「シドニーの子ども病院のウェブサイト」

10.9.5 短形語と誤読される文字列が“単独”であるとき、または長い文字列の始めに出てくるとき、グレード1記号指示符を前置する。

[例]

ab initio (ラテン語で「最初から」)

et al- (及びその他)

Al-Azar (スペイン語で「当てもなく」)

Alt: 3000 ft. (高度: 3000 フィート)

"Hm, would Al like this CD?" ("うーん、アルはこの CD が好きだろうか?")

The figure consists of seven 10x10 dot grids arranged horizontally. Each grid contains a pattern of black dots. The pattern starts in the first grid as a small cluster of dots and grows progressively in each subsequent grid, eventually filling a large portion of the grid by the seventh step.

Grtsamada ⠠⠒⠑⠎⠁⠇⠊⠗⠏⠞⠊⠃⠊⠑⠝⠊⠑⠗⠐⠖⠕⠗⠍⠁⠎⠊ [ベーダの詩人]

BLCUP  [北京語言大学出版社]

spelled "ei" or "ie"? (綴りは"ei"または"ie"ですか?)

gd lnc. TM sd yu shd meet me b4 yr mtg 2 read lr. wl b qk. l8r.

The figure consists of eight 5x5 dot patterns arranged horizontally. Each pattern is a 5x5 grid of dots. The patterns show a progression from a single dot in the center to a complex, fractal-like structure with multiple clusters of dots.

[文字通信]

10.9.6 ある長い配列の語頭以降に短形語として誤読される文字列があるとき、グレード 1 ワード指示符を前置する。その長い配列内に他の縮約を用いることはできない。

〔例〕

Dobrljin 「ボスニア・ヘルツェゴビナにある街」

Ozbrl 「オーストラリアのメールアドレスリストの名称」

10.10 優先

- 10.10.1 縮約部の使用において複数の選択肢がある場合、他の規則が適用されない限り、以下の原則に基づいて選択する。
- 10.10.2 単語が占めるマス数がより少なくなる縮約部を優先する。

[例]

advanced (進んだ) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ aright (正しく) ⠠⠠⠠

bastion (とりで) ⠠⠠⠠⠠ coherence (一貫性) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Congo (コンゴ民主共和国) ⠠⠠⠠⠠⠠

congratulate (祝う) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

congruity (適合) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ dancer (舞踊家) ⠠⠠⠠⠠⠠

dispirited (意気消沈した) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

distinct (明らかな) ⠠⠠⠠⠠⠠

disturbed (取り乱して) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

happiness (幸福) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

meander (曲がりくねった道) ⠠⠠⠠⠠⠠

named (指名された、名付けられた) ⠠⠠⠠⠠

oneness (単一性) ⠠⠠⠠⠠ thence (そこから) ⠠⠠⠠⠠

timer (タイマー) ⠠⠠⠠⠠ vengeance (仕返し) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

wither (しぼむ) ⠠⠠⠠

[ただし]

captainess (女船長) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

- 10.10.3 マス数が増えないならば、強縮約を優先する。

[例]

afford (～する余裕がある) ⠠⠠⠠⠠⠠

bathed (～を浴びた) ⠠⠠⠠⠠

calisthenics (健康体操) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

coffee (コーヒー) ⠠⠠⠠⠠⠠ effort (努力) ⠠⠠⠠⠠⠠

gathered (集まった) ●● ●● ●● ●● ●●
 ●● ●● ●● ●● ●●[illegible]

offer (申し出る) ●●●●●●●●●●

office (事務所) ●●●●●●●● other (その他の) ●●●●●●●●

Parthenon (パルテノン神殿)

proffer (～を差し出す) ●● ●● ●● ●● ●●

slithered (ずるずる滑った) ●●●●●●●●

theatre (劇場) then (その時)

weathered (風雨にさらされた) ●●●●

「ただし」

thence (そこから) ●● :: ●●

10.10.4 表す文字列がある単語の最初の音節を形成するとき、他の縮約部よりも**"be"**、**"con"**または**"dis"**に対する下がり縮約部を優先的に用いる。


[例]

beatitude (至福) ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊ ㇋ ㇌ ㇍ ㇎ ㇏ ㇐ ㇑ ㇒ ㇓ ㇔ ㇕ ㇖ ㇗ ㇘ ㇙ ㇚ ㇛ ㇜ ㇝ ㇞ ㇟ ㇠ ㇡ ㇢ ㇣ ㇤ ㇥ ㇦ ㇧ ㇨ ㇩ ㇪ ㇫ ㇬ ㇭ ㇮ ㇯ ㇰ ㇱ ㇲ ㇳ ㇴ ㇵ ㇶ ㇷ ㇸ ㇹ ㇺ ㇻ ㇼ ㇽ ㇾ ㇿ ㈀ ㈁ ㈂ ㈃ ㈄ ㈅ ㈆ ㈇ ㈈ ㈉ ㈊ ㈋ ㈌ ㈍ ㈎ ㈏ ㈐ ㈑ ㈒ ㈓ ㈔ ㈕ ㈖ ㈗ ㈘ ㈙ ㈚ ㈛ ㈜ ㈝ ㈞ ㈟ ㈠ ㈡ ㈢ ㈣ ㈤ ㈦ ㈧ ㈨ ㈩ ㈪ ㈫ ㈬ ㈭ ㈮ ㈯ ㈰ ㈱ ㈲ ㈳ ㈴ ㈵ ㈶ ㈷ ㈸ ㈹ ㈺ ㈻ ㈼ ㈽ ㈾ ㈿ ㉀ ㉁ ㉂ ㉃ ㉄ ㉅ ㉆ ㉇ ㉈ ㉉ ㊀ ㊁ ㊂ ㊃ ㊄ ㊅ ㊆ ㊇ ㊈ ㊉ ㊐ ㊑ ㊒ ㊓ ㊔ ㊕ ㊖ ㊗ ㊘ ㊙ ㊚ ㊛ ㊜ ㊝ ㊞ ㊟ ㊠ ㊡ ㊢ ㊣ ㊤ ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁

Beatrix (ベアトリクス、人名) 

bedraggled (引きずって汚れた、みすぼらしい) ⠠⠋⠊⠇⠗⠑⠝⠏⠞⠊⠎

benevolence (博愛) ☰ ☷ ☵ ☴ ☳ ☲

benighted (未開の) 

benign (温和な、良性の) ⠠⠋⠊⠒⠏ ⠠⠋⠊⠒⠏ ⠠⠋⠊⠒⠏ ⠠⠋⠊⠒⠏ ⠠⠋⠊⠒⠏

berated (ひどく叱りつけた) 

congee (粥) ☉ ☿ ☽ ☼ congenial (心地がよい) ☉ ☿ ☽ ☼

dishonesty (不正直) distance (距離)

「ただし」

beach (海辺) ●: ●: ●:
 ●: ●: ●:
 ●: ●: ●:

beautiful (美しい) ●●●●●●●●

bed (ベッド) ●● ●●
 ●● ●●

benefit (利益) ●●●●●●

benzene (ベンゼン)  berth (寝台) 

dish (皿) ⠠⠠⠠⠠⠠

dishevelled (乱れた、だらしない) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

10.10.5 上記 10.10.4 は例外として、下がり縮約部よりも強縮約部を優先的に用いる。

[例]

bacchanal (どんちゃん騒ぎ) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ bear (クマ) ⠠⠠⠠⠠

fear (恐れる) ⠠⠠⠠⠠ heart (心臓、気持ち) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

nearly (ほぼ) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ nuclear (原子核の) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

saccharine (サッカリン) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ sting (刺す) ⠠⠠⠠⠠

[ただし]

egghead (知識人) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

10.10.6 文字列"encea"、"enced"及び"encer"内の"ence"には末字縮約部を用いる。

[例]

Clemenceau (クレマンソー、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

commenced (開始された) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

experienced (熟達した) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

influenceable (作用しうる、影響しうる) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

silenceable (静粛でありうる) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

silencer (消音装置) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Spencer (スペンサー、人名・地名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

10.10.7 上記第 10.10.6 節は例外として、マス数が増えないならば、頭字縮約および末字縮約部よりも強縮約部と下がり縮約部を優先的に用いる。[スペースの節約はこの規則に優先する。]

[例]

adhered (付着した) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

adherent (追従者、支持者) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

adherer (信奉者) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ cohered (結合した) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

blowhard (自慢屋)	⠠⠃⠗⠔⠋⠗⠃
bottleneck (瓶首、交通の難所)	⠠⠃⠔⠒⠒⠑⠎⠑⠎⠑⠎
carthorse (荷馬車馬)	⠠⠕⠕⠗⠎⠑⠎⠑
cowherd (牛飼い)	⠠⠕⠑⠋⠑⠗⠃
dumbbell (ダンベル)	⠠⠔⠗⠑⠃⠃
egghead (知識人)	⠠⠑⠎⠑⠃
fathead (愚か者)	⠠⠑⠕⠒⠑⠃
flearidden (ノミだらけの)	⠠⠑⠒⠑⠗⠑⠒⠑⠒⠑⠒
grasshopper (キリギリス、バッタなどの総称)	⠠⠑⠗⠒⠑⠎⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
hideaway (隠れ家)	⠠⠋⠑⠒⠑⠑⠑
indiarubber (消しゴム)	⠠⠑⠒⠑⠑⠑⠑⠑
insofar (～する限りにおいて)	⠠⠑⠒⠑⠑⠑⠑
Jamestown (ジェームズタウン、地名)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
kettledrum (ケトルドラム、楽器名)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
longhand (手書き)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑
northeast (北東)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑
painstaking (骨が折れる、つらい)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
photoflash (写真撮影用フラッシュ)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
pineapple (パイナップル)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
rawhide ((牛などの)生皮)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
Southend (サウスエンド、地名)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
stateroom (個室、特別室)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
storeroom (貯蔵室、物置)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
stronghold (要塞)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
sweetheart (恋人)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
tearoom (喫茶店)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
toenail (足爪)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
wiseacre (賢人ぶる人)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑

有気音の"h"

- 10.11.2 "h"が有気音であるとき、"ch"、"gh"、"sh"、"th"、"wh"に対する強縮約部または"the"に対する強縮約を使用しない。

[例]

Cunnnyngham (カニンガム、人名) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

knighthood (騎士道) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

mishandle (～の取り扱いを誤る) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

mishap (不運、災難) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

mishear (聞き違える) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

Newhaven (ニューヘブン、地名) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

shanghaied (『チャップリンの船乗り生活』映画名) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

Sontheim (ゾントハイム、地名) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

stronghold (要塞) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

[ただし]

Brigham (ブリガム、人名) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

Chatham (チャタム、地名) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

Higham (ハイアム) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

接頭辞

- 10.11.3 表す文字列がある単語の最初の音節を形成するとき、"be"、"con"または"dis"に対する下がり縮約部を用いる。

[例]

bedazzle (幻惑させる) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

bedevil (悩ませる、イライラさせる) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

benighted (未開の) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

benumb (無感覚にする、麻痺させる) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

berate (ひどく叱りつける) ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: ::::: :::::

bereave (奪い去る) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

congeal (凍る、凝結する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

congruent (適合する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

disharmony (不協和音) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

dishonest (不正直) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

- 10.11.4 文字列"ea"が単語の接頭辞と残りの文字にまたがるとき、"ea"に対する下がり縮約部を使用しない。

[例]

preamplifier (プリアンプ、前置増幅器) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

readjust (再調整する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

reappoint (再任する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

reassure (安心させる) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

- 10.11.5 上記第 10.11.3 節及び第 10.11.4 節は例外として、その使用が意味の理解または発音を妨げない限り、一般に、接頭辞と単語の残りにまたがる縮約部を用いる。特に、縮約部"ed"、"en"、"er"、"of"及び"st"を用いる。

[例]

abbreviate (略称) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

accent (アクセント、強勢) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

affect (～に作用する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

aggressive (攻撃的な) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

aqueduct (送水路) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

arise (起こる) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Benedict (ベネディクト、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

deduce (～を推定する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

denominate (～に命名する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠


denote (～を意味する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠


denouement (フランス語で「結末」) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

denounce (非難する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

derail (脱線する)	⠠⠑⠗⠁⠊⠇
deregister (～の登録を抹消する)	⠠⠑⠗⠑⠗⠊⠑⠗
derivable (導き出せる)	⠠⠑⠗⠊⠑⠗⠊⠑⠗
derogatory (軽蔑的な)	⠠⠑⠗⠑⠗⠊⠑⠗⠊⠑⠗
edacious (大食の)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
edict (布告、命令)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
edition (版)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑
educate (引き出す、～と推論する)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑
effaceable (消すことができる)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
effect (効果、影響)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑
enormous (非常に大きな)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
enounce (明瞭に発音する)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
enumerate (列挙する)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
erase (消去する)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑
erosion (浸食)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑
froward (偏屈な)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
irredentist (領土回復主義者)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
malediction (呪い)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
mistake (過ち)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
mistrust (不信)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
multinomial (多項式)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
pandemonium (悪魔の巣窟、地獄)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
perinatal (周産期の)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
predate (～以前に遡る)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
predecease ((ある人よりも)先に死ぬこと)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
predecessor (前任者)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
predestine (運命づける)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
predicament (苦境)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
prediction (予言、予測)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
predominate (優位に立つ)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
prerequisite (必要条件)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑

prerogative (特権、優位性)	⠠⠏⠗⠑⠗⠔⠗⠔⠊⠑⠗⠑⠗⠁⠂⠊⠑
profanity (不敬、口汚い罵り)	⠠⠏⠗⠔⠑⠕⠋⠁⠑⠂⠊⠑
professor (教授)	⠠⠏⠗⠔⠑⠑⠎⠔⠕⠗
profile (横顔、外形)	⠠⠏⠗⠔⠑⠕⠗⠊⠑
profoundly (心から)	⠠⠏⠗⠔⠑⠕⠑⠑⠑⠑⠑
profusion (豊富にあること)	⠠⠏⠗⠔⠑⠕⠑⠑⠕⠑⠑⠑
redact ((原稿を) 編集する)	⠠⠗⠑⠔⠑⠁⠕⠕⠑
rededicate (～を再び奉納する)	⠠⠗⠑⠔⠑⠔⠑⠕⠕⠑⠕⠑
redeemable (買い戻し可能な)	⠠⠗⠑⠔⠑⠑⠑⠑⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑
redouble (倍加する)	⠠⠗⠑⠔⠑⠔⠑⠕⠑
renege ((約束などを) 破る)	⠠⠗⠑⠑⠑⠑
renegotiate (再交渉する)	⠠⠗⠑⠑⠔⠑⠕⠑⠕⠑⠑⠑⠑⠑
renewable (再生可能な)	⠠⠗⠑⠑⠑⠑⠕⠑⠑⠑⠑⠑
renumber (～の番号を付け直す)	⠠⠗⠑⠑⠑⠑⠕⠑⠑⠑⠑⠑
reread (～を再読する)	⠠⠗⠑⠗⠑⠔⠑⠕⠑
sedate (落ち着いた、物静かな)	⠠⠑⠑⠔⠑⠕⠑
Vandyke (ヴァンダイク、人名)	⠠⠑⠕⠑⠔⠑⠕⠑⠑⠑⠑
[ただし]	
aerofoil (エアロfoil)	⠠⠁⠑⠗⠔⠑⠔⠑⠕⠕⠑
antitype (対型)	⠠⠁⠑⠕⠕⠕⠑⠑
biofeedback (生体自己制御)	⠠⠑⠒⠔⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
centimeter (センチメートル)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
cofounder (共同創立者)	⠠⠑⠔⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
disulphide (二硫化物)	⠠⠔⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
filofax (システム手帳)	⠠⠑⠒⠔⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
gasometer (ガスタンク)	⠠⠑⠁⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑
inessential (不必要な)	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑

infrared (赤外線の) 

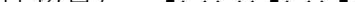
kilowatt (キロワット) 


The Braille representation of 'kilowatt (キロワット)' is shown. It consists of the Braille characters for 'キロ' (kilo) and 'ワット' (watt), followed by the Japanese text '(キロワット)' in parentheses.


[illegible]

prounion (組合びいきの) ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●●

retroflex (反転音) ⠠⠗⠑⠞⠗⠔⠋⠠⠋⠗⠗⠑⠎

riboflavin (リボフラビン、生理活性物質) 

styrofoam (発砲スチレン) 

subbasement (地下2階) 

☐ unamended (改正しない) ●●●●

[illegible]


10.11.6 接頭辞の添加またはハイフンで結ばれていない複合語の形成により元の単語で使用されていない縮約部を使用する機会が生じるとき、それが元の単語の通常の点字形態を変化させるとしても縮約部を用いる。しかしながら、その使用が単語の発音または意味の理解を妨げる場合は、縮約部を使用しない。

〔例〕

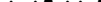
anteater (アリクイ) ⠏⠗⠑⠃⠊⠎⠇⠝⠞⠆

contradistinction (对比) ⠠⠨⠊⠒⠁⠎⠞⠊⠑⠇⠊⠗⠏⠋⠽⠊⠝⠑

disease (病氣) 病氣

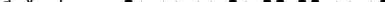
extramental (超精神的な) 

heartsease ((心の)平安)

incongruity (不一致) 

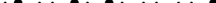

incongruous (調和の取れていない)

indistinct (不明瞭な) ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠

indistinguishable (区別がつかない) 

motheaten (虫食いの) ●●●●●●●●

northeast (北東) ⠠⠨⠠⠢⠠⠠⠠⠠⠠⠠

redistribution (再分配) speakeasy (もぐり酒場) 

freedom (自由)	⠠⠋⠠⠊⠠⠋⠠⠊⠠⠋⠠⠊⠠⠋	genealogy (系図)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
governess (女性家庭教師)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
Higham (ハイアム、人名)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
imagery (比喩、画像)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
laureate (受賞者)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
likeable (感じのいい)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
lineage (血統)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
lineal (直系の)	⠠⠠⠠⠠⠠	lioness (雌ライオン)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
midwifery (助産術)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
mileage (マイル距離)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
noticeable (顕著な)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
oleaginous (油性の)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
orangery (オレンジ栽培温室)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
peaceable (平和的な)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
permeable (透過性の)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
permeate (～に広がる)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
popedom (教皇の職)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
rateable (評価できる、比例した)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
savagery (残忍)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
venereal (性感染症の)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
[ただし]			
biscuity (ビスケットのような)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
chieftainess (女首領)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
Chisholm (チザム、人名)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
citizeness (市民、citizen の女性形)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
fruity (果物のよう)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		
orangeade (オレンジエード、飲料の名称)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠		

rabbity (ウサギのような) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

twofold (二つ折りの) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

- 10.11.8 その単語に接尾辞が加えられているとき、またはそれがハイフンで結ばれていない複合語の最初の語であるとき、単語の終わりの"ea"、"bb"、"cc"、"ff"または"gg"に対する下がり縮約部を用いる。

[例]

areaway (エリアウェイ、地下勝手口) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

ebbing (引いている) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

eggplant (ナス) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ideas (考え方) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

seaman (船員) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ seashore (海岸) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

stiffly (堅く) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ teatime (お茶の時間) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

二重母音

- 10.11.9 一般に、二重母音が合字として書き表されていない限り、二重母音と隣接する文字にまたがる縮約部を用いる。

[例]

aerial (大気の) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ aerobic (有酸素の) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Baedeker (ベデカー、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Betws-y-Coed (ベトウス・ア・コーエド、地名)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Blaenau Ffestiniog (ブライナイ・フェスティニオグ、地名)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Caernarvon (カーナーボン、地名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Daedalus (ダイダロス、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

diaeresis ((音節の)分切) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

encyclopaedia (百科事典) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

faerie (妖精の国) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Goering (ゲーリング、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

EST ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [Eastern Standard Time] [東部標準時]

TEN/gh ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [手紙の終わりに綴るイニシャル]

ChE ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [Chemical Engineer] [科学エンジニア]

MCh ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [Master of Surgery, from "Chirurgiae"] [外科学修士、ラテン語で外科を意味する"Chirurgiae"から]

POW ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [prisoner of war] [戦争捕虜]

10.12.2 規則第 10.12.1 節で規定される場合を除き、第 10.1 節から第 10.11 節の条件はもちろん、第 5.7.1 節及び第 5.7.2 節「グレード 1 モード」の条件にも従い、略称と頭文字内に縮約を用いる。

[例]

アルファベット縮約語；詳細については、第 5.7.1 節及び第 10.1 節を参照

S. Da. ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

N S (国家規格(National Standard)) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Xft. (10 フィート) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

G.B.S. (グローバルビジネスサービス(Global Business Services))

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

C. P. E. Bach (カール・フィリップ・エマヌエル・バッハ)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

J-P. Sartre (ジャン＝ポール・サルトル) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

V & A (ヴィクトリア&アルバート博物館) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠

p. 15 (15 ページ) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

c 1600 (1600 年頃) ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

7 L (7 リットル) ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

3 N m ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ [3 ニュートンメートル]

Macbeth V i 8 or V.i.8

(マクベス第 5 幕第 1 場 8 ページまたは第 5 幕、第 1 場、8 ページ)


⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

U. of K. (ハルツーム大学(University of Khartoum)) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠



Can ⠠⠠⠠⠠ [Canada] [カナダ] It. ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [Italian] [イタリアの]

強縮約；詳細については、第 10.3 節を参照

FORTRAN (フォートラン、プログラミング言語の一種)

AFofL (アメリカ労働総同盟) 

prof (教授、professor) ●● ●● ●●
 ●● ●● ●●

CANDU reactor (CANDU 炉)  

「カナダ重水素ウラン」

強縮約部；詳細については、第 10.4 節を参照：

ch.7 (第7章、7チャンネル) ●●●●

[illegible]

par3 (パースリー、par はゴルフの基準打数) ♣ ♣ ♣ ♣

4-Hers (4H クラブ(農業青年クラブ)加入者たち)

qwerty (クワーティ、キーボードのアルファベット配列) 

radar (レーダー) ●● ●● ●● ●●
●● ●● ●● ●●
●● ●● ●● ●●

BEd (教育学士号(Bachelor of Education))

ed. (編者、版) NOW (今)

Ariz (アリゾナ州、Arizona) 

BCer (ブリティッシュ・コロンビア州の)

St (土曜日、Saturday) 

St. (聖、聖人(Saint)を意味する接頭語) ☉☉☉☉

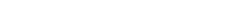
CHUM Radio (カナダのラジオ局)

START ⚬⚬⚬⚬⚬⚬⚬⚬ [Strategic Arms Reduction Treaty]
 [第一次戦略兵器削減条約]

Sh\$40 [40 Shanghai dollars] [40 上海ドル]

下がり縮約語；詳細については、第 10.5 節を参照：

1 in. (1 インチ) ⠠⠨⠊⠎⠒⠑⠶ ⠠⠨⠊⠎⠒⠑⠶

9-in dia. (直径 9 インチ) 

下がり縮約部；詳細については、第 10.6 節を参照：

Belg. (ベルギー) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ cont. (続きの) ⠠⠠⠠⠠

Dist. (区域) ⠠⠠⠠⠠⠠

nem. con. (全会一致で、ラテン語”nemine contradicente”に由来)

⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠

ASEAN (東南アジア諸国連合) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

SEATO (東南アジア条約機構) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

7 ins (7 インチ) ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ 7ins (7 インチ) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Inc. (法人組織の、incorporated の略語) ⠠⠠⠠⠠⠠

Gov. Gen. (Governor General の略語、総督) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠

Minn. (ミネソタ州) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

MiniPC (小型パソコン) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

MInstP ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [英国物理学会の会員]

INXS ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [ロックバンド “インエクセス”]

1-800-INFO (通話料無料の電話番号案内) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

短形語；詳細については、第 5.7.2 節及び第 10.9 節を参照：

CD (compact disc) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

FRS (フォーバル・リアルストリート、社名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

3 yrs 6 mths (3 年 6 カ月) ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠

コンピューター文書

- 10.12.3 メールアドレス、ウェブサイト、URL 及びファイル名のようなコンピューター文書が標準の文章に埋め込まれているとき、縮約を用いる。すぐ近くのプログラムからの抜粋はもちろん、別々の行に表示されるコンピューター・プログラム・コードのようなコンピューター文書には非縮約点字を用いる。

[参照] 『技術文書』の第 11.10.2 節を参照。

[例]

[これらの例は標準の文章内にあるものと仮定する。]

braille_it_better@learn.org

children-do-great@teach.net

[illegible]

world@large.com

www.rubberchicken.com/menus

www.one.in.a.hundred.org

<http://www.99chances.com>

c:\brailledocuments\letters.txt

[illegible]

c:\contractions\wordsigns.doc

c:\InfoForSteven\PhoneNumbers.xls

[illegible]

c:\ideas\child-of-the-sea.doc

c:\poem ideas\my child's smile.doc

c:\2010DIARY\March.txt

方言

- 10.12.4 方言の言葉については、第 10.1 節から第 10.11 節の縮約の規則で示された通りとする。

[例]

coulda (～したかもしれない) ⠠⠠⠠⠠ [could have の別表現]

mebbe (もしかすると) ⠠⠠⠠⠠⠠ [maybe の別表現]

th' ⠠⠠⠠⠠ [the の別表現]

pinny (ペニー) ⠠⠠⠠⠠⠠ [通貨単位 penny の別表現]

depity (代理) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [deputy の別表現]

your (あなたは) ⠠⠠⠠ [you're の別表現]

wher (どこ) ⠠⠠⠠ [where の別表現]

somers (どこか) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [somewhere の別表現]

theirselves (彼ら自身) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [themselves の別表現]

dint ⠠⠠⠠⠠ [didn't の別表現]

bofe (どちらも) ⠠⠠⠠⠠ [both の別表現]

'stracted (注意散漫な) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [distracted の別表現]

fayther (父) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [father の別表現]

distruction (破壊すること) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [destruction の別表現]

fer (～に) ⠠⠠⠠ [for の別表現]

musta (必需品) ⠠⠠⠠⠠ [must have の別表現]

goodun (良いもの) ⠠⠠⠠⠠⠠ [good one の別表現]

lyedee (女性) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [lady の別表現]

com'ere (ここに来てください) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [come here の別表現]

単語の一部分

- 10.12.5 単語の一部分については、墨字及び第 10.1 節から第 10.11 節の縮約の規則で示された通りとする。

[例]

th- ⠠⠠⠠⠠

say pl... ((pl 以下と)言う) ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Tell me wh-. ((wh-以下について)私に教えてください。)

tion	ccio
ean	ence
ing	ount
in	est
ed	ar
ar-	be-
-es	-s
~s	

発音または分節が不明なときのガイドライン

10.12.6 いくつかの縮約の規則は単語の発音や分節に基づいている。優先規則では、「単語の認識を妨げる」とときには縮約を用いることができないと定めている。

第 10.10.8 節及び第 10.10.9 節（優先規則）において、単語の発音について言及している。

これらの規則は、点訳者や校正者がその単語を熟知しているとき、その単語に関する必要な情報が文章それ自体から得られるとき、または辞書や点字語リストなどの手元の参考資料からすぐに入手できるときに適用されるもっともよい事例を示している。

[例]

Bighorn (ビッグホーン、地名)	
chemotherapy (化学療法)	
Hades (ハデス、冥界の王)	
Hermione (ハーマイオニー、人名)	
Mortimer (モーティマー、人名)	
Newhaven (ニューヘブン、地名)	
OED [Oxford English Dictionary] [オックスフォード英語大辞典]	
Stalingrad (スターリングラード、地名)	
US [United States] [アメリカ合衆国]	
Vietnamese (ベトナムの)	

- 10.12.7 その単語がよく知らないものであるとき、及びその発音や分節が不明かつ確定が難しいとき、点訳者や校正者の最良の判断に基づく縮約の使用が容認される。点訳ソフトウェアが用いられるときは、その縮約使用法に従うことができる。

[例]

Berea (ベレヤ、地名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [または] ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Ione (イオネ、地名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [または] ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Simone (シモーネ、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [または] ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Townshend (タウンゼンド、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

[または] ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Twillingate (トゥイリンゲート、地名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

[または] ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

- 10.12.8 不明な発音や分節に関してのガイドラインは、特に固有名詞、略称、頭文字、（空想科学小説に見られるような）造語及び英語化された外来語に適用される。
- 10.12.9 すべての場合において、点訳内での一貫性が求められる。
- 10.12.10 不明な発音及び分節に関するこれらのガイドラインは、ある特定の単語が点訳ごとに異なる形で縮約される結果をもたらす可能性がある。

舌足らずな語

- 10.12.11 単語の舌足らずな語については、第 10.1 節から第 10.11 節の基本的な縮約規則で示された通りとする。

[例]

thecond thentury ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

[second century (第 2 世紀)]

thenotaph (記念碑) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [cenotaph の幼児性発音]

sisther or thithter (姉妹) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

[sister の幼児性発音]

thuthpenthe (サスペンス) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ [suspense の幼児性発音]

語中の句読符と指示符

- 10.12.12 句読符、指示符または終了符がある単語中に出てくるときは、墨字及び第 10.1 節から第 10.11 節の基本的な縮約の規則で示された通りとする。

[例]

knowledge (知識) ⠠⠎⠗⠔⠞⠇⠑⠠⠓⠁⠊⠑⠞⠗⠑

"just"ice (正義) ⠠⠵⠠⠗⠊⠍⠎⠞⠊⠑⠠⠊⠑⠞⠗⠑

rather (～よりむしろ) ⠠⠗⠁⠞⠗⠊⠞⠑⠠⠞⠊⠞⠑⠠⠞⠊⠞⠑⠠⠞⠊⠞⠑ verY (とても) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

you'll (あなたは～だろう、you will) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

go'n (～しそうである、going to) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

shall (～すべきである) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

child(ish) (子ども (っぽい)) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

this'll (これは～だろう、this will) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

out'a (～の外へ、outta の別表現) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

grandEST (最大の) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

profit (利益) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

with(er) (しぼむ) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ "the"s (これらの) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

THIRSTy (乾いた、干上がった) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

ni(gh)t (夜) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

touched (感動した) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

flowing (流れること) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

mist-ing (霧がかかる) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

thou're (汝たち、thou are) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

enough (十分) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

er(e) (～だった) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

his'n (彼自身の、his own) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

in't (～ではない、is not) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

invalid (無効な) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

(be)long (～に属する) ⠠⠋⠠⠊⠠⠗⠠⠗⠠⠎⠠⠎

dissent (異議を唱える、反対する) ⠠⠔⠠⠎⠠⠎⠠⠎⠠⠎⠠⠎⠠⠎⠠⠎⠠⠎⠠⠎

O'Connor (オコナー、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

"en"gage (従事する、関与する) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

uneaten (食べられていない) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

CliffEdge (崖っふち) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

dragg(ing) (のろのろした) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

rubb'd (擦れる、rubbed) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

NorthEast (北東) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

those (あれらの) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

there(upon) (その後すぐに、その結果) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

HANDsome (二枚目) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

WordPerfect (ワードパーフェクト、ワープロソフトの名称)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

founDAtion (土台、基金) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

boundary (境界) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

judg"mental" (判断の) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

count(less) (数えきれないほどの) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

CarLess (自動車のない) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

grey'ound (グレーハウンド、犬の一種 greyhound の別表現)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

togetherness (一体感) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

"be"friend (友達になる) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

省略された文字列

- 10.12.13 省略された文字列を含む単語については、墨字及び第 5 節「グレード 1 モード」、第 10.1 節から第 10.11 節の基本的な縮約の規則で示された通りとする。

[例]

t-n ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ J----y ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

s— S—

n...ce [niece (姪)]

fr...nd [friend(友達)]

w...ghed [weighed (重さを測った、压した)]

ためらい語、伸ばす語、擬声語

10.12.14 ためらい語、伸ばす語または擬声語声帯音については、第 10.1 節から第 10.11 節の基本的な縮約規則で示された通りとする。

〔例〕

we-e-elllll（え、ええ、ええと）

a-a-ah—ch-o-o-oh（ハ、ハ、ハ、ハクション(くしゃみを表す)）

mmm-more（も、も、も、もっと）

shhhhh（しーっ）

errrr（あの・・・）

pfft（プスッ、シュー（勢いがなくなる様を表す））

doodle-e-do（ドウドウルドウー(にわとりの鳴き声を表す))

the-e-enk

so-o-o-o（だ、だ、だ、だから）

as-s-s-s（と、と、と、として）

aaarrgggghh（「あーもう！」）

hm（ふーむ）

br-r-r（ぶるる(寒さを表す)）

coooooountry（国）

gggggood（良い）

llittle（小さい）

looooong（長い）

Aix-en-Provence (エクサンプロヴァンス、地名)

Figure 1 consists of two 3x3 dot patterns. Pattern (a) has dots at positions (1,1), (1,2), (1,3), (2,1), (2,2), (2,3), (3,1), (3,2), and (3,3). Pattern (b) has dots at positions (1,1), (1,2), (1,3), (2,1), (2,2), (2,3), (3,1), (3,2), and (3,3).

Al-Azar (スペイン語で「当てもなく」)

channel-less (チャンネルレスの)

[illegible]

ebb-tide (引き潮) ㇾㇿㇼㇾ ㇿㇿㇿㇿㇿㇿ

father-in-law (義理の父) ⠠⠋⠊⠗⠏⠞⠑⠣⠍⠁⠎⠒⠇⠆

first-begotten ((神の)御子) ☉ ☿ ♀

for the teach-in. (ティーチ・イン(学校などで行われる討論会)のため)

go-between (～の間に入る) ●● :: ●●
 :: ●● ●●

had-enough mood (うんざりしている雰囲気) ☞ ☞

his-and-hers (男女ペアの) ⠨⠸⠧⠦⠶⠏⠽⠒

(in-depth) (掘り下げた)

in-depth (掘り下げた) ⠠⠊⠎⠋⠗⠏⠁⠇⠞⠑⠨ ⠠⠊⠎⠋⠗⠐⠍⠃⠑⠨

man-eater (人食い動物) ⠠⠍⠁⠗⠤⠑⠃⠞⠊⠒ ⠠⠋⠇⠏⠏⠊⠗

mother-in-law (義理の母) ㊦ ㊧ ㊨

out-of-the-way (人里離れた)

part-time (パートタイムの)

self-control (自己制御) 

shut-ins ((病気などのため)外出できない人)

teach-in.) (ティーチ・イン、学校などで行われる討論会)

"to-ing and fro-ing" (「行ったり来たり」)









word-for-word (逐語的な)

would-be (～志望の) ●● ●● ●● ●● ●●

ものと見なされる。その配列内に高位の点を持つ記号がない場合は、最後の下がり縮約部は使用しない。

〔例〕

"Comin'?" (「来るの？」 coming の別表現)





 and:
 




(Disentangle (～のもつれを解く))

disinherit (相続権を奪う) 𠂇𠂇𠂇𠂇𠂇𠂇 𠂇𠂇𠂇𠂇𠂇𠂇𠂇𠂇𠂇𠂇𠂇𠂇𠂇𠂇𠂇𠂇

enjoy (楽しむ) ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠

linen... (リネンの) ⠠⠇⠊⠏⠑⠒⠆⠨⠶⠎⠁⠗⠑⠒⠋⠒⠐⠖

shortenin' (ショートニング(バターやラードの代用)、shortening)

ダッシュ

- 10.13.6 ダッシュで結ばれた単語は、点字行末においてダッシュの前後どちらかで区切ることができる。

[例]

always—except (いつでも—除いて)

or:

- 10.13.7 点字行末でダッシュから分離されているときでも、ダッシュの前後には"be"、
"were"、"his"または"was"に対する下がり縮約語を使用しない。

[例]

not his—my name (彼ではなく—私の名前)

or:

- 10.13.8 点字行末でダッシュから分離されているときでも、"**enough**"または"**in**"に対する下がり縮約語の点字形態をダッシュと併用して保持する。しかしながら、下がり記号規則に従う必要もある。

stiffly (堅く) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠

末字縮約部

10.13.11 分綴された単語の行頭では末字縮約部を使用しない。

[例]

carefully (注意深く) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

CEMENT.) (セメント) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

confusion? (困惑?) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

expressionless (無表情な) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

fundamentally (根本的に) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

reliance (信頼) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

rotations (回転) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

vitality (バイタリティー、生命力) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠

短形語

10.13.12 点字行間では短形語を区切らない。短形語によって表される文字列を含む単語については、単語を分綴したときの短形語の使用に関して、その通常の点字形態を保持する。

[例]

aboveground (地上の) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

afterimage (残像) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

befriending." (友達になること) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

blinded?) (目がくらんだ?) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

blindness (失明) ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

friendliness (友好的であること、親近感) ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

girlfriend (ガールフレンド) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠

Goodall (グッダル、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠

Goodwood (グッドウッド、人名) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

第 11 節 技術文書

11.1 序論

本節は技術文書の点訳について定めた基本的な規則について述べる。共通の記号についても定義し、それらの使い方の簡単な用例も盛り込んでいる。

より詳細な用例や記号のリスト、より幅広い範囲を対象としたアドバイス、技術文書の複雑さについては、『統一英語点字 技術文書に対するガイドライン』に記載されている。

〔参照〕 数学や科学、コンピューター研究の分野における教材など、技術的な性質をもつ文書を扱う際は、『技術文書に対するガイドライン』を参照。

11.2 演算・比較記号

共通の演算記号

⠠⠭	+	プラス
⠠⠤	-	マイナス（ハイフンと区別される場合）
⠠⠵	×	掛ける（乗算記号）
⠠⠴	÷	割る（点に挟まれた横線）

共通の比較記号

⠠⠶	=	イコール
⠠⠨	<	小なり、または山カッコの開き
⠠⠩	>	大なり、または山カッコの閉じ

〔参照〕 すべての演算・比較記号のリストについては、『技術文書に対するガイドライン』3「演算、比較、及び伏せ字記号」を参照。

技術文書以外における演算・比較記号のマスあけ

- 11.2.1 文学的な文章中に独立の計算式がある場合は、墨字のマスあけに従う。

技術文書における演算・比較記号のマスあけ

- 11.2.2 すべての技術的表記において、スペースに意味がある場合のマス空けは、墨字通りとする。その意味が不明確な場合は、スペースの有無が明確である限りはマス空けは、墨字通りとする。墨字のマスあけが不明確または意味がないことが明らかでない場合については、マスあけはその式や方程式の構造を反映するために用いられる。

〔注〕 代数を含む最も一般的な計算においては、演算記号の前後はどちらもマスあけしないが、比較記号はマスあけする。

[例]

「学校の数学のテキストより:」

$3.9 \times 4.1 < 16$     

[プログラミング言語 C における有効なステートメント:]

VarsEqual=(x==y);

〔参照〕技術文書におけるマスあけについてのより詳細な説明については、『技術文書に対するガイドライン』1「一般原則」を参照。

11.3 分数

数の分数用分数線

一般分数用分数線

一般分数用分数開始指示符

一般分数用分数終了指示符

数の分数用分数線

11.3.1 数の分数用分数線は、分子と分母に数字、小数点、コンマ、区切りのスペースしか含まないもので、墨字上では縦積みに（またはほぼ縦積みに）配列された二つの数字の間に分数線が引かれているものである。このような場合、数の分数用分数線記号が分子と分母の間に用いられ、数モードを継続する。

〔例〕

$\frac{5}{8}$ of the class are boys. (クラスの $\frac{5}{8}$ が男子です)

Calculate $\frac{5.7}{2,000}$ ($\frac{5.7}{2,000}$ を計算しなさい)

帯分数

11.3.2 帯分数はマスあけしない二つの数字として扱う。

[例]

2½ cups of sugar (砂糖 2½カップ) ⠒⠑⠗⠑⠍⠊⠎⠑⠝⠏⠐⠖⠢⠆⠨⠁⠕⠑⠃⠇⠊⠦

1750 cm = 1¾ m 

墨字において一列線上に表現されている分数

- 11.3.3 墨字の式が通常のスラッシュ記号を使用して一列の線上に表現されている場合は、数の分数用分数線は使用しない。この場合、墨字同様の記号を使用する。

〔例〕

3/8 of the class are girls. (クラスの 3/8 が女子です)

The figure consists of 10 diagrams arranged in two rows of five. Each diagram shows a grid of dots, with some dots being black and others white. The pattern of black dots evolves from left to right. In the first diagram, there are 10 black dots. In the second, there are 12. In the third, there are 14. In the fourth, there are 16. In the fifth, there are 18. In the sixth, there are 20. In the seventh, there are 22. In the eighth, there are 24. In the ninth, there are 26. In the tenth, there are 28. The pattern of black dots grows in a way that suggests a mathematical sequence, such as the Fibonacci sequence.

一般分数指示符

- 11.3.4 11.3.1 で述べたように、分子または分母が数字だけでない場合は、一般分数指示符を使用する。開始指示符を書き、分子の式を書き、一般分数用分数線記号を書き、分母の式を書き、最後に終了指示符を書く。

〔注〕 分数開始または終了指示符がグレード 2 パッセージ内にある場合は、グレード 1 指示符が必要な場合がある。

〔注〕分子、分母ともに、単純な数の分数や一般分数を含め、どのような式であってもよい。

〔例〕

$$\frac{x}{y} \quad \begin{array}{cccccccc} \cdot & \cdot & \bullet & \bullet & \cdot & \cdot & \bullet & \bullet \\ \cdot & \cdot & \bullet & \bullet & \cdot & \cdot & \bullet & \bullet \\ \cdot & \bullet & \bullet & \bullet & \cdot & \cdot & \bullet & \bullet \end{array}$$
$$\text{speed} = \frac{\text{distance}}{\text{time}}$$

〔参照〕一般分数の用例については、『技術文書に対するガイドライン』6.4と6.5を参照。

11.4 上付き文字と下付き文字

下へのレベル変更（下付き文字）

上へのレベル変更（上付き文字、指数または累乗）

点字アイテム化開始

点字アイテム化終了

アイテムの定義

- 11.4.1 レベル変更指示符が作用する範囲は、指示符の次の“アイテム”である。アイテムとは次の記号または記号列と定義する。
- 一つの数全体、すなわち数モード開始記号とその開始記号が設定する数モード内の後続のすべての記号（小数点、コンマ、数の分数用分数線を含む）。

- 分数指示符によって囲まれた一つの一般分数全体（第 11.3 節）。
- 根号指示符によって囲まれた一つの根号式全体（第 11.5 節）
- 一つの矢印（第 11.6 節）。
- 一つの任意の図形（第 11.7 節）。
- 対応するペアの丸カッコ、角カッコまたは波カッコによって囲まれた一つの式。
- 点字アイテム化指示符によって囲まれた式。

上記が当てはまらない場合、アイテムは直後の一つの記号。

文学的文章における上付き文字と下付き文字

- 11.4.2 上付き文字または下付き文字がグレード 2 パッセージ内にある場合は、グレード 1 指示符が必要な場合がある。

〔例〕

The area is 6 m^2 (このエリアは 6 m^2 です)

「このエリアは6平方メートルです」

The points P_1 and P_2 (点 P_1 と P_2)

The figure consists of 10 sub-diagrams arranged horizontally, each showing a 5x5 grid of points. The points are represented by black dots. The sequence of diagrams shows a progression of point configurations. The first diagram has 5 dots. The second has 8 dots. The third has 10 dots. The fourth has 12 dots. The fifth has 14 dots. The sixth has 16 dots. The seventh has 18 dots. The eighth has 20 dots. The ninth has 22 dots. The tenth has 24 dots. The dots are arranged in various patterns, including clusters, lines, and more complex shapes.

[点 P 下付き文字 1 と P 下付き文字 2]

Smith wrote a paper⁵⁶ which says . . . (スミスは…と述べた論文⁵⁶を書いた)

「脚注を示す上付き文字の 56」

The formula for water is H₂O (水の化学式は H₂O です)

The figure displays a sequence of seven 5x5 dot patterns, labeled 1 through 7, arranged horizontally. Each pattern consists of black dots on a white background. Pattern 1 has a single dot at (1,1). Pattern 2 has dots at (1,1), (1,2), and (2,1). Pattern 3 has dots at (1,1), (1,2), (2,1), and (2,2). Pattern 4 has dots at (1,1), (1,2), (2,1), (2,2), and (3,1). Pattern 5 has dots at (1,1), (1,2), (2,1), (2,2), (3,1), and (3,2). Pattern 6 has dots at (1,1), (1,2), (2,1), (2,2), (3,1), (3,2), and (4,1). Pattern 7 has dots at (1,1), (1,2), (2,1), (2,2), (3,1), (3,2), (4,1), and (4,2).

「水の化学式はH 下付き文字2 下付き文字終了 O」

上付き文字を含む代数式

- 11.4.3 上付き文字を含む代数式を点訳する場合は、点字アイテム化記号が必要になる場合がある。

〔参照〕 アイテムの定義については、11.4.1 を参照。

〔例〕

x^2y                         

 x^{2y} [x の 2y 乗]

$x^{2/3}$ [x の (3 分の 2 乗)]

〔参照〕複数レベルにおける、置換された、またはアイテムの真上または真下に置かれた上付き文字または下付き文字の扱いについては、『技術文書に対するガイドライン』7「上付き文字と下付き文字」（7.4、7.5、7.7、7.8、7.9）を参照。アイテムの真上または真下にあるバー、ドット、チルダ等についても同様。

11.5 平方根その他累乗根

根号開始 (ルート)

根号終了 (ルート)

平方根

- 11.5.1 墨字における平方根内の式は、根号開始記号が先行し、根号終了記号が続く。被開数自体は、累乗根やその他の数学的構造を含み、どのような式であってもよい。

[注] 根号開始または終了記号がグレード2 パッセージ内にある場合は、グレード1 指示符が必要になる場合がある。

〔例〕

$$\sqrt{9}=3 \quad \begin{array}{ccc} \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \end{array} \quad \begin{array}{ccc} \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \end{array} \quad \begin{array}{ccc} \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \end{array} \quad [9 \text{ の平方根}=3]$$

$\sqrt{x^2 + y^2}$

[x の 2 乗+y の 2 乗の平方根 根号終了]

立方根等

- 11.5.2 墨字上の根指数については、あるとすれば根号記号の左側上部に書かれる。この指数は点字においては根号開始記号の直後の上付き文字式として置かれる。

[例]

$$\sqrt[3]{8} = 2$$


[8 の立方根=2]

11.6 矢印

単純矢印

⋮		矢印指示符
⋮ ⋮	→	単純右向き矢印 [東]
⋮ ⋮	←	単純左向き矢印 [西]
⋮ ⋮	↑	単純上向き矢印 [北]
⋮ ⋮	↓	単純下向き矢印 [南]

- 11.6.1 単純矢印は先端の尖ったヤジリが一つあるものである（v のような形で、軸から外側を指している）。軸はまっすぐで長さや太さは重要ではない。これらの矢印は矢印開始指示符と矢印終了指示符で表される。

[例]

ice (氷) → water (水)	⋮ ⋮ ⋮	⋮ ⋮ ⋮	⋮ ⋮ ⋮ ⋮
step 1 (ステップ 1)	⋮ ⋮ ⋮	⋮ ⋮	
↓	⋮ ⋮ ⋮		
step 2 (ステップ 2)	⋮ ⋮ ⋮	⋮ ⋮	

特殊な軸の矢印

⋮	一本の線の軸
⋮	二重線の軸
⋮	点線の軸

- 11.6.2 すべての軸用の記号は、1 マスで短い軸、2 マスで普通の長さの軸、3 マスで長い軸など、反復によって延長することができる。軸用の記号は矢印開始と終了指示符の間に置かれる。

[例]

⇒ ⋮ ⋮ ⋮ ⋮ ⋮ [普通の長さの二重線の右向き矢印]

通常と異なる先端の矢印

⋮	通常の尖った、欠けていない順方向ヤジリ
⋮	通常の尖った、欠けていない逆方向ヤジリ

- 11.6.3 矢印の先端が通常と異なる場合は、終了符の方向を選択する前に、どちら向きであるかを判断する。

〔注〕先端と軸の線分は開始と終了指示符の間で点訳される。これらのアイテムは、たとえそれが物理的順序と逆（左を向いた矢印がある場合のような）であっても、すなわち矢印の末尾で始まり先頭に向かって進む論理的順序で表される。

〔例〕

↔ ⠠⠷⠶⠼⠷⠶⠼⠷⠶⠼⠷⠶⠼ ⠠よくある水平双方向矢印

一般的ではない矢印

- 11.6.4 一般的でない矢印も点字で示すことができる。

〔参照〕以下の扱いについては、『技術文書に対するガイドライン』13「矢印」を参照。

- 斜線や曲線、点線などの軸の矢印
- 半分尖った、丸まった、またはまっすぐのヤジリの矢印
- 化学ででてくる平衡矢印

11.7 図形記号

⠠	図形指示符
⠠⠠	点訳者定義図形指示符
⠨	図形終了符
⠠⠠⠠	通常の（等辺）三角形
⠠⠠⠠⠠	正方形
⠠⠠	円

〔参照〕これ以外の用例については、『技術文書に対するガイドライン』14「図形記号と合成記号」を参照。

図形終了指示符の使い方

- 11.7.1 図形の後にスペースが続く場合は終了記号は不要である。しかし図形記号の後に句読点が続く場合や後続の記号との間にスペースがない場合は図形終了符を用いなければならない。

〔例〕

△ ABC ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠△ABC ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

〔文字 ABC が後ろに続く三角形記号で間にスペースがあるものとないもの〕

点訳者定義図形

- 11.7.2 点訳者定義図形の記述は短い頭文字の連続または一つのグレード1ワードとする。それらはその墨字記号が他のコード上に既に使われている場合には使うことができない。すべての図形記号は、点訳者注または特殊記号ページで読者が使用できるようにしなければならない。

[例]

本書全体でアイコンとして使われているニコニコ顔 ☺ は次の通り定義する：

物理的開み指示符 ∷

- 11.7.3 物理的囲み指示符は、“アイテム”が第 11.4.1 節で定義されているような場合、直前のアイテム（外側の記号）と直後のアイテム（内側の記号）が結合していることを示す。

[例]

⊕ [プラス記号を囲んでいる円]

〔参照〕 墨字記号の重ね合わせ、横並置、縦並置については、『技術文書に対するガイドライン』14.3「図形記号と合成記号」を参照。

11.8 マトリックスとベクトル

大きな（複数行にわたる）丸カッコ開き

⋮⋮⋮⋮⋮ 大きな（複数行にわたる）丸カッコ閉じ

複数行にわたるアイテム化記号の配置

- 11.8.1 墨字アイテム化記号が数行にわたっている場合、点字では適切な拡張アイテム化記号を使用する。各行のそれぞれの真下にそのアイテム化記号をくり返す。明確にするために、そのような配列の前後には行空けを置く。

〔例〕

$$I = \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$$

Figure 1 consists of two 3x3 dot patterns. Pattern (a) has dots at positions (1,1), (1,2), (1,3), (2,1), (2,2), (2,3), (3,1), (3,2), and (3,3), with dots missing at (1,2), (2,1), (2,2), and (2,3). Pattern (b) has dots at positions (1,1), (1,2), (1,3), (2,1), (2,2), (2,3), (3,1), (3,2), and (3,3), with dots missing at (1,2), (2,1), (2,2), and (2,3).

〔参照〕その他の拡張アイテム化記号と用例については、『技術文書に対するガイドライン』15.1 から 15.7「マトリックスとベクトル」を参照。

11.9 化学

大文字指示符と終了符の使い方

- 11.9.1 単一の文字の選択に関する一般的な UEB の原則は、ワードまたはパッセージモードが適用される。特に大文字終了符は二文字の化学元素記号内では使用しない。化学式に単一の大文字指示符を使用することは、点字に一樣の外観を与える。それでもなお、場合によっては大文字パッセージモードを使用することに明らかな利点があることもある。化学元素を示す文字は決して縮約しない。

〔例〕

$$2\text{NaOH} + \text{H}_2\text{SO}_4 \rightarrow \text{Na}_2\text{SO}_4 + 2\text{H}_2\text{O}$$

Figure 1 displays a sequence of 32 small plots arranged in two rows of 16. The top row shows the initial state of a 2D point cloud with 10 points. The bottom row shows the state after 100 iterations. The points are distributed in a grid-like pattern, with some points being more prominent than others.

〔参照〕 その他の用例については、『技術文書に対するガイドライン』16.1 から16.7「化学」を参照。

11.10 コンピューター表記法

コンピューター表記法の定義

- 11.10.1 コンピュータ表記法とは、コンピュータがそのコンピュータ自体に関連して技術的な目的で直接使用できるように設計された、形式的な構文で書かれたあらゆる文書のことである。例として、Java や C++、COBOL、様々な“アセンブリ”言語などの手続き型言語、XHTML などの非手続き型スクリプトやマーク・アップ言語、そして特定のプログラムのインプット要件を満たすために作成されたデータ・ファイルで書かれたコンピュータ・プログラムが挙げられる。

[注]

- “表示” コンピューター表記法は、その周りの文章から独立した一行以上の行で表記される。
- “インライン” コンピューター表記法は、文中で挙げられたメール・アドレスなど、通常の文章中に含まれて表記される。

コンピューター表記法における点字のグレード

- 11.10.2 表示されたコンピュータ・プログラムまたはフラグメントは通常グレード1点字で点訳される。すぐ近くのグレード1モードで表示されているプログラムからの抜粋は、一貫性を保つため、できればグレード1モードとする。メールアドレスやウェブサイト、URL、ファイル名、それと別の行にわたって表示されることのないコンピューター上の言い回しなどのその他の表現については、通常はグレード2点字で点訳する。

[参照] “単独”の規則については、第 2 節「用語と原則」を、メール・アドレスやウェブサイト・アドレスの用例については、第 10 節「縮約」を参照。

[参照] プログラム・フラグメントの例については、『技術文書に対するガイドライン』17「コンピューター表記法」を参照。

（天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。」）

「縮約点字を使用する例」

al (all) (全て) 

bothe (both) (両方)  

citye (city) (市)

could (cold) (風邪) 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇

daynty (dainty) (優美な)

dolefull (doleful) (悲しげな)

fful (full) (いっぱい)

forthe (forth) (前へ) ●● ●● :: ●● ●● ●● ●● :: ●●

gentillesse (厚意) ●● :: ●● :: ●● :: ●● :: ●● :: ●●

gentleness (gentleness) (優しさ)

hadde

heathenness (heathendom) (異教徒)

love (love) (愛) 

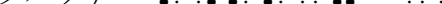
monethe (month) (月) 月

only (only) (だけ)

ouer (over) (上) 

sones (sons) (息子) 

soone (soon の目つづり) ●●●●●●
●●●●●●

swolewith (swallows) (ツバメ) 

worlde (world の目つづり) ☉☉☉☉

yoonge (yoonge の旧つづり) ⠏⠽⠕⠗⠒⠑

12.4

異なるつづりを考慮に入れる 1450 年から 1650 年までの初期近代英語については、縮約点字を使う。

[例]

[Luke 2:10 in the the original spelling of King James Bible (1611):]

And the Angel said vnto them, Feare not: For behold, I bring you good tidings of great ioy, which shall be to all people.

[1611 年の欽定訳聖書の引用のルカ 2:10:]

（天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。」）

第 13 節 外国語

本節で使用する外国コード記号（非 UEB 記号）

⋮	ε	ギリシャ小文字イプシロン
⋮	μ	ギリシャ小文字ミュー
⋮	ou	ギリシャ小文字オミクロンウプシロン
⋮	ç	フランス語のセディーユ
⋮	é	フランス語の鋭アクセント付きの e
⋮	à	フランス語の重アクセント付きの a
⋮	á	スペイン語の鋭アクセント付きの a
⋮	è	フランス語の重アクセント付きの e
⋮	é	スペイン語の鋭アクセント付きの e
⋮	ú	スペイン語の鋭アクセント付きの u
⋮	î	フランス語の曲アクセント付きの i
⋮	ô	フランス語の曲アクセント付きの o
⋮	u	イボ語のドット付きの u
⋮	oi	ギリシャ小文字オミクロンイオタ
⋮	o	イボ語のドット付きの o
⋮ ⋮		フランス語のイタリック体パッセージ開き
⋮	¿	スペイン語の疑問符[疑問符開きは墨字では逆さの位置にある]
⋮	()	フランス語のカッコ（丸カッコ）開き閉じ
⋮	í	スペイン語の鋭アクセント付きの i
⋮	ó	スペイン語の鋭アクセント付きの o
⋮		フランス語のイタリック体パッセージ閉じ
⋮		フランス語大文字記号

13.1 外来性とは何かの決定

- 13.1.1 外国語とは、現在用いられているか過去に用いられていた英語以外の自然言語または人工言語である。それはローマ字あるいは非ローマ字で書かれる。非ローマ字で書き直された英語もまた外来性のものとして扱われる。
- 13.1.2 ある単語またはフレーズが外来性であるか、英語化されたものであるかの決定においては、書物間の一貫性よりも書物内での一貫性の方がより重要である。出版社の（または可能であれば著者の）意図を確かめることができる場合は、それを最重要視すべきである。イタリック体や（めったに使われないが）太字、または

引用符は、外来性として見なされる単語と英語化されたものとして見なされる単語を区別するのによく用いられるため、タイポグラフィに注意する必要がある。

〔参照〕 外来性として見なされる単語内、フレーズ内またはパッセージにおける縮約の扱いについては、第 13.2 節を参照。

[例]

Her pirouette was lovely but her *fouetté en tournant* was spectacular.

(彼女のピルエットは素晴らしいが、フェッテ・アン・トゥールナンは目を見張るほどだ。)

13.1.3 疑わしい場合には、その単語またはフレーズを外来性として見なすのが基本姿勢である。したがって、例えば他言語で書かれたタイトルは、たとえ英語のタイトルと外国語のタイトルが差別化されていないとしても、外来性のものとして見なされる。

〔注〕その本自体を参照しても解決しない疑問を解消するため一般的な辞書を参考にする場合、その辞書が実際に点訳者の直面している疑問の解消に沿うものであるか注意する必要がある。優れた辞書同士でも、どの単語が外来性のものとして見なされるかについては一致しないものだということも覚えておくべきである。

〔注〕辞書を用いる場合、発刊から 10 年未満であることを確認する。辞書本文内において親見出しとして出てくる単語や表現は、外来性のものとして識別されていない限り、英語化されたものとして見なされる。外来性の用語が、例えば弁別的な書体によって、特別な模様の目印によってなど、どのように識別されているのかを見極めるため、辞書の凡例を参考にする。

[例]

The newspapers with the largest circulation are *Yomiuri Shimbun* and *Asahi Shimbun* from Japan followed by *The Times of India*.

(最も発行部数の多い新聞は日本の読売新聞と朝日新聞であり、次いでザ・タイムズ・オブ・インドだ。)

In 1916, the British *Queen Mary* was sunk by the German *Derfflinger* during the Battle of Jutland.

(1916 年、英国のクイーン・メリーは、ユトランド沖海戦においてドイツのデアフリンガーにより沈没させられた。)

1. Conlogue, Ray. *Impossible Nation: The Longing for Homeland in Canada and Quebec*. Toronto: Mercury Press, 2002.
 2. Le Roy Ladurie, Emmanuel. "Quand Paris était capitale du monde." *Le Nouvel Observateur*, August 2001.
 3. Ménard, Marc. *Éléments pour une économie des industries culturelles*. Montreal: SODEC, 2004.
 4. Weber, George. "The World's Ten Most Influential Languages." *Language Today* 2, December 1997.

[参考文献項目:]

1. Conlogue, Ray. *Impossible Nation: The Longing for Homeland in Canada and Quebec*. Toronto: Mercury Press, 2002.
2. Le Roy Ladurie, Emmanuel. "Quand Paris était capitale du monde." *Le Nouvel Observateur*, August 2001.
3. Ménard, Marc. *Éléments pour une économie des industries culturelles*. Montreal: SODEC, 2004.
4. Weber, George. "The World's Ten Most Influential Languages." *Language Today* 2, December 1997.

1. Conlogue, Ray. *Impossible Nation: The Longing for Homeland in Canada and Quebec*. Toronto: Mercury Press, 2002.
 2. Le Roy Ladurie, Emmanuel. "Quand Paris était capitale du monde." *Le Nouvel Observateur*, August 2001.
 3. Ménard, Marc. *Éléments pour une économie des industries culturelles*. Montreal: SODEC, 2004.
 4. Weber, George. "The World's Ten Most Influential Languages." *Language Today* 2, December 1997.

13.2 UEB 縮約を使用する

- 13.2.1 以下の注釈で規定される場合を除き、外来性のものとして見なされる単語、フレーズまたはパッセージでは、その表現内の英単語を含め、縮約を使用しない。

[注] 曖昧さを避けるため自国の点訳者が従うべき適切な点字委員会の方針とガイドラインが整っているならば、この規則を無視することが容認される。

We went out for a lekker braai of pap en wors.
 (私たちはパパ・エン・ワーズのレッカー・ブレイ(南アフリカ風バーベキュー)を食べに出かけた。)
 [この例における縮約に注意し、上記第 13.2.1 節に付した注釈を参照する。]

13.2.2 非縮約点字の外国文書にはグレード 1 指示符を使用しない。

13.2.3 英語化されたものとして見なされる単語、フレーズ、固有名詞及び敬称には UEB 縮約を用いること。しかしながら、単語の発音や構造を過度に歪ませる縮約は使用しない。

[例]

The expression memento mori is sometimes used with some of the sense of carpe diem.
 (メメント・モリ(死を想え)という表現は、ある種カルペ・ディエム(その日を摘め)に通じる意味で用いられることがある。)
 While he was in Sarajevo, the beautiful Ferhadija mosque had been dynamited.
 (彼がサラエヴォにいる間に、美しいフェルハディアモスクが爆破された。)
 Sr. y Sra. Juarez were impressed with the locally-made pancetta served at the pensione in San Marino, Italy.
 (フアレス夫妻は、イタリア サンマリノのペンションで振る舞われた地元産のパンチェッタに感銘を受けた。)
 Murasaki Shikubu wrote *The Tale of Genji*. (紫式部は『源氏物語』を書いた。)
 [この例における縮約に注意し、上記第 13.2.1 節に付した注釈を参照する。]

While he was in Sarajevo, the beautiful Ferhadija mosque had been dynamited.
 (彼がサラエヴォにいる間に、美しいフェルハディアモスクが爆破された。)
 Sr. y Sra. Juarez were impressed with the locally-made pancetta served at the pensione in San Marino, Italy.
 (フアレス夫妻は、イタリア サンマリノのペンションで振る舞われた地元産のパンチェッタに感銘を受けた。)
 Murasaki Shikubu wrote *The Tale of Genji*. (紫式部は『源氏物語』を書いた。)
 [この例における縮約に注意し、上記第 13.2.1 節に付した注釈を参照する。]

Sr. y Sra. Juarez were impressed with the locally-made pancetta served at the pensione in San Marino, Italy.
 (フアレス夫妻は、イタリア サンマリノのペンションで振る舞われた地元産のパンチェッタに感銘を受けた。)
 Murasaki Shikubu wrote *The Tale of Genji*. (紫式部は『源氏物語』を書いた。)
 [この例における縮約に注意し、上記第 13.2.1 節に付した注釈を参照する。]

Murasaki Shikubu wrote *The Tale of Genji*. (紫式部は『源氏物語』を書いた。)
 [この例における縮約に注意し、上記第 13.2.1 節に付した注釈を参照する。]

Sietske took out the parcel and handed it to the soldier. "*Ein Geschenk für uns* [A gift for us]," he laughed. Then he opened the tin box.

"*Ah, gute Butter* [butter, delicious]. *Danke, Fräulein* [Thank you, young lady]."

(シーツカは小包を取り出し、兵士にそれを手渡した。「私たちへの贈り物ですね、」と彼は笑った。そして彼はそのブリキの箱を開けた。「わあ、美味しいバターだ。ありがとう、お嬢さん。」)

A collection of 100 small, irregular black ink blotches arranged in a grid-like pattern. The blotches vary in size and shape, creating a dense, textured appearance that resembles a stylized city skyline or a dense cluster of points. The overall layout is organized into approximately 10 rows and 10 columns, with some blotches appearing more prominent than others.

—*¡Qué idea más buena!*—exclaimed Pedro's mother.

(—素晴らしいアイデアね！—ペドロの母は大声で言った。)

For σ read "standard deviation." (σ については「標準偏差」と読む。)

Use Δv to denote difference or change in velocity.

(速度の違いまたは変化を示すのに Δv を用いること。)

- 13.5.2 UEB 記号が用いられるとき、外国コード縮約または外国語コードにおける句読符や指示符などの他の記号を使用しない。
- 13.5.3 UEB 記号が用いられるとき、コード切り替え指示符を使用しない。

13.6 外国コード記号を使用する

- 13.6.1 以下のような、外国語がかなり多く出てくる外国語文書の表現内には、外国コード記号を用いる：
- 文法書またはその他の教材、
 - 外国の学習書中の英語の注釈
 - 公的書式、オペラの台本、及びその他の翻訳物などの二か国語文書（並行して示されるか引き続いて示されるかを問わず）、また

(彼らは結婚して2年になる。)

[イボ語の教科書から:]

It was delicious.

Ọ tọrọ uto.

(おいしかった。)

The figure consists of 10 diagrams, each showing a 5x5 grid of dots. Black dots represent a specific state, while white dots represent another. The sequence shows a pattern that grows and changes in a non-linear, fractal-like fashion. The diagrams are arranged in two rows of five. The pattern starts as a small cluster and grows in a complex, fractal-like manner, with some dots appearing to move or change state between steps.

[子供向きのフランス語の教科書から:]

Answer the following questions using «il y a ... (que), ça fait ... (que), depuis» (sometimes there are several possibilities).

Il y a combien de temps que tu vas dans ce collège? (deux ans)

～を使って次の問題に答えてください。（考えられる幾つもの答えがある）

[西英辞書の文法部分から:]

Asking Questions: (質問:)

¿está aquí tu hermano?

is your brother here?

(あなたの兄弟はここにいますか?)

¿el agua está fría?

is the water cold?

(その水は冷たいですか?)

tú le diste el dinero, ¿verdad?

you gave him the money, didn't you?

(あなたは彼にお金をあげましたね、そうでしょう?)

他の文脈的考察から明確に推定されるときには、コード切り替え指示符を省略することができる。

[例]

[西英辞書の文法部分から:]

No article is used after **qué** and **vaya** in exclamations:

(感嘆符内の **qué** 及び **vaya** の後ろには冠詞を用いない。)

¡qué lástima!

what a shame (残念ですね)

The figure consists of seven 5x5 dot patterns arranged horizontally. Each pattern is a grid of dots where some dots are present and others are absent, forming a specific shape. The patterns evolve from left to right, showing a progression from a single central dot to a more complex, interconnected structure.

13.7.3 例えば注釈や説明を目的とする場合など、文章の主部が時折英語の組み込まれる外国語で書かれている場合、コード切り替え指示符の機能を逆転し、UEB 文書を囲むことが推奨される。この逆転については点訳者注で説明する。

[例]

[フランス語:]

Souvent précédé d'une conjonction de subordination telle que "quand", "dès que" (immediately), "aussitôt que".

(多くは「いつ」、「すぐに」(直ちに)、「できるだけ早く」などの従属関係が先行する。)

13.8 混合言語の文学

13.8.1 英語とその他一つ以上の言語が印刷上の、またはその他の区別なく自由に組み込まれている文学作品については、そこに含まれる言語の点字コードについて、及び **UEB** 縮約を使用するかどうかの決定における曖昧さとアクセント付き文字の表し方の問題を考慮する。いかなる墨字記号や点字指示符にも、**UEB** 記号と外国コード記号を混合してはならない。

〔注〕以下の例は英語とスペイン語の混合である。この例では、読者がそれらを熟知していると予期されるため、アクセント付き文字に外国コード記号が用いられている。非縮約点字は曖昧さを避けるために用いられる。UEB 記号は句読符及び指示符に対し用いられる。

[例]

We begin to walk away, right next to the foam-flecked horses (they sweat right down to their hooves; rico el olor). Nos damos cuenta de que la perspectiva desde el comienzo de la carrera es, si cabe, even more thrilling. From here, we can sense the anticipation of riders and their mounts; the horses turn and twitch, reluctant or bored, y los jinetes intentan contenerlos, inspirarlos. They take off like a shot, four legs pumping together, rider crouched down on the haunches and then rising up, some of them, nearly vertical. Algunos caballos fustigados to within an inch of their lives, it seems—thwack se escucha el crop—mientras otros run like hell, simplemente porque sí. No látigo required.
[from *Killer Crónicas* by Susana Chávez-Silverman]

[チャベス・シルバーマン・スサーナの *Killer Crónicas* (『殺人クロニクル』) から]

We begin to walk away, right next to the foam-flecked horses (they sweat right down to their hooves; rico el olor). Nos damos cuenta de que la perspectiva desde el comienzo de la carrera es, si cabe, even more thrilling. From here, we can sense the anticipation of riders and their mounts; the horses turn and twitch, reluctant or bored, y los jinetes intentan contenerlos, inspirarlos. They take off like a shot, four legs pumping together, rider crouched down on the haunches and then rising up, some of them, nearly vertical. Algunos caballos fustigados to within an inch of their lives, it seems—thwack se escucha el crop—mientras otros run like hell, simplemente porque sí. No látigo required.
 [from *Killer Crónicas* by Susana Chávez-Silverman]

第 14 節 コード切り替え

コード切り替え指示符

- ⠠ 非 UEB ワード指示符
- ⠡ 非 UEB ワード終了符
- ⠢ 非 UEB パッセージ開始指示符
- ⠣ 非 UEB パッセージ終了指示符

[注] 非 UEB パッセージ指示符は実際には二つの UEB シンボル、つまり ⠢ に ⠠ が続いたものである。

IPA 点字のコード切り替え指示符

- ⠠ [IPA 角カッコの開き
UEB から IPA への切り替えを伴う角カッコ開き
- ⠡] IPA 角カッコの閉じ、IPA から UEB への切り替えを伴う
角カッコ閉じ
- ⠢ / IPA スラッシュの開き、UEB から IPA への切り替えを伴
う斜線（フォワードスラッシュ）開き
- ⠣ / IPA スラッシュの閉じ、IPA から UEB への切り替えを伴
う斜線（フォワードスラッシュ）閉じ
- ⠤ 一般 IPA 開始指示符
- ⠥ 一般 IPA 終了符

[注] IPA 角カッコの閉じ、IPA スラッシュの閉じ、一般 IPA 終了符は IPA 指示符であり、UEB 指示符ではない。

点字楽譜のためのコード切り替え指示符

- ⠠ スペースに続く場合の楽譜開始指示符
- ⠡ スペースに続く場合の楽譜終了符

[注] 楽譜終了符は点字楽譜指示符であり、UEB 指示符ではない。

ネメス・コードのためのコード切り替え指示符

- ⠠ スペースが続く場合のネメス・コード開始指示符
- ⠡ スペースが続く場合のネメス・コード終了符

[注] ネメス・コード終了符はネメス・コード指示符であり、UEB 指示符ではない。

本節で使用する非 UEB 記号

⋮	γ	ギリシャ文字ガンマ
⋮	◌̣	ギリシャ文字有気記号
⋮	ι	ギリシャ文字イオタ
⋮	λ	ギリシャ文字ラムダ
⋮	ﻯ	アラビア文字ヌーン
⋮	ο	ギリシャ文字オミクロン
⋮	π	ギリシャ文字パイ
⋮	ﻕ	アラビア文字カーフ
⋮	◌̣	アラビア文字ダンマ
⋮	é	フランス語鋭アクセント付きの e
⋮	(ネメス丸カッコ開き
⋮	è	フランス語重アクセント付きの e
⋮	é	スペイン語鋭アクセント付きの e
⋮	ﻁ	アラビア文字ター
⋮)	ネメス丸カッコ閉じ
⋮	ê	フランス語曲アクセント付きの e
⋮	ɔ	IPA 開いた o
⋮	♭	音楽フラット記号
⋮	ɹ	IPA エッシュ
⋮	ë	フランス語分音符付きの e
⋮	ŋ	IPA エング
⋮	ð	IPA エズ
⋮	ñ	スペイン語波線符号付きの n
⋮	ou	ギリシャ文字オミクロン・イオタ
⋮	1	ネメス数表示 1
⋮	2	ネメス数表示 2
⋮	◌̣	アラビア文字スカーン
⋮	:	IPA 長さの記号
⋮	3	ネメス数表示 3
⋮	→	ブリティッシュ・ケミストリー 右向き矢印
⋮	4	ブリティッシュ・ケミストリー 下付きの数表示 4
⋮	4	ネメス数表示 4

⠠	ə	IPA シュワー
⠠	¿	スペイン語疑問符
⠠	ɾ	IPA はじき音 r
⠠	7	ネメス 数表示 7
⠠	0	ネメス 数表示 0
⠠	ɪ	IPA スモールキャピタル i
⠠	+	ネメス プラス記号
⠠	ó	スペイン語の鋭アクセント付きの o
⠠	ɹ	IPA 逆さの r
⠠		音楽四分の四拍子記号
⠠	ä	ドイツ語ウムラウト付きの a
⠠	−	ネメス マイナス記号
⠠	˘	IPA 上部のくさび形記号
⠠		ネメス 上付き文字指示符
⠠	'	IPA 垂直線（第一強勢）
⠠		BANA コンピューター点字記号行継続符
⠠		BANA コンピューター点字記号 CBC 終了符
⠠	,	IPA 垂直線（第二強勢）
⠠		BANA コンピューター点字記号大文字ロック符
⠠		ブリティッシュ・ケミストリー二文字の化学元素記号
⠠		ネメス ベースライン指示符
⠠		フランス語大文字記号
⠠	=	ネメス イコール記号
⠠	θ	IPA シータ
⠠	ë	アフリカーンス語分割記号付きの e
⠠	+	ブリティッシュ・ケミストリープラス記号
⠠	,	ネメス 数学上のカンマ

14.1 コード切り替えの目的

14.1.1 コード切り替えの目的は UEB 以外の点字コードで点訳されたテキストを示す。これには以下のものが挙げられる。

- アフリカーンス語やフランス語、ドイツ語、スペイン語、ベトナム語など、英語以外の言語の点字コード
- 『IPA 点字：国際音声記号の最新触知性表現』 [14.4 参照]

- ・『新国際点字楽譜表記解説』〔14.5 参照〕
- ・『数学・自然科学のためのネメス点字コード』〔14.6 参照〕
- ・その他数学や化学、コンピューター・サイエンスなどの分野の非 UEB 点字コード（点訳者に切り替えの特別な理由があることを前提とし、それは UEB である必要はない）
- ・歴史的点字コード
- ・提案されている点字コード

14.2 コード切り替え指示符を使用する場合

14.2.1 テキストが出力された点字で読まれる場合、その非 UEB テキストの性質と範囲が文脈やフォーマットから判断できる場合はコード切り替え指示符を使用しない。

〔例〕

「列形式のスペイン語」

pensión completa

full board (三食付きの宿泊)

¿puedo verlo?

may I see it? (拝見できますか?)

baño compartido

private bath (専用浴室)

The figure shows a 2x6 grid of dot patterns. The top row has six patterns, each with 4 dots. The bottom row has six patterns, each with 5 dots. The patterns are as follows:

Row	Pattern 1	Pattern 2	Pattern 3	Pattern 4	Pattern 5	Pattern 6
Top Row (4 dots)	Top-left 2x2 square	Top-right 2x2 square	Bottom-left 2x2 square	Bottom-right 2x2 square	Top-left and bottom-left 2x2 squares	Top-right and bottom-right 2x2 squares
Bottom Row (5 dots)	Top-left 2x2 square and bottom-left dot	Top-right 2x2 square and bottom-right dot	Bottom-left 2x2 square and bottom-left dot	Bottom-right 2x2 square and bottom-right dot	Top-left and bottom-left 2x2 squares and bottom-left dot	Top-right and bottom-right 2x2 squares and bottom-right dot

「スペイン語にだけ使われている太字」

No article is used after **qué** and **vaya** in exclamations.

(感嘆文において **qué** と **vaya** の後に冠詞はつかない。)

The figure displays a sequence of 12 diagrams, each showing a pattern of black dots on a grid. The patterns are arranged in two rows of six. The top row shows the initial stages of growth, while the bottom row shows more complex, branching structures. The patterns are composed of black dots on a white background, with the dots arranged in a way that suggests a cellular automaton or a similar discrete-time system.

14.2.2 コード切り替え指示符が使用されない場合には、非 UEB 素材のフォーマットと配置が読み手に明白であることを確認する。テキストそのものが明らかにすることも多い。例えば、二言語辞典の導入部がフランス語の見出し語に後に IPA による発音が続くことを説明している場合や、二段組みのテキストに“スペイン語”と“英語”の見出しがついている場合、ドイツ語は太字で書かれていると言明されている場合などである。そのテキストが非 UEB 素材にはっきりとした注意を向けていない場合は、点訳者注を付けて非 UEB 点字コードの形式または配置について説明する。

14.2.3 例えばファイルが電子媒体を使って読み込まれる場合など、墨訳される点字を書いている場合、または文脈や形式の指示があいまいであったり意味のないものであったりする場合は、非 UEB 素材についてコード切り替え指示符を使用する。

14.2.4 非 UEB 点字が複数の意味を持つ場合および非 UEB テキストの性質と範囲が文脈や形式から判断できない場合はコード切り替え指示符を使用する。

〔例〕

「フランス語に限らない引用文」

"Peut-être" has an alternate expression, "peut-être que".

("Peut-être" には "peut-être que" という代替表現がある。)

14.2.5 識別子と共にコード切り替え指示符が使用される場合は、影響を受ける素材の前に配置される特別記号のページまたは点訳者注のどちらかにおいて説明する。
[14.3.3.参照]

14.3 コード切り替え指示符の使い方

IPA 点字のコード切り替え指示符については 14.4 を、点字楽譜のコード切り替え指示符については 14.5 を、ネメス・コードのコード切り替え指示符については 14.6 を参照。

14.3.1 非 UEB ワード指示符は該当の記号列の直前に置く。その効力は次のスペースまたは次の非 UEB ワード終了符によって終了する。

[例]

「アラビア語」

The word "cotton" is derived from the Arabic قُطْن (qutn).

(**"cotton"**という語はアラビア語のقُطْن (qutn) から派生した。)

[ドイツ語]

(For "alongside of" use "längs".)

("alongside of (～に沿って)" には "längs"を使う。)

14.3.2 非 UEB 点字コードの中に三つ以上の記号列がある場合は、非 UEB パッセージ指示符を使用する。非 UEB パッセージ指示符の効力は非 UEB パッセージ終了指示符まで継続する。

(ペリクレスは少数の特権階級(οἱ ὀλίγοι)よりも大多数の者(οἱ πολλοί)によって政府を称賛した。)

- 14.3.6 非 UEB パッセージは別の非 UEB パッセージを開始する前に必ず終了する。つまり、非 UEB パッセージが直後に開始する場合でも、まず UEB に戻るということである。

〔例〕

「英語、アフリカーンス語、ドイツ語」

The speed limit on all highways is 120 kilometres per hour.

Die Spoedgrens op alle snelweë is 120 kilometers per uur.

Die Geschwindigkeitsbegrenzung auf allen Autobahnen beträgt 120 Kilometer pro Stunde.

(すべての幹線道路の制限速度は時速 120 キロメートルである。)

This image displays a collection of 100 small, irregular clusters of black dots arranged in a grid-like pattern. Each cluster is composed of a small number of dots, typically between 5 and 15, arranged in various configurations. The clusters are distributed across the image in a way that suggests a larger, underlying structure or network. The overall appearance is that of a stylized representation of a city or a complex network.

- 14.3.7 非 UEB テキストが UEB テキストとは別に複数行にわたって表示される場合、非 UEB パッセージ開始指示符と終了指示符はそれぞれ一行ごとに単独で置かれる。

〔例〕

「ブリティッシュ・ケミストリー・コード。この例は点訳者に切り替えの特別な理由があることを前提とし、それは UEB である必要はない。」

$$\text{CuSO}_4 + \text{Zn} \rightarrow \text{ZnSO}_4 + \text{Cu}$$

- 14.3.8 前述の例を除き、非 UEB 指示符は UEB から非 UEB へ、またはその逆へ切り替わる正確な位置に、それが先行するまたは囲っている記号列からマスあけせずに置く。つまり、テキスト内にないスペースを挿入してはならないということである。
- 14.3.9 ある非 UEB コードがそのコードから変わる切り替えの記号を示している場合、その記号を非 UEB ワード終了符または非 UEB パッセージ終了指示符よりも優先して使用する。

〔例〕

[BANA コンピューター点字記号。この例は点訳者に切り替えの特別な理由があることを前提とし、それは UEB である必要はない。]

The macro command will change all occurrences of ROM to RAM, resulting in:
WHEN IN RAME DO AS THE RAMANS DO....

- 14.3.10 非 UEB パッセージ指示符が現実的に非 UEB コード内の記号と読み換えられることもあり得る稀な例では、代わりに、UEB が再開していることを示すため、識別子“en”（英語）を加えた非 UEB パッセージ開始指示符を使用する。

14.4 UEB テキスト内の IPA 点字

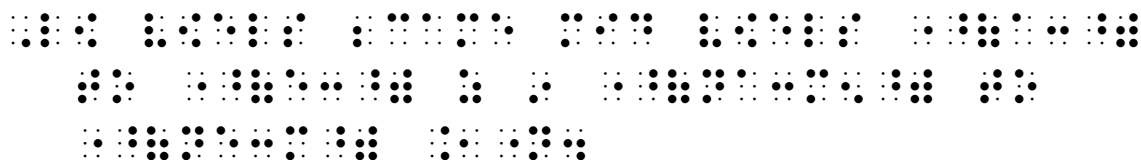
発音または表音素材以外において用いられるエングおよびシュワについては 4.4 を参照。

- 14.4.1 発音または表音素材については、『IPA 点字：国際音声記号の最新触知性表現』の規定に準じて点訳する。以下のセクションは UEB と IPA 点字の切り替えについて定める。
- 14.4.2 一般的に文中の表音素材は墨字上では角カッコで囲うことで識別される。IPA カッコの開きと IPA カッコの閉じを使用する。IPA カッコの開きの効力は、スペースではなく IPA カッコの閉じによってのみ終了する。

〔例〕

Low vowels became mid vowels [a:] to [e:] as in [na:mə] to [ne:m] *name*.

(低母音は [na:mə] から [ne:m] *name* において見られるように、[a:] から [e:] へ中位母音になる。)

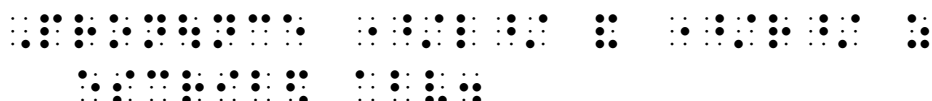


- 14.4.3 文中の表音素材は墨字上では斜線（フォワードスラッシュ）で囲われている。
IPA スラッシュの開きと IPA スラッシュの閉じを使用する。

〔例〕

Pronounce /l/ and /r/ as described above.

(上記のとおり、/l/ と /r/ を発音しなさい。)



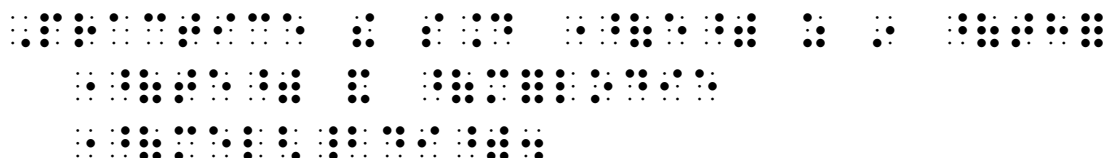
- #### 14.4.4 IPA 点字と他の非 UEB 点字コードが一つの文章中にある場合、非 UEB 指示符は識別子なしでその非 UEB 点字コードに対して使用することができる。

[例]

「IPA とフランス語」

Practice the sound [e] as in thé [te] and mélodie [melo'di].

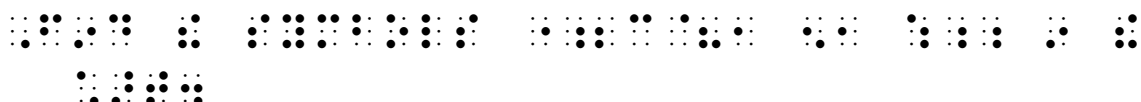
(thé [te] および mélodie [melo'di] において見られるような [e] の音を練習しなさい。)



- 14.4.5 墨字上で IPA 素材を識別する角カッコや斜線（フォワードスラッシュ）を使用していない場合や、素材の性質や範囲が文脈や形式から判断できない場合は、その IPA 素材を囲うのに一般 IPA 開始指示符と一般 IPA 終了符を使用する。

[例]

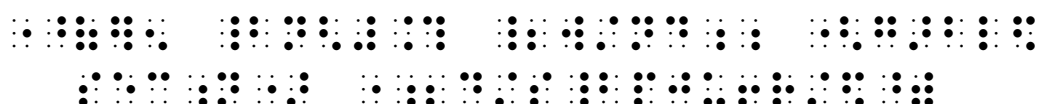
Find the symbols č, ə, ʃ in the chart. (表の中から č、ə、ʃ の記号を探しなさい。)



- 14.4.6 一時的に IPA 点字から UEB へ切り替えるには一般 IPA 終了符を使用し、一般 IPA 開始指示符で IPA 点字へ戻る。

〔例〕

[ðə 'nɔɪθ ,wɪnd (garbled section (文字化け)) dɪs'pjuːɪŋ]




14.5 UEB テキスト内の点字楽譜


楽譜用記号ではなく、UEB テキスト内におけるナチュラル、フラット、シャープについては 3.18 を参照。

14.5.1 楽譜については『新国際点字楽譜表記解説』の規定に準じて点訳する。UEB と点字楽譜を切り替える指示符が必要な場合にはその規定に従う。

14.5.2 UEB から点字楽譜へ切り替えるのに指示符を必要とする場合、スペースを残し、楽譜の直前に楽譜開始指示符を置く。

[例]

The key signature is 

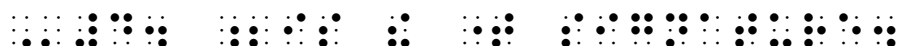
(調子記号は )



14.5.3 点字楽譜から UEB へ戻るには、『新国際点字楽譜表記解説』の規定に従う。

[例]

 is the time signature. ( が拍子記号である。)



14.6 UEB テキスト内のネメス・コード

14.6.1 UEB テキスト内で『数学・自然科学のためのネメス点字コード』の規定に準じて技術文書が点訳される場合、以下のセクションで UEB とネメス・コードの切り替えについて定める。

14.6.2 ネメス・コード開始指示符を、該当する文字列前のスペースの前に置く。その効力はスペースに続くネメス・コード終了符によって終了する。

[注] 指示符と終了符が必要とするスペースは墨字上のスペースを示すものではない。

第 15 節 韻律分析、アクセント、イントネーション

15.1 韻律分析、行サイン

⋮		行指示符
⋮⋮		縦線
⋮⋮ ⋮⋮		二重縦線
⋮⋮	/	斜線（フォワードスラッシュ）
⋮⋮ ⋮⋮	//	二重斜線

- 15.1.1 詩の韻律分析において見られるように、朗読中の間を示すための詩脚記号や中間休止は墨字で示された通りとする。

[例]

To BE / or NOT to be, // THAT / is the QUESTIon.

（生きるべきか / 死ぬべきか // それが / 問題だ）

⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮
 ⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮
 ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮

To err is human; // to forgive, divine.

（過ちは人の常; // 許すは神の業）

⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮ ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮
 ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮

- 15.1.2 墨字の（詩にみられるような）行ごとの形式が変わる場合、点字では行間の間を示すため行指示符を使用する。行指示符は先行する行との間にスペースを置かず、後に続く行の前にスペースが続く。

[例]

Rose kissed me to-day,—




Will she kiss me to-morrow?

—Austin Dobson

（ローズが今日僕にキスをした—

明日もしてくれるだろうか？

—オーステイン・ドブソン）

A mad kingfisher

rocketing about in the

red fog at sunrise



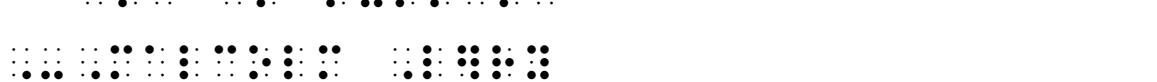
—Malcolm Lowry

(狂ったカワセミ


ロケットのように飛んでいく


日の出の赤い霧の中へ

—マルコム・ローリー)

15.2 アクセント

 第一アクセント記号

 第二アクセント記号

- 15.2.1 大文字、文字の修飾、活字書体の変更、文字の上に書かれた記号などが語の音節またはフレーズ、文、詩などにおける語のアクセントを示している場合は、墨字で示された通りとする。



[例]

or/gan/i/ZA/tion



hót bréath on my ánkles,

—Ezra Pound

Ōvēr thě / sēa, pāst / Crēte, // ōn thě / Sȳriān / shōre ...

—Charles Kingsley

còunterintèlligence

commercial [kə **mûr** shəl]

Figure 1 consists of four dot plots arranged horizontally, each representing the distribution of the number of children per family for a different country: Germany, France, Italy, and Spain. The x-axis for all plots is 'Number of children' ranging from 0 to 10. The y-axis is 'Number of families' ranging from 0 to 100. Each dot represents 10 families.

- Germany:** The distribution is roughly bell-shaped, peaking at 2 children with approximately 80 families.
- France:** The distribution is roughly bell-shaped, peaking at 2 children with approximately 70 families.
- Italy:** The distribution is roughly bell-shaped, peaking at 2 children with approximately 60 families.
- Spain:** The distribution is roughly bell-shaped, peaking at 2 children with approximately 50 families.

$$\mathbf{x} \quad / \quad \mathbf{x} \quad / \quad \mathbf{x} \quad / \quad \mathbf{x} \quad / \quad \mathbf{x} \quad /$$

But soft! What light through yonder window breaks?

(おや、あその窓からもれてくる光は何だろう)

Diagram of poetic metre: (詩の韻律の図表)

$$\cdot - \cdot - / \cdot \cdot - - / \cdot - \cdot - / \cdot \cdot -$$

15.2.2

墨字でアクセントが置かれていることを示す音節の前後に記号が使われている場合、第一および第二アクセント記号を使用し、墨字の配置に従う。記号ページまたは点訳者注でどのような墨字記号が使われているか説明する。

詩脚および下書きに使われる主要な記号については、第3.11節「一般記号と指示符」を、技術文書において使われる主要な記号については、『技術文書に対するガイドライン』11を参照。

〔例〕

ap' ri hen' shən (apprehension)

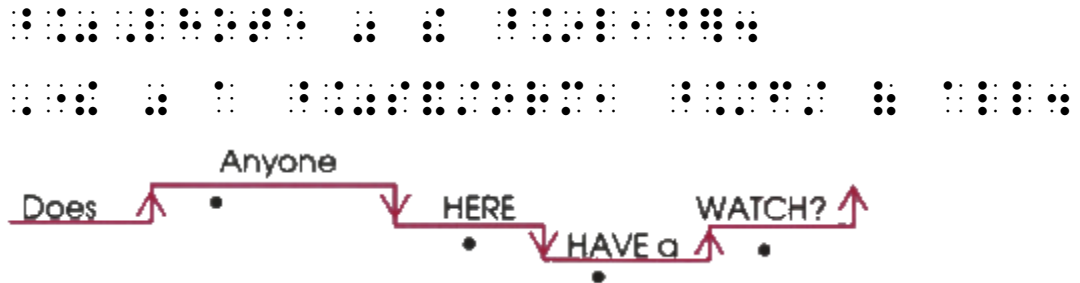
[最初のアクセント記号はプライム記号（またはアクセント）で二番目は太字のプライム記号]

[例]

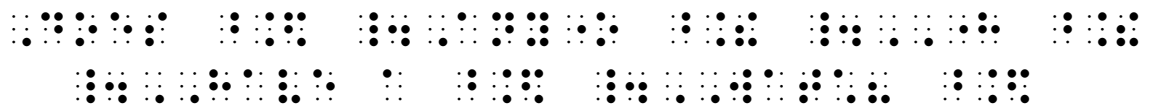
\Lhote was the \leader.

There was a \sandstorm, \first of all.

[イントネーションの変化は語の前の矢印で示されている]



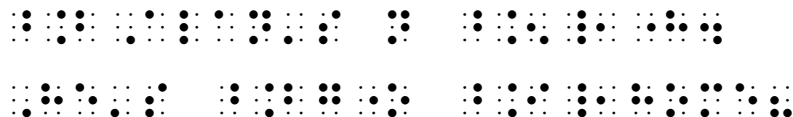
[イントネーションの変化はレベルの変化と矢印で示されている。点字の語の前の黒点は、墨字では語の下にある黒点を表している。]



'Alan's not here.

He's 'gone 'home?

[アクセント記号は高位垂直線。最初のイントネーション記号は低位左傾記号で二番目は高位右傾記号。]



15.4 音声記号の韻律分析、アクセント、イントネーション

- 15.4.1 韻律分析、アクセント、イントネーションが国際音声記号で示されている場合は、『IPA 点字：国際音声記号の最新触知性表現』の最新版を使用する。

第 16 節 線モードとガイド・ドット

16.1 線モードを使用する場合

- 16.1.1 標準の点字マスを使って「線」を描く場合、線モードを用いる。線モードを使用すると、同じ図表の中であっても不明瞭にならずに、文と図形的な線を混在することができる。
- 〔参照〕ハイフン、ダッシュ、ロングダッシュ、そしてアンダースコアに関しては、第 7 節「句読符」を参照。空間的な計算やその他の技術図で使用されている線に関しては、『技術文書に対するガイドライン』4 を参照。化学構造式における線と結合に関しては、第 16.7 節を参照。
- 16.1.2 縦列の見出し区切り線と枠と区別された文書の前後の横線については、線モードを用いる。
- 16.1.3 幾何学と測角など、線と線の特質や関係が重要である場合には、線モードを使用しない。
- 16.1.4 図表があまりにも複雑過ぎて、感触によって読み取れない場合には、線モードを使用しない。
- 16.1.5 技術が応用できるようになれば、図表の線を触図で表す方が良い。

16.2 横線モード

- ⋮⋮ 横線モード指示符
- ⋮ 単純な一本の実線横線
- ⋮ 変種横線（例えば点線または破線）
- ⋮⋮ 二重の横線
- ⋮⋮ 三重の横線
- ⋮⋮ 上に縦線の角
- ⋮⋮ 下に縦線の角
- ⋮⋮ 左上がり斜め線との交差
- ⋮⋮ 縦線との交差
- ⋮⋮ 右上がり斜め線との交差
- ⋮ 横線モード終了符

- 16.2.1 全ての横線の始まりには、横線モード指示符を使用する。
- 16.2.2 横線モードの中では、線を表すのに、適切な横線、角及び／または交差を使用する。

[例]

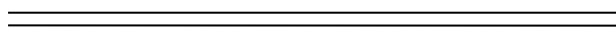
[一本の実線横線]



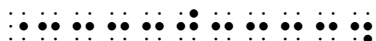
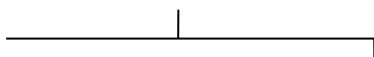
[破線横線]



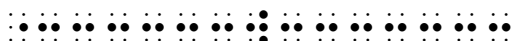
[三重横線]



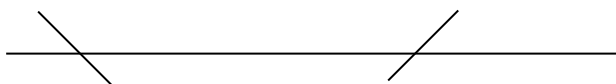
[途中で上向きに縦線が出ており、右隅で下に縦線の出た線]



[縦線との交差のある線]

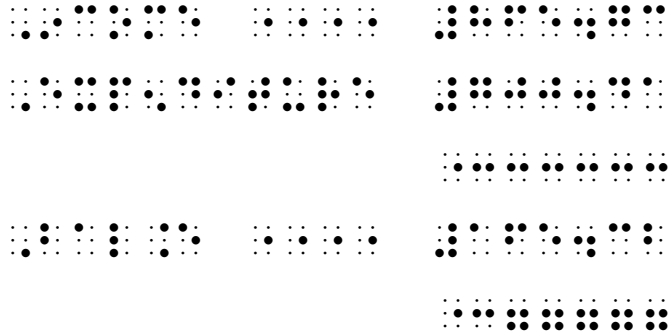


[両方、左上がり斜め線と右上がり斜線との交差がある線]



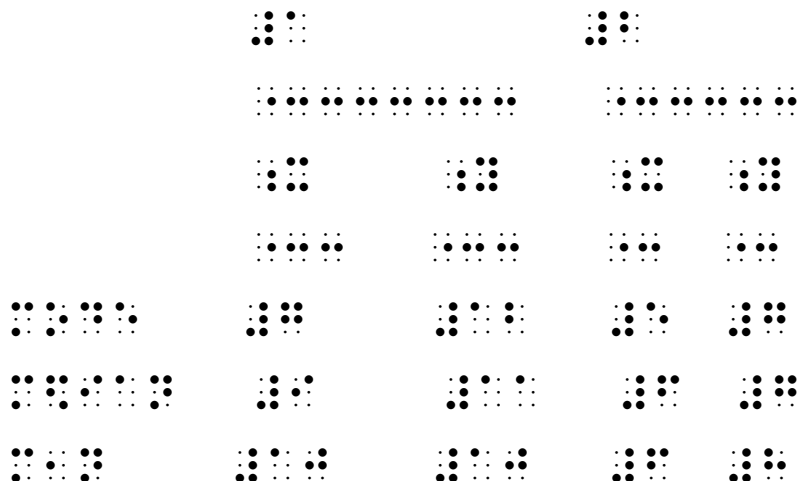
[バランスシートにある横線]


Income (収入)	865.73
Expenditure (支出)	700.41
Balance (残高)	165.32



[表の縦列の見出しに続く横線]

	1		2		
	x	y	x	y	
mode	7	12	5	7	(最頻値)
median	9	11	6	7	(中央値)
mean	10	10	6	8	(平均値)

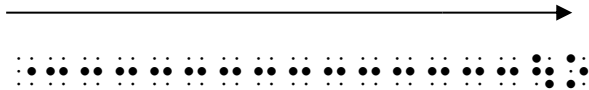


- 16.2.3 矢印が実線である時、矢印の始まりを矢印指示符  で表す。矢印を示すには矢印モードの記号を用いる。矢印が終わったところで、また横線モードが続く。

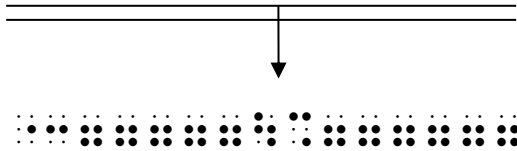
[参照] 矢印を描くルールについては、『技術文書に対するガイドライン』13を参照。

[例]

[右端に右向き矢印のある線]



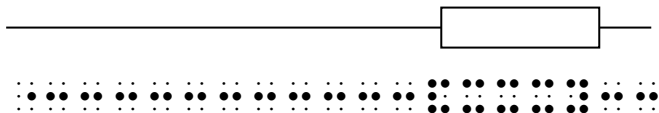
[中間点に下向き矢印のある二重線]



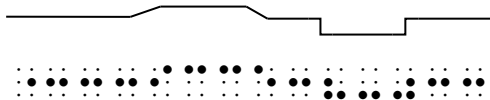
- 16.2.4 特徴のある線を表すには、第 16.2.2 節で挙げられたものの他、矢印指示符 \dots 、横線モード終了符 \dots とスペースを除く、有効な 1 マス UEB 記号を用いる。原則として、記号は、他の文脈で記号が持っている意味ではなく、線の物理的な形または特徴（例えば結合）を基準として選ぶ。

[例]

[右端の近くに小さな長方形のある線]



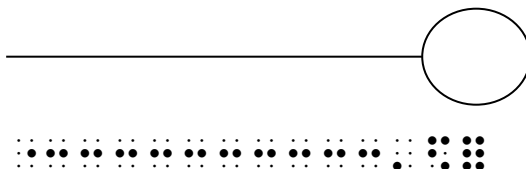
[斜めと直角で角度の違う、異なった段のある線]



- 16.2.5 スペースまたは横線モード終了符で横線モードを終了する。

[例]

[右端に円のある線]



[中間点に文書のある線]



- 16.2.6 変種の横線が使われている場合、どんな線を示しているかを特殊記号ページまたは点訳者注で説明する。

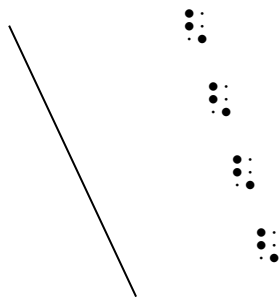
16.3 斜め線と縦線

⋮	一本の実線縦線
⋮	第一変種の縦線（例えば点線または破線）
⋮⋮	第二変種縦線（例えば二重線）
⋮	一本の実線の左斜め線
⋮	一本の実線の右斜め線
⋮⋮	変種左斜め線
⋮⋮	変種右斜め線

- 16.3.1 斜線と縦線を表すには斜線と縦線を用いる。記号は、必要に応じて、一つまたはそれ以上がグループをなすことができるが、そのようなグループはかならずスペースで囲まれている。

[例]

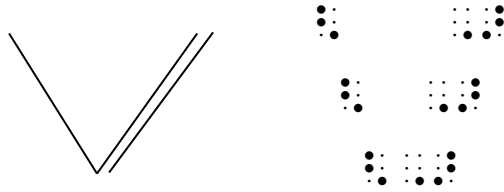
[一本の実線の左斜めの線]



[破線の縦線]



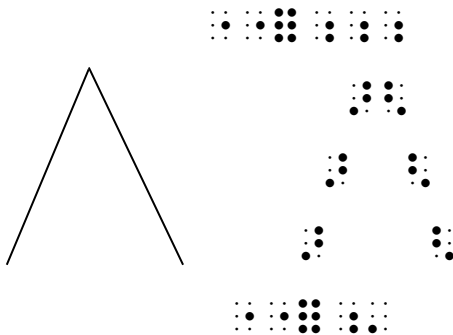
[V 字形で交わる左斜め線と二重の右斜め線]



- 16.3.2 線画が縮約（グレード 2）点字記号で書かれたテキストの中にあり、線画内に線画記号 ⠨ 及び ⠧ が二つ以上の組み合わせで連なり、かつスペースで囲まれているときは、線画にグレード 1 モードを用いる。

[例]

[逆 V 字形で交わる右斜め線と左斜め線]



- 16.3.3 変種の縦線または斜めの線が使用された時、どんな線を示しているのかを特殊記号ページまたは点訳者注で説明する。

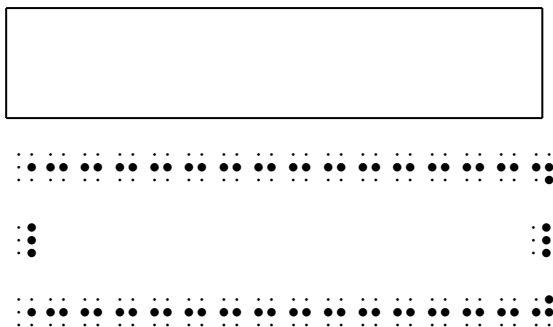
16.4 線の組み合わせ

- 16.4.1 線と、矢印など図表の他の要素が接触している場合または連続している場合には、それらに当てはまる点字記号を隣接して、横、縦または斜めに配置する。

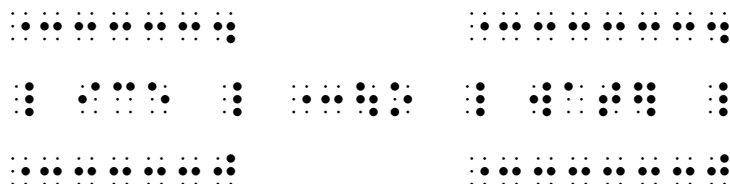
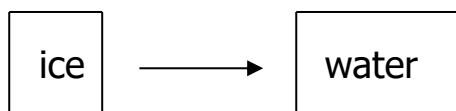
- 16.4.2 横線の左端が角を形成するとき、または縦線や斜線と交差しているときでも、横線は横線モード指示符で始まる。

[例]

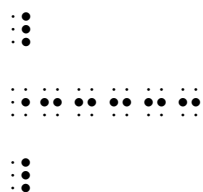
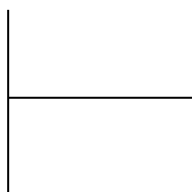
[横幅の方が長い枠]



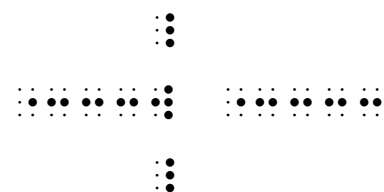
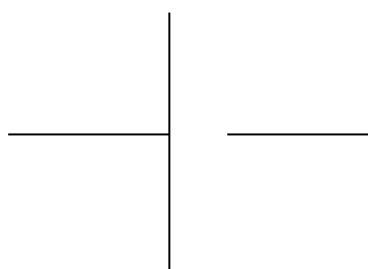
[箱図表]



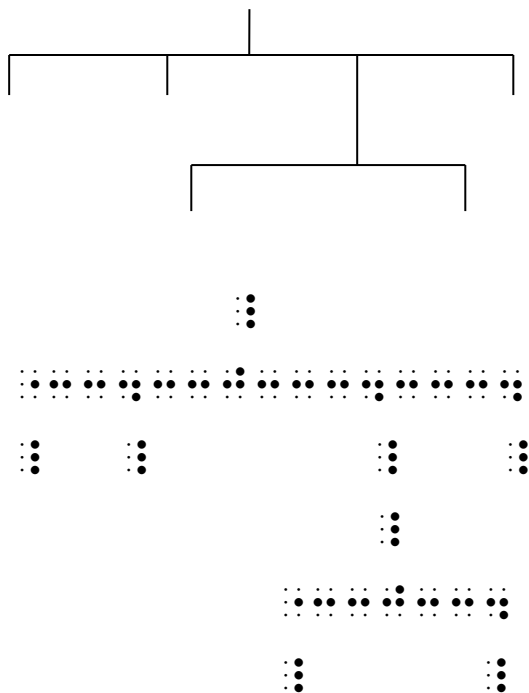
[縦線の間接点から右に向けて伸びる横線]



[横線と縦線が交差しており、交差している縦線の右側の横線に隙間がある横線]

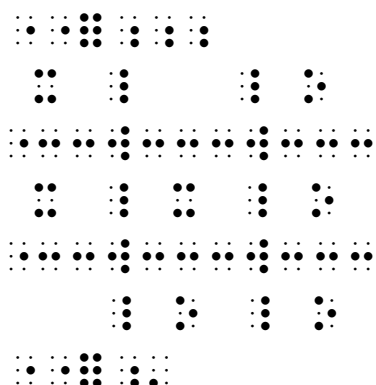


[組織図または家系図]

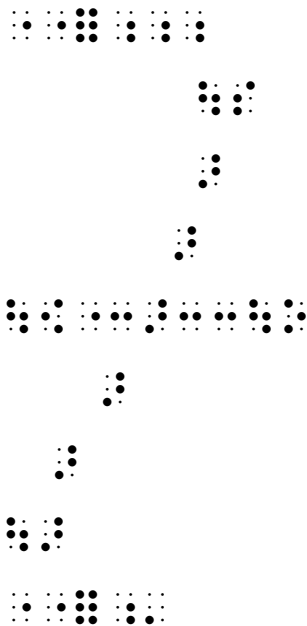
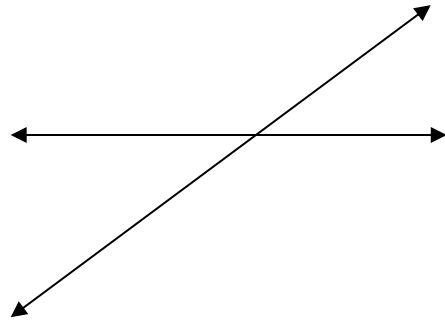


[三目並べ]

X		O
X	X	O
	O	O



[右斜め線が横線と交差しており、両方の線の両端に矢印がついている。]

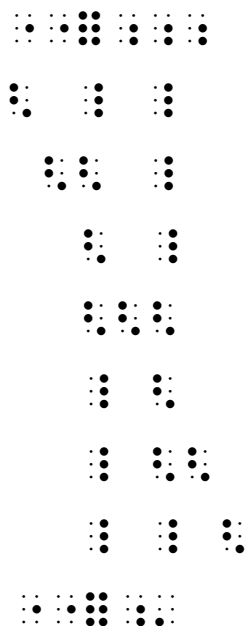
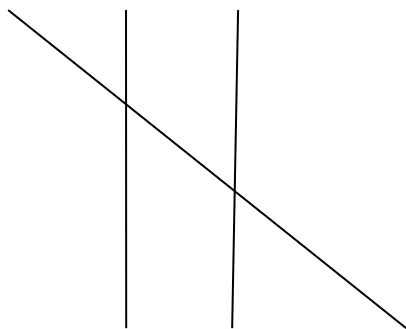


- 16.4.3 縦線、第一変種縦線、第二変種縦線またはこれらの線の組み合わせの前後にはスペースを置く。縦線あるいは変種の縦線の中からの一つが、斜め線と交差しているか、または近づきすぎる場合、斜め線または変種斜め線を用いる。

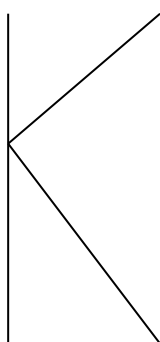
[例]

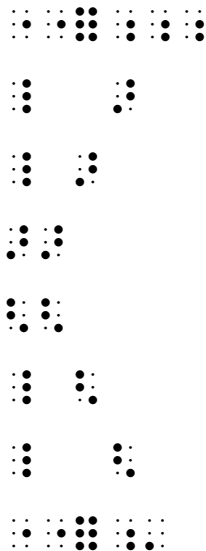
[左斜めの線が交差した 2 本の縦線]

[注] この図形は線モードを用いるには複雑すぎる。



[右側に「K」の形を成すように 2 本の斜め線が接している縦線]





16.5 ガイド・ドット

⠠⠠ ガイド・ドット（前後にスペースが置いてある）

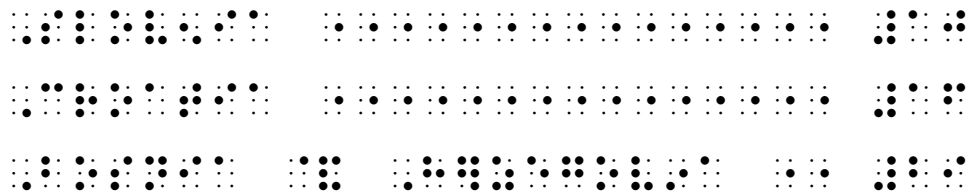
- 16.5.1 目次や縦列になっている文章のような場合には、読む人が点字文章の空白を追跡できるように、一連のガイド・ドットを用いる。2 個以上のドットを用い、そして、列の前後に最低 1 マスずつを開ける。

[例]

Slovenia	10
Croatia	16
Bosnia & Herzegovina	29

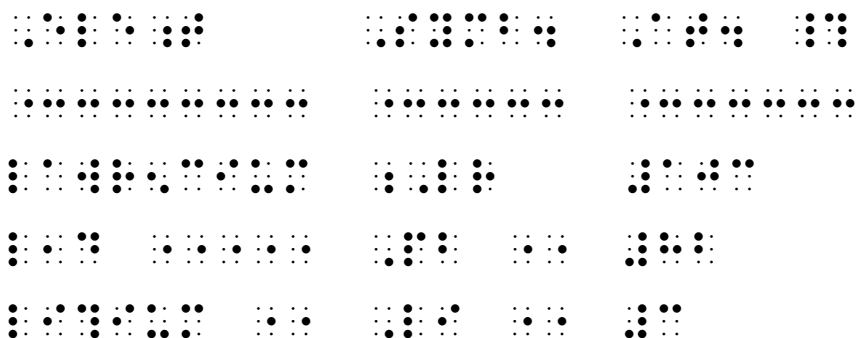
[目次からの抜粋]

スロベニア	10
クロアチア	16
ボスニアヘルツェゴビナ	29



[元素周期表からの抜粋]

<i>Element</i> (元素)	<i>Symb.</i> (記号)	<i>At. #</i> (原子番号)
Lawrencium (ローレンシウム)	Lr	103
Lead (鉛)	Pb	82
lithium (リチウム)	Li	3



別表 1 短形語リスト

本別表では、短形語リストを紹介している。そしてリストに単語を追加するかどうかを決定するのに利用される規則が続く。短形語リストは、ICEB コード管理委員会によって保持されている。

〔参照〕短形語の使用については、第 10.9 節「短形語」を参照。

リスト

追加された"s"・アポストロフイー"s"

"s"・アポストロフイー"s"をリストの用語に加える場合は、短形語を用いる（次の三つの例外あり）。

abouts	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨
almosts	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨
hims	⠠⠨⠠⠨⠠⠨⠠⠨

about ⠠⠨⠠⠨

aboutface	aboutfaced	aboutfacer
aboutfacing	aboutturn	aboutturned
eastabout	gadabout	hereabout
knockabout	layabout	northabout
rightabout	roundabout	roustabout
runabout	southabout	stirabout
thereabout	turnabout	walkabout
westabout	whereabout	

above ⠠⠨⠠⠨⠠⠨

aboveboard	aboveground	abovementioned
hereinabove		

according ⠠⠨⠠⠨⠠⠨

accordingly	unaccording	unaccordingly
-------------	-------------	---------------

across ⠠⠨⠠⠨⠠⠨

readacross

after ⠠⠨⠠⠨

afterbattle	afterbirth	afterbreakfast
-------------	------------	----------------

別表 1 短形語リスト

afterburn	afterburned	afterburner
afterburning	aftercare	afterclap
aftercoffee	afterdamp	afterdark
afterdeck	afterdinner	afterflow
aftergame	afterglow	afterguard
afterhatch	afterhatches	afterhour
afterlife	afterlight	afterlives
afterlunch	afterlunches	aftermarket
aftermatch	aftermatches	aftermath
aftermeeting	aftermidday	aftermidnight
aftermost	afterpain	afterparties
afterparty	afterpiece	afterplay
aftersale	afterschool	aftersensation
aftershave	aftershock	aftershow
aftershower	aftersupper	aftertaste
aftertax	aftertaxes	aftertea
aftertheatre	afterthought	aftertime
aftertreatment	afterword	afterwork
afterworld	hereafter	hereinafter
morningafter	thereafter	thereinafter
whereafter	whereinafter	
afternoon :: :: ::		
afternoontea	goodafternoon	midafternoon
afterward :: :: ::		
again :: ::		
hereagain	hereinagain	thereagain
thereinagain	whereagain	whereinagain
against :: :: ::		
hereagainst	thereagainst	whereagainst

almost ⠠ ⠠ ⠠ ⠠

already ⠠ ⠠ ⠠ ⠠

also ⠠ ⠠ ⠠

although ⠠ ⠠ ⠠ ⠠

altogether ⠠ ⠠ ⠠ ⠠

always ⠠ ⠠ ⠠ ⠠

because ⠠ ⠠ ⠠

before ⠠ ⠠ ⠠

beforehand

behind ⠠ ⠠ ⠠

behindhand

below ⠠ ⠠ ⠠

belowdeck

belowground

belowmentioned

beneath ⠠ ⠠ ⠠

beneathdeck

beneathground

beside ⠠ ⠠ ⠠

between ⠠ ⠠ ⠠

betweendeck

betweentime

betweenwhile

beyond ⠠ ⠠ ⠠

blind ⠠ ⠠ ⠠ [See also Section 10.9.3 (c)]

blindfish

blindfishes

blindfold

blindfolded

blindfolder

blindfolding

blindly

blindman

blindmen

blindness

blindnesses

blindsided

blindsided

blindsider

blindsiding

blindsight

blindstories

blindstory

blindworm

colorblind

colorblindness

別表 1 短形語リスト

colorblindnesses	colourblind	colourblindness
colourblindnesses	deafblind	deafblindness
deafblindnesses	purblind	purblindly
purblindness	purblindnesses	snowblind
snowblindness	snowblindnesses	unblindfold
unblindfolded	unblindfolding	
braille ⠠⠠⠠⠠	[See also Section 10.9.3 (a)]	
brailled	brailler	braillewriter
braillewriting	brailley	misbraille
misbrailled	rebraille	rebrailled
rebrailler	unbraille	unbrailled
children ⠠⠠⠠	[See also Section 10.9.3 (b)]	
children'swear	brainchildren	fosterchildren
godchildren	grandchildren	greatgrandchildren
lovechildren	schoolchildren	stepchildren
conceive ⠠⠠⠠⠠		
conceived	conceiver	
conceiving ⠠⠠⠠⠠⠠		
could ⠠⠠⠠		
could've	coulda	couldest
couldn't	couldn't've	couldst
deceive ⠠⠠⠠⠠		
deceived	deceiver	archdeceiver
undeceive	undeceived	undeceiver
deceiving ⠠⠠⠠⠠⠠		
undeceiving		
declare ⠠⠠⠠⠠		
declared	declarer	undeclare
undeclared		

declaring ☛ ☛ ☛ ☛**either** ☛ ☛**first** ☛ ☛ [See also Section 10.9.3 (c)]

firstaid	firstaider	firstborn
firstclass	firstclasses	firstday
firstdayer	firstfruit	firstfruiting
firstgeneration	firsthand	firsthanded
firstling	firstly	firstness
firstnight	firstnighter	firstrate
firstrated	firstrating	firststring
feetfirst	headfirst	tailfirst

friend ☛ ☛ [See also Section 10.9.3 (c)]

friendless	friendlessness	friendlessnesses
friendlier	friendlies	friendliest
friendliness	friendlinesses	friendly
friendship	befriend	boyfriend
defriend	galfriend	gentlemanfriend
gentlemenfriends	girlfriend	guyfriend
ladyfriend	manfriend	menfriends
penfriend	schoolfriend	unfriend
unfriendlier	unfriendliest	unfriendliness
unfriendlinesses	unfriendly	womanfriend
womenfriends		

good ☛ ☛ [See also Section 10.9.3 (c)]

goodafternoon	goodby	goodbye
goodbyeing	goodbying	goodday
gooder	goodest	goodevening
goodfellow	goodfellowship	goodhearted
goodheartedly	goodheartedness	goodhumor
goodhumored	goodhumoredly	goodhumoredness
goodhumorednesses	goodhumour	goodhumoured
goodhumouredly	goodhumouredness	goodhumourednesses
goodie	goodish	goodlier
goodliest	goodliness	goodlook

別表 1 短形語リスト

goodlooker	goodlooking	goodly
goodman	goodmen	goodmorning
goodnature	goodnatured	goodnaturedly
goodnaturedness	goodness	goodnesses
goodnight	goodsize	goodsized
goodtempered	goodtemperedly	goodtime
goodun	goodwife	goodwill
goodwilled	goodwives	goody
goodyear	feelgood	scattergood
supergood		

great :: :: :: [See also Section 10.9.3 (a)]

greataunt	greatbatch	greatcircle
greatcoat	greaten	greatened
greatener	greatening	greater
greatest	greatgrandaunt	greatgrandchild
greatgrandchildren	greatgranddad	greatgranddaughter
greatgrandfather	greatgrandfatherhood	greatgrandma
greatgrandmother	greatgrandmotherhood	greatgrandnephew
greatgrandniece	greatgrandpa	greatgrandparent
greatgrandparenthood	greatgrandson	greatgranduncle
greathearted	greatheartedly	greatheartedness
greatheartednesses	greatly	greatnephew
greatness	greatnesses	greatniece
greatsword	greatuncle	

herself :: :: ::

him :: ::

himbo	himboes
-------	---------

himself :: :: ::

immediate :: :: ::

immediately	immediateness
-------------	---------------

its ♂ ♂ ♂**itself** ♂ ♂ ♂**letter** ♂ ♂ ♂ [See also Section 10.9.3 (c)]

letterbomb	letterbombed	letterbomber
letterbombing	letterbox	letterboxed
letterboxer	letterboxes	letterboxing
letterbodies	letterbody	lettered
letterer	letterform	letterhead
letterheading	lettering	letterman
lettermen	letteropener	letterperfect
letterpress	letterpressed	letterpresses
letterpressing	letterquality	letterspace
letterspaced	letterspacing	lettertext
bloodletter	chainletter	hateletter
loveletter	newsletter	reletter
relettered	relettering	unlettered

little ♂ ♂ ♂ [See also Section 10.9.3 (c)]

littled	littleneck	littleness
littlenesses	littler	littlest
belittle	belittled	belittlement
belittler		

much ♂ ♂ ♂

muchly	muchness	forasmuch
inasmuch	insomuch	overmuch

must ♂ ♂ ♂

must've	musta	mustard
mustier	mustiest	mustily
mustiness	mustn't	mustn't've
musty		

myself ♂ ♂ ♂ ♂**necessary** ♂ ♂ ♂ ♂

unnecessary

neither ♂ ♂ ♂ ♂

oneself ♂ ♂ ♂ ♂

ourselves ♂ ♂ ♂ ♂ ♂ ♂

paid ♂ ♂

highlypaid

overpaid

prepaid

unpaid

illpaid

poorlypaid

repaid

wellpaid

lowlypaid

postpaid

underpaid

perceive ♂ ♂ ♂ ♂ ♂

perceived

apperceived

misperceived

unperceived

perceiver

apperceiver

misperceiver

apperceive

misperceive

unperceive

perceiving ♂ ♂ ♂ ♂ ♂ ♂

apperceiving

misperceiving

unperceiving

perhaps ♂ ♂ ♂

perhapses

quick ♂ ♂ [See also Section 10.9.3 (c)]

quickdraw

quickener

quickest

quickfreeze

quickfrozen

quickishly

quickness

quickset

quicksilvering

quickstepped

quicktempered

quickwittedly

doublequick

quicken

quickenings

quickfire

quickfreezing

quickie

quicklime

quicknesses

quicksilver

quicksnap

quickstepper

quicktime

quickwittedness

superquick

quickened

quicker

quickfiring

quickfroze

quickish

quickly

quicksand

quicksilvered

quickstep

quickstepping

quickwitted

quicky

unquick

receive ⠠⠠⠠⠠

received

preceive

receiver

preceiver

receivership

unreceived

receiving ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

preceiving

rejoice ⠠⠠⠠⠠

rejoiced

rejoicefulness

unrejoiced

unrejoicefully

rejoiceful

rejoicer

unrejoicer

unrejoicefulness

rejoicefully

unrejoice

unrejoiceful

rejoicing ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

rejoicingly

unrejoicing

unrejoicingly

said ⠠⠠⠠

saidest

foresaid

saidst

gainsaid

aforesaid

missaid

should ⠠⠠⠠

should've

shouldn't

shoulda

shouldn't've

shouldest

shouldst

such ⠠⠠⠠

suchlike

somesuch

nonesuch

nonsuch

themselves ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

thyself ⠠⠠⠠⠠

today ⠠⠠⠠

together ⠠⠠⠠⠠

togetherness

tomorrow ⠠⠏⠗⠔⠗⠔⠗⠠⠏⠗⠔⠗⠠⠏⠗⠔⠗

tonight ⠠⠏⠗⠔⠗⠠⠏⠗⠔⠗⠠⠏⠗⠔⠗

would ⠠⠕⠗⠑⠑⠠⠕⠗⠑⠑

would've

wouldn't

'twould

'twouldn't

woulda

wouldn't've

'twould've

'twouldn't've

wouldest

wouldst

'twoulda

your ⠠⠕⠗⠑⠗

yourself ⠠⠕⠗⠑⠗⠠⠑⠗⠑⠗⠠⠕⠗⠑⠗

do-it-yourselfer

yourselves ⠠⠕⠗⠑⠗⠠⠑⠗⠑⠗⠠⠕⠗⠑⠗⠠⠑⠗⠑⠗

リスト作成規則

単語としての短形語

1. 統一英語点字の 75 の短形語は短形語リストにある。

長い単語の一部としての短形語

2. 短形語が長い単語の一部の場合は、
 - (a) 長い単語は短形語の本来の意味と本来のつづりを保持し
 - (b) 短形語の使用は次の 3～5 の規則によって禁じられていなければ、短形語リストに長い単語を加える。

[例]

Ahimsa ⠠⠁⠏⠏⠕⠎⠁⠠⠏⠏⠕⠎⠁⠠⠁⠏⠏⠕⠎⠁

Declaration ⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑

Lacrosse ⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑

Mustache ⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑

Muster ⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑

Rafter ⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑

braillist ⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑

drafter ⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑

marabout ⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑

mustang ⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑

necessarily ⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑

shoulder ⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑⠠⠑⠑⠑⠑

- もし短形語リストの中の短形語の使用が別の単語を生み出したら、長い単語は短形語リストに加えない。

〔例〕

abouts [not] [abdominal muscles]

acrosses [not]

again

almosts $\begin{smallmatrix} \bullet & \bullet & \bullet & \bullet & \bullet & \bullet \\ \vdots & \vdots & \vdots & \vdots & \vdots & \vdots \\ \bullet & \bullet & \bullet & \bullet & \bullet & \bullet \end{smallmatrix}$ [not] $\begin{smallmatrix} \bullet & \bullet & \bullet & \bullet \\ \vdots & \vdots & \vdots & \vdots \\ \bullet & \bullet & \bullet & \bullet \end{smallmatrix}$

hims [not] HMS Pinafore]

after, blind and friend

4. “after”, “blind” or “friend”の短形語が長い単語の一部であり、後ろに母音または“y”が続く場合は、長い単語は短形語リストに加えない。

[例]

Aftereffect afterimage

Blinded ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ blinding ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠

Befriended 

be と con の短形語

5. 短形語が **be** と **con** から始まる長い単語の場合は、短形語が表す文字は長い単語の語頭を除き、長い単語は短形語リストに加えない。


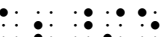


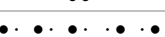







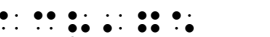

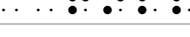











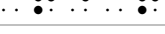

[例]

Hereinbefore  inbetween 

Misconceived

別表 2 単語リスト

本別表では、第 10 節「縮約」までに使われた、縮約の使用を示す単語例をアルファベット順に掲載している。

ab initio		10.9.5
abbé		10.6.5
abbreviate		10.11.5
about-face		10.9.1
abouts		10.9.2
aboveground		10.9.2
accent		10.11.5
accept		10.6.5
account		10.6.5
acetone		10.7.6
acknowledge		10.7.1
acreage		10.6.5, 10.11.7
acrosses		10.9.2
adhere		10.7.5
adhered		10.7.5, 10.10.7
adherent		10.10.7
adherer		10.10.7
advanced		10.10.2, 10.10.7
ædile		10.4.1
aerial		10.4.1, 10.11.9
aerobic		10.11.9
aerofoil		10.11.5
affect		10.11.5
affirm		10.6.5
afford		10.3.1, 10.6.5, 10.10.3
affrighted		10.7.1
aftercare		10.9.2
afterdinner		10.9.2

別表2 単語リスト

aftereffect	⠠⠁⠋⠗⠑⠗⠑⠋⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.9.2
afterimage	⠠⠁⠋⠗⠑⠗⠑⠋⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.9.2
again	⠠⠁⠗⠁⠗⠑	10.9.2
aggressive	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.6.5, 10.11.5
aghast	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑	10.4.1
agreeable	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.6.5, 10.11.7
air-conditioned	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.6.1
Airedale	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.11.1
Aix-en-Provence	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.6.9
Al	⠠⠁⠗	10.9.5
Al-Azar	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.9.5
almosts	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.9.2
alt.	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑	10.9.5
altimeter	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.7.8
amount	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑	10.8.1
ancestor	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.8.1
andante	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.3.1
Andy	⠠⠁⠗⠗⠑	10.3.1
anemone	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.7.6
anteater	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.11.6
anteroom	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.4.1
anthill	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.4.1
antinode	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.6.8
antitype	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.11.5
apartheid	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.3.1, 10.7.1, 10.10.8
appear	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.6.5
aqueduct	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.11.5
arboreal	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.11.7
arccosine	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.6.5
areas	⠠⠁⠗⠗⠑	10.6.5
areaway	⠠⠁⠗⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.11.8
arena	⠠⠁⠗⠗⠑	10.6.8

別表2 単語リスト

argh!	⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.1
aright	⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.1, 10.10.2
arise	⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.5
arpeggio	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.5
asseverate	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.4
asthma	⠠⠠⠠⠠⠠	10.10.8
Athens	⠠⠠⠠⠠⠠	10.3.1, 10.6.8
atmosphere	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.5
atonement	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.6
baccalaureate	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.5
bacchanal	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.5, 10.10.5
Baedeker	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.9
baloney	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.6
baroness	⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.6, 10.8.1, 10.11.7
baronet	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.6
bastion	⠠⠠⠠⠠⠠	10.8.1, 10.10.2
bathed	⠠⠠⠠⠠	10.3.1, 10.10.3
beach	⠠⠠⠠	10.10.4
bear	⠠⠠⠠	10.4.1, 10.6.5, 10.10.5
beat	⠠⠠⠠	10.6.5
beatitude	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.1, 10.6.5, 10.10.4
Beatrice	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.1, 10.6.5
Beatrix	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.10.4
beautiful	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.10.4
be'ave	⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.2
beckon	⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.1
become	⠠⠠⠠⠠	10.6.1
BEd	⠠⠠⠠	10.6.4
bed	⠠⠠	10.10.4

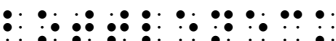






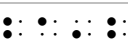

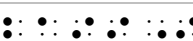





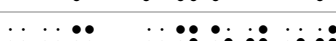
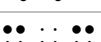

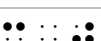




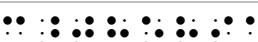

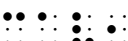






別表 2 単語リスト

bedazzle	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.11.3
bedevil	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.11.3
bedraggled	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.10.4
been	⠠ ⠠ ⠠	10.6.1, 10.6.8
befriended	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.9.2
begging	⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.5
begin	⠠ ⠠ ⠠	10.6.8
begonia	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.1
behemoth	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.1
bein'	⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.10
be'ind	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.8
being	⠠ ⠠	10.6.1
Belg	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.4
believer	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.7.4
Belinda	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.2
belligerent	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.1
belowdecks	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.9.2
Benedict	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.11.5
beneficent	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.1
benefit	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.1, 10.6.8, 10.10.4
benevolence	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.10.4
benighted	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.10.4, 10.11.3
benign	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.8, 10.10.4
benumb	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.11.3
benzene	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.10.4
berate	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.11.3
berated	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.10.4
bereave	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.11.3
berth	⠠ ⠠ ⠠	10.10.4
best	⠠ ⠠ ⠠	10.6.1
bet	⠠ ⠠ ⠠	10.6.4

別表2 単語リスト

beta	⠠⠠⠠⠠	10.6.1
bethel	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.1
better	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.1
Betws-y-Coed	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.9
Bev	⠠⠠⠠⠠	10.6.4
beverage	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.4
Bighorn	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.1
binary	⠠⠠⠠⠠	10.6.8
binomial	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.8
biofeedback	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.3.1, 10.11.5
biscuity	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.8.3, 10.11.7
Bisquick	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.3
Blaenau Ffestiniog	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.9
Blakeney	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.8
BLCUP	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.5
blessèd	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.1
blessing	⠠⠠⠠⠠	10.8.1
Blindcraft	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.3
blinded	⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.2
Blindheim	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.3
blinding	⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.2
Blindoc	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.3
blithesome	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.7
blossomed	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.7
blowhard	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.1
blunder	⠠⠠⠠⠠	10.7.9
Bonaparte	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.1
Boone	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.6
borealis	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.5
boredom	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.1, 10.11.7
bother	⠠⠠⠠⠠	10.3.1
bothered	⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.2, 10.7.5

別表2 単語リスト

bottleneck		10.11.1
boyfriends		10.9.2
Braillette		10.9.3
brailling		10.9.2
Brigham		10.11.2, 10.11.7
brighten		10.7.1
brougham		10.4.1
bubble		10.6.5
bureau		10.6.5
business		10.6.8, 10.8.1
buts		10.1.1
bygone		10.7.6
Caen		10.6.8
Caernarvon		10.11.9
calisthenics		10.10.3
CAN Network		10.1.3
can-can		10.1.1
cancel		10.8.1
can't		10.1.2
Cantonese		10.7.6
captainess		10.10.2
carefully		10.8.1
Caribbean		10.6.5
carthorse		10.11.1
casino		10.6.8
caveat		10.6.5
CD		10.9.5
cement		10.8.1
centime		10.7.8
centimeter		10.7.8, 10.11.5
Chad		10.7.3
changeability		10.11.7

別表 2 単語リスト

channel-less	⠠⠉⠁⠑⠒⠅⠇⠝⠇⠑⠎⠞⠊⠎	10.8.1
characterise	⠠⠉⠕⠞⠁⠗⠁⠅⠞⠊⠎⠑	10.7.1
characteristic	⠠⠉⠕⠞⠁⠗⠁⠅⠞⠊⠎⠞⠊⠙	10.7.1
chargeable	⠠⠉⠓⠁⠗⠑⠁⠃⠑	10.11.7
Chatham	⠠⠉⠓⠁⠞⠁⠏	10.11.2, 10.11.7
cheddar	⠠⠉⠓⠑⠔⠑⠗	10.4.1
cheerful	⠠⠉⠓⠑⠗⠋⠘	10.8.1
chemotherapy	⠠⠉⠓⠑⠓⠑⠗⠁⠑⠞⠁⠛⠊⠑	10.7.1, 10.10.9
cherished	⠠⠉⠓⠑⠗⠊⠎⠞⠊⠙	10.4.1
chieftainess	⠠⠉⠓⠑⠞⠁⠊⠗⠞⠑⠎⠎	10.8.4, 10.11.7
chifforobe	⠠⠉⠓⠑⠗⠕⠖⠑	10.3.1
childish	⠠⠉⠓⠊⠔⠊⠎	10.2.1
childlike	⠠⠉⠓⠊⠔⠊⠎⠞⠊⠙	10.1.1
child-like	⠠⠉⠓⠊⠔⠊⠎	10.1.1
child-proof	⠠⠉⠓⠊⠔⠊⠎⠑⠗⠕⠔	10.2.1
child's	⠠⠉⠓⠊⠔⠊⠎	10.2.2
china	⠠⠉⠓⠊⠔⠁	10.6.8
Ch'ing	⠠⠉⠓⠊⠔⠍	10.4.3
Chisholm	⠠⠉⠓⠊⠔⠓	10.11.7
chlordane	⠠⠉⠓⠊⠔⠔⠁⠗⠑	10.7.1, 10.10.9
chockfull	⠠⠉⠓⠊⠔⠋⠞	10.8.1
Chopin	⠠⠉⠓⠕⠒⠊⠔	10.6.8
Chou En-lai	⠠⠉⠓⠕ ⠠⠑⠤⠌⠁⠊	10.6.9
chromosome	⠠⠉⠓⠕⠗⠕⠎⠕⠄⠑	10.7.7
cinéaste	⠠⠉⠊⠤⠑⠁⠎⠞⠑	10.6.5
circuitry	⠠⠉⠊⠗⠊⠙⠞⠊	10.8.1
citizeness	⠠⠉⠊⠞⠊⠤⠑⠤⠎	10.6.8, 10.8.4, 10.11.7
Clemenceau	⠠⠉⠓⠑⠄⠑⠤⠑⠤	10.10.6
coffee	⠠⠉⠕⠑⠑	10.3.1, 10.6.5, 10.10.3
cofounder	⠠⠉⠕⠑⠦⠕⠤⠑⠗	10.11.5

別表2 単語リスト

cohere	⠠⠉⠕⠑⠑⠗⠑	10.7.5
cohered	⠠⠉⠕⠑⠑⠗⠑⠇	10.10.7
coherence	⠠⠉⠕⠑⠑⠗⠑⠑⠒⠑	10.7.5, 10.10.2
colonel	⠠⠉⠕⠇⠕⠗⠑⠇	10.7.6
comfort	⠠⠉⠕⠑⠑⠗⠑⠗⠏⠏⠏	10.3.1
comin'	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.10
commenced	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.10.6
commencement	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.8.1
comment	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.8.1
component	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.10.7
con	⠠⠉⠕⠑	10.6.1
Con.	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.4
concept	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.1
conch	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.1
cone	⠠⠉⠕⠑⠑	10.6.1, 10.7.6
Conestoga	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.7.6
coney	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.1
confusion	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.8.1
congeal	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.11.3
congee	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑	10.10.4
congenial	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.10.4
Congo	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑	10.10.2
congratulate	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.10.2
congress	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.1
congruent	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.11.3
congruity	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.10.2
congruous	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.8.1
Conn.	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.4
cont	⠠⠉⠕⠑	10.6.4
contact	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.2
contradistinction	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.11.6
control	⠠⠉⠕⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.1
cough	⠠⠉⠕⠑⠑	10.4.1

別表2 単語リスト

could've	⠠⠉⠠⠠⠧⠠⠑	10.9.2
country	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠑⠠	10.8.1
county	⠠⠉⠠⠠⠑⠠	10.8.1
coupon	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠	10.4.1, 10.7.2
cowherd	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠	10.11.1
coworker	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠⠠	10.7.1
create	⠠⠉⠠⠠⠑⠠	10.6.5
creation	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠	10.6.5, 10.8.1
cringed	⠠⠉⠠⠠⠑⠠	10.4.1, 10.6.8
crooner	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠⠠	10.7.6
Cunyngham	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.2
cushioned	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.6
dacoity	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠⠠⠠	10.8.3
Daedalus	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.9
dancer	⠠⠉⠠⠠⠑⠠	10.8.1, 10.10.2
Dayan	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠	10.7.1
day-by-day	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.1
daytime	⠠⠉⠠⠠⠑⠠	10.7.8
Dayton	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠⠠	10.7.1
deactivate	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.7
deafen	⠠⠉⠠⠠⠑⠠	10.6.8
deduce	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠	10.11.5
deity	⠠⠉⠠⠠⠑⠠	10.8.1
delineate	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.7
demonetise	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.6
denominate	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.5
denote	⠠⠉⠠⠠⠑⠠	10.6.8, 10.11.5
denouement	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠⠠⠠	10.11.5
denounce	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠⠠⠠	10.11.5
deny	⠠⠉⠠⠠⠑⠠	10.6.8
derail	⠠⠉⠠⠠⠑⠠	10.11.5
derailed	⠠⠉⠠⠠⠑⠠⠠	10.4.1

別表2 単語リスト

deregister	⠠⠑⠗⠑⠗⠊⠎⠞⠊⠑⠗	10.11.5
derivable	⠠⠑⠗⠊⠑⠗⠊⠑⠗⠊⠑⠗⠊⠑	10.11.5
derogatory	⠠⠑⠗⠊⠑⠗⠊⠑⠗⠊⠑⠗⠊⠑⠗⠊⠑	10.11.5
deshabille	⠠⠑⠑⠃⠊⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.4.1
diaeresis	⠠⠑⠊⠑⠗⠊⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.11.9
dingy	⠠⠑⠊⠑⠑	10.4.1
dis'armony	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.2
disaster	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.1
disc	⠠⠑⠑⠑⠑	10.6.1
disco	⠠⠑⠑⠑⠑	10.6.1
disease	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.5, 10.11.6
dish	⠠⠑⠑⠑⠑	10.6.1, 10.10.4
disharmony	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.11.3
dishevel	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.1
dishevelled	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.10.4, 10.10.8
dishonest	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.1, 10.11.3
dishonesty	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.7.6, 10.10.4
disingenuous	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.8, 10.11.6
dislikes	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.1.1, 10.6.1
dispirited	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.1, 10.7.1, 10.10.2
display	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.2
dissect	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.1
dist.	⠠⠑⠑⠑⠑	10.6.4
distance	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.1, 10.10.4
distinct	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.10.2
district	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.2
disturbed	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.10.2
disulphide	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.6.1, 10.11.5
do re mi	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.1.1
Dobrljin	⠠⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.9.6

別表 2 単語リスト

doggone	⠠⠳⠠⠮⠎⠒⠠⠭⠠⠨⠑⠒⠠⠑⠎⠂⠠⠑⠒⠎⠑	10.6.5
do-it-yourself	⠠⠳⠠⠱⠠⠗⠠⠇⠠⠔⠠⠊⠞⠠⠙⠠⠕⠗⠎⠠⠑⠞⠠⠏⠠⠗⠠⠎⠠⠙	10.1.1
done	⠠⠳⠠⠱⠠⠗⠠⠑	10.7.6
Donegal	⠠⠳⠠⠱⠠⠅⠠⠎⠠⠮⠠⠎⠠⠅⠠⠎⠠⠅⠠⠎⠠⠅⠠⠎⠠⠅⠠⠎	10.7.6
double-entendre	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠅⠠⠎⠠⠗⠠⠑⠠⠅⠠⠎⠠⠗⠠⠑⠠⠅⠠⠎⠠⠗⠠⠑⠠⠅⠠⠎⠠⠗⠠⠑⠠⠅⠠⠎⠠⠗⠠⠑	10.6.8
dough	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.4.1
drought	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.7.1
Du Plessis	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.8.1
dukedom	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.11.7
dumbbell	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.6.5, 10.11.1
Dupont	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.7.2
Dworkin	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.7.1
d'you	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.1.1
'ead	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.6.5
east	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.6.5
ebb	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.6.5
ebbing	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.11.8
ebb-tide	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.6.5
ed.	⠠⠳⠠⠱⠠⠱	10.4.1
edacious	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.11.5
edict	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.11.5
Edith	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.4.1
edition	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.11.5
educer	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.11.5
e'en	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.6.8
e'er	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.4.1
effaceable	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.11.5, 10.11.7
effect	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.11.5
effort	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.10.3
effulgent	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.10.7
egghead	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.10.5, 10.11.1
eggnog	⠠⠳⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱⠠⠱	10.6.5

別表2 単語リスト

[illegible]

別表2 単語リスト

everyone	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.7.6
everything	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.7.4
experienced	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.8.1, 10.10.6
expressionless	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.8.1
extramental	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.8.1, 10.11.6
faerie	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.11.9
færie	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.11.9
faint	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.6.8
fathead	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.11.1
father-in-law	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.7.1
fatherless	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.7.1
fear	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.10.5
fearsome	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.7.7
Feelgreat	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.9.3
feminine	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.6.8
fenced	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.6.8
fences	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.8.1
fever	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.7.4
fiancé	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.8.1
filename	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.6.8, 10.7.5
filofax	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.11.5
finery	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.11.7
finesse	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.8.1
finger	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.4.3
fireworks	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.7.1
Firstamerica	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.9.3
Firstbank	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.9.3
first-begotten	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.6.1
Firstchoice	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.9.3
flaccid	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.6.5
flearidden	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.11.1
flounder	⠠⠑⠋⠗⠑⠮⠠⠑⠗⠑	10.7.9

別表 2 単語リスト

foghorn	⠋ ⠕ ⠒ ⠏ ⠗ ⠑ ⠒ ⠑ ⠒	10.4.1
force	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠙	10.3.1
forenoon	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑ ⠒	10.6.8
foreseeably	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑ ⠒ ⠑ ⠒ ⠑ ⠒	10.11.7
foreword	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠑ ⠒	10.7.1
forgo	⠋ ⠕ ⠗ ⠑	10.3.1
forthwith	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒	10.3.1
Fortran	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑ ⠒	10.3.1
fought	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒	10.7.1
found	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒	10.8.1
fractional	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑ ⠒ ⠑ ⠒	10.8.1
Francene	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑ ⠒	10.6.8
Frances	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑	10.8.1
freedom	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑ ⠒	10.4.1, 10.11.7
Friday	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒	10.7.1
Friendly Islands	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑ ⠒ ⠑ ⠒ ⠑ ⠒ ⠑ ⠒	10.9.2
friendly	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑ ⠒	10.9.2
fro-ing	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑ ⠒	10.4.3
froward	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠑ ⠒	10.11.5
fruity	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑ ⠒	10.8.3, 10.11.7
furthest	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒	10.3.1
Galahad	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑ ⠒	10.7.3
gasometer	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑ ⠒ ⠑ ⠒	10.7.7, 10.11.5
gathered	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒	10.10.3
Gaylord	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑	10.7.1
G'day	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠑	10.7.1
geanticline	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑ ⠒ ⠑ ⠒ ⠑ ⠒	10.6.7
genealogy	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑ ⠒	10.6.5, 10.11.7
Geoffrey	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠕ ⠒ ⠑ ⠒	10.3.1
Germany	⠋ ⠕ ⠗ ⠑ ⠒ ⠑	10.7.1
ginger	⠋ ⠕ ⠗ ⠑	10.4.1, 10.4.3

別表2 単語リスト

gingham	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.1, 10.10.8
GO Train	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.1.3
go-between	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.1
godchildren	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.2
godmother	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.1
Goering	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.1, 10.11.9
goin'	⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.8
Goodacre	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.3
goodafternoon	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.2
good-bye	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.1
Goodena	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.3
Goodge	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.3
governess	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.8.1, 10.11.7
grandad	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.3.1
grandchild	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.2.1
grandfather	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.1
grandmother	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.3.1
grasshopper	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.1
Greatford	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.3
greatgreatgrandchildren	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.3
Greatorex	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.3
Grtsamada	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.5
Gruenfeld	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.9
Guinevere	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.4
Guinness	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.8.1
haddock	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.3
Haddon	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.3
had-enough	⠠⠠⠠⠠⠠	10.5.2
Hades	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.3
hadji	⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.3
Hadley	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.3
hadn't	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.3

別表 2 単語リスト

[illegible]
















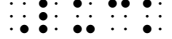








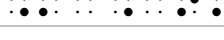




別表2 単語リスト

Houghton	⠠⠏⠢⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.1
hypotheses	⠠⠏⠢⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.2, 10.10.8
ideas	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.5, 10.11.8
imagery	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.7
impartial	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.1
inbetween	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.2
Inc.	⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.8
incline	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.8
incongruity	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.6
incongruous	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.8.1, 10.11.6
inconvenient	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.1
in-depth	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.5.3
indiarubber	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.1
indistinct	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.1, 10.11.6
indistinguishable	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.6
Indonesia	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.6
inessential	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.8.1, 10.11.5
influenceable	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.8.1, 10.10.6
infrared	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.5
Ingoldsby	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.3
ingot	⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.3, 10.6.8
ingredients	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.3
ingrown	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.3
in's	⠠⠠⠠⠠	10.6.8
insofar	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.3.1, 10.11.1
in't	⠠⠠⠠⠠	10.5.3
into	⠠⠠⠠⠠	10.6.8
irredentist	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.5
irreverence	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.4
isometric	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.7
isothere	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.2

別表 2 単語リスト

isthmus		10.10.8
IT (Information Technology)		10.1.3
it'd		10.1.2
it'll		10.1.2
its		10.1.2
it's		10.1.2
Jamestown		10.11.1
Jones		10.7.6
Judaeon		10.6.5, 10.11.9
just's		10.1.2
kettledrum		10.11.1
kilowatt		10.4.1, 10.11.5
knighthood		10.11.2
knowing		10.7.1
Knowles		10.7.1
krone		10.7.6
lament		10.6.8
laugh		10.4.1
laundering		10.7.9
laureate		10.11.7
Leander		10.6.5, 10.10.3
lessee		10.8.1
Letterewe		10.9.3
Letterkenny		10.9.3
Letterman		10.9.2
lettermen		10.9.2
likeable		10.11.7
likeness		10.1.1
likes		10.1.1
Liliaceae		10.11.9
limeade		10.6.5

別表 2 単語リスト

lineage		10.6.5, 10.11.7
lineal		10.11.7
linen		10.6.10
lingerie		10.4.1
Linkletter		10.9.3
lioness		10.8.1, 10.11.7
listen-in		10.5.3
Littlearm		10.9.3
Littleport		10.9.3
Little-Smythe		10.9.1
lofty		10.3.1
lonesome		10.7.6
lonest		10.7.7
longevity		10.8.1
longhand		10.11.1
lordosis		10.7.1
lordship		10.7.1
lowdown		10.4.1
Lucknow		10.7.1
maenad		10.6.8, 10.11.9
mah-jongg		10.6.5
Makegood		10.9.3
malediction		10.4.1, 10.11.5
man-eater		10.6.5
many-sided		10.7.1
Marcillat-en-Combraille		10.9.3
maritime		10.7.8
Matthew		10.3.1
McConnell		10.6.2
McKeever		10.7.4
meander		10.3.1, 10.10.2



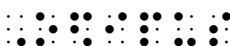












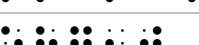


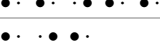

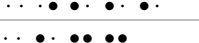


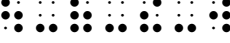

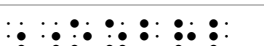



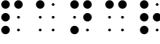

別表2 単語リスト

mecca	⠠⠑⠑⠠⠠	10.6.5
memento	⠠⠑⠑⠠⠠⠠⠠	10.8.1
ménage	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.8
menhaden	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.3
meningitis	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.1
merchandise	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.3.1
merchandising	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.1
meringue	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.1
microfilm	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.3.1, 10.11.5
midwifery	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.7
mileage	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.7
millwright	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.1
Minneapolis	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.5
misconceived	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.9.2
mishandle	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.2
mishap	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.2
mishear	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.2
mistake	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.1, 10.11.5
mistimed	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.8
mistrust	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.5
misunderstand	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.9
misworded	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.1
m'lord	⠠⠑⠠⠠⠠	10.7.1
mod cons	⠠⠑⠠⠠⠠⠠	10.6.4
Monet	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.6
mongoose	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.8.1
monowheel	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.1
Montenegro	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.8
Monteverdi	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.4
Montreal	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.5
moongod	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.8.1
more'n	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠	10.1.2
moreover	⠠⠑⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.1.1

別表2 単語リスト

more's	more's	10.1.2
Mortimer	Mortimer	10.7.8
motheaten	motheaten	10.6.5, 10.11.6
mother-in-law	mother-in-law	10.5.3
motherly	motherly	10.7.1
mother-of-pearl	mother-of-pearl	10.7.1
mountain	mountain	10.8.1
mst file	mst file	10.9.4
Much Hadham	Much Hadham	10.9.1
muffin	muffin	10.6.5
Mulroney	Mulroney	10.7.6
multimedia	multimedia	10.7.8
multinomial	multinomial	10.11.5
mustn't	mustn't	10.9.2
nameable	nameable	10.7.5
named	named	10.10.2
Neapolitan	Neapolitan	10.6.5
nearly	nearly	10.10.5
nevertheless	nevertheless	10.3.1, 10.7.4
Newhaven	Newhaven	10.11.2
newsletter	newsletter	10.9.2
nightingale	nightingale	10.4.1
noblesse	noblesse	10.8.1
nongaseous	nongaseous	10.8.1
northeast	northeast	10.3.1, 10.6.5, 10.11.1, 10.11.6
noticeable	noticeable	10.11.7
noway	noway	10.4.1
nth	nth	10.4.1
nuclear	nuclear	10.10.5
occupy	occupy	10.6.5
oceanic	oceanic	10.6.5

別表 2 単語リスト

O'Connor		10.6.2
oedema		10.4.1
Oedipus		10.11.9
offer		10.10.3
office		10.10.3
often		10.3.1
oleaginous		10.6.5, 10.11.7
oneness		10.7.6, 10.10.2
one-ness		10.8.1
onerous		10.7.6, 10.10.7
one-sided		10.7.6
opponent		10.10.7
orangeade		10.11.7
orangery		10.11.7
orgeat		10.6.5
ornament		10.7.5
orthopaedic		10.11.9
other		10.10.3
oughtn't		10.7.1
'ound		10.4.1, 10.8.1
outcome		10.2.1
out-of-the-way		10.2.1, 10.3.1
ow		10.4.1
ozbrl		10.9.6
paean		10.6.5, 10.11.9
painstaking		10.4.1, 10.11.1
pancreas		10.6.5
pandemic		10.3.1
pandemonium		10.11.5
pandowdy		10.3.1
par		10.4.1

別表2 単語リスト

parenthood	⠠⠏⠁⠗⠑⠏⠁⠗⠑⠏⠏⠗⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.4.1
partake	⠠⠏⠁⠗⠞⠁⠑	10.7.1
parterre	⠠⠏⠁⠗⠞⠑⠗⠗⠑	10.7.1
Parthenon	⠠⠏⠁⠗⠞⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.3.1, 10.7.1, 10.10.3
Parthian	⠠⠏⠁⠗⠞⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.10.7
part-time	⠠⠏⠁⠗⠞⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.7.1
party	⠠⠏⠁⠗⠞⠏	10.7.1
passe-partout	⠠⠏⠁⠑⠑⠏⠁⠗⠞⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.7.1
pastime	⠠⠏⠁⠑⠞⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.7.8
peaceable	⠠⠏⠑⠁⠑⠑⠁⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.6.5, 10.11.7
peanut	⠠⠏⠑⠁⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.6.5
peoples	⠠⠏⠑⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.1.1
people's	⠠⠏⠑⠑⠏⠏⠏⠏	10.1.2
perinatal	⠠⠏⠑⠗⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.11.5
permeable	⠠⠏⠑⠗⠑⠑⠁⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.11.7
permeate	⠠⠏⠑⠗⠑⠑⠁⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.11.7
persevere	⠠⠏⠑⠗⠑⠑⠑⠗⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.7.4
persuasion	⠠⠏⠑⠗⠑⠑⠁⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.8.1
Pforzheimer	⠠⠏⠑⠗⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠑	10.3.1
phoenix	⠠⠏⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.6.8, 10.11.9
phone	⠠⠏⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.7.6
phonetic	⠠⠏⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.7.6
photoflash	⠠⠏⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.11.1
pianoforte	⠠⠏⠑⠁⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.3.1
pineapple	⠠⠏⠑⠏⠑⠁⠑⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.6.5, 10.11.1
pioneer	⠠⠏⠑⠏⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.7.6
pity	⠠⠏⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.8.1
pityard	⠠⠏⠑⠏⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.8.1
poisoned	⠠⠏⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.7.6, 10.10.7
pongee	⠠⠏⠑⠏⠑⠑⠑⠑⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.8.1
popedom	⠠⠏⠑⠏⠑⠑⠑⠑⠑⠑⠏⠏⠏⠏⠏⠏	10.11.7

別表2 単語リスト

Port Said	⠠⠏⠕⠗⠞ ⠠⠎⠁⠊⠔	10.9.1
Portlittle	⠠⠏⠕⠗⠞⠊⠞⠊⠞⠑	10.9.3
posthumous	⠠⠏⠕⠎⠞⠊⠞⠑ ⠠⠎⠁⠊⠞⠊⠞⠑	10.10.8
preamble	⠠⠏⠗⠑⠁⠞⠇⠑	10.6.7
preamplifier	⠠⠏⠗⠑⠁⠞⠇⠊⠞⠑ ⠠⠎⠁⠊⠞⠊⠞⠑	10.11.4
predate	⠠⠏⠗⠑⠔⠑	10.11.5
predated	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔	10.4.1
predecease	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔⠑	10.11.5
predecessor	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔⠑⠔	10.11.5
predestine	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔⠑	10.11.5
predicament	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔⠑⠔	10.11.5
prediction	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔⠑⠔	10.11.5
predominate	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔⠑⠔	10.11.5
prenatal	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔	10.6.8
prerequisite	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔⠑⠔	10.11.5
prerogative	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔⠑⠔	10.11.5
prisoner	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔	10.10.7
profane	⠠⠏⠗⠑⠔⠑	10.3.1
profanity	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔	10.11.5
professor	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔	10.11.5
proffer	⠠⠏⠗⠑⠔⠑	10.10.3
profile	⠠⠏⠗⠑⠔⠑	10.3.1, 10.11.5
profoundly	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔	10.11.5
profusion	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔	10.11.5
prong	⠠⠏⠗⠑⠔	10.8.1
proofread	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔	10.3.1
prounion	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔	10.11.5
psst	⠠⠏⠗⠑⠔	10.4.1
queen	⠠⠏⠗⠑⠔	10.6.8
questionnaire	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔⠑⠔	10.7.1
quicker	⠠⠏⠗⠑⠔	10.9.2
quickly	⠠⠏⠗⠑⠔	10.9.2
Quicksburg	⠠⠏⠗⠑⠔⠑⠔	10.9.3

別表2 単語リスト

reverend	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.7.4
reverify	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.7.4
Rhône	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.7.6
riboflavin	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.11.5
riflery	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.4.1
righteous	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.7.1
right-handed	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.7.1
robb'd	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.5
roof	⠠ ⠠ ⠠	10.3.1
Rooney	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.7.6
rotation	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.8.1
Rountree	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.8.1
saccharine	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.5, 10.10.5
Sanday	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.7.1
Saunders	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.7.9
savagery	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.11.7
Schoenberg	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.11.9
scone	⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.7.6
scythe	⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.3.1
sea-green	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.5
seaman	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.11.8
Seamus	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.5
Sean	⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.5
séance	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.8.1
seashore	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.5, 10.11.8
Seattle	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.5
sedate	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.11.5
self-discipline	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.1
self-induced	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.8
señor	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.6.8
sentiment	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.7.8
several	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.7.4
severity	⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠ ⠠	10.7.4

別表2 単語リスト

Severn	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.4
sh	⠠⠠	10.4.2
shadow	⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.3, 10.10.7
shallot	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.2.1
shallow	⠠⠠⠠⠠⠠	10.2.1
shanghai	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.1
shanghaied	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.11.2
sheer	⠠⠠⠠	10.4.1
Sheffield	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.5
sheriffs	⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.5
sheriff's	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.5
shhh	⠠⠠⠠	10.4.2
shilly-shally	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.2.1
shut-ins	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.8
silenceable	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.10.6
silenced	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.8.1
silencer	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.10.6
sinfulness	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.8.1
singe	⠠⠠⠠	10.4.3
singeing	⠠⠠⠠⠠	10.4.3
Singh	⠠⠠⠠⠠	10.4.1
slithered	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.10.3
smithereens	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.2
SmithInge	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.3
Smith-Inge	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.4.3
smother	⠠⠠⠠	10.7.1
snuff	⠠⠠⠠⠠⠠	10.6.5
so la ti	⠠⠠⠠⠠⠠	10.1.1
so-and-so	⠠⠠⠠⠠⠠	10.1.1
sofa	⠠⠠⠠	10.3.1
somebody	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.7
somersault	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.7
Somerset	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	10.7.7

別表2 単語リスト

Somesch River	⠠⠎⠕⠎⠑⠎⠠⠗⠊⠑⠗	10.9.4
somesuch	⠠⠎⠕⠎⠑⠎⠘	10.7.7
sometimes	⠠⠎⠕⠎⠑⠎⠑⠎	10.7.8
somewhere	⠠⠎⠕⠎⠑⠎⠑⠗⠑	10.7.1, 10.7.7
Sontheim	⠠⠎⠕⠎⠑⠎⠑⠎⠑⠎	10.11.2
Sontheimer	⠠⠎⠕⠎⠑⠎⠑⠎⠑⠎⠑⠎	10.3.1
sooner	⠠⠎⠕⠔⠑⠗	10.7.6, 10.10.7
so's	⠠⠎⠔⠑⠎	10.1.2
sou'east	⠠⠎⠔⠑⠎⠑⠎⠑	10.4.1, 10.6.5
sound	⠠⠎⠔⠑⠎	10.8.1
Southend	⠠⠎⠔⠑⠎⠑⠎	10.11.1
Spartan	⠠⠎⠑⠗⠑⠎	10.7.1
spathose	⠠⠎⠑⠗⠑⠎⠑	10.7.2
speakeasy	⠠⠎⠑⠗⠑⠎⠑	10.6.5, 10.11.6
Spencer	⠠⠎⠑⠗⠑⠎	10.8.1, 10.10.6
sphere	⠠⠎⠑⠗⠑	10.7.5
spirits	⠠⠎⠑⠗⠑⠎	10.7.1
spiritual	⠠⠎⠑⠗⠑⠎⠑⠎	10.7.1
sponge	⠠⠎⠑⠗⠑	10.8.1
spreadeagle	⠠⠎⠑⠗⠑⠎⠑⠎	10.11.6
springtime	⠠⠎⠑⠗⠑⠎⠑	10.7.8
St	⠠⠎	10.4.2
St.	⠠⠎.	10.4.2
Stalingrad	⠠⠎⠑⠎⠑⠎⠑⠎	10.4.1
standstill	⠠⠎⠑⠎⠑⠎	10.2.1
stateroom	⠠⠎⠑⠗⠑⠎	10.11.1
Ste	⠠⠎	10.4.2
stiffly	⠠⠎⠑⠗⠑	10.11.8
still-life	⠠⠎⠑⠗⠑	10.2.1
still's	⠠⠎⠑⠗⠑	10.2.2
Stillson	⠠⠎⠑⠗⠑⠎	10.2.1

別表2 単語リスト

sting	⠠⠎⠞⠊⠗	10.4.3, 10.10.5
stinging	⠠⠎⠞⠊⠗⠊⠗	10.4.3
stoned	⠠⠎⠞⠊⠗⠑⠇	10.7.6, 10.10.7
stonework	⠠⠎⠞⠊⠗⠑⠗⠎	10.7.1, 10.7.6
stone	⠠⠎⠞⠊⠗	10.7.6
storeroom	⠠⠎⠞⠠⠗⠠⠕⠕⠎	10.11.1
stronghold	⠠⠎⠞⠠⠗⠠⠕⠇	10.10.8, 10.11.1, 10.11.2
'struth	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞	10.4.1
styrofoam	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞⠠⠞	10.11.5
subbasement	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞⠠⠞	10.6.5, 10.11.5
sublessee	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞⠠⠞	10.8.1
subpoena	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞⠠⠞	10.11.9
Suchet	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞	10.9.2
suchlike	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞⠠⠞	10.9.2
sudden	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞	10.6.10
surname	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞	10.7.5
sweetheart	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞⠠⠞	10.3.1, 10.11.1
Swithin	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞	10.3.1
sword	⠠⠎⠞⠠⠞	10.7.1
tableau	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞	10.6.5
t'do	⠠⠎⠞⠠⠞	10.1.1
tea	⠠⠎⠞⠠	10.6.5
teach-in	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞	10.5.3
tearoom	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞	10.11.1
teatime	⠠⠎⠞⠠⠞⠠	10.11.8
telephoned	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞⠠⠞	10.10.7
Tennessee	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞⠠⠞	10.8.1
th'	⠠⠎⠞⠠	10.4.2
Thaddeus	⠠⠎⠞⠠⠞⠠⠞⠠⠞	10.7.3, 10.10.7
that'll	⠠⠎⠞⠠⠞	10.1.2

別表2 単語リスト

t'have	⠠⠏⠑⠁⠑⠑	10.1.1
theatre	⠠⠞⠑⠁⠞⠞⠑	10.3.1, 10.6.5, 10.10.3
thee	⠠⠞⠑	10.3.1
theirs	⠠⠞⠑⠞⠑⠗	10.7.1
Thelma	⠠⠞⠑⠞⠞⠁	10.3.1
then	⠠⠞⠑⠞	10.10.3
thence	⠠⠞⠑⠞⠑	10.3.1, 10.8.1, 10.10.2, 10.10.3
thereby	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.7.2
therefore	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.7.2
therein	⠠⠞⠑⠞⠑⠞	10.7.2
Theresa	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.3.1, 10.7.2
thereupon	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.7.2
Theseus	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.7.2
thievery	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.7.4
this'd	⠠⠞⠑⠞⠑	10.2.2
this'n	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.2.2
thistle	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.2.1
th'n	⠠⠞⠑⠞⠑	10.4.2
Thomas	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.4.1
thorough	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.4.1
Thoseby	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.7.2
thou	⠠⠞⠑	10.4.1
thoughtful	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.7.1
throughout	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.7.1
thundered	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.7.9
timeously	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.7.8
timer	⠠⠞⠑⠞⠑	10.10.2
Timex	⠠⠞⠑⠞⠑	10.7.8
tobacco	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.6.5
toenail	⠠⠞⠑⠞⠑⠞⠑	10.6.8, 10.11.1

別表2 単語リスト

tofu	tofu	10.3.1
to-ing	to-ing	10.4.3, 10.6.8
tomorrow's	tomorrow's	10.9.2
toner	toner	10.10.7
tongue	tongue	10.8.1
to-night	to-night	10.9.1
toreador	toreador	10.6.5
toward	toward	10.4.1
towhee	towhee	10.10.8
trebled	trebled	10.4.1
twofold	twofold	10.3.1, 10.11.7
twosome	twosome	10.7.7
unamended	unamended	10.7.5, 10.11.5
unbecoming	unbecoming	10.6.1
uncongenial	uncongenial	10.11.6
undergo	undergo	10.7.9
underived	underived	10.7.9, 10.11.5
underogatory	underogatory	10.7.9
underpaid	underpaid	10.7.9
underworld	underworld	10.7.1
undisturbed	undisturbed	10.11.6
unfulfilled	unfulfilled	10.8.1, 10.11.6
Unilever	Unilever	10.7.4
unless	unless	10.8.1
unlessoned	unlessoned	10.8.1, 10.11.6
unquestionable	unquestionable	10.7.1
untimely	untimely	10.7.8
unworkable	unworkable	10.7.1
US (United States)	US (United States)	10.1.3
Vandyke	Vandyke	10.3.1, 10.11.5
venereal	venereal	10.11.7

別表2 単語リスト

vengeance	⠠⠧⠑⠏⠑⠎⠁⠝⠇⠑	10.10.2
viceregal	⠠⠧⠊⠙⠑⠗⠑⠎⠗⠑⠗⠁⠇	10.4.1
Vietnamese	⠠⠧⠊⠑⠏⠑⠝⠑⠎⠑	10.7.5
weathered	⠠⠺⠑⠁⠞⠑⠗⠑⠇	10.10.3
well-known	⠠⠺⠑⠇⠑⠞⠗⠑⠎	10.7.1
Wenceslaus	⠠⠺⠑⠝⠑⠙⠑⠎⠗⠁⠘	10.8.1
whaddaya	⠠⠺⠏⠁⠙⠙⠁	10.10.9
wharf	⠠⠺⠏⠕⠗⠑	10.4.1
whereas	⠠⠺⠏⠑⠗⠑	10.10.8
whereby	⠠⠺⠏⠑⠗⠑	10.7.1
where'er	⠠⠺⠏⠑⠗⠑	10.7.1, 10.10.8
wherein	⠠⠺⠏⠑⠗⠑	10.7.1
whereof	⠠⠺⠏⠑⠗⠑	10.3.1
whereupon	⠠⠺⠏⠑⠗⠑	10.7.2
wherever	⠠⠺⠏⠑⠗⠑	10.7.1, 10.10.8
whichever	⠠⠺⠏⠑⠙⠑⠙⠑⠗	10.2.1
which'll	⠠⠺⠏⠑⠗⠑	10.2.2
which've	⠠⠺⠏⠑⠗⠑	10.2.2
whiskey-still	⠠⠺⠏⠑⠎⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗	10.2.1
whistle	⠠⠺⠏⠑⠗⠑	10.4.1
whosoever	⠠⠺⠏⠑⠎⠑⠙⠑⠗	10.7.2
will-o'-the-wisp	⠠⠺⠏⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗	10.1.1
wiseacre	⠠⠺⠏⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗	10.11.1
withe	⠠⠺⠏⠑	10.3.1
wither	⠠⠺⠏⠑	10.10.2
withered	⠠⠺⠏⠑	10.7.2
within	⠠⠺⠏⠑	10.6.8
without	⠠⠺⠏⠑	10.2.1, 10.3.1
withstand	⠠⠺⠏⠑	10.3.1
word-for-word	⠠⠺⠏⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.7.1
Wordsworth	⠠⠺⠏⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑	10.7.1
workday	⠠⠺⠏⠑⠗⠑	10.7.1

別表2 単語リスト

working	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠎⠊⠑⠑	10.7.1
worldly	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.7.1
world-wide	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.7.1
would-be	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.5.1
wounded	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.8.1
wrench	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.2.1
Wunderhorn	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.7.9
Xth	⠠⠭⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.4.1
xxist	⠠⠭⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.4.1
Yeats	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.6.5
you'd	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.1.2
you'll	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.1.2
you'm	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.1.2
youngest	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.7.1
Youngstown	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.7.1
Yourcenar	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.9.2
you're	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.1.2
you's	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.1.2
you've	⠠⠺⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗	10.1.2

別表2 単語リスト

別表3 記号リスト

記号を点字順に並べたリストです。

第1行：	⠠	⠡	⠢	⠣	⠤	⠥	⠦	⠧	⠨	⠩
第2行：	⠪	⠫	⠬	⠭	⠮	⠯	⠰	⠱	⠲	⠳
第3行：	⠵	⠶	⠷	⠸	⠹	⠺	⠻	⠼	⠽	⠿
第4行：	⠱	⠲	⠳	⠴	⠵	⠶	⠷	⠸	⠹	⠺
第5行：	⠻	⠼	⠽	⠾	⠿	⠰	⠱	⠲	⠳	⠴
第6行：	⠵	⠶	⠷	⠸	⠹	⠺				
第7行：	⠠	⠡	⠢	⠣	⠤	⠥	⠦			

墨字欄：

点線の円 ◌ はテキストに関連して配置されている記号の文字またはアイテムの配置を示すのに用いられる。

Unicode 欄：

一定 Unicode は厳密に最終的なことを意図しているのではなく、参考として用いる。ワードなど多くのウインドウズのアプリケーションに記号を挿入するため、Unicode 値を入力して Alt-x を押す。この方法は、通常 Unicode 値の前にスペースが必要である。

用法・参考文献欄：

別段の指示がない限り、記号はグレード1の意味を持つとされる。グレード2は記号の縮約された意味をいう。

参考文献はカッコに囲まれている。カッコの種類は以下のとおり元となる文書を示す。この文書は2013年の『UEB 規則集』では丸カッコ () に、2008年10月の『統一英語点字の技術文書に対するガイドライン』では角カッコ [] に囲まれている。

これらの文書は、<http://www.iceb.org/ueb.html> の ICEB のウェブサイトで購入できる。

一部の記号は、完全性を期すためにここに含まれたが、これらの文書に詳細は定められていない。

別表 3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
	(space)	0020	space (no dots)	(3.23)
⠁	a	0061	lowercase letter a	(4.1)
⠑	1	0031	digit 1	numeric mode (6.1)
⠠⠃⠠⠠⠠	about		about	grade 2 (10.9)
⠠⠃⠠⠠⠠⠠	above		above	grade 2 (10.9)
⠠⠃⠠⠠⠠	according		according	grade 2 (10.9)
⠠⠃⠠⠠⠠⠠	across		across	grade 2 (10.9)
⠠⠃⠠⠠⠠	after		after	grade 2 (10.9)
⠠⠃⠠⠠⠠⠠	afternoon		afternoon	grade 2 (10.9)
⠠⠃⠠⠠⠠⠠	afterward		afterward	grade 2 (10.9)
⠠⠃⠠⠠⠠	again		again	grade 2 (10.9)
⠠⠃⠠⠠⠠⠠	against		against	grade 2 (10.9)
⠠⠃⠠⠠⠠	also		also	grade 2 (10.9)
⠠⠃⠠⠠⠠⠠	almost		almost	grade 2 (10.9)
⠠⠃⠠⠠⠠⠠	already		already	grade 2 (10.9)
⠠⠃⠠⠠⠠⠠	altogether		altogether	grade 2 (10.9)
⠠⠃⠠⠠⠠⠠	although		although	grade 2 (10.9)
⠠⠃⠠⠠⠠⠠	always		always	grade 2 (10.9)
⠠⠃	b	0062	lowercase letter b	(4.1)
⠠⠃	but		but	grade 2, standing alone (10.1)
⠑	2	0032	digit 2	numeric mode (6.1)
⠠⠃⠠⠠⠠	blind		blind	grade 2 (10.9)
⠠⠃⠠⠠⠠⠠	braille		braille	grade 2 (10.9)
⠠⠉	c	0063	lowercase letter c	(4.1)
⠠⠉	can		can	grade 2, standing alone (10.1)

別表 3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠼	3	0033	digit 3	numeric mode (6.1)
⠼⠼	could		could	grade 2 (10.9)
⠿	d	0064	lowercase letter d	(4.1)
⠿	do		do	grade 2, standing alone (10.1)
⠼	4	0034	digit 4	numeric mode (6.1)
⠼⠼⠼	declare		declare	grade 2 (10.9)
⠼⠼⠼⠼	declaring		declaring	grade 2 (10.9)
⠼⠼⠼⠼	deceive		deceive	grade 2 (10.9)
⠼⠼⠼⠼⠼	deceiving		deceiving	grade 2 (10.9)
⠿	e	0065	lowercase letter e	(4.1)
⠿	every		every	grade 2, standing alone (10.1)
⠼	5	0035	digit 5	numeric mode (6.1)
⠼⠼	either		either	grade 2 (10.9)
⠿	f	0066	lowercase letter f	(4.1)
⠿	from		from	grade 2, standing alone (10.1)
⠼	6	0036	digit 6	numeric mode (6.1)
⠼⠼	friend		friend	grade 2 (10.9)
⠼⠼	first		first	grade 2 (10.9)
⠿	g	0067	lowercase letter g	(4.1)
⠿	go		go	grade 2, standing alone (10.1)
⠼	7	0037	digit 7	numeric mode (6.1)
⠼⠼	good		good	grade 2 (10.9)
⠼⠼⠼⠼	great		great	grade 2 (10.9)
⠿	h	0068	lowercase letter h	(4.1)
⠿	have		have	grade 2, standing alone (10.1)

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠼	8	0038	digit 8	numeric mode (6.1)
⠠⠠⠠	him		him	grade 2 (10.9)
⠠⠠⠠⠠	himself		himself	grade 2 (10.9)
⠠⠠⠠⠠	herself		herself	grade 2 (10.9)
⠠	i	0069	lowercase letter i	(4.1)
⠼	9	0039	digit 9	numeric mode (6.1)
⠠⠠⠠⠠	immediate		immediate	grade 2 (10.9)
⠠	j	006a	lowercase letter j	(4.1)
⠠	just		just	grade 2, standing alone (10.1)
⠼	0	0030	digit 0	numeric mode (6.1)
⠠	e.g. ∟		corner with upward vertical	horizontal line mode (16.2)
⠠	k	006b	lowercase letter k	(4.1)
⠠	knowledge		knowledge	grade 2, standing alone (10.1)
⠠	l	006c	lowercase letter l	(4.1)
⠠	like		like	grade 2, standing alone (10.1)
⠠⠠	little		little	grade 2 (10.9)
⠠⠠	letter		letter	grade 2 (10.9)
⠠	m	006d	lowercase letter m	(4.1)
⠠	more		more	grade 2, standing alone (10.1)
⠠⠠⠠⠠	myself		myself	grade 2 (10.9)
⠠⠠⠠	much		much	grade 2 (10.9)
⠠⠠⠠	must		must	grade 2 (10.9)
⠠	n	006e	lowercase letter n	(4.1)
⠠	not		not	grade 2, standing alone (10.1)
⠠⠠⠠⠠	necessary		necessary	grade 2 (10.9)


別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠⠠⠠	neither		neither	grade 2 (10.9)
⠠	o	006f	lowercase letter o	(4.1)
⠠	e.g. →		right pointing arrow (east), arrow terminator	arrow mode (11.6) [13.1]
⠠	p	0070	lowercase letter p	(4.1)
⠠	people		people	grade 2, standing alone (10.1)
⠠⠠	paid		paid	grade 2 (10.9)
⠠⠠⠠⠠	perceive		perceive	grade 2 (10.9)
⠠⠠⠠⠠⠠	perceiving		perceiving	grade 2 (10.9)
⠠⠠⠠	perhaps		perhaps	grade 2 (10.9)
⠠	q	0071	lowercase letter q	(4.1)
⠠	quite		quite	grade 2, standing alone (10.1)
⠠⠠	quick		quick	grade 2 (10.9)
⠠	r	0072	lowercase letter r	(4.1)
⠠	rather		rather	grade 2, standing alone (10.1)
⠠	e.g. →		regular barb, full, in line of direction	arrow mode (11.6) [13.3]
⠠⠠⠠	receive		receive	grade 2 (10.9)
⠠⠠⠠⠠	receiving		receiving	grade 2 (10.9)
⠠⠠⠠	rejoice		rejoice	grade 2 (10.9)
⠠⠠⠠⠠	rejoicing		rejoicing	grade 2 (10.9)
⠠	s	0073	lowercase letter s	(4.1)
⠠	so		so	grade 2, standing alone (10.1)
⠠	e.g. ↗		up and right pointing arrow (northeast), arrow terminator	arrow mode [13.1]
⠠⠠	said		said	grade 2 (10.9)
⠠⠠	such		such	grade 2 (10.9)

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠	t	0074	lowercase letter t	(4.1)
⠠	that		that	grade 2, standing alone (10.1)
⠠⠠	today		today	grade 2 (10.9)
⠠⠠⠠	together		together	grade 2 (10.9)
⠠⠠⠠	tomorrow		tomorrow	grade 2 (10.9)
⠠⠠⠠	tonight		tonight	grade 2 (10.9)
⠠	u	0075	lowercase letter u	(4.1)
⠠	us		us	grade 2, standing alone (10.1)
⠠	v	0076	lowercase letter v	(4.1)
⠠	very		very	grade 2, standing alone (10.1)
⠠	x	0078	lowercase letter x	(4.1)
⠠	x	0078	lowercase letter x as a cross	(3.9)
⠠	it		it	grade 2, standing alone (10.1)
⠠⠠	itself		itself	grade 2 (10.9)
⠠⠠	its		its	grade 2 (10.9)
⠠	y	0079	lowercase letter y	(4.1)
⠠	you		you	grade 2, standing alone (10.1)
⠠	e.g. ➞		curved barb, full, in line	arrow mode [13.3]
⠠⠠	your		your	grade 2 (10.9)
⠠⠠⠠	yourself		yourself	grade 2 (10.9)
⠠⠠⠠⠠	yourselves		yourselves	grade 2 (10.9)
⠠	z	007a	lowercase letter z	(4.1)
⠠	as		as	grade 2, standing alone (10.1)
⠠			superposition indicator	between two items [14.3.2]

別表 3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠁	and		and	grade 2 (10.3)
⠃			curved barb, full, counter	arrow mode [13.3]
⠉			cursor indicator	on a line by itself [17]
⠊			horizontal juxtaposition indicator	between two items [14.3.4]
⠋	for		for	grade 2 (10.3)
⠒	○		circle	shape mode (11.7) [14]
⠒	≡		triple horizontal line segment	horizontal line mode (16.2)
⠒			general fraction open indicator	(11.3) [6]
⠋	of		of	grade 2 (10.3)
⠗	∫	222b	integral sign	[11]
⠋	the		the	grade 2 (10.3)
⠠⠠⠠⠠	themselves		themselves	grade 2 (10.9)
⠒			general fraction close indicator	(11.3) [6]
⠋	with		with	grade 2 (10.3)
⠂				unassigned in grade 1
⠉	ch		ch	grade 2 (10.4)
⠉	child		child	grade 2, standing alone (10.2)
⠠⠠	children		children	grade 2 (10.9)
⠒			opening braille grouping indicator	when followed by nonspace (3.4, 11.4) [7]
⠉	gh		gh	grade 2 (10.4)
⠒	e.g. ↘		down and right pointing arrow (southeast), arrow terminator	arrow mode [13.1]
⠒	e.g. 		crossing with left-leaning diagonal line	horizontal line mode (16.2)
⠒	↘		left-leaning single solid diagonal line segment	when surrounded by spaces/other diagonal line segments (16.3)
⠒	√		open radical (root)	(11.5) [8]

別表 3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠	sh		sh	grade 2 (10.4)
⠠	shall		shall	grade 2, standing alone (10.2)
⠠	e.g. ↓		down pointing arrow (south), arrow terminator	arrow mode (11.6) [13.1]
⠠⠠	should		should	grade 2 (10.9)
⠠			first transcriber-defined print symbol	(3.26) [11]
⠠	th		th	grade 2 (10.4)
⠠	this		this	grade 2, standing alone (10.2)
⠠⠠⠠	thyself		thyself	grade 2 (10.9)
⠠	̄		bar over previous item	[12]
⠠	wh		wh	grade 2 (10.4)
⠠	which		which	grade 2, standing alone (10.2)
⠠	e.g. ↖		up and left pointing arrow (northwest), arrow terminator	arrow mode [13.1]
⠠			shape terminator	shape mode (11.7) [14.1]
⠠			shape indicator	(3.22, 11.7) [14]
⠠	ed		ed	grade 2 (10.4)
⠠			vertical juxtaposition indicator	between two items [14.3.3]
⠠	er		er	grade 2 (10.4)
⠠			arrow indicator	(3.2, 11.6) [13.1]
⠠	ou		ou	grade 2 (10.4)
⠠	out		out	grade 2, standing alone (10.2)
⠠	e.g. ↗		straight barb, full (directionless)	arrow mode [13.3]
⠠⠠⠠⠠	ourselves		ourselves	grade 2 (10.9)
⠠			physical enclosure indicator	between two items (11.7) [14.3.1]
⠠	ow		ow	grade 2 (10.4)

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠	e.g. ←		left pointing arrow (west), arrow terminator	arrow mode (11.6) [13.1]
⠠	w	0077	lowercase letter w	(4.1)
⠠	will		will	grade 2, standing alone (10.1)
⠠			regular barb, full, counter to line of direction	arrow mode (11.6) [13.3]
⠠	e.g. ⊥		crossing with vertical line	horizontal line mode (16.2)
⠠	would		would	grade 2 (10.9)
⠠	,	002c	comma	(7)
⠠	,	002c	comma, comma as decimal	numeric mode (6)
⠠	ea		ea	grade 2, preceded and followed by a letter (10.6)
⠠	e.g. ➞		short dotted line shaft	arrow mode (11.6) [13.2]
⠠	e.g. ---		variant horizontal line segment (e.g. dotted or dashed)	horizontal line mode (16.2)
⠠	e.g. ➞		medium dotted line shaft	arrow mode (11.6) [13.2]
⠠	e.g. ➞		long dotted line shaft	arrow mode (11.6) [13.2]
⠠	;	003b	semicolon	(7)
⠠	be		be	grade 2, forming the first syllable of a word (10.6)
⠠	bb		bb	grade 2, preceded and followed by a letter (10.6)
⠠	be		be	grade 2, standing alone (10.5)
⠠	because		because	grade 2 (10.9)
⠠	before		before	grade 2 (10.9)
⠠	behind		behind	grade 2 (10.9)
⠠	below		below	grade 2 (10.9)
⠠	beneath		beneath	grade 2 (10.9)
⠠	beside		beside	grade 2 (10.9)
⠠	between		between	grade 2 (10.9)







別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠⠷⠢⠽	beyond		beyond	grade 2 (10.9)
⠆	:	003a	colon	(7)
⠆	:	2236	ratio	(3.17) [3]
⠆	con		con	grade 2, forming the first syllable of a word (10.6)
⠆	cc		cc	grade 2, preceded and followed by a letter (10.6)
⠆	e.g. →		short single straight line shaft	arrow mode (11.6) [13.2]
⠆	—		simple (solid single) horizontal line segment	horizontal line mode (16.2)
⠆			strike through for tally marks	preceded by vertical line, followed by space [4.2]
⠠⠠⠠⠠⠠	conceive		conceive	grade 2 (10.9)
⠠⠠⠠⠠⠠⠠	conceiving		conceiving	grade 2 (10.9)
⠆⠆	::	2237	proportion	(3.17)
⠆⠆	e.g. →		medium single straight line shaft	arrow mode (11.6) [13.2]
⠆⠆⠆	e.g. →		long single straight line shaft	arrow mode (11.6) [13.2]
⠆	.	002e	full stop (period), dot	(7)
⠆	.	002e	full stop (period), decimal point	numeric mode (6)
⠆	dis		dis	grade 2, forming the first syllable of a word (10.6)
⠆	e.g. ↵		shaft with sharp turn to the right (in line of direction)	arrow mode [13.2]
⠆	e.g. ∟		corner with downward vertical	horizontal line mode (16.2)
⠠⠠⠠⠠	e.g. ...		ellipsis	(7.3)
⠆	e.g. H ₂ O		subscript indicator	(3.24, 11.4) [7]
⠆	en		en	grade 2 (10.6)
⠆	enough		enough	grade 2, standing alone (10.5)
⠆	e.g. ↷		shaft curved or bent to the right (clockwise in line of direction)	arrow mode [13.2]
⠆	!	0021	exclamation mark	(7)

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠼	!	0021	factorial sign	[11]
⠫	ff		ff	grade 2, preceded and followed by a letter (10.6)
⠨	'	2032	prime	distinguished from apostrophe in print (3.11, 3.15) [2.10, 10, 11]
⠫	gg		gg	grade 2, preceded and followed by a letter (10.6)
⠫	were		were	grade 2, standing alone (10.5)
⠫	e.g. ⇒		short double line shaft	arrow mode (11.6) [13.2]
⠫	=		double horizontal line segment	horizontal line mode (16.2)
⠫⠫	"	2033	double prime	(3.11, 3.15) [2.10]
⠫⠫	e.g. ⇒		medium double line shaft	arrow mode (11.6) [13.2]
⠫⠫⠫	e.g. ⇒⇒		long double line shaft	arrow mode (11.6) [13.2]
⠼	?	003f	question mark	(7.5)
⠼	e.g. “ or ‘		opening one-cell (nonspecific) quotation mark	before beginning of word (7.6)
⠼	his		his	grade 2, standing alone (10.5)
⠼	e.g. x ²		superscript indicator	(3.24, 11.4) [7]
⠼	in		in	grade 2 (10.5, 10.6)
⠼	e.g. ↶		shaft curved or bent to the left (anticlockwise in line of direction)	arrow mode [13.2]
⠼	e.g. ” or ’		closing one-cell (nonspecific) quotation mark	(7.6)
⠼	was		was	grade 2, standing alone (10.5)
⠼	e.g. ↵		shaft with sharp turn to the left (in line of direction)	arrow mode [13.2]
⠼	e.g. ½		simple numeric fraction line	numeric mode (6, 11.3) [6]
⠼	st		st	grade 2 (10.4)
⠼	still		still	grade 2, standing alone (10.2)

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠	√		close radical (root)	(11.5) [8]
⠠			visible space	[3.6, 17]
⠠	ing		ing	grade 2 (10.4)
⠠	e.g. ↑		up pointing arrow (north), arrow terminator	arrow mode (11.6) [13.1]
⠠			spaced numeric indicator	before space (6.8) [4.1]
⠠⠼	1	0031	digit 1 and set numeric and grade 1 modes	(5.6, 6)
⠠⠼⠼			regular undecagon (hendecagon)	shape mode [14]
⠠⠼⠼			regular dodecagon	shape mode [14]
⠠⠼⠼			regular decagon	shape mode [14]
⠠⠼	2	0032	digit 2 and set numeric and grade 1 modes	(5.6, 6)
⠠⠼	3	0033	digit 3 and set numeric and grade 1 modes	(5.6, 6)
⠠⠼	△		regular (equilateral) triangle	shape mode (11.7) [14]
⠠⠼	4	0034	digit 4 and set numeric and grade 1 modes	(5.6, 6)
⠠⠼	□		square	shape mode (11.7) [3.6, 14]
⠠⠼	5	0035	digit 5 and set numeric and grade 1 modes	(5.6, 6)
⠠⠼			regular pentagon	shape mode [14]
⠠⠼	6	0036	digit 6 and set numeric and grade 1 modes	(5.6, 6)
⠠⠼			regular hexagon	shape mode [14]
⠠⠼	7	0037	digit 7 and set numeric and grade 1 modes	(5.6, 6)
⠠⠼			regular heptagon	shape mode [14]
⠠⠼	8	0038	digit 8 and set numeric and grade 1 modes	(5.6, 6)
⠠⠼			regular octagon	shape mode [14]
⠠⠼	9	0039	digit 9 and set numeric and grade 1 modes	(5.6, 6)
⠠⠼			regular nonagon	shape mode [14]

別表 3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
	0	0030	digit 0 and set numeric and grade 1 modes	(5.6, 6)
	∥	2225	parallel to	[11]
	Ʒ	021d	lowercase yogh	(12)
	∞	221e	infinity sign	[11]
	þ	00fe	lowercase thorn	(12)
	ℎ	266e	natural	(3.18)
	♭	266d	flat	(3.18)
	♯	266f	sharp	(3.18)
			second transcriber-defined print symbol	(3.26) [11]
	ð	00f0	lowercase eth	(12)
	ƿ	01bf	lowercase wynn (wen)	(12)
	,	002c	decimal comma and set numeric and grade 1 modes	(6)
	.	002e	decimal point and set numeric and grade 1 modes	(6)
			numeric passage indicator	before space (6.9) [4.1]
			numeric passage terminator	(6.9) [4.1]
	⊥	22a5	perpendicular to (up tack)	[11]
	⊟	22be	measured right angle sign	[11]
			closing braille grouping indicator	(3.4, 11.4) [7]
	ar		ar	grade 2 (10.4)
	e.g. ↙		down and left pointing arrow (southwest), arrow terminator	arrow mode [13.1]
	e.g.		crossing with right-leaning diagonal line	horizontal line mode (16.2)
	/		right-leaning single solid diagonal line segment	when surrounded by spaces/other diagonal line segments (16.3)
	'	0027	apostrophe	(7)









別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠	'	0027	nondirectional single quote	(7.6.6)
⠠	'	0027	minutes	(3.11)
⠠	'	0027	feet	(3.15)
⠠			opening non-UEB passage indicator terminator	following the commence opening non-UEB passage indicator (14)
⠠			horizontal line mode terminator	horizontal line mode (16.2)
⠤	-	002d	hyphen	(7.2) [3.3]
⠠⠠⠠	@	0040	commercial at sign	(3.7) [11]
⠠⠠⠠	¢	00a2	cent sign	(3.10) [2.10]
⠠⠠⠠	∂	2202	partial derivative (curly d)	[11]
⠠⠠⠠	€	20ac	euro sign	(3.10) [2.10]
⠠⠠⠠	₣	20a3	French franc sign	(3.10) [2.10]
⠠⠠⠠	∅	2205	null set (slashed zero)	[10]
⠠⠠⠠	£	00a3	pound sign (pound sterling)	(3.10) [2.10]
⠠⠠⠠	₦	20a6	Naira sign	(3.10) [2.10]
⠠⠠⠠	e.g. →		regular barb, upper half, in line	arrow mode [13.3]
⠠⠠⠠	\$	0024	dollar sign	(3.10) [2.10]
⠠⠠⠠	¥	00a5	yen sign (yuan sign)	(3.10) [2.10]
⠠⠠⠠	e.g. ↵		curved barb, upper half, in line	arrow mode [13.3]
⠠⠠⠠	&	0026	ampersand	(3.1) [11]
⠠⠠⠠			curved barb, upper half, counter	arrow mode [13.3]
⠠⠠⠠	∮	222e	closed line integral (small circle halfway up)	[11]
⠠⠠⠠	⁄	0338	solidus (forward slash) overlay on following letter	(4.2)
⠠⠠⠠	<	003c	opening angle bracket	(7) [3, 5]
⠠⠠⠠	<	003c	less-than	(3.17, 11.2) [3]

別表 3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
	┘	00ac	"not" sign (line horizontal, then down at right)	[10]
	e.g. or		line through previous item (cancellation, "not")	[3, 4.1.6, 12]
	e.g.		transcriber-defined shape indicator	(11.7) [14.2]
			straight barb, upper half (directionless)	arrow mode [13.3]
			regular barb, upper half, counter	arrow mode [13.3]
			script word indicator	(9)
			script symbol indicator	(9)
		0336	horizontal stroke overlay on following letter	(4.2)
	^	005e	caret (hat)	(3.6) [11]
	v	2228	or (upright v shape)	[10]
			script passage indicator	(9)
	^	2227	and (inverted v shape)	[10]
	~	007e	tilde (swung dash)	(3.25) [11]
	∴	2235	"since" (three dots in inverted pyramid)	[11]
	˘	0306	breve above following letter	(4.2)
	e.g.		parallelogram	shape mode [14]
			third transcriber-defined print symbol	(3.26) [11]
			first transcriber-defined typeform word indicator	(9)
			first transcriber-defined typeform symbol indicator	(9)
			first transcriber-defined typeform passage indicator	(9)
			first transcriber-defined typeform terminator	(9)
	>	003e	closing angle bracket	(7) [3, 5]

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠧	>	003e	greater-than	(3.17, 11.2) [3]
⠨			script terminator	(9)
⠏	̄	0304	macron above following letter	(4.2)
⠏⠨	≡	220b	contains as an element (reverse variant epsilon)	[10]
⠏⠨	⋈	22b2	is a normal subgroup of (closed "less than")	[10]
⠏⠨	e.g. 		transcriber-defined filled (solid) shape indicator	[14.2]
⠏⠨	⊣	22a3	reverse assertion ("T" lying on right side)	[10]
⠏⠨	e.g. 		equilibrium arrow, trend to the left	[16]
⠏⠨	⋈	22b3	inverse "is normal subgroup" (closed "greater than")	[10]
⠏⠨⠨	e.g. 		quadruple dot for electrons or bond	[16]
⠏⠨⠨	e.g. 		quadruple dashed line bond	[16]
⠏⠨⠨	e.g. 		quadruple cross for electrons	[16]
⠏⠨⠨	e.g. 		quadruple small circle for electrons	[16]
⠏⠨⠨	e.g. 		quadruple line bond	[16]
⠏⠨⠨			opening transcriber's note indicator	(3.27)
⠏⠨⠨	e.g. 		transcriber-defined shaded shape indicator	[14.2]
⠏⠨⠨			closing transcriber's note indicator	(3.27)
⠏⠨⠨	†	2020	dagger	(3.3)
⠏⠨⠨	†	2020	dagger as a cross	(3.9)
⠏⠨⠨	‡	2021	double dagger	(3.3)
⠏	e.g.		first variant vertical line segment	when surrounded by spaces/other vertical line segments (16.3)
⠏⠨	∀	2200	"for all" (inverted A)	[11]
⠏⠨	©	00a9	copyright sign	(3.8)
⠏⠨	∇	2207	del, nabla (inverted capital delta)	[11]

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠⠠⠠⠠	∈	2208	is an element of (variant epsilon)	[10]
⠠⠠⠠⠠	°	00b0	degree sign	(3.11) [2.10]
⠠⠠⠠⠠	η	014b	lowercase eng	(4.4)
⠠⠠⠠⠠	¶	00b6	paragraph sign	(3.20)
⠠⠠⠠⠠	®	00ae	registered sign	(3.8)
⠠⠠⠠⠠	§	00a7	section sign	(3.20)
⠠⠠⠠⠠	™	2122	trademark sign	(3.8)
⠠⠠⠠⠠	upon		upon	grade 2 (10.7)
⠠⠠⠠⠠	♀	2640	female sign (Venus)	(3.16)
⠠⠠⠠⠠	♂	2642	male sign (Mars)	(3.16)
⠠⠠⠠⠠	¸	0327	cedilla below following letter	(4.2)
⠠⠠⠠⠠			non-UEB word indicator	(14)
⠠⠠⠠⠠	these		these	grade 2 (10.7)
⠠⠠⠠⠠			non-UEB word terminator	(14)
⠠⠠⠠⠠	̀	0300	grave accent above following letter	(4.2)
⠠⠠⠠⠠	⊂	2282	contained in, is a subset of (U open to right)	[10]
⠠⠠⠠⠠	ˆ	0302	circumflex above following letter	(4.2)
⠠⠠⠠⠠	those		those	grade 2 (10.7)
⠠⠠⠠⠠	→		simple right-pointing arrow over previous item	[12]
⠠⠠⠠⠠	whose		whose	grade 2 (10.7)
⠠⠠⠠⠠	◌̊	030a	ring (circle) above following letter	(4.2)
⠠⠠⠠⠠	◌̃	0303	tilde above following letter	(4.2)
⠠⠠⠠⠠			bold arrow indicator	[13.1]
⠠⠠⠠⠠			calculator window	
⠠⠠⠠⠠	word		word	grade 2 (10.7)

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠⠠⠠⠠			boldface word indicator	(9)
⠠⠠⠠⠠			boldface symbol indicator	(9)
⠠⠠⠠⠠	ö	0308	dieresis (umlaut) above following letter	(4.2)
⠠⠠⠠⠠	◌̇	0307	dot over previous item	[12]
⠠⠠⠠⠠	∃	2203	"there exists" (reverse E)	[11]
⠠⠠⠠⠠	e.g. æ		ligature indicator	(4.3, 12)
⠠⠠⠠⠠			boldface passage indicator	(9)
⠠⠠⠠⠠	e.g.“	201c	opening double quotation mark	(7.6)
⠠⠠⠠⠠	≈	2248	approximately equal to (tilde over tilde)	[3]
⠠⠠⠠⠠	e.g.”	201d	closing double quotation mark	(7.6)
⠠⠠⠠⠠	◌́	0301	acute accent above following letter	(4.2)
⠠⠠⠠⠠	◌̣	030c	caron (hacek, wedge) above following letter	(4.2)
⠠⠠⠠⠠⠠			fourth transcriber-defined print symbol	(3.26) [11]
⠠⠠⠠⠠⠠			second transcriber-defined typeform word indicator	(9)
⠠⠠⠠⠠⠠			second transcriber-defined typeform symbol indicator	(9)
⠠⠠⠠⠠⠠			second transcriber-defined typeform passage indicator	(9)
⠠⠠⠠⠠⠠			second transcriber-defined typeform terminator	(9)
⠠⠠⠠⠠	⊃	2283	contains, is a superset of (U open to left)	[10]
⠠⠠⠠⠠			boldface terminator	(9)
⠠⠠⠠⠠⠠			first transcriber-defined modifier on following letter	(4.2)
⠠⠠⠠⠠⠠			second transcriber-defined modifier on following letter	(4.2)
⠠⠠⠠⠠⠠	≡	22a8	"is valid" sign (assertion with double stem on "T")	[10]

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠⠠⠠⠠	⇌	21cc	equilibrium arrow (harpoons)	[16]
⠠⠠⠠⠠			third transcriber-defined modifier on following letter	(4.2)
⠠⠠⠠⠠	≅	224f	equals sign with bump in top bar (difference between or approximately equal)	[3]
⠠⠠⠠⠠	e.g. ˈ		primary stress sign	(15.2)
⠠⠠⠠⠠	e.g. ˊ		high tone	(15.3)
⠠⠠⠠⠠	e.g. ↗		global rise	(15.3)
⠠⠠⠠⠠	e.g. ↘		high falling	(15.3)
⠠⠠⠠⠠	e.g. ↗̇		high rising	(15.3)
⠠⠠⠠⠠	e.g. ↓		down step	(15.3)
⠠⠠⠠⠠	e.g. ↗↘		rise-fall	(15.3)
⠠⠠⠠⠠	e.g. ↑		up step	(15.3)
⠠⠠⠠⠠			secondary stress sign	(15.2)
⠠⠠⠠⠠	e.g. ˋ		mid tone	(15.3)
⠠⠠⠠⠠	e.g. ↘̇		low falling	(15.3)
⠠⠠⠠⠠	e.g. ↗̇		low rising	(15.3)
⠠⠠⠠⠠	e.g. ↘		global fall	(15.3)
⠠⠠⠠⠠	e.g. ↗↘̇		fall-rise	(15.3)
⠠⠠⠠⠠	e.g. ˌ		low tone	(15.3)
⠠⠠⠠⠠	¡	00a1	inverted exclamation mark	(13.5)
⠠⠠⠠⠠	¿	00bf	inverted question mark	(13.5)
⠠			line indicator, as in poetry	unspaced before, followed by space (15.1)
⠠	e.g.		vertical single solid line segment	when surrounded by spaces/other vertical line segments [4.1] (16.3)
⠠			tally mark	[4.2]

別表 3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠			lowercase reserved non-Roman letter	
⠡			lowercase reserved non-Roman letter	
⠢			lowercase reserved non-Roman letter	
⠣	cannot		cannot	grade 2 (10.7)
⠤			lowercase reserved non-Roman letter	
⠥			lowercase reserved non-Roman letter	
⠦			lowercase reserved non-Roman letter	
⠧			lowercase reserved non-Roman letter	
⠨			lowercase reserved non-Roman letter	
⠩	had		had	grade 2 (10.7)
⠪			lowercase reserved non-Roman letter	
⠫			lowercase reserved non-Roman letter	
⠬			lowercase reserved non-Roman letter	
⠭			lowercase reserved non-Roman letter	
⠮			lowercase reserved non-Roman letter	
⠯			lowercase reserved non-Roman letter	
⠰	many		many	grade 2 (10.7)
⠱			lowercase reserved non-Roman letter	
⠲			lowercase reserved non-Roman letter	
⠳			lowercase reserved non-Roman letter	
⠴			lowercase reserved non-Roman letter	
⠵			lowercase reserved non-Roman letter	
⠶			lowercase reserved non-Roman letter	
⠷			lowercase reserved non-Roman letter	
⠸	spirit		spirit	grade 2 (10.7)
⠹			lowercase reserved non-Roman letter	
⠺			lowercase reserved non-Roman letter	

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠			lowercase reserved non-Roman letter	
⠡			lowercase reserved non-Roman letter	
⠢			lowercase reserved non-Roman letter	
⠣			lowercase reserved non-Roman letter	
⠤	≡	2261	equivalent to (three horizontal lines)	[3]
⠥	their		their	grade 2 (10.7)
⠦	\	005c	reverse solidus (backslash)	(7) [11]
⠧	{	007b	opening curly bracket (brace bracket)	(7) [5]
⠨			opening Nemeth Code indicator	(14.6)
⠩	#	0023	number sign (crosshatch, hash, pound sign)	(3.19) [11]
⠪	̃	0303	tilde over previous item	[12]
⠬	e.g. ■		filled (solid) shape indicator	[14]
⠭		007c	vertical line in scansion	(15.1)
⠮		007c	vertical bar in mathematics	[5, 11]
⠯	∠	2220	angle sign	[11]
⠱			lowercase reserved non-Roman letter	
⠲	world		world	grade 2 (10.7)
⠴			underlined word indicator	(9)
⠵			underlined symbol indicator	(9)
⠶	⊢	22a6	assertion ("is a theorem" sign, "T" lying on left side)	[10]
⠷	•	2022	bullet	(3.5)
⠸	ə	0259	lowercase schwa	(4.4)
⠹	±	00b1	plus-or-minus (plus over minus)	[3]
⠺			underlined passage indicator	(9)

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠⠠	«	00ab	opening Italian quotation mark (small double angle brackets)	(7.6)
⠠⠠	≈	2243	approximately equal to (tilde over horizontal straight line)	[3]
⠠⠠	»	00bb	closing Italian quotation mark (small double angle brackets)	(7.6)
⠠⠠	/	002f	solidus (forward slash)	(7, 15.1)
⠠⠠⠠			fifth transcriber-defined print symbol	(3.26) [11]
⠠⠠⠠			third transcriber-defined typeform word indicator	(9)
⠠⠠⠠			third transcriber-defined typeform symbol indicator	(9)
⠠⠠⠠			third transcriber-defined typeform passage indicator	(9)
⠠⠠⠠			third transcriber-defined typeform terminator	(9)
⠠⠠	}	007d	closing curly bracket (brace bracket)	(7) [5]
⠠⠠			underline terminator	(9)
⠠⠠	±	2213	minus-or-plus (minus over plus)	[3]
⠠⠠⠠	≤	2264	less than or equal to	[3]
⠠⠠⠠	≥	2265	greater than or equal to	[3]
⠠⠠⠠	⊆	2286	contained in or equal to	[10]
⠠⠠⠠	⊇	2287	contains or equal to	[10]
⠠⠠⠠	⊴	22b4	is normal subgroup of or equal (closed "less than" with line under)	[10]
⠠⠠⠠				unassigned/reserved
⠠⠠⠠	⊵	22b5	inverse "normal subgroup or equal" (closed "greater than" with line under)	[10]
⠠⠠⠠				unassigned/reserved
⠠⠠⠠⠠⠠	≡		4 tally marks with strike through (representing 5 items)	[4.2]

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠⠠⠠	e.g. • • •		triple dot for electrons or bond	[16]
⠠⠠⠠	e.g. ⠠⠠⠠		triple dashed line bond	[16]
⠠⠠⠠	α	221d	is proportional to (varies as)	[3, 11]
⠠⠠⠠	e.g. x x x		triple cross for electrons	[16]
⠠⠠⠠	e.g. ° ° °		triple small circle for electrons	[16]
⠠⠠⠠	e.g. ⠠⠠⠠		triple line bond	[16]
⠠			line continuation indicator	at end of line (6.10) [1.4, 17]
⠠⠠	e.g. 10 100	00a0	numeric space before digit 1	numeric mode (6.6)
⠠⠠	e.g. 10 200	00a0	numeric space before digit 2	numeric mode (6.6)
⠠⠠	e.g. 10 300	00a0	numeric space before digit 3	numeric mode (6.6)
⠠⠠	day		day	grade 2 (10.7)
⠠⠠	e.g. 10 400	00a0	numeric space before digit 4	numeric mode (6.6)
⠠⠠	ever		ever	grade 2 (10.7)
⠠⠠	e.g. 10 500	00a0	numeric space before digit 5	numeric mode (6.6)
⠠⠠	father		father	grade 2 (10.7)
⠠⠠	e.g. 10 600	00a0	numeric space before digit 6	numeric mode (6.6)
⠠⠠	e.g. 10 700	00a0	numeric space before digit 7	numeric mode (6.6)
⠠⠠	here		here	grade 2 (10.7)
⠠⠠	e.g. 10 800	00a0	numeric space before digit 8	numeric mode (6.6)
⠠⠠	e.g. 10 900	00a0	numeric space before digit 9	numeric mode (6.6)
⠠⠠	e.g. 10 000	00a0	numeric space before digit 0	numeric mode (6.6)
⠠⠠	know		know	grade 2 (10.7)
⠠⠠	lord		lord	grade 2 (10.7)
⠠⠠	mother		mother	grade 2 (10.7)
⠠⠠	name		name	grade 2 (10.7)

別表 3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠼	one		one	grade 2 (10.7)
⠼⠠	oneself		oneself	grade 2 (10.9)
⠼⠏	part		part	grade 2 (10.7)
⠼⠒	question		question	grade 2 (10.7)
⠼⠗	right		right	grade 2 (10.7)
⠼⠎	some		some	grade 2 (10.7)
⠼⠞	time		time	grade 2 (10.7)
⠼⠤	under		under	grade 2 (10.7)
⠼⠢	young		young	grade 2 (10.7)
⠼⠒			commences opening non-UEB passage indicator	followed by ⠒ (14)
⠼⠞	there		there	grade 2 (10.7)
⠼⠠	character		character	grade 2 (10.7)
⠼⠠	(0028	opening parenthesis (round bracket)	(7) [5]
⠼⠠	√	221a	radical without vinculum	[8]
⠼⠒	through		through	grade 2 (10.7)
⠼⠠	̂		hat over previous item	[12]
⠼⠗	where		where	grade 2 (10.7)
⠼⠒	ought		ought	grade 2 (10.7)
⠼⠒	work		work	grade 2 (10.7)
⠼⠠	"	3003	ditto mark	(3.12)
⠼⠠			horizontal line mode indicator	(16.2) [4.1]
⠼⠠	.	22c5	multiplication dot	[3]
⠼⠠	e.g. •		single dot for electron or bond	[16]
⠼⠠	e.g. -----		single dashed line bond	[16]
⠼⠒	+	002b	plus	(3.17, 11.2) [3]

別表 3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
	=	003d	equals	(3.17, 11.2) [3]
	×	00d7	times (multiplication cross)	(3.17, 11.2) [3]
	×	00d7	times as a cross	(3.9)
	e.g. ×		single cross for electron	[16]
	*	002a	asterisk	(3.3) [11]
	○	2218	"hollow dot"	[11]
	e.g. ○		single small circle for electron	[16]
	÷	00f7	divided by	(3.17, 11.2) [3]
			sixth transcriber-defined print symbol	(3.26) [11]
			fourth transcriber-defined typeform word indicator	(9)
			fourth transcriber-defined typeform symbol indicator	(9)
			fourth transcriber-defined typeform passage indicator	(9)
			fourth transcriber-defined typeform terminator	(9)
)	0029	closing parenthesis (round bracket)	(7) [5]
	—	2212	minus (when distinguished from hyphen)	(3.17, 11.2) [3]
	[005b	opening IPA bracket, opening square bracket with switch from UEB to IPA	(14.4)
	/	002f	opening IPA slash, opening solidus (forward slash) with switch from UEB to IPA	(14.4)
	e.g.		equilibrium arrow, trend to the right	[16]
	≅	2245	tilde over equals sign (approximately equal)	[3]
			line continuation indicator with space	at end of line (6.10) [17]
			guide dots	with space before and after (16.5)

別表 3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠⠠⠠⠠⠠⠠			dot locator for "use"	(3.14) [1.7]
⠠⠠⠠⠠⠠⠠			general opening IPA indicator	(14.4)
⠠⠠⠠⠠⠠⠠	—	2015	long dash	(7.2) [3.6]
⠠⠠⠠	α	03b1	lowercase Greek alpha	(4.5) [11.7]
⠠⠠⠠	β	03b2	lowercase Greek beta	(4.5) [11.7]
⠠⠠⠠	δ	03b4	lowercase Greek delta	(4.5) [11.7]
⠠⠠⠠	ound		ound	grade 2, following a letter (10.8)
⠠⠠⠠	ε	03b5	lowercase Greek epsilon	(4.5) [11.7]
⠠⠠⠠	ance		ance	grade 2, following a letter (10.8)
⠠⠠⠠	φ	03c6	lowercase Greek phi	(4.5) [11.7]
⠠⠠⠠	γ	03b3	lowercase Greek gamma	(4.5) [11.7]
⠠⠠⠠	ι	03b9	lowercase Greek iota	(4.5) [11.7]
⠠⠠⠠	\ominus		"normal" (superscript circle crossed by horizontal line)	
⠠⠠⠠	κ	03ba	lowercase Greek kappa	(4.5) [11.7]
⠠⠠⠠	λ	03bb	lowercase Greek lambda	(4.5) [11.7]
⠠⠠⠠	μ	03bc	lowercase Greek mu	(4.5) [11.7]
⠠⠠⠠	ν	03bd	lowercase Greek nu	(4.5) [11.7]
⠠⠠⠠	sion		sion	grade 2, following a letter (10.8)
⠠⠠⠠	o	03bf	lowercase Greek omicron	(4.5) [11.7]
⠠⠠⠠	π	03c0	lowercase Greek pi	(4.5) [11.7]
⠠⠠⠠	ρ	03c1	lowercase Greek rho	(4.5) [11.7]
⠠⠠⠠	σ or ς	03c3 or 03c2	lowercase Greek sigma	(4.5) [11.7]
⠠⠠⠠	less		less	grade 2, following a letter (10.8)
⠠⠠⠠	τ	03c4	lowercase Greek tau	(4.5) [11.7]

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
	ount		ount	grade 2, following a letter (10.8)
	υ	03c5	lowercase Greek upsilon	(4.5) [11.7]
	ξ	03be	lowercase Greek xi	(4.5) [11.7]
	ψ	03c8	lowercase Greek psi	(4.5) [11.7]
	ζ	03b6	lowercase Greek zeta	(4.5) [11.7]
	χ	03c7	lowercase Greek chi	(4.5) [11.7]
			dot locator for "mention"	(3.13)
	`	0060	grave accent alone	
	[005b	opening square bracket	(7) [5]
	θ	03b8	lowercase Greek theta	(4.5) [11.7]
	η	03b7	lowercase Greek eta	(4.5) [11.7]
	e.g.		shaded shape indicator	[14]
		00a6	broken vertical bar	[11]
	ω	03c9	lowercase Greek omega	(4.5) [11.7]
			italic word indicator	(9)
			italic symbol indicator	(9)
			directly below	[7]
	∪	222a	union (upright U shape)	[10]
			italic passage indicator	(9)
	∩	2229	intersection (inverted U shape)	[10]
			directly above	[7]
	%	0025	percent sign	(3.21) [2.10]
	e.g. $\frac{x}{4}$		general fraction line	(11.3) [6]
			seventh transcriber-defined print symbol	(3.26) [11]

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠⠠⠠⠠⠠			fifth transcriber-defined typeform word indicator	(9)
⠠⠠⠠⠠⠠			fifth transcriber-defined typeform symbol indicator	(9)
⠠⠠⠠⠠⠠			fifth transcriber-defined typeform passage indicator	(9)
⠠⠠⠠⠠⠠			fifth transcriber-defined typeform terminator	(9)
⠠⠠⠠]	005d	closing square bracket	(7) [5]
⠠⠠⠠			italic terminator	(9)
⠠⠠⠠	—	005f	low line (underscore)	(7.2) [3.6, 11]
⠠⠠⠠⠠	≪	226a	is much less than	[3]
⠠⠠⠠⠠	≫	226b	is much greater than	[3]
⠠⠠⠠⠠	⊆	228a	contained in, but not equal to (proper subset)	[10]
⠠⠠⠠⠠	⊇	228b	contains, but is not equal to (proper superset)	[10]
⠠⠠⠠⠠	⊴		normal subgroup but not equal (closed "less than" with cancelled line under)	[10]
⠠⠠⠠⠠	⌢		arc over previous item	[12]
⠠⠠⠠⠠	∠	2221	measured angle sign	[11]
⠠⠠⠠⠠	≡	2ae4	reverse "is valid" sign	[10]
⠠⠠⠠⠠	⊵		inverse "normal subgroup but not equal" (closed "greater than" with cancelled line under)	[10]
⠠⠠⠠⠠	e.g. ⠠⠠		double dot for electrons or bond	[16]
⠠⠠⠠⠠	e.g. ⠠⠠⠠⠠⠠		double dashed line bond	[16]
⠠⠠⠠⠠	≈	2251	equals sign dotted above and below (approximately equal)	[3]
⠠⠠⠠⠠	e.g. x x		double cross for electrons	[16]
⠠⠠⠠⠠	e.g. ○ ○		double small circle for electrons	[16]

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠑⠒⠑⠒	e.g. <u> </u>		double line bond	[16]
⠐			grade 1 symbol indicator	(5.2) [1.7]
⠑⠒	ence		ence	grade 2, following a letter (10.8)
⠑⠒⠑	ong		ong	grade 2, following a letter (10.8)
⠑⠒⠑	ful		ful	grade 2, following a letter (10.8)
⠑⠒⠑	tion		tion	grade 2, following a letter (10.8)
⠑⠒⠑	ness		ness	grade 2, following a letter (10.8)
⠑⠒⠑	ment		ment	grade 2, following a letter (10.8)
⠑⠒⠑	ity		ity	grade 2, following a letter (10.8)
⠐⠐⠐			grade 1 terminator	(5.5) [1.7]
⠐⠐⠐			grade 1 word indicator	(5.3) [1.7]
⠐⠐⠐⠐⠐			grade 1 passage indicator	(5.4) [1.7]
⠑⠒	A	0041	capital letter A	(4.1, 8)
⠑⠒	B	0042	capital letter B	(4.1, 8)
⠑⠒	C	0043	capital letter C	(4.1, 8)
⠑⠒	D	0044	capital letter D	(4.1, 8)
⠑⠒	E	0045	capital letter E	(4.1, 8)
⠑⠒	F	0046	capital letter F	(4.1, 8)
⠑⠒	G	0047	capital letter G	(4.1, 8)
⠑⠒	H	0048	capital letter H	(4.1, 8)
⠑⠒	I	0049	capital letter I	(4.1, 8)
⠑⠒	J	004a	capital letter J	(4.1, 8)
⠑⠒	K	004b	capital letter K	(4.1, 8)
⠑⠒	L	004c	capital letter L	(4.1, 8)
⠑⠒	M	004d	capital letter M	(4.1, 8)

別表 3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
	N	004e	capital letter N	(4.1, 8)
	O	004f	capital letter O	(4.1, 8)
	P	0050	capital letter P	(4.1, 8)
	Q	0051	capital letter Q	(4.1, 8)
	R	0052	capital letter R	(4.1, 8)
	e.g.		regular barb, lower half, in line	arrow mode [13.3]
	S	0053	capital letter S	(4.1, 8)
	T	0054	capital letter T	(4.1, 8)
	U	0055	capital letter U	(4.1, 8)
	V	0056	capital letter V	(4.1, 8)
	X	0058	capital letter X	(4.1, 8)
	X	0058	capital letter X as a cross	(3.9)
	Y	0059	capital letter Y	(4.1, 8)
	e.g.		curved barb, lower half, in line	arrow mode [13.3]
	Z	005a	capital letter Z	(4.1, 8)
			curved barb, lower half, counter	arrow mode [13.3]
	∴	2234	"therefore" (three dots in upright pyramid)	[11]
	e.g.		variant left-leaning diagonal line segment	when surrounded by spaces/other diagonal line segments (16.3)
			bar under previous item	[12]
			straight barb, lower half (directionless)	arrow mode [13.3]
	W	0057	capital letter W	(4.1, 8)
			regular barb, lower half, counter	arrow mode [13.3]
	"	0022	nondirectional double quotation mark	(7.6.6) [17]
	"	0022	seconds	(3.11)

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
	"	0022	inches	(3.15)
	e.g. ‘	2018	opening single quotation mark	(7.6)
	e.g. ’	2019	closing single quotation mark	(7.6)
	Ʒ	021c	capital yogh	(12)
	Þ	00de	capital thorn	(12)
	Ð	00d0	capital eth	(12)
	ƿ	01f7	capital wynn (wen)	(12)
	e.g.		variant right-leaning diagonal line segment	when surrounded by spaces/other diagonal line segments (16.3)
			capitals terminator	(8.6)
			opening music indicator	when following a space (14.5)
	—	2014	dash	when distinguished from a hyphen in the print (7.2)
	e.g.		single line bond	[16]
	⸏	0338	solidus (forward slash) overlay on following capital letter	(4.2)
	⸌	0336	horizontal stroke overlay on following capital letter	(4.2)
	◌̆	0306	breve above following capital letter	(4.2)
	◌̄	0304	macron above following capital letter	(4.2)
	Ʒ	014a	capital eng	(4.4)
	◌̸	0327	cedilla below following capital letter	(4.2)
	◌̀	0300	grave accent above following capital letter	(4.2)
	◌̂	0302	circumflex above following capital letter	(4.2)
	→		simple right-pointing arrow under previous item	[12]
	◌°	030a	circle (ring) above following capital letter	(4.2) [2.10]
	◌~	0303	tilde above following capital letter	(4.2)

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠⠠⠠⠠	ö	0308	dieresis/umlaut above following capital letter	(4.2)
⠠⠠⠠⠠	◌̣	0323	dot under previous item	[12]
⠠⠠⠠⠠			ligature indicator where only the following letter is capitalised	(4.3, 12)
⠠⠠⠠⠠	ó	0301	acute accent above following capital letter	(4.2)
⠠⠠⠠⠠	◌̣̣	030c	caron (hacek, wedge) above following capital letter	(4.2)
⠠⠠⠠⠠⠠			first transcriber-defined modifier on following capital letter	(4.2)
⠠⠠⠠⠠⠠			second transcriber-defined modifier on following capital letter	(4.2)
⠠⠠⠠⠠⠠			third transcriber-defined modifier on following capital letter	(4.2)
⠠⠠⠠	e.g.		second variant vertical line segment	when surrounded by spaces/other vertical line segments (16.3)
⠠⠠⠠⠠			capital reserved non-Roman letter	
⠠⠠⠠⠠			capital reserved non-Roman letter	
⠠⠠⠠⠠			capital reserved non-Roman letter	
⠠⠠⠠⠠			capital reserved non-Roman letter	
⠠⠠⠠⠠			capital reserved non-Roman letter	
⠠⠠⠠⠠			capital reserved non-Roman letter	
⠠⠠⠠⠠			capital reserved non-Roman letter	
⠠⠠⠠⠠			capital reserved non-Roman letter	
⠠⠠⠠⠠			capital reserved non-Roman letter	
⠠⠠⠠⠠			capital reserved non-Roman letter	
⠠⠠⠠⠠			capital reserved non-Roman letter	
⠠⠠⠠⠠			capital reserved non-Roman letter	
⠠⠠⠠⠠			capital reserved non-Roman letter	

別表3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠			capital reserved non-Roman letter	
⠡			capital reserved non-Roman letter	
⠢			capital reserved non-Roman letter	
⠣			capital reserved non-Roman letter	
⠤			capital reserved non-Roman letter	
⠥			capital reserved non-Roman letter	
⠦			capital reserved non-Roman letter	
⠧			capital reserved non-Roman letter	
⠨			capital reserved non-Roman letter	
⠩			capital reserved non-Roman letter	
⠪			capital reserved non-Roman letter	
⠬			capital reserved non-Roman letter	
⠭			capital reserved non-Roman letter	
⠮			capital reserved non-Roman letter	
⠯			capital reserved non-Roman letter	
⠰	{		multi-line opening curly bracket	(7.7) [5, 15]
⠱	˜	0330	tilde under previous item	[12]
⠲			multi-line vertical bar	[5, 15]
⠳			capital reserved non-Roman letter	
⠴	ə	018f	capital schwa	(4.4)
⠵	}		multi-line closing curly bracket	(7.7) [5, 15]
⠶			closing non-UEB passage indicator	(14)
⠷	[multi-line opening round parenthesis	(7.7, 11.8) [5, 15]
⠸	ˆ	032d	hat under previous item	[12]
⠹]		multi-line closing round parenthesis	(7.7, 11.8) [5, 15]
⠺	Α	0391	capital Greek alpha	(4.5, 8) [11.7]
⠻	Β	0392	capital Greek beta	(4.5, 8) [11.7]

別表 3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
⠠	Δ	0394	capital Greek delta	(4.5, 8) [11.7]
⠠	E	0395	capital Greek epsilon	(4.5, 8) [11.7]
⠠	Φ	03a6	capital Greek phi	(4.5, 8) [11.7]
⠠	Γ	0393	capital Greek gamma	(4.5, 8) [11.7]
⠠	I	0399	capital Greek iota	(4.5, 8) [11.7]
⠠	K	039a	capital Greek kappa	(4.5, 8) [11.7]
⠠	Λ	039b	capital Greek lambda	(4.5, 8) [11.7]
⠠	M	039c	capital Greek mu	(4.5, 8) [11.7]
⠠	N	039d	capital Greek nu	(4.5, 8) [11.7]
⠠	O	039f	capital Greek omicron	(4.5, 8) [11.7]
⠠	Π	03a0	capital Greek pi	(4.5, 8) [11.7]
⠠	P	03a1	capital Greek rho	(4.5, 8) [11.7]
⠠	Σ	03a3	capital Greek sigma	(4.5, 8) [11.7]
⠠	T	03a4	capital Greek tau	(4.5, 8) [11.7]
⠠	Υ	03a5	capital Greek upsilon	(4.5, 8) [11.7]
⠠	Ξ	039e	capital Greek xi	(4.5, 8) [11.7]
⠠	Ψ	03a8	capital Greek psi	(4.5, 8) [11.7]
⠠	Z	0396	capital Greek zeta	(4.5, 8) [11.7]
⠠	X	03a7	capital Greek chi	(4.5, 8) [11.7]
⠠	[multi-line opening square bracket	(7.7) [5, 15]
⠠	Θ	0398	capital Greek theta	(4.5, 8) [11.7]
⠠	H	0397	capital Greek eta	(4.5, 8) [11.7]
⠠	Ω	03a9	capital Greek omega	(4.5, 8) [11.7]
⠠]		multi-line closing square bracket	(7.7) [5, 15]
⠠			capitalised word indicator	(8.4)

別表 3 記号リスト

点字	墨字	Unicode	記号名	用法・参考文献
			capitalised passage indicator	(8.5)

